SHARP®

電子辞書

形名 PW-GT570

取扱説明書

Papyrus
[パピルス]

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

ご使用前のおことわり

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

記憶内容保存のお願い

この製品は、別売のカードの使用時を含め、使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、お客様が記憶させた内容などが変化・消失する場合があります。
重要な内容は必ず紙などに控えておいてください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

⊘ 記号は、してはいけないことを表しています。

❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

本体の取り扱いについて

⚠注意

- 電池は誤った使いかたをすると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることがあります。以下のことをお守りください。
  - プラス“+”とマイナス“−”の向きを表示どおり正しく入れる。
  - 種類の違うものや新しいものと古いものを混ぜて使用しない。
  - 使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
  - もれた液が目に入ったときはきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受ける。障害をおこす恐れがあります。
  - もれた液が体や衣服についたときは、すぐに水でよく洗い流す。
  - 水や火の中に入れたり、分解したり、端子をショートさせたりしない。
  - 長期間使用しないときは、液もれ防止のため電池を取り外す。

必ずお読みください

⚠ 注意

- 健康のため、この製品を連続して長時間使い続けないでください。この製品を使用する場合は適度に（1時間ごとに10～15分程度をめやすに）休憩をとって、目や手、腕など身体を休めてください。
  また、この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じた場合は、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。

イヤホンの取り扱いについて

⚠ 警告

事故を防ぐために、次のことをお守りください。

- 自動車やバイク、自転車などを運転中は、イヤホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げ過ぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。

⚠ 注意

- イヤホンで聞くときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

カードの取り扱いについて

⚠ 注意

- SDメモリーカードやコンテンツカードの取り付け・取り外しをするときはカードの挿入口を顔のほうに向けないでください。急に指を離すとカードが顔に向かって飛び出してくることがあります。

市販の充電池の取り扱いについて

⚠ 注意

- 市販の充電池をご使用になる場合は、次のことをお守りください。

  発熱、発火、破裂、感電の原因になることがあります。

  - 充電池は、三洋電機株式会社製の単４形eneloop®(エネループ)をご使用ください。これ以外の充電池は使用しないでください。
  - eneloop®の充電は必ず専用の充電器をお使いください。
  - eneloop®をご使用の際は、eneloop®やその充電器の取扱説明書、注意書きなどを十分お読みいただき、条件を守ってご使用ください。

付属品を確認する

下記の付属品がそろっているか確認してください。

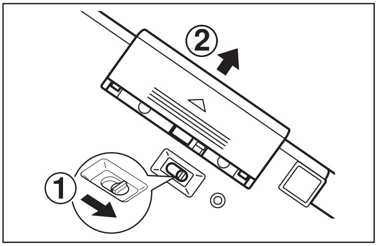
- イヤホン
- タッチペン（本体に装着）
- アルカリ乾電池　単4形2本
- 取扱説明書（本書）※
- クイックガイド
- Quick Reference
- お客様ご相談窓口のご案内
- 「数学公式集」例題集

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

初めてお使いになるときは

1 本体裏面の電池ぶたスイッチを“解除”側にします。

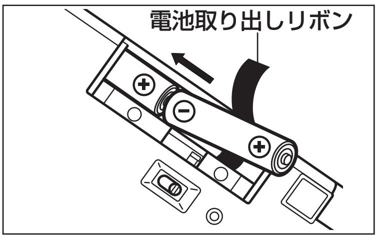
2 電池ぶたを矢印の方向に水平に引いて外します。



3 同梱されている乾電池を入れます。

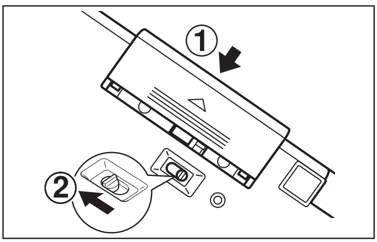
向きをまちがえないように入れてください。

- リボンの上から電池を入れます。リボンの先端が電池の下に隠れないようにしてください。



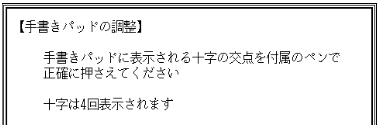
4 電池ぶたをもとどおり水平に差しこんで取り付けます。

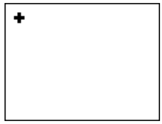
5 電池ぶたスイッチを“ロック”側にします。



6 本体を開き［入／切］を押して電源を入れます。

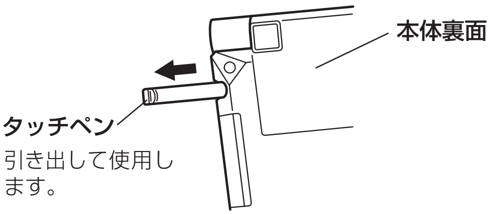
「Welcome to Papyrus World」と表示された後、手書きパッドの調整画面が表示されます。

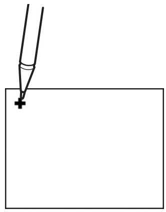




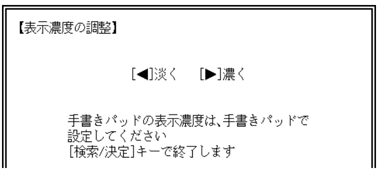
- 違う画面が表示された場合は、327ページを参照して、リセット操作をしてください。
- 電源が入らないときは次の操作をしてください。
  - 電池ぶたスイッチが“ロック”位置になっていることを確認して、もう一度［入／切］を押してください。
  - それでも電源が入らないときは、手順**1** ～ **6**の方法で電池を入れ直してみてください。

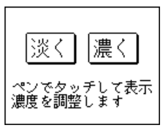
7 タッチペンを取り出して、手書きパッドに表示される＋（十字）マークの交点を正確にタッチします。





＋マークは、タッチすると別の場所に表示されますので、順番にその交点にタッチしてください。＋マークは4カ所に表示され、全てタッチすると表示濃度調整画面が表示されます。





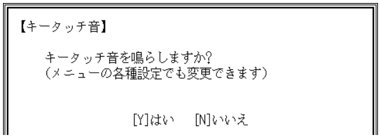
8 ［淡く］（［◀］）、［濃く］（［▶］）キーを押してメイン画面の表示濃度を見やすい濃さに調整します。

- メイン表示の濃度は、どの画面ででも調整することができます。（☞81ページ）

9 **手書きパッドの ［淡く］、［濃く］ にタッチして、手書きパッドの表示濃度を見やすい濃さに調整します。**

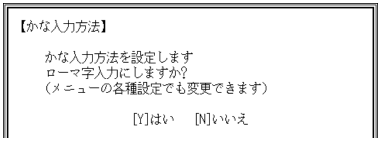
10 **表示濃度調整後 ［検索/決定］ を押します。**

キータッチ音（キーを押したとき“ピッ”と鳴る音）の設定確認画面が表示されます。



11 **［Y］ または ［N］ キーを押して、鳴らす／鳴らさないを選びます。**

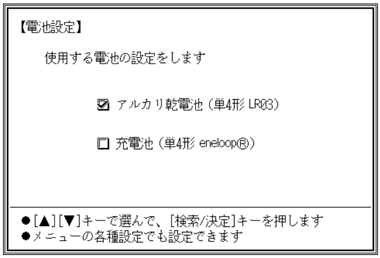
かな入力方法の設定画面が表示されます。



12 **ローマ字入力に設定する場合は ［Y］ キーを押し、50音入力に設定する場合は ［N］ キーを押します。**

使用する電池の設定画面が表示されます。

13 **［▼］、［▲］で、使用する電池（「アルカリ乾電池」または「充電池」）を選んで ［検索/決定］ を押します。**



メインメニュー画面（コンテンツ※等選択画面：☞31ページ）が表示されます。

※コンテンツ

コンテンツは文章などの内容や項目を指す言葉です。
収録されている辞書、書籍等を特定せずに示すとき「コンテンツ」と記載します。

参考
- ここで設定した内容は、後で変更することができます。（☞79、80、８１、８5ページ）

電池が消耗した場合は

画面右上に " 🔋 "(電池シンボル)が点灯したとき、または電源を入れたときに「電池を交換してください」とのメッセージが表示された場合は電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください(☞331ページ)。

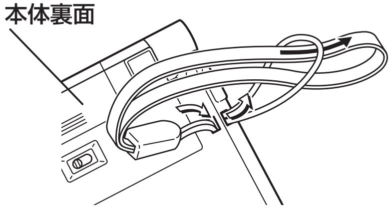
参考
- 電池シンボルが点灯すると、次のような動作ができなくなります。
  - 音声の再生(MP3プレーヤーの再生、字幕リスニング等を含む)
  - バックライトの点灯
  - 単語帳の削除、SDメモリーカードの初期化など
  - 本製品の初期化

操作説明について

本書は、基本編で本製品の基本的な使いかたを説明し、コンテンツ/機能説明編で本製品を活用する使いかたを説明しています。
本書の基本編は必ずお読みください。
コンテンツ/機能説明編では、基本編に記載の操作方法は簡易に説明していることがあります。

市販のストラップを取り付けるときは

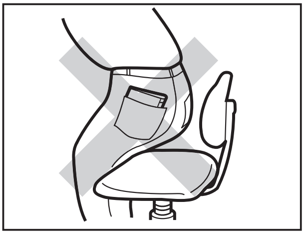
市販のストラップを取り付けることができます。
図のように裏面の取り付け穴に通して取り付けます。



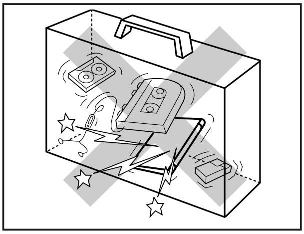
注意
- ストラップを取り付けてストラップを持って振り回したり、強く引っぱるなど、ストラップに過重がかかる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

使用上のご注意とお手入れ

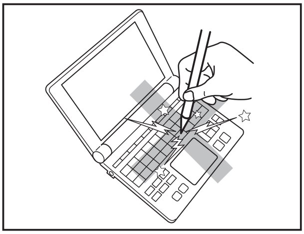
- **製品をズボンのポケットに入れたり、落としたり、強いショックを与えたりしないでください。**
  大きな力が加わり、液晶表示部が割れたり、本体が破損することがあります。特に**満員電車の中**などでは、強い衝撃や圧力がかかる恐れがありますので注意してください。



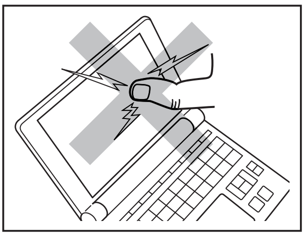
- **ポケットやカバンに、硬いものや先のとがったものと一緒に入れないでください。**
  傷がついたり、液晶表示部が割れたりすることがあります。



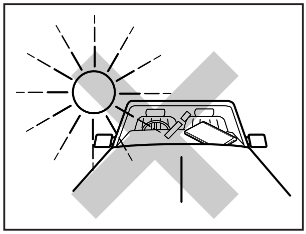
- **キーや手書きパッドを爪や硬いもの、先のとがったもので操作したり、必要以上に強く押さえないでください。**
  キーや手書きパッドを傷めることがあります。(手書きパッドは付属のタッチペンで操作してください。)



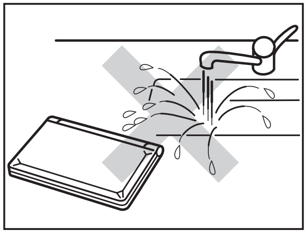
- **表示部を強く押さえないでください。**
  割れることがあります。



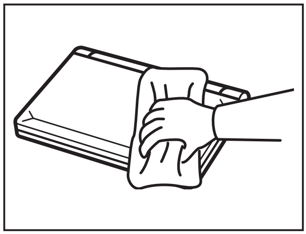
- **日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。**
  高温により、変形や故障の原因になります。



- **防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。**
  雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。



- **お手入れは、乾いたやわらかい布で軽くふいてください。**
  シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。



- **キャッシュカードなど、磁気カードを近づけないでください。**
  データが消える恐れがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。

著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を利用することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなり、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

おことわり

この製品に収録されている辞書などの各コンテンツの内容は、それぞれの書籍版コンテンツに基づいて、出版社より電子データとして作成、提供された著作物であり、著作権法により保護されております。したがって弊社において、その内容を改変／改良することはできません。
それぞれのコンテンツにおける誤記・誤植、誤用につきましては、判明したものについて、出版社に連絡させていただいておりますが、修正の是非／時期については、出版社の意向によるため、改善しかねることがございますので、あらかじめご了承ください。

商標・登録商標

- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This (publication/product) is not endorsed or approved by ETS.
- eneloop®は三洋電機株式会社の登録商標です。
- 「漢字検定」・「漢検」は財団法人 日本漢字能力検定協会の商標です。
- SDロゴは商標です。
- 本書中の会社名、団体名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／ LCFONTおよびLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。
ただし記号など、一部LCフォントでないものもあります。

◆この製品では、JIS第１水準、第２水準の9ドットの文字に縦、横1ドットずつの空白領域を含めた「10×10ドットLCフォント」を採用しています。

本書での表記のしかた

- キーは [　] で囲んで表します。

  例　[文字 小]　：[文字小]と記載

  ただし計算例の数字などは枠で囲まずに記載します。

- 2種類以上の機能が書かれているキーは、そのとき使用する機能のみを記載します。

例1	[か W 2]	[W] または [か]、[2]
例2	[検索 決定] ＝	[検索/決定] または [＝]

- 緑色で書かれた機能は [機能] を押して離したあと、それぞれのキーを押します。

  例：[機能][後退]（削除）、[機能][×]（？）と記載

- 手書きパッドのボタン、手書きパッドに表示されるボタンは [　] で囲んで表します。

  例　[候補 拡大]　：[候補拡大] と記載

画面例について

本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

記号について

注意 …… 故障の原因になる注意事項および注意していただきたいことを記載しています。

参考 …… 参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。

もくじ

各種設定 79

国語系 95

学習（英語） 148

コンテンツ（辞書）データについて　208

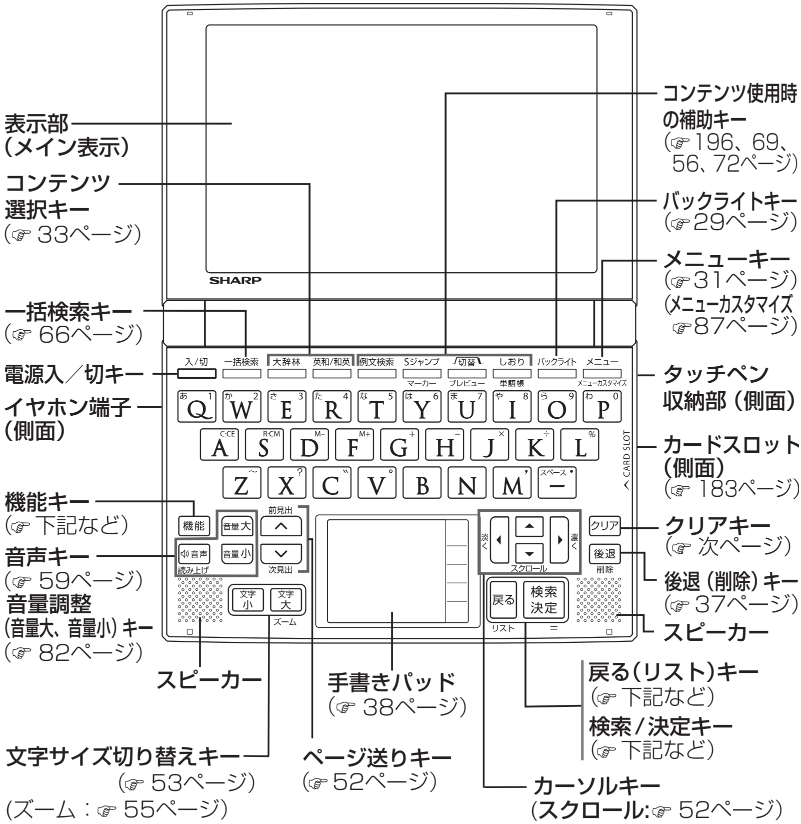
困ったときは

付録

＝メモ＝

基本編

各部のなまえとはたらき



[バックライト] ……… メイン画面と手書きパッドのバックライトを点灯／消灯します。

[機能] ……………… ２種類以上の機能が書かれているキーの、緑色で書かれている機能を使うときに押します。

[戻る] ……………… 前の画面に戻ります。

[機能] [戻る] (リスト) ‥ 表示していた見出し語などから始まるリスト(一覧表示) 画面が表示されます。

[検索/決定] ………… メニュー選択や文字入力を確定するときに押します。

[クリア]…………………各コンテンツの入力画面や最初の画面などに戻ります。

キーの動作は、コンテンツにより異なる場合があります。

参考
- 詳細画面などに複数のタブ（☞56ページ）があるとき、[切替]でタブ（画面）を切り替えていた場合や、画面を送っていた場合でも、[戻る]を押すと前のリスト画面などに戻ります。
- テスト機能があるコンテンツなどでは、テスト中に[戻る]や[クリア]を押すと、中断や終了の確認画面が表示される場合があります。
このときは、画面に従って[Y]または[N]を押します。
[Y]を押したときは、前のリスト画面やコンテンツの最初の画面などに戻ります。

電源を入れる／切る

下表のキーを押すと電源が入り、押したキーに対応した画面が表示されます。

電源を切るときは[入／切]を押します。
なお、長期間ご使用にならないときは[機能][入／切]と押して電源を切ることをおすすめいたします。ただし、この場合、次回電源を入れて使えるようになるまでに約10秒必要となります（☞332ページ）。

電源を入れるキー	表示される画面
[入／切]	電源が切れる前の画面が表示されます。（レジューム機能） オープニング画面を表示した場合は表示後、電源が切れる前の画面が表示されます。 デモ（商品紹介）を設定している場合はデモの開始確認画面が表示されます（オープニング設定：☞84ページ）。
[メニュー]	メインメニュー画面（コンテンツ等選択画面：☞31ページ）が表示されます。
[一括検索] [大辞林] [英和/和英] [例文検索]	それぞれのコンテンツや機能の最初の画面（入力画面など）が表示されます。（ダイレクトオン機能）

自動的に電源が切れたときは

上表の電源を入れるキーを押して電源を入れます。
この製品は電池の消耗を防ぐため、キー操作が一定時間ないと自動的に電源が切れます（オートパワーオフ機能）。この時間は最初5分間に設定されていますが、80ページの方法で変更することができます。

バックライトを点ける／消す

[バックライト]を押すと、バックライトが点灯／消灯します。
なお、バックライトは30秒間キー操作がないと自動的に消灯します。

参考
- メイン画面と手書きパッドのバックライトを別々に点灯／消灯することはできません。
- 本製品を閉じたときは電源が切れ、バックライトも消灯します。

画面表示について

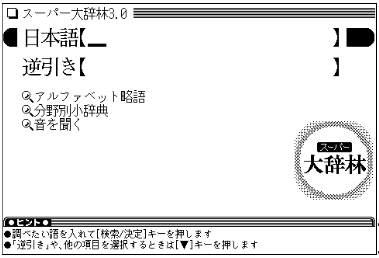
画面の端などに表示される表示シンボルやマークは、製品の状態などを示します。

シンボル	意味
	電池が消耗すると画面の右上に表示されます。速やかに新しい電池と交換してください。（☞333ページ）
↑↓	画面の右上に表示され、矢印の方向に、まだ表示されていないデータがあることを示します。 ▼、▲：１行ずつ画面を送ります。 ∨、∧：１画面ずつ画面を送ります。
← →	ズームウィンドウ（☞55ページ）内で表示されていないデータがあります。 ▶、◀：内容を左右に送ります。
機能	このシンボルは画面の左上に表示されます。 機能が押されたことを示し、キーボード上の緑色で書かれた機能を選択できます。 （状況により選択できない機能があります。）

マーク	意味
例 解説 NOTE 図 表	関連する例文や解説、コラム（NOTE）、図、表が収録されていることを示します（☞57ページ）。
	音声データが収録されていることを示します（☞59ページ）。
	ジャンプして参照することを示します（☞69ページ）。

操作ガイドメッセージ（ヒント）

画面下に操作ガイドメッセージが表示されることがあります。
操作ガイドメッセージには、状況に応じた簡単な使いかたが記載されています。操作が分からなくなったときなどに利用します。



操作ガイド
メッセージ（例）

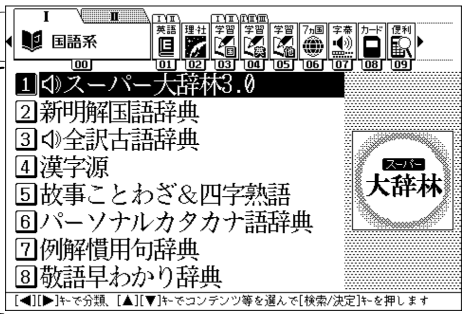
使いたいコンテンツ（辞書）の選びかた

メインメニュー画面で選ぶ

[メニュー]を押してください。
次のメインメニュー画面が表示されます。

分類メニュー
[▶] や [◀] で選ぶ
または [0] [0] ～ [0] [9] と、[▶]、[◀] で選ぶ

個別メニュー
[▼] や [▲] で選んで [検索/決定]
または [1] ～ [8] で選ぶ



メインメニュー画面（コンテンツ等選択画面）

メニューの選びかた

1 **[メニュー]を押します。**

2 **選びたい分類メニューの項目を[▶]、[◀]で選びます。**
または分類番号（00 ～ 09）を[0]～[9]キーで入力し、小分類（Ⅰ～Ⅲ）があるときは[▶]、[◀]で選びます。

選んだ分類メニューの個別メニューが表示されます。

3 **個別メニューでは、コンテンツなどを[▼]、[▲]で選び[検索/決定]を押します。**
またはコンテンツ名の前の番号（1 ～ 8）を[1]～[8]キーで入力して選びます。

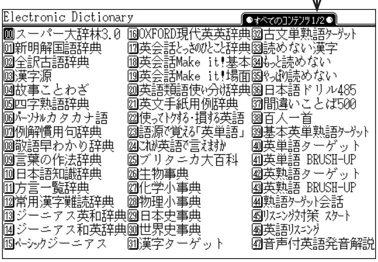
選んだコンテンツなどの画面が表示されます。

> **以降、上記と同様の操作は、次のように説明します。**
> 例：[メニュー]を押し、「**理科&社会**」から「**ブリタニカ国際大百科事典**」を選びます。

すべてのコンテンツリスト（一覧）で選ぶ

[メニュー]を押し、「**便利な機能**」から「**すべてのコンテンツを見る**」を選ぶと、すべてのコンテンツリスト（一覧）が表示されます。

画面番号／画面数



画面の切り替えは、[∨]、[∧]で行えます。

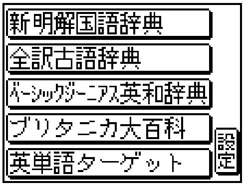
選択したいコンテンツに、[▼]、[▲]、[▶]、[◀]でカーソル（数字の反転表示）を移して[検索/決定]を押すとコンテンツの画面が表示されます。
コンテンツが画面に表示されていないときは[∨]、[∧]で画面を切り替えてコンテンツを探して、選択します。

参考 ● コンテンツ名の前に表示されている番号を[0]～[9]キーで入力しても、コンテンツを選ぶことができます。

注意 ●「漢字検定に挑戦！」機能、「英検語彙力判定テスト」機能などはコンテンツに含みません。

手書きパッドで選ぶ

手書きパッドにコンテンツリスト（My辞書）が表示されているときは、コンテンツ名をタッチすると、そのコンテンツの画面が表示されます。



コンテンツ選択キーで選ぶ

コンテンツ選択キーは、直接コンテンツを選びます。

[大辞林]：スーパー大辞林の入力／選択画面（最初の画面）を開きます。

[英和/和英]：ジーニアス英和＆和英辞典の入力／選択画面（最初の画面）を開きます。最初は英和辞典が選ばれ、以降、キーを押すたびに英和辞典と和英辞典が切り替わります。

文字入力と修正

キーによる文字の入力と修正のしかた

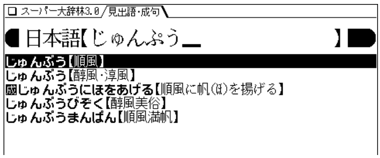
日本語の入力方法

キーによる日本語の入力方式は、「ローマ字かな入力」と「50音かな入力」の2種類があります。
入力方式を切り替えるときは80ページを参照してください。

キーで文字を入力する練習をしましょう。

- 入れまちがえたときは37ページを参照して直してください。
- 漢字は手書きで入力します（☞38ページ）。

1 日本語入力欄に「じゅんぷう」と入れます。



ローマ字かな入力の場合：
[J] [U] [N]（[N]）
[P] [U] [U]

50音かな入力の場合：
[さ] [さ] [゛] [や] [や] [や] [や] [や] [わ] [わ] [わ] [わ] [わ]
[は] [は] [は] [゜] [あ] [あ] [あ] [▶]※

- [゛]は [C゛] キー、[゜]は [V゜] キーです。

※ 50音かな入力では、最後の文字を入れた後、[▶] を押して文字を確定させます。

- 新しい言葉を引くときは、[クリア] を押して前に入れた文字をすべて消します。

ローマ字かな入力方式での入力について

ローマ字のスペルでひらがなを入力する方法は、「**ローマ字→かな変換表**」（☞334ページ）を参照してください。

- **ゐ**は[W] [Y] [I]、**ゑ**は[W] [Y] [E]と押して入れます。

50音かな入力方式での入力方法

50音によるひらがなの入力では、例えば [あ] を押していくと、次の順番で表示が変わります。

あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ→あ‥‥

入力したい文字を表示させて、次の文字を入れるか、[▶]を押すと入力文字が確定されます。

[あ]	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
[か]	か	き	く	け	こ					
[さ]	さ	し	す	せ	そ					
[た]	た	ち	つ	て	と	っ				
[な]	な	に	ぬ	ね	の					
[は]	は	ひ	ふ	へ	ほ					
[ま]	ま	み	む	め	も					
[や]	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
[ら]	ら	り	る	れ	ろ					
[わ]	わ	ゐ	ゑ	を	ん	ゎ				

1. 濁音、半濁音は清音の後に[゛]、[゜]を押して入れます。

ざっぴ → $\underbrace{\text{[さ] [゛]}}_{\text{ざ}}$ $\underbrace{\text{[た] [た] [た] [た] [た] [た]}}_{\text{っ}}$

[は] [は] [゜] （[▶]）

（ぴ）

2. 同じ行（あ行など）の文字が続くときは、[▶] で文字を確定させます。

あいあい →[あ] [▶] [あ] [あ] [▶] [あ] [▶] [あ] [あ] [▶]

（[▶]：文字を確定させる）

3. 長音符は [ー] を押して入れます。

あーち　→ [あ] [ー] [た] [た] （[▶]）

数字やアルファベットの入力

数字やアルファベット、Σなどは、読みを入力してください。

スペースやアポストロフィ（’）、ハイフン(ー)は入る？

スペースやアポストロフィ（’）、ハイフン（ー）、中点（・）などは入れることができません。探したい語にこれらの文字･記号がある場合は、省いて入力してください。

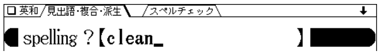
ひらがな、カタカナを切り替えて入れる方法は？

キーで入力する場合、コンテンツによってひらがなが入力されるかカタカナが入力されるか決まっていて、切り替えることはできません。
手書きパッドを使った手書き入力（☞38ページ）では、ひらがな、カタカナの両方を入れることができます。
ただし、検索はひらがな、カタカナを区別せずに行いますので、どちらを入れて検索しても同じ言葉が探し出されます。

英語の入力方法

英字などの入力のしかたを練習しましょう。入れまちがえたときは37ページを参照して直してください。

1 **スペル入力欄に「clean」と入れます。**



C L E A N と押します。

参考 ● 新しい言葉を引くときは、クリア を押して前に入れた文字をすべて消します。

スペル入力時の参考

1. 見出し語にスペース、「ー」、「’」、「／」、「．」などがある場合、これらは省いて入力し、検索します。

   （例）fast food →fastfood で検索する
   weak-kneed →weakkneed で検索する
   let’s →lets で検索する

2. キーで入力する場合、大文字と小文字は切り替えられません。検索は大文字と小文字を区別せずに行われます。
3. 数字は英語のスペルで検索します。
4. 「&」は「and」と入力します。

参考 [M']、[スペース −] キーの使いかた

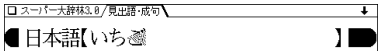
- [M'] キーの“ **,** ”は、テスト機能があるコンテンツで、答えにアポストロフィー“ **,** ”が含まれているときに、[機能] [M'] と押して入力します。
- [スペース −] キーは各検索画面の読み入力で、長音符（ー）を入力するときや、便利計算機能で小数点を入力するときに使用しますが、テスト機能があるコンテンツで、答えが2語以上になるときに、このキーで区切りのためのスペースを入力します。
  アポストロフィーやスペースは英和や英英などの辞書では入力できません。

入力した文字の修正のしかた

入力した文字の修正のしかたを練習しましょう。

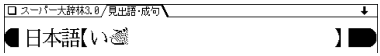
余分な文字を削除する

1 **[◀]、[▶]で削除したい文字の後ろにカーソルを移します。**



2 **[後退]を押します。**

カーソルの前（左）の文字が削除されます。



カーソル位置の文字を削除する

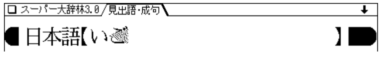
カーソル位置の文字は[機能] [後退]（削除）と押すと削除されます。

入力した文字をすべて削除する

[クリア]を押すと入力した文字がすべて削除されます。

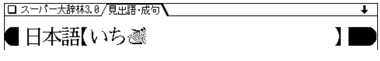
文字を追加する

1 **[◀]、[▶]で文字を追加したい位置にカーソルを移します。**



2 **追加したい文字を入力します。**

カーソルのある位置に、入力した文字が追加されます。



参考 ● 50音かな入力では文字が確定するまでカーソル（ ◀ または＿）が表示されません。[▶]で確定させてください。

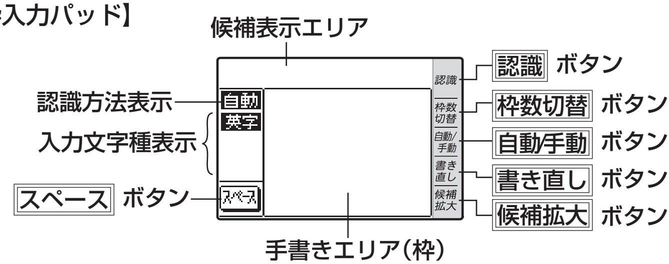
手書きパッドで文字を手書き入力する

各コンテンツの入力画面では、手書きパッドを使って文字などを手書き入力することができます。複雑な漢字は大きな１枠入力パッドで、文字を連続して入力するときは２枠入力パッドで、というように目的に応じて使い分けられます。

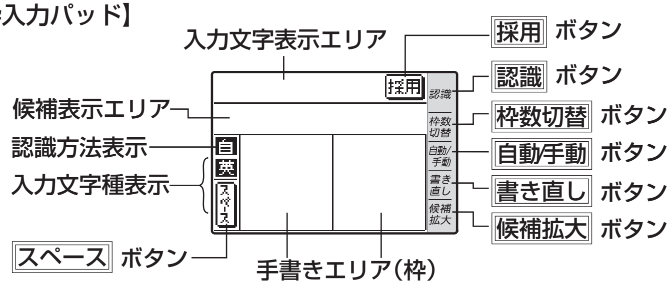
手書きパッドの各部のはたらき

各コンテンツの入力画面などで入力欄にカーソルがあると、手書きパッドに手書き入力パッドが表示されます。

【１枠入力パッド】



【２枠入力パッド】



手書きエリア（枠）：枠内にタッチペンで文字を手書きします。
［枠数切替］で１枠と２枠の入力パッドが切り替わります。

候補表示エリア　：**１枠入力パッド**では、手書きした文字の候補となる文字が表示されます。このとき、左端（第一候補）の文字がコンテンツの入力欄にも入ります。違う候補を入れたいときは、その候補の文字にタッチします。
２枠入力パッドでは、第一候補の文字が入力文字表示エリアに入り、その文字にタッチすると、候補表示エリアに候補文字が表示されます。違う候補を入れたいときは、その候補の文字にタッチします。

入力文字表示エリア：**２枠入力パッド**で表示されます。調べたい文字・言葉をいったんここへ入力した後、[採用]でコンテンツの入力欄へ移して検索します。

認識方法表示：手書きした文字が自動で認識されるか、手動で認識させるのかを表示します。[自動/手動]で切り替えます。

自動、自　自動で認識されます。

手動、手　手動で認識させます。

入力文字種表示：入力できる文字種が表示されます。

漢字、漢　漢字が入力できます。

仮名、仮　ひらがな、カタカナが入力できます。

英字、英　英字が入力できます。

中国、中　中国語（簡体字）が入力できます。

韓国、韓　韓国語（ハングル）が入力できます。

[スペース]：テスト機能で、解答にスペースを入れるときにタッチします。スペースを入れられるときにのみ、このボタンが表示されます。

[候補拡大]：候補表示エリアの候補を拡大して表示させるときや、元に戻すときにタッチします。
拡大した文字は手書きエリアに表示されます。

[書き直し]：手書き文字が正しく認識されなかったときにタッチして候補を消去します。または、書きかけの文字を消去します。手書き文字を書き直すときに使用します。
入力文字表示エリアに複数の文字が入っているときは、一番右の文字を消去します。

[自動/手動]：手書きした文字を認識させる方法を切り替えます。タッチするたびに**自動認識**と**手動認識**が切り替わります。

[枠数切替]：手書き入力パッドを切り替えます。タッチするたびに**１枠入力パッド**と**２枠入力パッド**が切り替わります。

[認識]：手書きした文字を認識させたいときにタッチします。自動認識に設定されている場合でも、このボタンにタッチすると直ちに認識が開始されます。

[採用]：**２枠入力パッド**で表示されます。入力文字表示エリアに入力された文字・言葉をコンテンツの入力欄へ移して、検索を行います。

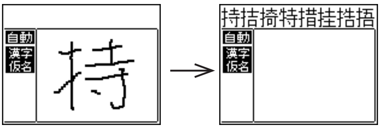
参考 ● 手書きパッドは、手書き入力以外にも使用します（☞46ページ）。

1枠入力パッドで手書き入力をする

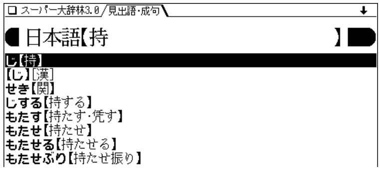
【例】「持つ」を入れます。

1 **手書きエリアにタッチペンで「持」と書きます。**

自動認識の場合、手書きパッドからペンを離して1～2秒で手書き文字が認識され、候補の文字が候補表示エリアに表示されます。

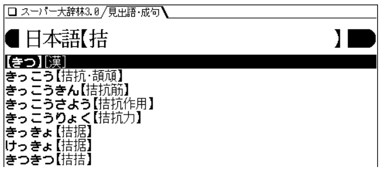


候補表示エリアの左端の文字が入力欄にも入り、辞書の検索が行われます。

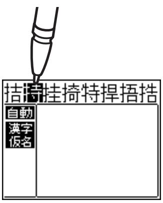


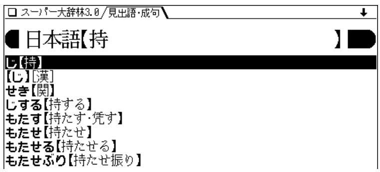
参考 ● 手動認識の場合や、書き終わってからすぐに認識させるときは 認識 にタッチします。

2 **入力欄に、目的ではない文字が入ったときは、候補表示エリアの目的の文字にタッチペンでタッチ（選択）します。**



入力欄の文字が選択した文字に入れ替わります。

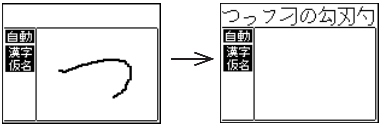


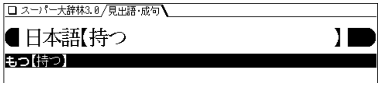


参考
- 候補にないときは、 書き直し または 後退 で消して、もう一度手書きしてください。
- 韓国語文字（ハングル）には、書体によって違った文字に見えるものがあります（例：잔と잔はㅈとㅈが異なって、違う文字に見えますが、同じ文字です）。
  ハングルを手書き入力するときにはご留意ください。

3 同様にして「つ」を書き、入力欄に入れます。

新たに書き始めると、前の文字が確定され、候補が消えます。※





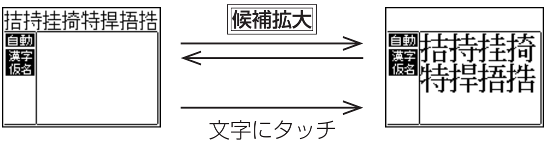
※ スペース でスペースを入れたときや、キーで文字を入れたとき、または◀、▶で入力欄のカーソルを移動させたときなどにも、文字が確定されて候補が消えます。

注意 ● **文字を書くときは、強く押さえないで軽く書いてください。**
手書きパッド表面やペン先にゴミが付着している状態で使用すると、タッチパネルに傷がついたり、破損の原因になります。

参考 **次のような場合は手書きパッドの位置調整をしてみてください（☞83ページ）。**
- 手書きしている文字とペンの位置がずれている。
- 候補の文字にタッチしても、ずれた位置で選択される。
- ボタンが、タッチした位置とずれた位置で働く。

候補の文字を大きく表示させたいときは

候補表示エリアに候補が表示されているとき 候補拡大 にタッチすると、候補が手書きエリアで拡大表示されます。
拡大表示された候補にタッチすれば、候補表示エリアでタッチしたときと同じように選択されて入力欄に入り、通常の画面に戻ります。



- 新たに文字を書くときは通常の画面に戻してから書いてください。

手書き入力のご注意

- **自動認識**の場合、文字は途中で止めないで速やかに書いてください。
  タッチペンで文字を書いて、手書きパッドからペンを離すと、約1秒後に認識が行われます。ただし、英字や漢字など、文字によって認識が行なわれる時間は異なります。また、2枠入力のほうが１枠入力よりも早く認識を開始します。
  早く認識させたいときは［認識］で認識させてください。

> **自動認識**の場合、文字を書いている途中でペンを離して間をおくと、その時点で文字が書き終わったものとみなして認識されてしまいますので、途中で止めないで速やかに書いてください。
> また、紙などに書かれている文字を確認しながら書く場合は、［自動/手動］で**手動認識**に設定し、文字を書き終えてから［認識］にタッチして認識させてください。

- 漢字や仮名は楷書で１字ずつ丁寧に書いてください。
  行書など続け字は認識されない場合があります。
- 数字や文字などは１字ずつ書いて認識させてください。
  １つの枠に数字を2桁以上書いたり、アルファベットを筆記体で続けて書いたりすると違う文字と認識されます。
- 文字は手書きエリア（枠）内からはみ出さない範囲で、大きく書いてください。
  ただし、仮名の小さい文字は、小さく書いてください。
- なるべく正しい筆順で書いてください。
- 文字の1画（線）が途切れないように書いてください。
- 文字が傾きすぎないように書いてください。
- はねやかざりをつけすぎないように書いてください。
- 文字を仮名で入れて漢字に変換する機能はありません。

手書き認識について

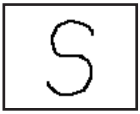
手書き入力の際には、次のような点に気をつけていただくと認識されやすくなります。

続け字にならないように（画数がはっきりとわかるように）書きます。

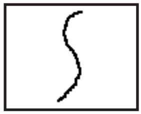
良い例

悪い例

崩さず、ていねいに書きます。

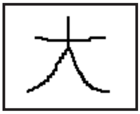


良い例

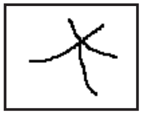


悪い例

あまり傾かないように書きます。



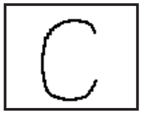
良い例



悪い例

「C」と「c」など大文字と小文字が同じような文字は、区別がつきやすいように、小文字を小さく書きます。

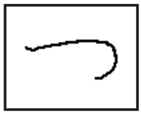
小文字



大文字

「っ」などの小さい文字も小さく書きます。

小さい「っ」



大きい「つ」

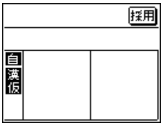
参考 **手書きパッドで認識する文字について**

- 日本語はJIS X 0213-2004に基づくJIS第一水準、JIS第二水準、JIS第三水準、JIS第四水準、およびJIS X 0212-1990に基づく補助漢字を認識します。「JIS X 0213」の改定前の漢字と改定後の漢字の字形が異なる場合、どちらで書いても改定後の漢字と認識します（**例**：“祇”と書いても“祇”と認識します）。
- 中国語は簡体字GB2312に準拠の漢字を認識します。
- ハングル（韓国語）はKSC5601に準拠の字を認識します。「○」（ieung）が認識されにくい場合は、○の部分を左回りで書いてください。

2枠入力パッドで手書き入力をする

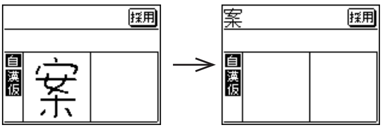
【例】「案山子」（かかし）を入れます。

1 枠数切替 で2枠入力パッドに切り替えます。



2 左右どちらかの枠内にタッチペンで「案」と書きます。

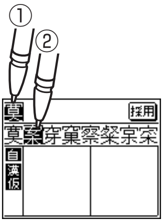
自動認識の場合、手書きパッドからペンを離して1 ～ 2秒で文字が認識され、候補の文字が入力文字表示エリアに入ります。



2文字以上入れるときは、文字を1つの枠に書いた後、すぐにもう1つの枠に書き始めると、先に書いた文字の認識が開始されます。
手動認識に設定しているときは、最後の文字を書いた後 認識 にタッチして認識させます。

3 目的と違う文字が入ったときは、タッチペンでその文字にタッチし、候補表示エリアに表示される候補の中から目的の文字にタッチ（選択）します。

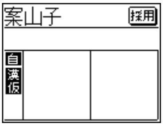
入力文字表示エリアの文字が選択した文字に入れ替わります。



参考 ● 候補にないときは、書き直し で消して、もう一度、枠内に手書きしてください。

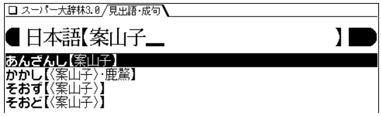
4 手順2 ～ 3と同様の操作で「山」「子」を入れます。

長い言葉は6文字ごとに 採用 でコンテンツの入力欄に移します。



5 文字を入れ終わったら、採用 にタッチしてコンテンツの入力欄に移します。

辞書などの検索が行われます。

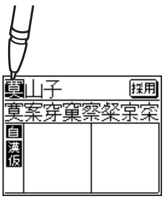


参考

- **入力文字表示エリアの文字を変更するときは**

  入力文字表示エリアの文字にタッチすると、文字が反転し、候補表示エリアに候補が表示されるので、選び直すことができます。

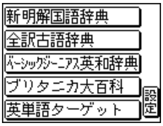
  書き直し は、入力文字表示エリアの一番右の文字を消去します。書き直すときに利用します。



手書きパッドの他の機能

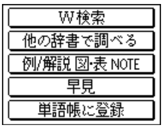
手書きパッドは、手書き入力以外にも、状況に応じて機能が切り替わります。下記に主に表示される画面を示します。

●My辞書画面



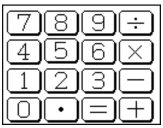
My辞書に設定されているコンテンツ名が表示されます。コンテンツ名にタッチすると、そのコンテンツの画面が表示されるので、よく使うコンテンツを登録して利用します。
設定 にタッチするとMy辞書の設定画面が表示されます（☞86ページ）。

●詳細画面操作画面



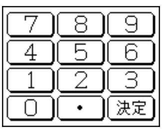
コンテンツの詳細画面で表示されます。
それぞれタッチすれば、機能を利用することができます。なお、画面によって利用できない機能は薄く表示されます。

●数字入力・計算画面



消費税電卓など、計算を行うことができるときに表示されます。

●数字入力画面



数字を入力する場面で表示されます。
場面に合わせて少しずつ違った画面が表示されます。

●再生速度設定画面

音声など、再生速度が変えられるときに表示されます。

この他にも設定画面や選択画面などが表示されます。

辞書を引く

辞書の引きかたは、大きく分けると２種類になります。

文字を入力して調べる

- 見出し語や、その読み、スペルなど、文字を入力して言葉を調べます。一般的には、文字を入力していくと、その文字が先頭に含まれる見出し語を検索してリスト（一覧）表示します。リストから目的の語を選んで、説明内容などを見ます。
- 逆引きスーパー大辞林や、“？”、“～”を用いた検索、複数の検索語を入力して行う検索などでは、文字を入力した後［検索/決定］を押して検索を行います。

リストの項目を選んで調べる

リストから項目を選んでいって目的の言葉などを調べます。

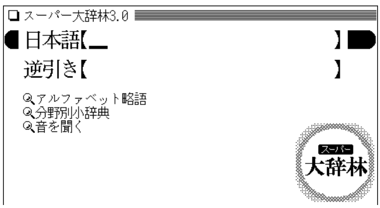
参考 ● テストなどを行う場合は操作が異なりますので、それぞれのコンテンツの説明を参照してください。

文字を入力して調べる

【例1】スーパー大辞林で「ひまわり」を調べる

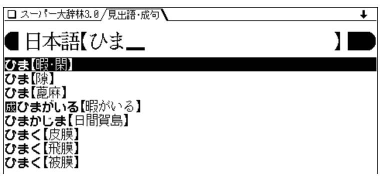
1 ［メニュー］**を押し、「国語系Ⅰ」から「スーパー大辞林 3.0」を選びます。**

日本語入力欄にカーソルが表示されます。
漢字は手書き入力します。
（☞38ページ）



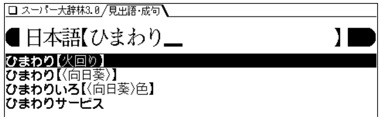
2 **日本語入力欄に「ひま」と入れます。**

「ひま」を先頭に持つ語が候補としてリスト表示されます。



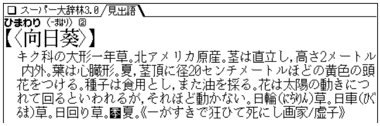
3 **続いて「わり」と入れます。**

候補が絞り込まれて表示されます。



4 **[▼]、[▲] で目的の語を選び [検索/決定] を押します。**

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

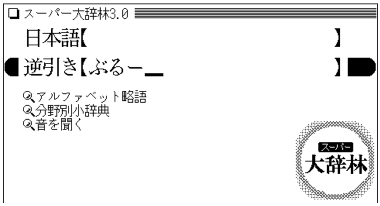


参考
- [戻る] を押すと前の画面に戻ります。
- [機能] [戻る] （リスト）と押すと辞書順（収録順）リスト表示になります。

【例2】逆引きスーパー大辞林で後ろに「ブルー」が付く語を調べる

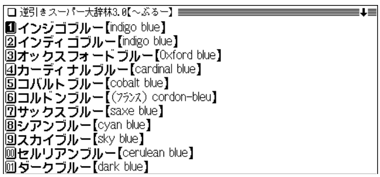
1 **[メニュー] を押し、「国語系 I 」から「スーパー大辞林 3.0」を選びます。**

2 **[▼] でカーソルを逆引き入力欄に移し、「ぶるー」と入れます。**



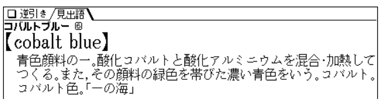
3 **[検索/決定] を押します。**

「ブルー」を後ろに持つ語が候補としてリスト表示されます。



4 **[▼]、[▲] で目的の語を選び [検索/決定] を押します。**

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。



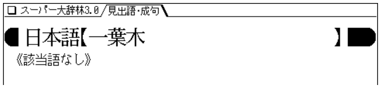
新しい言葉を引くときは

[クリア] を押して入力画面に戻り、読みなどを入れます。
詳細画面では、キーで文字を入れると入力画面に戻りますので、読みなどを入れます。

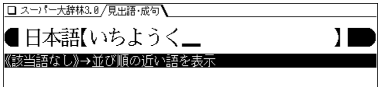
日本文字やスペルを入力中に、候補がなくなったときは

文字を入れていくと候補が絞り込まれていく検索では、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。

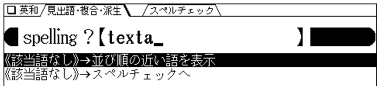
(1)スーパー大辞林の例
(漢字入力時)



(2)スーパー大辞林の例
(仮名入力時)



(3)英和辞典の例



[戻る] を押したときは、入力画面に戻ります。
(2)、(3)の例で、[検索/決定] を押すと、50音順またはアルファベット順で、入力した仮名(読み)またはスペルよりも後の語がリスト表示されます。
(3)の例で、[▼] [検索/決定] と押す(または [切替] を押す)と、スペルチェック画面が表示されます(スペルチェック：☞116ページ)。

検索の種類

検索には次の種類があり、コンテンツによって使い分けられています。

絞り込み検索：文字を1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

頭だし検索：入れた文字が先頭に含まれる語を探し、その語から始まる収録順リストを表示します。該当する語がないときは、並び順で次の語から始まるリストを表示します。

キーワード検索：入れた文字(単語)が含まれる文を探します。英和辞典の成句検索などで用いられます。

完全一致検索：入れた文字と読みや見出し語、またはスペルが完全に一致する語を探します。一括検索(☞66ページ)で用いられます。

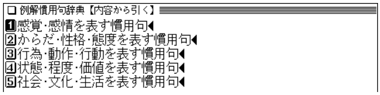
参考 ● 検索する語によっては検索に時間がかかることがあります。

リストの項目を選んで調べる

【例】慣用句辞典で調べる

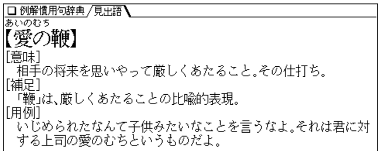
1 メニュー を押し、「国語系 I」から「例解慣用句辞典」を選びます

2 ▼、▲ で項目（例えば「内容から引く」）を選び 検索/決定 を押します。



リストが表示されます。
後ろに◀があるリストの項目は、選ぶともう一段リストが表示されます。

3 手順2と同様にリストの項目を選んでいき目的の言葉を表示させます。

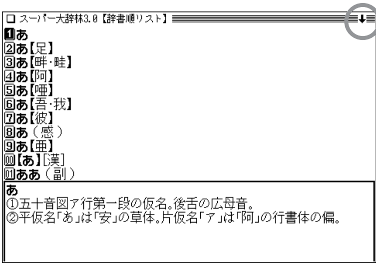


項目の選択と画面送り

リスト表示画面などでの項目の選択と画面送り

スーパー大辞林などの辞書の最初の画面で何も入力せずに［検索/決定］を押すと、リスト（一覧表示）画面が表示されます。
ここでは例として、［大辞林］［検索/決定］と押し、スーパー大辞林のリスト画面を表示させています。

リスト画面（見出し語（辞書順）リスト）



（☞下記を参照）

プレビューウィンドウ
（☞54ページ）

各項目（各語）を選択する方法

［▼］、［▲］でカーソル（反転表示）を目的の項目へ移動させて［検索/決定］を押します。

画面を送って別の内容を見る方法

画面右上に“⬇”や“⬆”が表示されたときは画面外に隠れている内容があります。

(1) ［▼］、［▲］でカーソルを１行ずつ移動させていくと、最下（上）行以降は画面が１行分ずつ送られます。

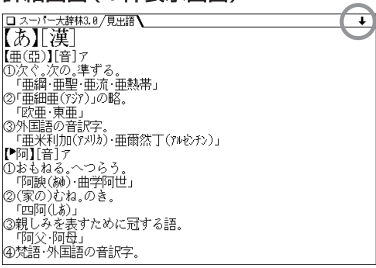
(2) ［∨］、［∧］で１画面分ずつ送られます。

- 上記キーを押したままにすると、連続して画面が送られます。

詳細画面などでの画面送り

前ページのリスト画面で、▼ で「【あ】[漢]」を選び 検索/決定 を押してください。
「【あ】[漢]」(見出し語)の詳細画面が表示されます。

詳細画面(1件表示画面)



(☞前ページを参照)

次(前)の見出し語の内容を見る

機能 ▽(次見出)、機能 △(前見出)と押すと、並び順で次または前の見出し語などが表示されます。

オートスクロール機能での自動画面送り

▼、▲ や ▽、△ で画面を送っていく代わりに、自動的に画面を送ることもできます。
"↓" シンボルが表示されている画面で、機能 ▼(スクロール)と押すと、自動的に画面(カーソル)が順方向に送られていきます。送られている方向と逆向きの △ または ▽ を押すと、送り方向を変更することができます。
また、送り方向と同じ向きの ▽ または △ を押すとスピードが速くなり、もう一度押すと元の速さに戻ります。
目的の語や内容が表示されたときは ▼ を押して自動送りを止めます。

画面表示を変える

文字サイズを変える

リスト画面や詳細画面で 文字小、 文字大 を押すと表示される文字の大きさが切り替わります（切り替えられる文字サイズ、コンテンツは337ページをご覧ください）。

参考 ● 文字サイズは、次に切り替えるまで保持されます。

詳細画面を箇条書きで見る（早見機能を使う）

早見機能は、コンテンツの詳細画面の例文や補足説明などを省略し、意味などを箇条書きで表示させることができます。

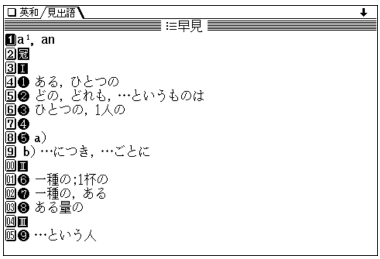
【例】英和辞典の画面で早見機能を使ってみましょう。

1 **英和/和英 検索/決定 と押し、▼ で「a¹, an」を選び 検索/決定 を押します。**

英和辞典の詳細画面になります。

2 **詳細画面で手書きパッドの 早見 をタッチします。**

早見画面が表示されます。



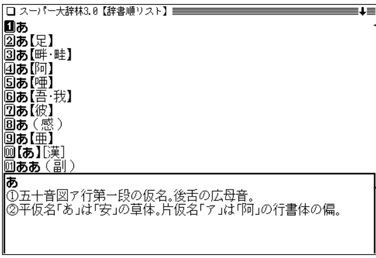
3 **▼、▲ で見たい語（意味）を選び 検索/決定 を押します。**

選んだ語（意味）を先頭に表示した詳細画面が表示されます。

参考 ● 早見機能が使えないコンテンツは339ページをご覧ください。

候補の言葉の意味を一部見る（プレビュー表示）

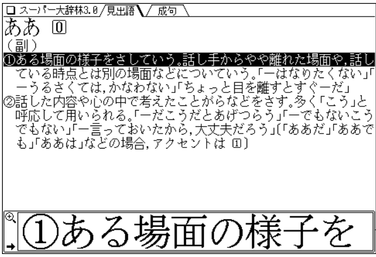
用語を調べるとき、多くの言葉がリスト表示されて目的の言葉がどれか迷うことがあります。
このようなときに、説明などの一部を見る機能です。
[大辞林] [検索/決定] と押してください。スーパー大辞林の辞書順リストが表示され、先頭の言葉の説明の一部が下側の窓（プレビューウィンドウ）に表示されます。窓が表示されないときは [機能] [切替]（プレビュー）と押してください。



- [▼]、[▲] でカーソルを別の語へ移すと、その語の説明などが表示されます。
- [機能] [切替]（プレビュー）と押すごとに、プレビュー表示の入（下表示）/入（右表示）/切（なし）が切り替わります。
  プレビュー表示入（下表示/右表示）のときは、リスト画面下側または右側にプレビューウィンドウが表示されます（漢字源や、タイトルなどの項目を選んでいく形式のリスト画面、窓（ウィンドウ）に表示されるリスト画面などを除く）。
- プレビュー表示は81ページの方法でも設定する（切り替える）ことができます。

文字を1行ごとに拡大して見る（ズーム機能）

詳細画面（例えば 大辞林 検索/決定 と押し、▼ で「**ああ**」を選び 検索/決定 を押します）で 機能 文字大（ズーム）と押してください。画面下に**ズームウィンドウ**（窓）が表示され、対象行の文字が最大の文字サイズで表示されます。▼、▲ で行を選び、▶、◀ で左右に送って見たいところを表示させます。



ズームウィンドウ

- ズームウィンドウ内は“➡”、“⬅”シンボルの表示に従って ▶、◀ で1文字ずつ左右に送ることができます。
  また ▼、▲ で1行ずつ送ることができます。
- ズームウィンドウを閉じるときは 戻る を押します。

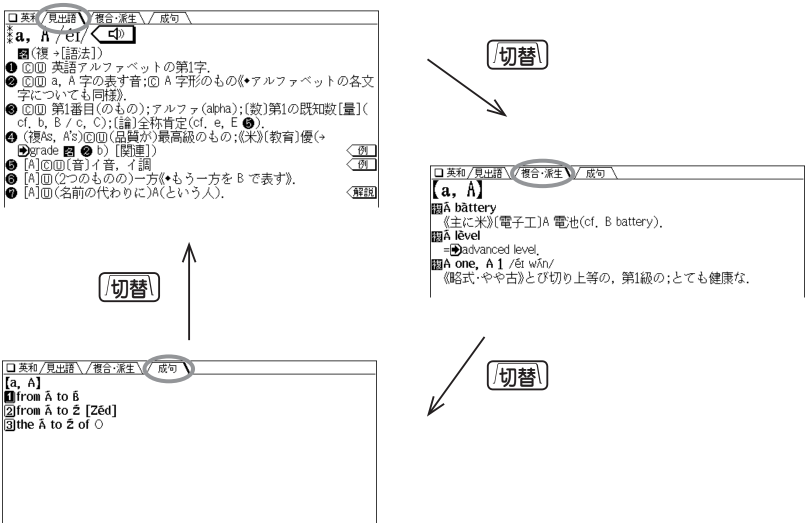
参考 • ズーム機能が使えるコンテンツは339ページをご覧ください。

画面に╱‾‾‾╲（タブ）が表示されたとき

英和辞典などでは、詳細画面の上部に╱‾‾‾╲（╱‾‾‾╲）マーク（タブ）が表示されます。

タブは、現在の表示の種類（見出語など）を示します。また、タブが複数表示されているときは、関連する内容があることを示し、切替 で切り替えて内容を見ることができます。

ここでは例として、英和/和英 検索/決定 検索/決定 と押し、英和辞典の詳細画面を表示させています。



成句を選んで 検索/決定 を押せば、その訳語などを見ることができます。

画面に マークが表示されたとき

型マークは下記の種類があり、関連する例文や解説、コラム(NOTE)、図、表が収録されていることを示します。

このマークが表示されている画面で手書きパッドの 例/解説 図·表 NOTE をタッチするとマークが白黒反転表示になります。

マークが複数あるときは ▼、▲、▶、◀ で反転表示を調べたいマークに移します。

検索/決定 を押すと、収録されている内容が表示されます。

- 例や解説マークを選んだ後に、違う例や解説を ▶ や ◀ で順番に表示させることができます。(例や解説マークが複数あるとき)
- 図や表マークを選んだ後に、違う図や表を表示させるときは、戻る で図などを閉じ、マークを選び直して 検索/決定 を押します。(図や表マークが複数あるとき)

終了するときは 戻る を2回押します。

マークの種類と、表示されるコンテンツ例

例、解説	：英和辞典、和英辞典など
NOTE	：英英辞典
図	：ブリタニカ国際大百科事典、全訳古語辞典
表	：日経パソコン用語事典など

(音声マーク)は59ページをご覧ください。

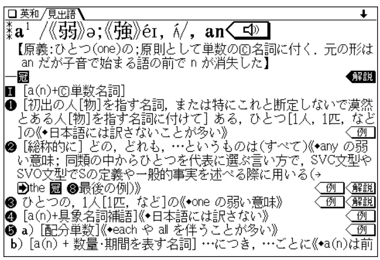
(ジャンプマーク)は69、71ページをご覧ください。

【例】英和辞典の画面で例や解説を見ましょう。

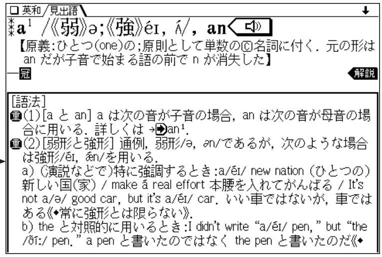
1 英和/和英 検索/決定 と押し、▼ で「a¹, an」を選び 検索/決定 を押します。

2 手書きパッドの 例/解説 図·表 NOTE をタッチします。

マークが反転表示されます。



3 [▼]、[▲]、[▶]、[◀] でマークを選び、[検索/決定] を押します。



例/解説ウィンドウなど →

画面右上に"↓"や"↑"が表示されたときはウィンドウ内に表示されていない部分があります。
[∨]、[∧] や [▼]、[▲] で送って確認します。

4 別の例や解説があるときは [▶] や [◀] で表示させせます。

5 終了するときは [戻る] を2回押します。

1回目で例/解説ウィンドウが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます。

音声を聞く

◆[音量小]、[音量大]で、適正な音量に調整してください（☞82ページ）。

マークを表示する（音声を聞く）

メインメニュー画面でマークが付いているコンテンツにはMP3形式の音声データが収録されている画面があり、その箇所にマーク（音声マーク）が表示されます。

音声再生方法

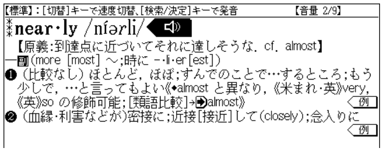
1 例えばジーニアス英和辞典で「nearly」の詳細画面を表示させます。

マークが再生対象の語や文の後ろ等に表示されます。

2 [詳]を押してマークを反転表示（）させます。

3 [検索/決定]を押します。

音声が再生されます。



- 反転表示（）されているときは[検索/決定]を押すたびに、音声が再生されます。
- が複数あるときは手順**2**の後、[▼]、[▶]などで反転を目的のマークへ移して[検索/決定]を押します。
- マークをに戻すときは[戻る]を押します。
- 音声再生を途中で止めるときは[戻る]を押します。

参考
- 上記手順**2**で[詳]を押すと音声再生が始まるコンテンツもあります。（例えば☞122、162ページなど）
- マークが反転表示しているとき、または次項で説明のように英単語などが反転しているときは、一度音声を再生した後、[切替]（または手書きパッド）で音声の再生速度を切り替えることができます。また、82ページの方法で切り替えることができます。

MP3形式の音声データは各国のネイティブスピーカー（native speaker）の音声を収録しています。
「百人一首」などでは日本語音声データを収録しています。
「スーパー大辞林3.0」は、鳥、虫などの動物の声や、クラシック音楽（一部）を収録しています。

英単語をネイティブの発音で聞く

各辞書の詳細画面に表示されている英単語などをジーニアス英和辞典の音声データを利用して発音させることができます。

1 **和英辞典などで詳細画面を表示させます。**

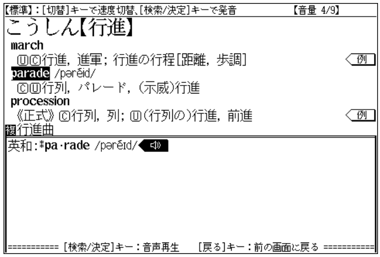
例えば［英和/和英］を押し、日本語入力欄に「こうしん」と入れ、**こうしん【行進】**を選んで［検索/決定］を押して詳細画面にします。

2 **［🔊読］を押します。**

先頭の英単語などが反転表示されます。（［🔊］マークがあるとマークが反転表示されます。）

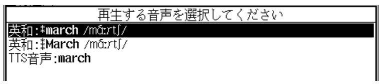
3 **［▼］、［▶］などで発音させたい単語を反転させ［検索/決定］を押します。**

英和辞典が参照され、選んだ英単語などの音声データが表示されます。（右の例では音声も再生されます。）



- **音声データが収録された英単語などが1つだけ見つかったときは**
  先の例のように、自動的に音声を再生します。

- **英単語などが複数見つかったときは**
  選択ウィンドウに候補が表示されます。
  ［▼］、［▲］で選んで［検索/決定］を押すと音声が再生されます。



- 音声再生を途中で止めるときや、画面を戻るときは［戻る］を押します。

- **ネイティブ音声データが収録されていない英単語が見つかったときは**
  選択ウィンドウに、先頭に「TTS音声:」と表示した候補が表示されます。
  ［▼］、［▲］で選んで［検索/決定］を押すとTTS音声で読み上げられます。

参考
- TTS音声により、単語などが読み上げられているときは、画面右上に TTS シンボルが表示されます。
- TTS：合成された音声での読み上げ（☞61、63ページ）

基本編 音声を聞く

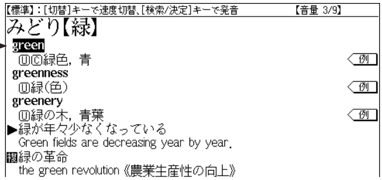
英語例文などの読み上げ（TTSでの音声読み上げ）

多くの収録コンテンツで、表示される英単語や英語例文、数字などをTTS（Text To Speech：合成音声）で読み上げさせることができます。（☞63ページ「**TTSによる音声読み上げ機能について**」）

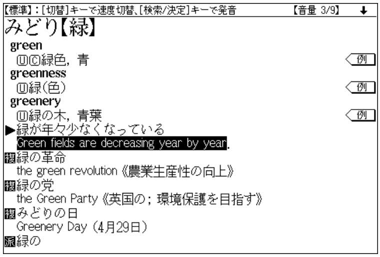
範囲を指定して読み上げさせる

1 **例えば和英辞典などの詳細画面で［機能］［読上］（読み上げ）と押します。**

■カーソル（文字の反転表示）が表示されます。



2 **［▼］、［▶］などで反転表示（カーソル）を読み上げたい範囲の先頭の単語へ移して［検索/決定］を押し、［▶］で反転表示をのばして範囲を指定します。**



3 **［検索/決定］を押します。**

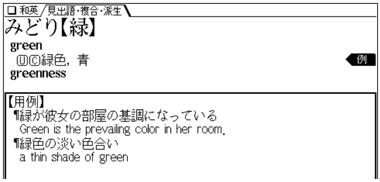
反転している文が読み上げられます。

- 再生中に［戻る］を押すと再生が中止されます。読み上げ終了後に［戻る］を1回押すと範囲指定が解除され、もう1回押すと■カーソルが消えます。

参考
- 範囲指定できるのは、半角のアルファベット、数字です。それ以外の文字や記号があると、範囲を広げることができません。また、文末の改行を超えて範囲を広げることはできません。
- 選択できる範囲は画面に表示されている内容のみです。範囲指定中に画面を送ることはできませんので、必要な文全体を画面に表示させてから範囲指定をしてください。
- 反転している単語の音声の再生速度は、82ページの方法で切り替えることができます。

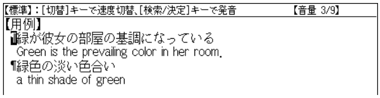
例文を読み上げさせる

1 **詳細画面に〈例〉が表示されているときは、手書きパッドの［例／解説 図・表 NOTE］をタッチし、［検索/決定］を押して例文を表示させます。**

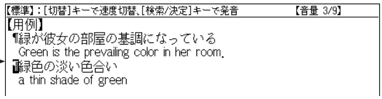


2 **［機能］［🔈読］（読み上げ）または［🔈読］と押します。**

詳細画面に用例が表示され、■カーソル（文字の反転表示）が表示されます。



3 **［▼］、［▶］などで読み上げさせる例文の例文マーク（¶）へ反転表示（カーソル）を移します。**



4 **［検索/決定］を押します。**

例文が読み上げられます。

- 読み上げ終了後［戻る］で前の画面に戻ります。

参考
- 例文マーク（¶）に反転表示（カーソル）があるとき、その例文を読み上げます。ただし、例文内のカッコで囲まれた語は読み上げません。
- 上の例では、〈例〉マークに例文が収録されている場合について説明しましたが、詳細画面の解説などの中に例文が収録されている場合は、手順１の操作は行いません（各コンテンツの例文マーク：☞次ページ）。

TTSの読み上げ機能が働かないコンテンツ

◆次のコンテンツではTTSでの読み上げ機能は働きません。
- （漢字検定に挑戦！）
- （英検語彙力判定テスト）

また、テスト機能があるコンテンツのテスト画面では、読み上げ機能は働きません。

例文を読み上げ可能なコンテンツと例文マーク

◆英語例文の読み上げ可能なコンテンツと、《　》内に例文マークを示します。

- 故事ことわざ辞典《英語》
- ジーニアス英和辞典《¶》
- ジーニアス和英辞典《¶》
- ベーシックジーニアス英和辞典《¶》
- OXFORD現代英英辞典《◇》
- 英会話とっさのひとこと辞典《・》、《▷》、《►》、《⟷》、《→》
- 英会話Make it!《・》、《A:》、《B:》、《C:》
- 英語類語使い分け辞典《・》
- 使ってトクする英語 損する英語《○》、《◎》、《△》、《×》、《例:》
- これが英語で言えますか《●》、《・》
- 英単語ターゲット1900《¶》(「テストをする」は除く)
- 英熟語ターゲット1000《¶》(「テストをする」は除く)
- 基本英単語・熟語ターゲット1100《¶》(「テストをする」は除く)
- 英検Pass単熟語2級/準2級《¶》(「テストをする」は除く)
- TOEIC®テストの英文法《●》、《・》(「テストをする」は除く)
- 音声付き英会話《¶》(「関連表現」の例文)
- 旅行会話《英》
- トラベル英会話《英》

TTSによる音声読み上げ機能について

TTSによる音声読み上げ機能は音声合成技術により英単語等を読上げます。

音声読み上げ機能は、英単語や英語例文を一切の誤りなく読み上げることを保証するものではありません。また、

- 英語以外（ドイツ語など）を読み上げた場合、英語と見なして読み上げるため発音は正しいものではありません。
- 同じつづりで意味合いにより発音が異なる語などは正しく発音されないことがあります。

なお、お客様または第三者が本機能の使用により生じた損害、逸失利益につきましては、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社および使用許諾権者は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

イヤホンで音声を聞くときは

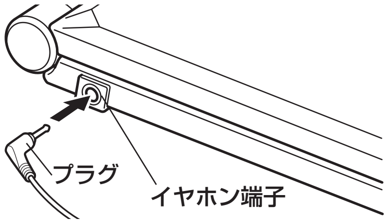
付属のイヤホンで音声を聞くときは、イヤホンのプラグを本体左側面のイヤホン端子に接続します。

◆ 音量小 を数回押して、小さい音量にしておいてください。

1 **入／切 を押して電子辞書の電源を切ります。**

2 **イヤホンのプラグをイヤホン端子に接続します。**

- プラグは奥まで完全に差し込んでください。
- プラグの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張ると故障の原因になります。



3 **電子辞書の電源を入れ、音声を再生します(59、61ページ参照)。**

- 音量小、音量大 で、適正な音量に調整してください。

参考 ● 内蔵スピーカーで音声などを聞くときはイヤホンのプラグをイヤホン端子から抜いておいてください。

音量を調整する

- 音量小 を押すごとに、音量が下がります。
  音量大 を押すごとに、音量が上がります。
  音量を上げすぎるとスピーカーやイヤホンからの音が割れたり、歪んだりすることがありますので、聞きやすい音になるように調整してください。

音声が聞けるのは･･･
59ページに記載の音声再生、61ページに記載の音声読み上げ機能での読み上げなどにより音声を聞くことができます。
また、別売の電子辞書専用コンテンツカードの中には音声データが含まれているものがあり、それらの音声を再生して聞くことができます。なお、これらの音声データはモノラルの場合があります。

注意 ● **スピーカーで聞くときは**
MP3データはコンテンツによって音の大きさが異なります。
スピーカーで聞いたとき、音量調整を大きくしても音が小さい／音が歪む場合は、付属のイヤホンで聞いていただくことをお勧めします。

便利な使いかた

言葉を探すいろいろな方法を説明します。

読みやスペルの一部を省略して検索する

読みや単語の一部を“**?**”（ワイルドカード）または“**～**”（ブランクワード）に置き換えて検索することで、はっきりしない語も探すことができます。

ワイルドカード：“？”は文字数がわかっているとき、不明な文字の代わりに入力します。（読み：最大12個、スペル：最大19個）
（例）「う？？？ざくら」「se????y」

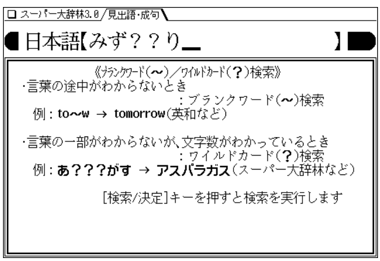
ブランクワード：“～”は文字数もわからないとき、複数の文字の代わりに1個だけ入力します。
（例）「う～ざくら」「se ～ y」「～ men」

- “？”は［機能］［X］（？）、“～”は［機能］［Z］（～）と押して入れます。
- “？”は先頭に使えません。“～”は最後に使えません。
- “？”と“～”を同時に使うことはできません。

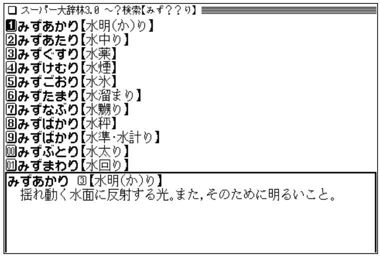
また、339ページの「**“?”、“～”が使えるコンテンツ**」で示すコンテンツの入力画面および一括検索の入力画面で、次の場合に利用できます。これ以外では利用できません。

- 「日本語」入力欄、「読み」入力欄に入力する場合
  ただし、漢字を入力したときは利用できません。
  また、スーパー大辞林の逆引き、分野別小辞典でも利用できません。
- 「スペル」入力欄に入力する場合
  ただし、スペルチェックや成句検索の入力画面では利用できません。

1 例えばスーパー大辞林の入力画面で「みず？？り」と入れます。



2 [検索/決定] を押して検索します。



3 [▼]、[▲] で目的の語を選択し [検索/決定] を押します。

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

参考
- [戻る] を押すと前の画面に戻ります。
- [機能] [戻る]（リスト）と押すと辞書順（収録順）のリスト表示になります。

複数の辞書を一括して調べる（一括検索）

複数のコンテンツ（辞書など）を対象にして言葉を調べることができます（**一括検索できるコンテンツ**：☞340ページ）。
文字の入力中は1字ごとに候補を絞り込む**絞り込み検索**で探し、候補が多い場合などには、**完全一致検索**に切り替えて探すことができます。
また、“～” や “?” を使用して検索することもできます（☞前ページ）。

【例】「かいけい」を一括検索しましょう。

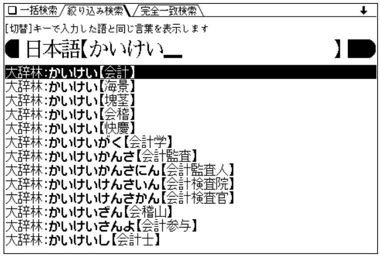
この例ではプレビュー表示を「切」にして説明しています。

1 [一括検索] を押します。

一括検索の入力画面が表示されます。
入力する文字種に合わせて、[▼]、[▲] で入力欄を選びます。

2 **例えば日本語入力欄に「かいけい」を入れます。**

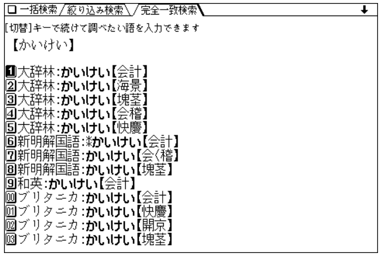
1字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。
漢字は手書き入力します。（☞38ページ）



3 **完全一致検索で見るときは［切替］を押します。**

入力した文字と一致する見出し語がリスト表示されます。

- 入力した文字を変更するときは［切替］を押して絞り込みの画面に戻って行います。



4 **［▼］、［▲］で目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

辞書などの詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

参考 ● ［戻る］を押すと前の画面に戻ります。

候補がないときは

手順**2**で文字を入れていったとき、絞り込む候補がなくなると《該当語なし》と表示されますので、文字を修正・変更するか、［クリア］を押してから新たに入力してください。
また、［切替］を押して完全一致検索に切り替えようとしたとき、該当する語がない場合は「見つかりません」と一時表示をして、元の画面に戻ります。

一括検索について

- 目的の語を選択した後は、通常の調べかたで表示させたときと同じ動作になります。
- 目的の語を選択した後の画面で［クリア］を押したときは、一括検索の入力画面に戻ります。

詳細画面から別の語を調べる（W検索を使う）

詳細画面に別のウィンドウを開いて、別の語を調べることができます。

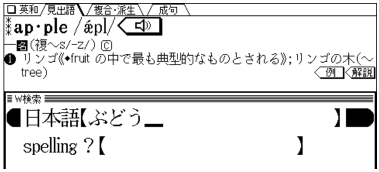
1 **例えば英和辞典で「apple」と入れ、検索/決定を押して「apple」の詳細画面を表示させます。**

2 **手書きパッドの W検索 をタッチします。**

W検索ウィンドウが表示されます。

3 **検索する言葉（例えば「ぶどう」）を入れます。**

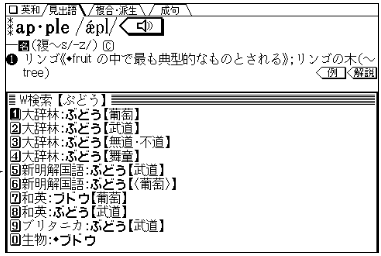
入力欄は▼、▲で選びます。



4 **検索/決定を押します。**

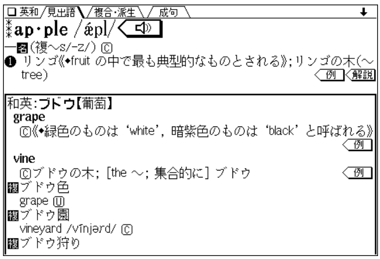
W検索ウィンドウに候補が表示されます。

W検索ウィンドウ→



5 **▼、▲で表示させたい語を選び検索/決定を押します。**

W検索ウィンドウに詳細画面が表示されます。



6 **検索/決定を押すと、W検索ウィンドウに表示されているコンテンツ（辞書など）の詳細画面が表示されます。**

参考 ● 戻るを押すと前の画面に戻ります。

画面内の語を調べる（Sジャンプを使う）

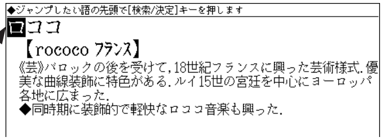
辞書を引いた内容（詳細画面）の中にわからない言葉（漢字、ひらがな、カタカナの語）があると、その言葉をカーソルで範囲指定してコンテンツ間を飛び越えて調べることができます（**ジャンプできるコンテンツ**：☞341ページ）。

英単語やジャンプマーク（➡）が示す語は、Sジャンプ で順番に選択でき（☞71ページ）、調べることができます。

1 **例えば メニュー を押し、「パーソナルカタカナ語辞典」を選んで「ロココ」と入れ 検索/決定 を押して詳細画面にします。**

2 **詳細画面で Sジャンプ を押します。**

■カーソル（文字の反転表示）が表示されます。

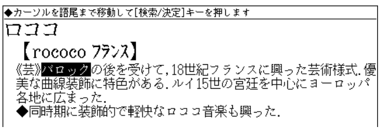


3 **▼、▲、▶、◀で反転表示（カーソル）を移して、調べたい語を選びます。**

- 英単語やジャンプマーク（➡）が示す語は、その語全体が選ばれます。

「バロック」を範囲指定する場合

先頭文字「バ」にカーソル“■”を移して 検索/決定 を押し、続いて ▶ で最後尾の文字「ク」までカーソル“■”を移動させます（1文字の指定ではこの操作は不要です）。

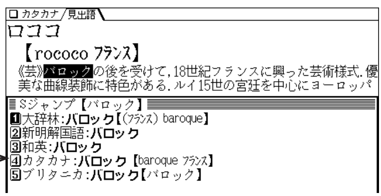


- 範囲指定について、71ページも参照ください。
- 指定を解除するときは 戻る や クリア を押します。

4 **検索/決定 を押します。**

ジャンプウィンドウに候補が表示されます。

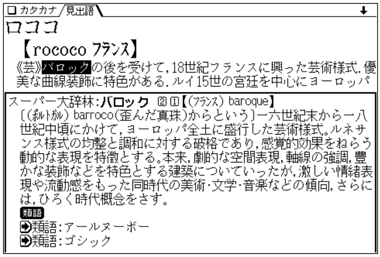
ジャンプウィンドウ



参考
- 候補は、選択した語と一致する語、一致する語がないときは選択した語を先頭に含む語（英単語は一致する語のみ）が表示されます。なお [➡] が示す語や、1語だけ一致するときはウィンドウに詳細画面が表示されます。
- 候補になる語が１語もないときは「見つかりません」と一時表示されます。
- 候補は最大150件まで検索されます。

5 **[▼]、[▲] で調べたいコンテンツを選び [検索/決定] を押します。**

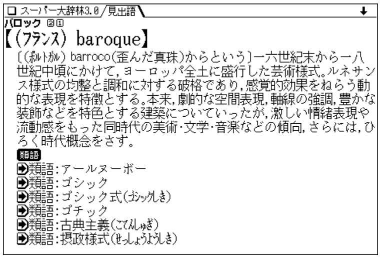
ジャンプウィンドウに詳細画面が表示されます。



画面右上に“⬇”や“⬆”が表示されているときは [∨]、[∧] などでウィンドウ内を送ることができます。

6 **[検索/決定] を押してジャンプします。**

選択した語の詳細画面が表示されます。



参考
- [戻る] を押すと前の画面に戻ります。

コンテンツを指定してジャンプするには

- 手順**4**で [検索/決定] の代わりに [大辞林] や [英和/和英] を押すとそのコンテンツ（ジャンプ対象コンテンツ）のみが検索対象になります。

ジャンプについて

- ジャンプした後は、通常の調べかたで表示させたときと同じ動作になります。
- ジャンプした先の画面で [クリア] を押したときは、ジャンプを始める前に使用していたコンテンツの入力画面などに戻ります。
- ジャンプ先でジャンプをする、というようにジャンプを重ねた場合、[戻る] で最大10回までは戻ることができます。10回を超えてジャンプを重ねた場合、11回目の戻りでリスト画面などへ戻ります。

ジャンプマークのジャンプ

- 各コンテンツの詳細画面で“ ➡ ”マークの後に示される語は同じコンテンツ内でジャンプします。

➡ マークで示す語や英単語の選択

- 画面内に“ ➡ ”マークで示す語や、英単語が表示されている場合は、［Sジャンプ］を押すたびに、表示されている“ ■ ”カーソルより後の、“ ➡ ”マークで示す語、および英単語へカーソルが移っていきます。
  表示されている最後の語までカーソルが移った後は、1行ずつ画面を送り、対象の語が出てくれば、その語にカーソルが移ります。
  行き過ぎたときは［▲］や［◀］でカーソルを戻してください。

範囲指定について

- 範囲指定できるのは、漢字、ひらがな、カタカナが連続している場合です。英字、数字、記号、マークなどがあると、そこで範囲指定は止まります。
- 範囲指定をしているとき、画面を送ることはできません。
  範囲指定したい語が、すべて画面に表示されていることを確認してから範囲指定の操作をしてください。

詳細画面の見出し語を他の辞書で調べる

詳細画面に表示されている見出し語を他の辞書で調べます（**「他の辞書で調べる」で調べられるコンテンツ**：☞343ページ）。
詳細画面が表示されているとき、見出し語が他の辞書で調べられる場合は手書きパッドに［**他の辞書で調べる**］が表示されます。

［**他の辞書で調べる**］にタッチするとウィンドウが開き、候補のコンテンツなどが表示されます。
［▼］、［▲］で候補を選んで［**検索/決定**］を押すと詳細画面が表示されます。

一度調べた語を再度調べたいとき（しおりを使う）

この製品では、一度調べた語は“しおり”として新しいものから100件まで自動的に記憶されます。
もう一度同じ語を調べたいときは、しおりのリスト（一覧）表示から調べることができます。

1 **各コンテンツを選んでから［しおり］を押します。**

しおり表示画面が表示され、各コンテンツで調べた語が、新しいものから順にリスト表示されます（**しおり機能があるコンテンツ**：☞341ページ）。

2 **［▼］、［▲］で目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

選択した語の詳細画面が表示されます。

参考
- しおりの表示のされかたはコンテンツにより異なる場合があります。
- しおりの記憶件数が100件を超えるときは、古いものが消されます。

しおりを1件ずつ削除する方法

1 **各コンテンツの画面で［しおり］を押し、しおり表示画面にします。**

2 **［▼］、［▲］（漢字源は［▶］、［◀］、［▼］、［▲］）で、削除したい語にカーソル（反転表示）を移し［後退］を押します。**

削除の確認画面が表示されます。

3 **［Y］キーを押します。**

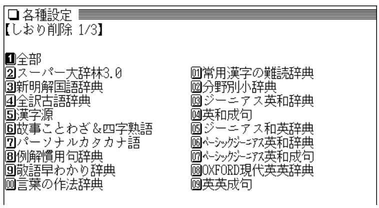
選択した語が削除されます。

しおりをまとめて削除する方法

1 **［メニュー］を押し、「便利な機能」から「各種設定」を選びます。**

2 **［▼］、［▲］で「しおり削除」を選び［検索/決定］を押します。**

- 画面は［∨］［∧］で切り替えます。



3 ▼、▲、▶、◀でしおりを削除するコンテンツ、または「全部」を選び［検索/決定］を押します。

削除の確認画面が表示されます。

4 ［Y］キーを押します。

選択したコンテンツのしおり、またはすべてのしおりが削除されます。

繰り返し見たい語を登録する（単語帳を使う）

この製品には、繰り返し見たい語や覚えたい語などを登録しておく「**単語帳**」があります。
単語帳があるコンテンツは342ページをご覧ください。

単語帳に語を登録する

1 登録したい語の詳細画面にします。

例えば英和辞典の画面で、「text」と入れて［検索/決定］を押します。

2 手書きパッドの［単語帳に登録］にタッチします。

単語帳に登録した旨のメッセージを一時表示し、詳細画面の語が単語帳に登録されます。

- 例文検索（☞196ページ）の検索後の画面では、上記手順**2**の操作で例文の前に"➡"が表示された例文選択画面になりますので、▼、▲で登録したい例文を選択して［検索/決定］を押します。

参考
- 単語帳の詳細画面からは登録できません。
- 単語帳は各コンテンツで最大500件、全体で5,000件まで登録できます。なお、単語帳以外の詳細画面でマーカーを付けた場合、その語も単語帳に登録されます。（☞75ページ）

各コンテンツの画面から、登録した語を見る

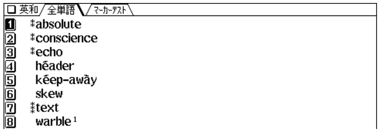
【例】英和辞典の単語帳に登録した語を見ましょう。

1 英和辞典の入力／選択画面にします。

（見たいコンテンツなどの画面にします。）

2 [機能] [しおり]（単語帳）と押します。

英和辞典の単語帳が表示されます。



3 [▼]、[▲]で目的の語を選び[検索/決定]を押します。

選んだ語の詳細画面が表示されます。

参考
- 単語帳はコンテンツ（辞書など）のリスト表示や1件表示画面で [機能] [しおり]（単語帳）と押しても表示されます。
- データは各コンテンツと同様の順番で並びますが、成句などは見出し語よりも後に並びます。

コンテンツ一覧から、登録した語を見る

登録した単語帳のデータをコンテンツの一覧から見ることができます。

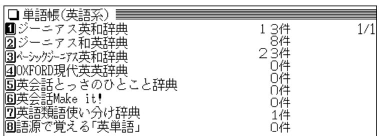
1 [メニュー]を押し、「便利な機能」から「すべての単語帳を見る」を選びます。

単語帳がある分類の一覧が表示されます。

参考
- [メニュー] [機能] [しおり]（単語帳）と押しても、単語帳がある分類の一覧を表示することができます。

2 [▼]、[▲]で目的の分類を選び[検索/決定]を押します。

選んだ分類のコンテンツの一覧が表示されます。



3 [▼]、[▲]で目的のコンテンツを選び[検索/決定]を押します。

選んだコンテンツの単語帳が表示されます。

4 [▼]、[▲]で目的の語を選び[検索/決定]を押します。

選んだ語の詳細画面が表示されます。

注意
- 別売のコンテンツカード内のコンテンツは、このコンテンツ一覧には表示されませんので、前ページの方法で単語帳を見てください。

覚えたい語句にマーカーを引く

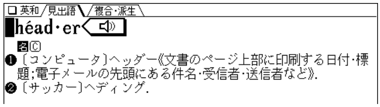
覚えたい語句にマーカーを引き単語帳に登録することで、その部分を集中的に覚えたり、マーカー部分を隠しておいて、その部分を言い当てるテストができます。

【例】 英和辞典の「header」の意味にマーカーを引きます。

1 **英和辞典で「header」と入力し、詳細画面を表示させます。**

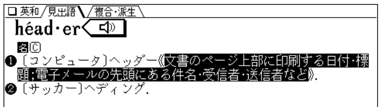
2 **［機能］［Sジャンプ］（マーカー）と押します。**

マーカーが引けるようになります。



3 **［▼］、［▲］、［▶］、［◀］でカーソル“■”を先頭の文字「文」に移して［検索/決定］を押します。**

4 **［▶］でカーソル“■”を最後尾の文字「ど」まで移します（1文字の指定では、この操作は不要です）。**



5 **［検索/決定］を押します。**

単語帳に登録した（マーカーを追加した）旨のメッセージが一時表示され、登録されます。

参考
- マーカーは1回で最大120文字まで引くことができます。
- マーカーは1つのデータに5カ所まで引くことができます。
- 項目の終わり（改行）を超えてマーカーを引くことはできません。
- マーカーを引いているときに、マーカーを消したいときは［戻る］を押します。もう一度［戻る］を押すと、カーソル“■”が消えます。

登録したマーカーを消すときは
- 手順**1**～**3**と同様の手順でマーカーが引かれている文字にカーソルを移して［検索/決定］または［後退］を押します。
  画面に表示されるマーカー削除の確認メッセージに従って［Y］を押します。

1つのデータに引かれている全てのマーカーを消すときは

マーカーテストのリスト画面（☞次ページ）で、［▼］［▲］で語を選んで［後退］を押します。

画面に表示されるマーカー削除の確認メッセージに従って［Y］を押します。

コンテンツごとに、または全コンテンツのマーカーをまとめて消すときは

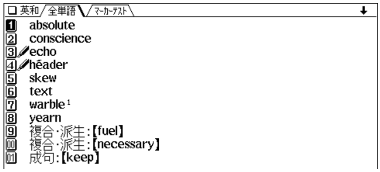
78ページを参照してください。

マーカー部分を使ってテストをする

【例】 英和辞典の単語帳でテストをします。

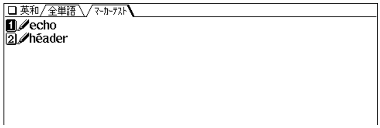
1 **英和辞典の入力画面などで 機能 しおり（単語帳）と押します。**

英和辞典の単語帳が表示されます。



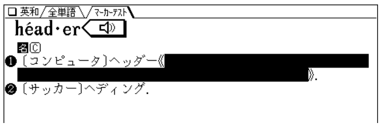
2 **切替 を押します。**

マーカーテストのリスト画面に、マーカーを付けた語が表示されます。



3 **テストしたい語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面が表示されます。このとき、マーカーを引いた箇所の文字が隠されています。



4 **隠されている内容を言います（または考えます）。**

5 **検索/決定 を押して隠れている内容を表示させ、言った（考えた）答えと一致しているか確認します。**

参考
- 単語帳の画面などで、前に" ✐ "マークが表示されている語は、マーカーが付けられていることを示します。
- 別の語でテストするときは 戻る を押してマーカーテストのリスト画面に戻って、選び直します。

単語帳を削除（登録を解除）する方法

単語帳は、1件ずつの削除、コンテンツ別にすべて削除、製品内のすべての削除ができます。単語帳を削除しても、元の辞書などのデータは削除されません。

単語帳を1件ずつ削除する方法

1 **各コンテンツの画面で［機能］［しおり］（単語帳）と押して単語帳を表示させます。**

2 **［▼］、［▲］（漢字源は［▶］、［◀］、［▼］、［▲］）で削除したい語の番号にカーソル（反転表示）を移します。**

3 **［後退］を押します。**

削除の確認画面が表示されます。

4 **［Y］キーを押します。**

選択した語が削除されます。

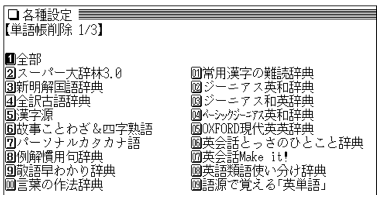
参考 ● 単語帳の詳細画面で、上記**3**以降の操作を行っても削除することができます。

単語帳をまとめて削除する方法

1 **［メニュー］を押し、「便利な機能」から「各種設定」を選びます。**

2 **［▼］、［▲］で「単語帳削除」を選び［検索/決定］を押します。**

● 画面は［∨］［∧］で切り替えます。



3 **［▼］、［▲］、［▶］、［◀］で単語帳を削除するコンテンツ、　または「全部」を選び［検索/決定］を押します。**

削除の確認画面が表示されます。

4 **［Y］キーを押します。**

選択したコンテンツの単語帳またはすべての単語帳が削除されます。

マーカーだけをまとめて消去(削除)する方法

1 **[メニュー]を押し、「便利な機能」から「各種設定」を選びます。**

2 **[▼]、[▲]で「マーカー削除」を選び[検索/決定]を押します。**

3 **[▼]、[▲]、[▶]、[◀]でマーカーを消去するコンテンツ、 または「全部」を選び[検索/決定]を押します。**

削除の確認画面が表示されます。

4 **[Y]キーを押します。**

選択したコンテンツのマーカーまたはすべてのマーカーが消去されます。

参考 ● 上記操作では、単語帳に登録されている語は削除されません。

コンテンツカードの単語帳をすべて削除するときは

別売のコンテンツカードで提供される辞書などに単語帳がある場合に、それらの単語帳をすべて削除するときは、手順**3**で「カード」を選んで削除してください。
この場合、カードの辞書などの単語帳がすべて削除されます。

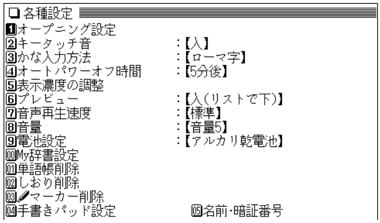
注意 ● カード内の辞書などの単語帳データは、カードではなく、本体に記憶されます。

各種設定

ここでは、使いやすく設定を変える方法を説明します。

1 **［メニュー］を押し、「便利な機能」から「各種設定」を選びます。**

各種設定のリスト画面が表示されます。



2 **［▼］、［▲］で各種設定のリスト画面の各項目を選び、［検索/決定］を押します。また、数字キーで選ぶこともできます。**

設定や切り替えなどを行う画面が表示されます。

> **以降、上記と同様の操作は、次のように説明します。**
> 例：各種設定のリスト画面で「キータッチ音」を選び［検索/決定］を押します。

- **オープニング設定**：☞84ページ
- **単語帳削除**：☞77ページ
- **マーカー削除**：☞78ページ
- **名前・暗証番号設定等**：☞89ページ
- **My辞書設定**：☞86ページ
- **しおり削除**：☞72ページ

参考
- 各種設定のリスト画面からメインメニュー画面に戻るときは［戻る］を押します。

キータッチしたときの音の入／切を設定する

キーを押したとき「ピッ」と鳴るキータッチ音の「入」、「切」を設定します。

1 **各種設定のリスト画面で「キータッチ音」を選び［検索/決定］を押します。**

キータッチ音の設定画面が表示されます。

2 **［▼］、［▲］で“✔”を移動させて入／切を選び［検索/決定］を押します。**

「入」「切」が設定され、各種設定のリスト画面に戻ります。

ひらがなの入力方法を設定する

ひらがなの入力方法を**ローマ字かな入力方式**または**50音かな入力方式**に設定します。

1 **各種設定のリスト画面で「かな入力方法」を選び［検索/決定］を押します。**

かな入力方法の設定画面が表示されます。

2 **［▼］、［▲］で“✓”を移動させて入力方法を選び［検索/決定］を押します。**

入力方法が設定され、各種設定のリスト画面に戻ります。

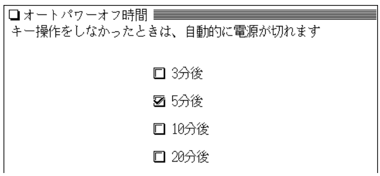
- **文字入力**：☞34ページ

オートパワーオフの時間を設定する

キー操作がなかったとき自動的に電源が切れる時間を設定します。（初期状態では「5分後」に設定されています。）

1 **各種設定のリスト画面で「オートパワーオフ時間」を選び［検索/決定］を押します。**

オートパワーオフ時間の設定画面が表示されます。



2 **［▼］、［▲］で“✓”を移動させて時間を選び［検索/決定］を押します。**

時間が設定され、各種設定のリスト画面に戻ります。

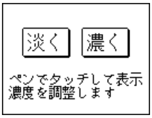
基本編

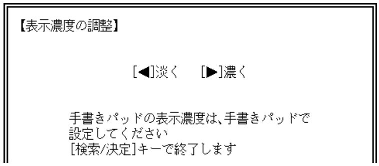
各種設定

表示の濃度を調整する

メイン表示および手書きパッドの表示濃度を調整します。

1 **各種設定のリスト画面で「表示濃度の調整」を選び 検索/決定 を押します。**





2 **メイン表示は ◀（淡く）、▶（濃く）で見やすい濃さに調整します。**
手書きパッドは、表示されている 淡く 、濃く にタッチして見やすい濃さに調整します。

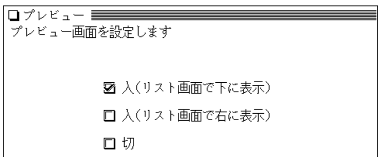
3 **調整が終わったら 検索/決定 を押します。**
各種設定のリスト画面に戻ります。

参考
- メイン表示の濃度調整は各画面で、 機能 ◀（淡く）、機能 ▶（濃く）と何回か押しても調整できます。
機能 を押して離した後、◀ または ▶ を押したままにすると、濃度が連続的に変わっていきます。

プレビュー表示のありなしを設定する

プレビュー表示（☞54ページ）の入/切および表示位置を設定します。

1 **各種設定のリスト画面で「プレビュー」を選び 検索/決定 を押します。**
プレビュー画面の設定画面が表示されます。



2 **▼、▲で "✓" を移動させて表示位置または「切」を選び 検索/決定 を押します。**
表示位置などが設定され、各種設定のリスト画面に戻ります。

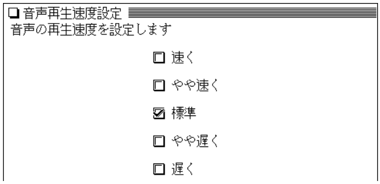
参考
- プレビュー表示ができる画面で 機能 切替（プレビュー）と押して切り替えることもできます。

音声の再生速度を設定する

音声再生（☞59、61ページ）の速さを切り替えます。

1 各種設定のリスト画面で「音声再生速度」を選び ［検索/決定］ を押します。

音声再生速度設定画面が表示されます。



2 ［▲］、［▼］で“✓”を移動させて速度を選び ［検索/決定］ を押します。

再生速度が設定され、各種設定のリスト画面に戻ります。

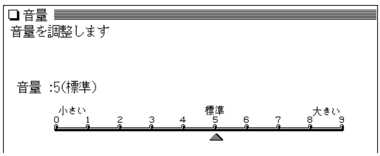
参考 ● 音声の再生画面で ［切替］ を押して（または手書きパッドで）切り替えることもできます。

音量を調整する

音声を再生できるコンテンツやMP3プレーヤー機能（☞189ページ）の音量を調整します。

1 各種設定のリスト画面で「音量」を選び ［検索/決定］ を押します。

音量調整画面が表示されます。



2 ［◀］、［▶］で音量を選び、［検索/決定］ を押します。

音量が設定され、各種設定のリスト画面に戻ります。

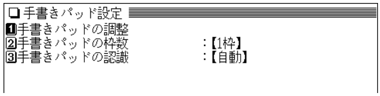
参考 ● 音声の再生画面で ［音量大］、［音量小］ を押して音量を調整することができます。

手書きパッドの設定をする

手書きパッドの位置調整をする

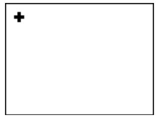
手書きパッドは、ボタンなどが表示される位置と、実際にタッチしたと認識される位置がずれる場合があり、このずれが小さくなるように調整します。

1 **各種設定のリスト画面で「手書きパッド設定」を選び［検索/決定］を押します。**



設定項目選択画面が表示されます。

2 **［▼］、［▲］で「手書きパッドの調整」を選び［検索/決定］を押します。**



手書きパッドに ＋ マークが一つ表示されます。

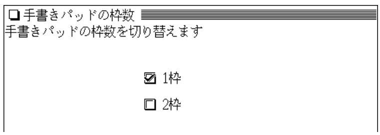
3 **付属のタッチペンで、＋ マークの中心（線の交点）に正確にタッチして離します。**

タッチして離すと別の位置に ＋ が表示されるので、同様に中心にタッチします。＋ は4カ所に表示されます。調整が終了すると各種設定のリスト画面に戻ります。

手書きパッドの枠数を設定する

手書きパッドで手書きする枠の数を設定します。

1 **先の設定項目選択画面で「手書きパッドの枠数」を選び［検索/決定］を押します。**



枠数設定画面が表示されます。

2 **［▼］、［▲］で"✔"を移動させて「1枠」、「2枠」を選び［検索/決定］を押します。**

選択した項目が設定され、各種設定のリスト画面に戻ります。

手書き文字の認識方法（自動←→手動）を切り替える

1 **先の設定項目選択画面で「手書きパッドの認識」を選び［検索/決定］を押します。**

認識方法設定画面が表示されます。

2 [▼]、[▲]で“✔”を移動させて「自動」、「手動」を選び [検索/決定] を押します。

認識方法が設定され、各種設定のリスト画面に戻ります。

参考 ● 手書きパッドの [自動/手動] でも切り替えられます(☞39ページ)。

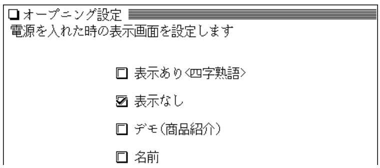
電源を入れたときの画面(オープニング画面)を設定する

[入／切] を押して電源を入れたときに一定時間表示される画面(オープニング画面)を設定することができます。

表示あり　　　:「四字熟語」を表示します。
表示なし　　　:電源が切れる前の画面またはメニュー画面を表示します。
デモ(商品紹介):商品の紹介をデモ形式で表示します。
名前　　　　　:登録した名前を表示します。

1 各種設定のリスト画面で「オープニング設定」を選び [検索/決定] を押します。

初期状態では「表示なし」になっています。



2 [▼]、[▲]で“✔”を移動させてオープニングの設定を選び [検索/決定] を押します。

- 「表示あり」、「表示なし」、「名前」を選んだ場合は、設定され各種設定のリスト画面に戻ります。
- 「デモ(商品紹介)」を選んだ場合は、デモの開始確認画面が表示されます。この画面で [Y] を押すとデモが始まり、[N] を押すとメインメニュー画面が表示されます。
  次回から [入／切] で電源を入れると、デモの開始確認画面が表示されるようになります。

オープニング画面を停止してコンテンツを使いたいときは

オープニング画面表示中に [メニュー] や [クリア] など、いずれかのキーを押します。

オープニング画面を表示しないようにするには

手順2で「表示なし」を選んで [検索／決定] を押します。

電池の設定をする

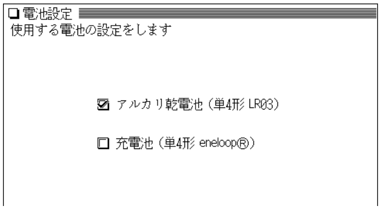
使用する電池を乾電池から充電池に交換したとき、充電池から乾電池に交換したときは、電池設定をしてください。

注意 **市販の充電池をご使用になる場合は、次のことをお守りください。**
発熱、発火、破裂、感電の原因になることがあります。

- 充電池は、三洋電機株式会社製の単４形eneloop®(エネループ)をご使用ください。これ以外の充電池は使用しないでください。
- eneloop®の充電は必ず専用の充電器をお使いください。
- eneloop®をご使用の際は、eneloop®やその充電器の取扱説明書、注意書きなどを十分お読みいただき、条件を守ってご使用ください。

1 各種設定のリスト画面で「電池設定」を選び［検索/決定］を押します。

電池設定画面が表示されます。



2 ［▼］、［▲］で、使用する電池（「アルカリ乾電池」または「充電池」）を選んで［検索/決定］を押します。

使用する電池が設定され、各種設定のリスト画面が表示されます。

参考
- 使用する電池と、上記の設定が一致していないと、電池が消耗していないのに電池が消耗したことを示す電池シンボル“▯”が点灯する、あるいは逆に電池が消耗しているのに電池シンボルが点灯しないなど、電池残量検出が正しく行われないことがありますので、上記設定は正しく行ってください。

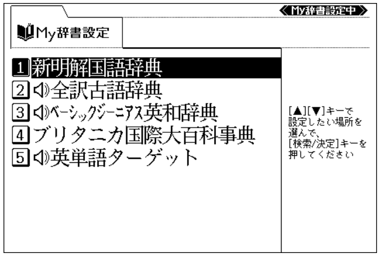
よく使うコンテンツはMy辞書に登録（My辞書設定）

よく使うコンテンツを登録し、手書きパッドから選べるようにできます。

1 各種設定のリスト画面で「My辞書設定」を選び [検索/決定] を押します。

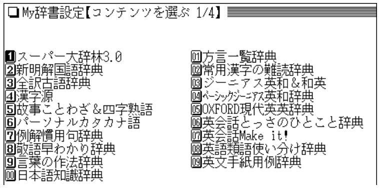
登録されている5コンテンツが表示されます。

- 別のコンテンツを登録するときは、この5コンテンツの中のあまり使用しないコンテンツと入れ替えます。



2 [▼]、[▲] で入れ替えるコンテンツ（例えば「全訳古語辞典」）を選び [検索/決定] を押します。

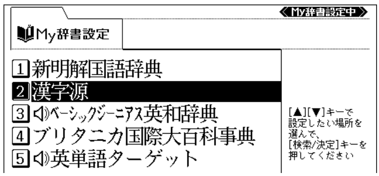
コンテンツの選択画面が表示されます。



3 [∨]、[∧] で登録したいコンテンツを探し、[▼]、[▶] などで選んで [検索/決定] を押します。

コンテンツが登録され、My辞書設定画面に戻ります。

- 続けて登録する場合は、手順**2**、**3**を繰り返します。



4 [メニュー]、[戻る] などを押して終了します。

コンテンツの登録を解除する

コンテンツの登録を解除する場合は、次の手順で行います。

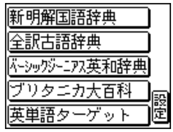
1 先の登録手順の2で、解除したいコンテンツを選び [検索/決定] を押します。

コンテンツの選択画面が表示されます。

2 **[∨]を押して画面を送り、「(未登録に戻します)」の項目を表示させて選び [検索/決定] を押します。**

選択したコンテンツの登録が解除され、My辞書設定画面に戻ります。

My辞書を使う



手書きパッドにMy辞書が表示されているとき、コンテンツ名にタッチしてコンテンツを選びます。

- [設定] にタッチするとMy辞書の設定画面が表示されます。
- My辞書からコンテンツを選んだ場合でも、[戻る] でメニューに戻った場合はメインメニュー(分類メニュー) に戻ります。

メニューをよく使う順番に並べ替える

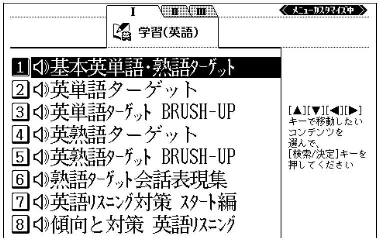
メインメニューの個別メニューに表示されるコンテンツなどの順番を並べ替えることができます（便利な機能やカード、字幕リスニングを除く）。
よく使用するコンテンツなどを前に配置して、利用しやすくすることができます。

並べ替えの手順

1 **[メニュー]を押し、並べ替えたい分類（例えば「学習（英語）Ⅰ」）を分類メニューで選びます。**

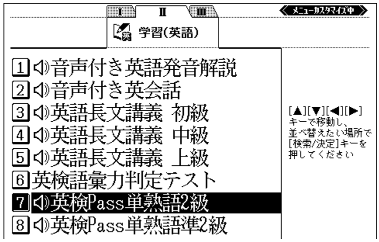
2 **［機能］［メニュー］（メニューカスタマイズ）と押します。**

メニューカスタマイズ画面が表示されます。



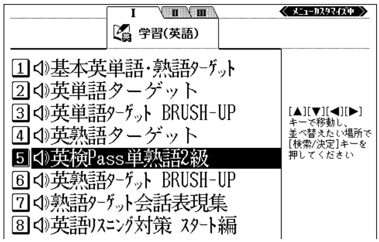
3 **［▼］、［▲］、［▶］、［◀］※で移動させたいコンテンツにカーソルを移し、［検索/決定］を押して確定させます。**

（ここでは「学習（英語）Ⅱ」の「英検pass単熟語２級」を移動させるコンテンツとして確定させます。）



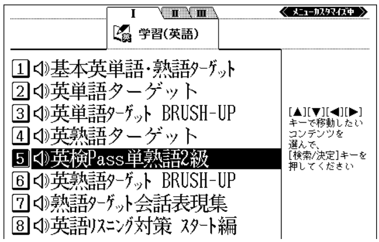
4 **［▼］、［▲］、［▶］、［◀］※で、確定させたコンテンツを移動させます。**

1行ずつ入れ替わりながら移動していきます。



5 **目的の位置まで移動させた後、［検索/決定］を押して確定させます。**

- 続けて移動させる場合は、手順**3**～**5**を繰り返します。



6 **すべて並べ替えたら［戻る］を押して終了します。**

※［▶］、［◀］は分類の中のⅠ、Ⅱ、Ⅲ画面を移動するときに使用します。

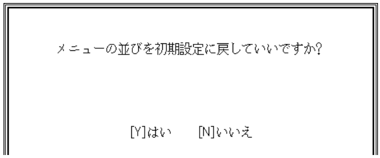
注意 ● 本取扱説明書では、メインメニューの並びは初期の設定（お買いあげ時の設定）になっているものとして説明しております。メニューを並べ替えている場合は、本書のキー操作と異なる場合がありますのでご注意ください。

メニューの並びを初期設定に戻す

メインメニューのコンテンツなどの並びを初期設定（お買いあげ時の設定）に戻します。

1 **［メニュー］を押し、「便利な機能」から「メニューの並びを初期設定に戻す」を選び［検索/決定］を押します。**

確認画面が表示されます。



2 **［Y］を押します。**

メニューの並びが初期の設定に戻って、メニュー画面に戻ります。

電子辞書に名前・暗証番号を登録する

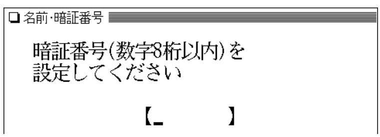
電子辞書をまちがえて他の人が使用したり、他の人の電子辞書を使用したりしないように、ご自身の名前を登録し、電源を入れたときのオープニング画面として表示させることができます。また、MP3プレーヤー機能（☞189ページ）で、暗号化されたデータを再生するときに使用します。
名前は暗証番号（パスワード）で保護され、暗証番号が分からないと変更や消去ができません。

暗証番号と名前を登録する

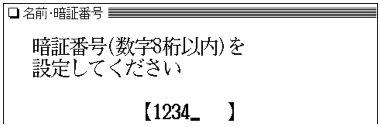
まず、はじめに次の手順で暗証番号と名前を登録します。

1 **各種設定のリスト画面で「名前・暗証番号」を選び［検索/決定］を押します。**

暗証番号の入力画面が表示されます。



2 8桁以内の数字で、暗証番号（例えば「1234」）を入れます。

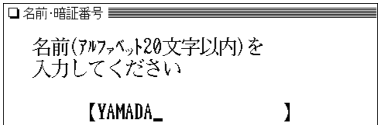


3 検索/決定 を押します。

名前の入力画面が表示されます。

4 アルファベット（20文字以内）で名前（例えば「YAMADA」）を入れます。

スペースや記号などは使えません。



5 検索/決定 を押します。

「登録が完了しました」と一時表示したあと、各種設定のリスト画面に戻ります。

注意
- **暗証番号が分からなくなると名前の変更や削除ができなくなります。またMP3の暗号化データの作成、再生ができなくなります（☞193ページ）。暗証番号は、必ず、紙などに控え、他の人に見られることがない所に保管してください。**
  誕生日や電話番号など、他の人に知られやすい番号は避けてください。

名前をオープニング画面に設定する

名前をオープニング画面として表示させるには、オープニング設定画面で、「名前」を選択して設定します。
オープニング画面の設定方法は84ページをご覧ください。

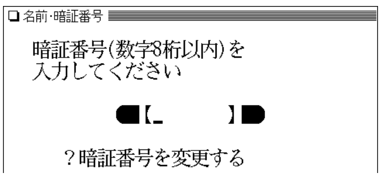
登録している暗証番号を変更する

暗証番号を変更するときは次の手順で行います。

1 各種設定のリスト画面で「名前・暗証番号」を選び 検索/決定 を押します。

暗証番号入力／変更の選択画面が表示されます。

- 名前が登録されていないと暗証番号の入力画面が表示されます。前ページを参照して、名前を入力してから暗証番号の変更をしてください。



2 [▼] で「？暗証番号を変更する」を選び、[検索/決定] を押します。

暗証番号の入力画面が表示されます。

3 現在の暗証番号を入れ、[▼] でカーソルを下に移して新しい暗証番号（例えば「4321」）を入れます。

❏名前･暗証番号
暗証番号(数字8桁以内)を変更します
現在の暗証番号【1234 】
◀新しい暗証番号【4321_ 】▶

4 [検索/決定] を押します。

「暗証番号を変更しました」と一時表示したあと、各種設定のリスト画面に戻ります。

登録している名前を変更する

登録している名前を変更するときは次の手順で行います。

1 各種設定のリスト画面で「名前･暗証番号」を選び [検索/決定] を押します。

暗証番号入力／変更の選択画面が表示されます。

2 登録している暗証番号（例えば「4321」）を入れます。

❏名前･暗証番号
暗証番号(数字8桁以内)を
入力してください
◀【4321_ 】▶
？暗証番号を変更する

3 [検索/決定] を押します。

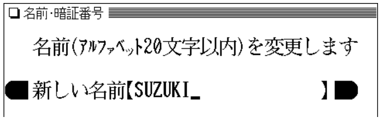
名前の変更／削除選択画面が表示されます。

❏名前･暗証番号
現在登録されている名前です
【YAMADA 】
◀ ？名前を変更する ▶
？名前を削除する

4 [▼]、[▲] で「？名前を変更する」を選んで [検索/決定] を押します。

名前の入力画面が表示されます。

5 アルファベット（20文字以内）で名前（例えば「SUZUKI」）を入れます。



6 [検索/決定] を押します。

「名前を変更しました」と一時表示したあと、各種設定のリスト画面に戻ります。

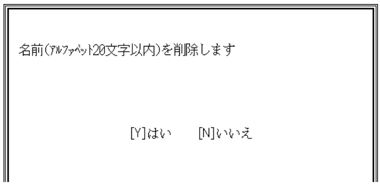
登録している名前、暗証番号を削除する

登録している名前、暗証番号を削除するときは次の手順で行います。名前を削除すると暗証番号も削除されます。

1 先の「登録している名前を変更する」の手順1 ～ 3を行います。

2 [▼]、[▲] で「？名前を削除する」を選んで [検索/決定] を押します。

名前削除の確認画面が表示されます。



3 [Y] を押します。

「名前を削除しました」と一時表示したあと、各種設定のリスト画面に戻ります。

- [N] キーを押したときは削除を中止して各種設定のリスト画面に戻ります。

＝メモ＝

コンテンツ
機能説明編

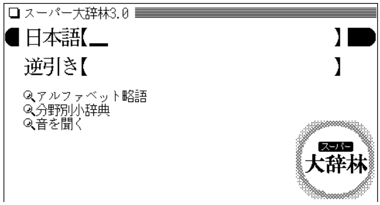
国語系

スーパー大辞林・逆引きスーパー大辞林

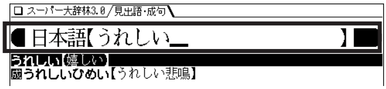
日本語の言葉や意味を調べる

1 **[メニュー]を押し、「国語系Ⅰ」から「スーパー大辞林 3.0」を選びます。**

スーパー大辞林の入力／選択画面が表示されます。



2 **日本語入力欄に調べたい言葉を入れます。**



3 **目的の語を選び[検索/決定]を押します。**

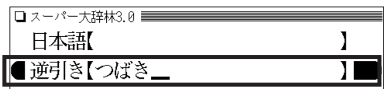
詳細画面に意味などが表示されます。

後ろにつく文字から言葉を探す（逆引きスーパー大辞林）

「～つばき」や「～じだい」など、後ろにつく文字から語を探します。

1 **スーパー大辞林の入力／選択画面で、逆引き入力欄へカーソルを移します。**

2 **調べたい言葉の後ろにつく文字を入れます。**



3 **[検索/決定]を押します。**

入れた文字が後ろにつく言葉がリスト表示されます。

4 **目的の語を選び[検索/決定]を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

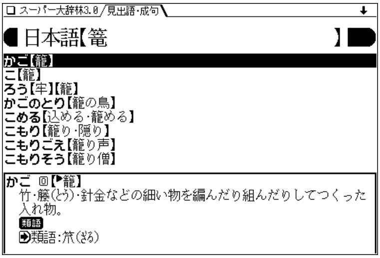
参考

- **見出し語**

スーパー大辞林3.0では関係のある言葉が検索できるように、いくつかの見出し語で工夫がされています。

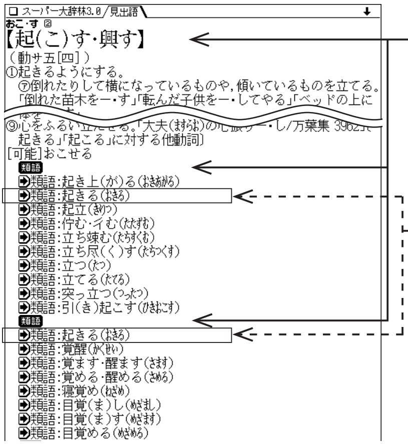
例「篭」を入力すると「籠」がリストに表示される。

※篭は籠の異体字です。



- **類語表示**

スーパー大辞林3.0には類語が収録されている見出し語があります。意味の似た言葉や関係のある言葉を表示するので、別の言葉に言い換えたいときなどに役立ちます。



見出し語と同じ意味を持つ類語を表示

類語は意味合いの似た語ごとに区分されています。

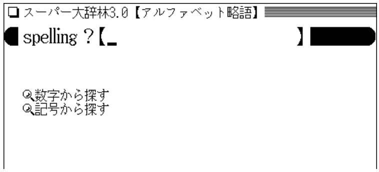
なお、１つの語が複数の意味合いを持つ語は、複数の区分に収録されている場合があります。

アルファベット略語や数字・記号から始まる語を調べる

アルファベット略語を調べる

1 **スーパー大辞林の入力／選択画面で、「アルファベット略語」を選び 検索/決定 を押します。**

アルファベット略語の入力／選択画面が表示されます。



2 **スペル入力欄に調べたい語（例：「SIM」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

数字や記号で始まる語を調べる

1 **アルファベット略語の入力／選択画面で、「数字から探す」または「記号から探す」を選び 検索/決定 を押します。**

用語がリスト表示されます。

2 **目的の語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

人名や地名などの分野から探す

下表の分野に分類されている内容をグループと読みから探します。

グループから調べる

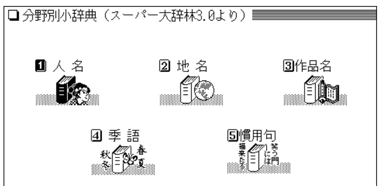
分野別小辞典のグループ一覧

分野名	グループ			
人名	日本	そのほかの外国		
	中国・朝鮮	神話・伝説		
地名	日本（全国）	中部地方	九州地方	
	北海道	近畿地方	中国・朝鮮	
	東北地方	中国地方	そのほかの外国	
	関東地方	四国地方	極地・海洋	
作品名	日本	文学	能・狂言・民俗芸能（中世）	
		思想書・宗教書・記録など	絵画・絵巻	
		映画・演劇	仏像・彫刻・建築物	
		音楽	新聞	
		歌舞伎・浄瑠璃・邦楽（近世）		
	中国・朝鮮	文学	音楽	
		思想書・宗教書・記録など	絵画・絵巻	
		映画・演劇	新聞	
	そのほかの外国	文学	絵画・絵巻	
		思想書・宗教書・記録など	新聞	
		音楽		

分野名	グループ	
季語	春	
	夏	
	秋	
	冬	
	新年	
	時候	春 夏 秋 冬 新年
	天文	
	地理	
	人事	
	動物	
	植物	

1 **スーパー大辞林の入力／選択画面で、「分野別小辞典」を選び 検索/決定 を押します。**

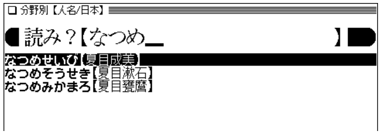
分野選択画面が表示されます。



2 **分野（例：「人名」）を選び 検索/決定 を押します。**

3 **範囲（例：「日本」）を選び 検索/決定 を押します。**

4 **名前の読みを入れます。**



5 **目的の名前を選び [検索/決定] を押します。**

詳細画面に解説などが表示されます。

参考
- 「地名」、「作品名」、「季語」で検索をするときも、「人名」と同様、内容ごとにグループ分けされた項目を次々と選び、候補を絞り込んでいきます。

慣用句を調べる

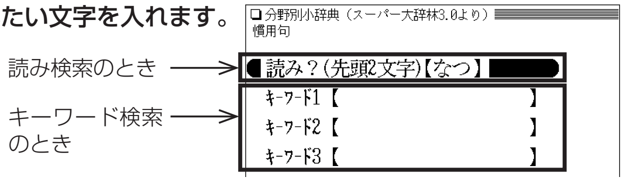
スーパー大辞林に収録されている慣用句（成句）を探します。

読み検索　：慣用句の読みの先頭2文字から検索

キーワード検索　：慣用句に関連する語（10文字以内）を3種類まで指定して検索

1 **分野選択画面で「慣用句」を選び [検索/決定] を押します。**

2 **入力欄に調べたい文字を入れます。**



3 **[検索/決定] を押します。**

慣用句（成句）がリスト表示されます。

4 **目的の慣用句を選び [検索/決定] を押します。**

詳細画面に慣用句と意味などが表示されます。

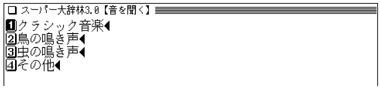
参考
- 読み検索の場合に該当する慣用句がないときは、収録順で次の慣用句が表示されます。

音楽や鳥の鳴き声など、音を聞く

クラシック音楽のさわりや、鳥、虫などの鳴き声を聞くことができます。

参考
- **スピーカーで音声を聞くとき**
  「スーパー大辞林3.0」に収録している音声は、自然の中での録音のため電子辞書本体のスピーカーの音響特性上聞き取りにくい場合があります。
  スピーカーの音量を大きくしても音が小さい場合は、付属のイヤホンで聞いていただくことをお勧めします。

1 **スーパー大辞林の入力／選択画面で「音を聞く」を選び [検索/決定] を押します。**



2 **音の種類（例：「鳥の鳴き声」）を選び [検索/決定] を押します。**

名前の範囲選択画面が表示されます。

参考
- 「虫の鳴き声」「その他」を選んだときは、名前の範囲選択画面は表示されないで、名前リストが表示されます。

3 **名前の範囲（例：「あ～えで始まる鳥」）を選び [検索/決定] を押します。**

名前リストが表示されます。

4 **目的の名前を選び [検索/決定] を押します。**

再生中画面が表示され、再生が開始されます。

参考
- 再生が終わると、名前リストに戻ります。
- 再生中に [検索/決定] を押すと再生を中止して詳細画面が表示され、[戻る] を押すと名前リストに戻ります。
- 再生中に [▼]、[▲] を押せば、名前リストの順番で再生を切り替えることができます。

収録音声データ著作権保有者

クラシック音楽：　© 2007　Naxos Japan, Inc.

鳥・虫などの鳴き声：　© 2007　上田秀雄ネイチャーサウンド

新明解国語辞典

言葉や意味を調べる

読みや漢字から言葉を探し、その意味（語義）や成句（慣用句）などを調べます。

1 **［メニュー］を押し、「国語系Ⅰ」から「新明解国語辞典」を選びます。**

2 **日本語入力欄に調べたい言葉を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面が表示されます。

全訳古語辞典

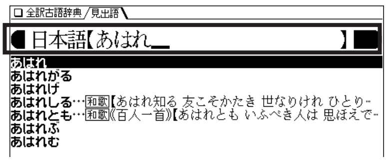
古語の意味を調べる

日本語の読みから古語を探し、その意味（語義）や成句（慣用句）などを調べます。

1 **［メニュー］を押し、「国語系Ⅰ」から「全訳古語辞典」を選びます。**

全訳古語辞典の入力画面が表示されます。

2 **調べたい言葉を入れます。**



3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

漢字源(JIS第1～第4水準版)

漢字源ではJIS第1～第4水準の漢字を次の方法で探すことができます。

漢字検索　：　漢字を手書き入力し、その漢字を探す。
部品読み検索：　漢字を構成する部品の読みから探す。
音訓読み検索：　漢字の音読み、または訓読みから探す。
部首画数検索：　部首の画数から部首を探し、その部首を持つ漢字を探す。
総画数検索　：　総画数から漢字を探す。

また、漢字検索以外は組み合わせて探すこともできます。

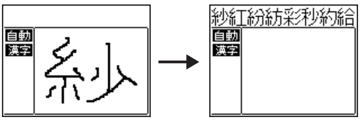
読みがわからない漢字を手書きで調べる

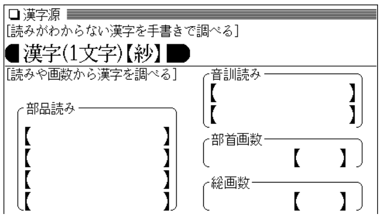
手書きで漢字を入力し、読みなどを調べます。

1 **メニュー を押し、「国語系 I」から「漢字源」を選びます。**

漢字源の条件入力画面が表示されます。

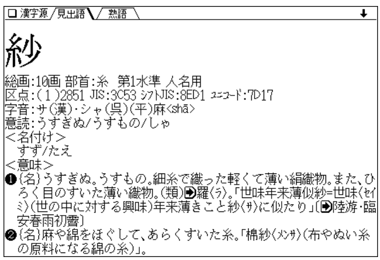
2 **漢字入力欄にカーソルがあることを確認し、手書きパッドに調べたい漢字を書きます。**





3 **漢字入力欄に調べたい漢字が入ったことを確認して 検索/決定 を押します。**

詳細画面に漢字の情報や読み、意味などが表示されます。



コンテンツ／機能説明編
国語系

漢字の熟語を調べる

画面の上部に 熟語 タブが表示されているときは、漢字に関連した熟語を調べることができます。

1 **例えば前ページの詳細画面で 切替 を押します。**

熟語のリスト(一覧)が表示されます。

2 **目的の熟語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に熟語の意味などが表示されます。

読みがわからない漢字を部品読みで調べる

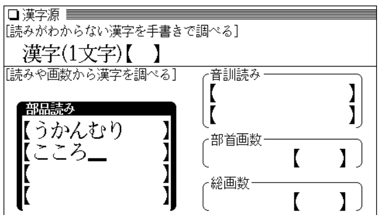
部品読みについて

例えば「辞」は下のような部品に分けることができます。これらの部品の読みから漢字を探すことができます。(形から連想される読みや、省略した読みで探せる場合もあります。)

【例】
「舌」　した、ぜつ、したへん
「辛」　からい、つらい、しん、かのと
「立」　たつ、りつ、りゅう、りっとる
「十」　じゅう、とお
} どれを入れても検索できます。

1 **漢字源の条件入力画面で、カーソルを部品読み欄へ移します。**

2 **部品読み欄に部品の読み(例:「寧」を調べるため「うかんむり」と「こころ」)を入力します。**



3 **検索/決定 を押します。**

条件に合った漢字(候補)がリスト表示されます。

4 **目的の漢字を選択し 検索/決定 を押します。**

詳細画面に読みや意味などが表示されます。

音読みや訓読みから漢字を調べる

1 漢字源の条件入力画面で、カーソルを音訓読み欄へ移します。

2 読み（音読み、訓読み）（例：「ねい」と「やすらか」）を入力します。

3 検索/決定 を押します。

条件に合った漢字（候補）がリスト表示されます。

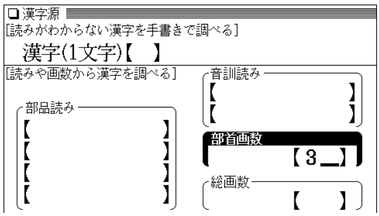
4 目的の漢字を選択し 検索/決定 を押します。

詳細画面が表示されます。

部首画数、総画数で漢字を調べる

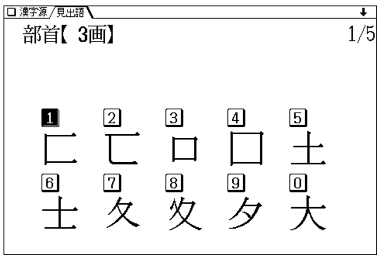
1 漢字源の条件入力画面で、カーソルを部首画数欄へ移します。

2 部首画数を入力します。



3 検索/決定 を押します。

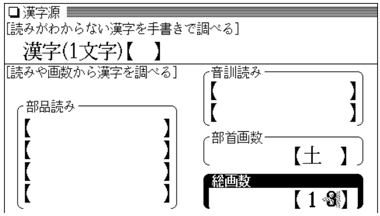
条件に合った部首（候補）がリスト表示されます。



4 目的の部首（例：「土」）を選択し 検索/決定 を押します。

部首画数欄に選択した部首が表示されます。

5 [▼]でカーソルを総画数欄へ移し、総画数を入力します。



6 [検索/決定]を押します。

条件に合った漢字（候補）がリスト表示されます。

7 目的の漢字を選択し[検索/決定]を押します。

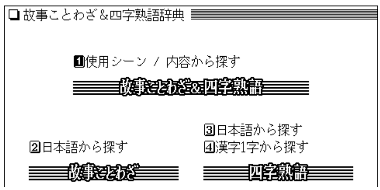
詳細画面が表示されます。

故事ことわざ辞典&四字熟語辞典

使用シーン/内容からことわざなどを探す

1 [メニュー]を押し、「国語系Ｉ」から「故事ことわざ＆四字熟語」を選びます。

故事ことわざ＆四字熟語辞典の選択画面が表示されます。



2「使用シーン／内容から探す」を選び[検索/決定]を押します。

シーンや内容の選択画面が表示されます。

3 調べたいシーンや内容を選び[検索/決定]を押します。

タイトルがリスト表示されます。

4 タイトルを選び[検索/決定]を押します。

故事やことわざなどがリスト表示されます。

5 目的の故事やことわざなどを選び[検索/決定]を押します。

詳細画面に故事やことわざなど、意味などが表示されます。

読みや漢字からことわざなどを探す

1 **故事ことわざ＆四字熟語辞典の選択画面で、故事ことわざの「日本語から探す」または四字熟語の「日本語から探す」を選び 検索/決定 を押します。**

検索の入力画面が表示されます。

2 **日本語入力欄に調べたい言葉（例：「きん」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の故事ことわざなどを選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に故事ことわざ、意味などが表示されます。

漢字１字から四字熟語を探す

102ページの「漢字源」と同様の操作で漢字を探し、その漢字を含む四字熟語を調べることができます。

1 **故事ことわざ＆四字熟語辞典の選択画面で、四字熟語の「漢字1字から探す」を選び、検索/決定 を押します。**

漢字検索の入力画面が表示されます。

2 **漢字を検索する条件を入れます。**

3 **検索/決定 を押します。**

条件に合った漢字（候補）がリスト表示されます。

参考 ● 漢字の探しかたについてくわしくは、102ページをご覧ください。

4 **目的の漢字を選び 検索/決定 を押します。**

四字熟語が表示されます。

5 **目的の四字熟語を選び 検索/決定 を押します。**

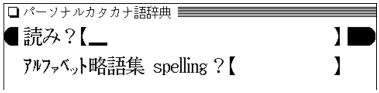
詳細画面に意味や例などが表示されます。

パーソナルカタカナ語辞典

カタカナ語／略語の意味を調べる

カタカナ語（外来語など）や、アルファベット略語の意味などを調べることができます。

1 **メニュー を押し、「国語系Ⅰ」から「パーソナルカタカナ語辞典」を選びます。**



2 **入力欄に調べたい言葉や文字を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び 検索/決定 を押します。**

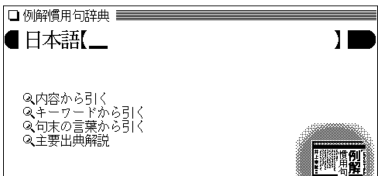
詳細画面が表示されます。

例解慣用句辞典

読みや漢字から慣用句を探す

1 **メニュー を押し、「国語系Ⅰ」から「例解慣用句辞典」を選びます。**

慣用句の検索方法選択画面が表示されます。



2 **日本語入力欄に慣用句の先頭から数文字（例：「あい」）を入れます。**

入れた文字から始まる慣用句がリスト表示されます。

3 **目的の慣用句を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に意味や用例などが表示されます。

内容やキーワードから慣用句を探す

「内容」「キーワード」「句末の言葉」の各分類から慣用句を調べることができます。

慣用句を調べる

1 **検索方法選択画面で、慣用句を引く方法（例：「句末の言葉から引く」）を選び 検索/決定 を押します。**

文字行（あ行、か行などの分類）がリスト表示されます。

2 **末尾の語が含まれる文字行を選び 検索/決定 を押します。**

末尾の語の先頭文字（あ、い、うなどの分類）がリスト表示されます。

3 **末尾の語の先頭文字を選び 検索/決定 を押します。**

末尾の語がリスト表示されます。

4 **末尾の語を選び 検索/決定 を押します。**

慣用句がリスト表示されます。

5 **慣用句を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に意味や用例などが表示されます。

参考
- 「内容から引く」「キーワードから引く」では、分類項目は異なりますが、同様にリストを選んでいって慣用句を表示させます。

主要出典解説を見る

1 **検索方法選択画面で、「主要出典解説」を選び 検索/決定 を押します。**

出典がリスト表示されます。

2 **出典を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面が表示されます。

敬語早わかり辞典

敬語早わかり辞典を見る

1 [メニュー]を押し、「国語系Ⅰ」から「敬語早わかり辞典」を選びます。

章などの選択画面が表示されます。

2 章などを選び[検索/決定]を押します。

章内のタイトルなどがリスト表示されます。

3 タイトルなどを選び[検索/決定]を押します。

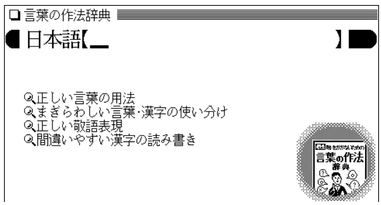
詳細画面に解説などが表示されます。

言葉の作法辞典

間違いやすい言葉を読みや漢字から探す

1 [メニュー]を押し、「国語系Ⅱ」から「言葉の作法辞典」を選びます。

入力／分類選択画面が表示されます。



2 日本語入力欄に調べたい言葉（例：「かね」）を入れます。

入れた文字から始まる用語がリスト表示されます。

3 目的の語を選び[検索/決定]を押します。

詳細画面に用法などが表示されます。

参考 ● 略号などの説明

○	：正しい用法・読み・表記の例文。
×	：誤った用法・読み・表記の例文。
△	：本来は誤用だが、現在は広く使われており、辞書でも容認されているなど、必ずしも誤りとはいえない例文。
▼	：単文や熟語による用例。
参考	：言葉の語源や出典、別の読み方や表記など、説明を補完する参考解説。
●	：常用漢字表外の漢字。
☆	：表記されている訓（読み）が常用漢字表で認められていない字。
◆	：書き換え可能。

分類別に言葉を調べる

「用法」「使い分け」「敬語表現」「漢字の読み書き」の分類（章）ごとに間違いやすい用語を調べることができます。

1 **入力／分類選択画面で、分類（例：正しい言葉の用法）を選び [検索/決定] を押します。**

テーマがリスト表示されます。

2 **テーマを選び [検索/決定] を押します。**

先頭文字による分類リストが表示されます。

3 **文字行などを選び [検索/決定] を押します。**

用語がリスト表示されます。

4 **目的の語を選び [検索/決定] を押します。**

詳細画面が表示されます。

参考 ● **分類別の検索について**

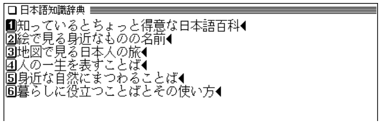
各分類（章）共、同様の操作で検索を行っていきますが、用語が少ない場合などには、手順**3**、手順**4**の先頭文字による分類リストや用語リストが表示されない場合があります。

日本語知識辞典

日本語知識辞典で言葉を調べる

1 **［メニュー］を押し、「国語系Ⅱ」から「日本語知識辞典」を選びます。**

パートがリスト表示されます。



2 **見たいパート（例：「知っているとちょっと得意な日本語百科」）を選び［検索/決定］を押します。**

小テーマがリスト表示されます。

3 **見たいテーマ（例：「ことばの由来」）を選び［検索/決定］を押します。**

項目がリスト表示されます。

4 **見たい項目（例：「挨拶」（あいさつ））を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面が表示されます。

参考

- **日本語知識辞典の検索について**

各パート共、同様の操作で検索を行って見ていきますが、テーマによっては選択画面が一段多くなる場合があります。

- **記号などの説明**

▼用語の解説、誤用の注意など、見出し語に関する情報を必要に応じて示しています。

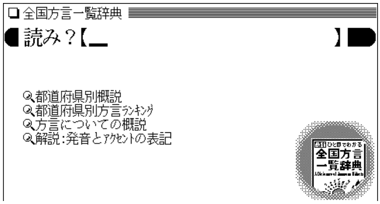
［語源］	見出し語の語源を示しています。
［例］	見出し語の使い方の例を示しています。
［訳］	和歌の現代語訳を示しています。
［慣用表現］	見出し語を用いた慣用表現を示しています。
［出］	見出し語の出典となる書名を示しています。詩文の場合は、作者名と題名を示しました。
［類］	見出し語と類似した意味を持つ語を示しました。
［対］	見出し語と反対の意味を持つ語を示しました。

全国方言一覧辞典

標準的な言葉（読み）から方言を探す

1 [メニュー] を押し、「国語系Ⅱ」から「全国方言一覧辞典」を選びます。

入力／項目選択画面が表示されます。



2 読み入力欄に調べたい言葉（例：「かわいい」）を入れます。

入れた文字から始まる言葉がリスト表示されます。

3 目的の言葉を選び [検索/決定] を押します。

詳細画面に各都道府県での言い方（方言）が表示されます。

4 [▼] や [▽]（[▲]、[△]）で目的の地域を表示させ、方言を確認します。

方言の概説やランキングを見る

都道府県別の概説や方言ランキング、方言についての概説を見ることができます。

1 入力／項目選択画面で、検索方法（例：「都道府県別方言ランキング」）を選び [検索/決定] を押します。

都道府県がリスト表示されます。

2 見たい都道府県を選び [検索/決定] を押します。

方言がランキング順にリスト表示されます。

3 見たい方言を選び [検索/決定] を押します。

詳細画面が表示されます。

4 [▼] や [▽]（[▲]、[△]）で画面を送って見ていきます。

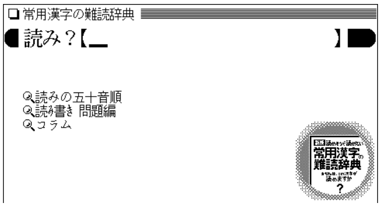
参考
- カ゚キ゚ク゚ケ゚コ゚ や キ゚ャ キ゚ュ キ゚ョ の表記は、ガ ギ グ ゲ ゴ や ギャ ギュ ギョ の鼻音（鼻濁音）を示します。
  アクセントなどの表記については、前ページ手順**1**の画面で「解説：発音とアクセントの表記」を選んで、内容をお読みください。
- **「都道府県別方言ランキング」について**
  ① その地方（都道府県）の代表的な方言を方言番付のようなものをイメージして並べました。これは、地方の居酒屋などにある「方言番付のれん」をイメージしています。
  ② その地方（都道府県）を代表する地域を中心にして選ぶことを原則としましたが、調査者の判断で特定の地域を選んだ地方もあります。しかし、特定の地点ではなく、その地方の広い範囲から方言を選んでいる場合が多いので、読者固有の方言とは異なると感じられることがあるかもしれません。

常用漢字の難読辞典

読めない言葉を一字目の読みから探す

1 **メニュー を押し、「国語系Ⅱ」から「常用漢字の難読辞典」を選びます。**

入力／項目選択画面が表示されます。



2 **読み入力欄に一字目の読み（例：「けん」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

読みの五十音順分類から探す

五十音順に分類されている読みから、目的の語を調べます。

1 **入力／項目選択画面で「読みの五十音順」を選び 検索/決定 を押します。**

五十音を選択する画面が表示されます。

2 **読みの先頭文字を選び 検索/決定 を押します。**

用語がリスト表示されます。

3 **目的の語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

読み書き問題編で、うで試しをする

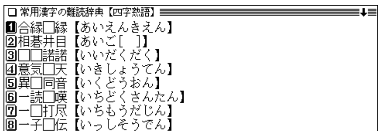
本章で取り上げている四字熟語のうち、前記の方法で検索できないものには、語釈を付してあります。

1 **入力／項目選択画面で「読み書き問題編」を選び 検索/決定 を押します。**

熟語の種類の選択画面が表示されます。

2 **見たい種類（例：「四字熟語」）を選び 検索/決定 を押します。**

□に入る漢字や［　］に入る読みを考えてください。



3 **問題を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に問題や説明、解答が表示されます。

コラムを見る

1 **入力／項目選択画面で、「コラム」を選び 検索/決定 を押します。**

コラムのタイトルがリスト表示されます。

2 **見たいタイトルを選び 検索/決定 を押します。**

コラムの内容が表示されます

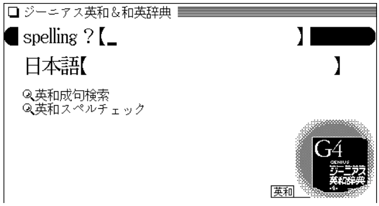
英語系

ジーニアス英和＆和英辞典

スペルから英単語の意味などを調べる

1 **[メニュー] を押し、「英語系 I 」から「ジーニアス英和＆和英辞典」を選びます。**

入力／選択画面が表示されます。



2 **スペル入力欄にスペル（例：「read」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び [検索/決定] を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

参考 • スペル入力中に [切替] を押せば、スペルチェック画面になります。

英和辞典で成句を調べる

3つ以内の単語を入力して、それらの単語をすべて含んだ成句（熟語）を検索することができます。

1 **入力／選択画面で「英和成句検索」を選び [検索/決定] を押します。**

成句検索のスペル入力画面が表示されます。

2 **単語を入れます。**

スペルの入力欄は３枠ありますので、複数の単語を入れるときは [▼] でカーソルを移動させて入れます。

3 **[検索/決定] を押します。**

成句の候補がリスト表示されます。

4 **目的の成句を選び [検索/決定] を押します。**

その成句の訳語などが表示されます。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどにはスペルチェック機能で目的の単語を探すことができます。

1 **入力／選択画面で、「英和スペルチェック」を選び［検索/決定］を押します。**

スペルチェック機能の入力画面が表示されます。

2 **単語のスペル（例：「skate」）を入れます。**

3 **［検索/決定］を押します。**

検索が開始され、入力したスペルと一致した単語、または類似した単語がリスト表示されます。

4 **目的の単語（またはそう思われるもの）を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

参考

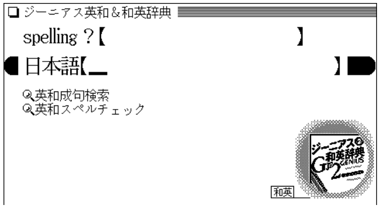
- **スペルチェック機能について**
  - 入力したスペルと同じスペルの単語がある場合は、リスト内の「該当：」欄に表示されます。また、類似した単語がある場合は「候補：」欄に表示されます。
  - 候補は、該当語を含めて最大100件まで検索されます。
- **思った単語がなかなか出てこない**
  - 入力したスペルにより、検索に時間がかかることがあります。
  - 該当語や候補が１件もない場合は「見つかりません」と表示して入力画面に戻ります。スペル（入力したアルファベット）を変更して、再度検索をしてみてください。
- **検索中に目的の単語を見つけたときは**
  - 検索中に［検索/決定］を押すと検索を一時止めることができます。このとき、表示されている候補を選び［検索/決定］を押すと、その意味などを表示させることができます。
    詳細画面で［戻る］を押せば、候補のリスト画面に戻ります。
  - 候補のリスト画面（検索停止中の画面）で［戻る］を押すと、検索を再開します。
  - 中止するときは［戻る］または［クリア］を押します。

注意

- 本製品には、英和辞典、英英辞典、それぞれを用いたスペルチェックがあります。
  それぞれの辞典により収録語・語数が異なるため、同じスペルでチェックを行っても同じ結果が得られない場合があります。

日本語の読みや漢字から英訳を調べる

1 **入力／選択画面で、日本語入力欄へカーソルを移します。**



2 **日本語入力欄に調べたい言葉（例：「きぼう」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

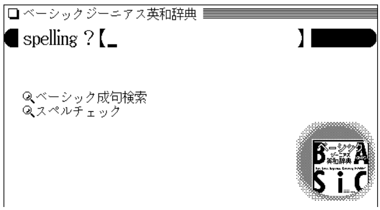
詳細画面に見出し語を意味に持つ単語や解説などが表示されます。

ベーシック ジーニアス英和辞典

スペルから英単語の意味などを調べる

1 **［メニュー］を押し、「英語系Ⅰ」から「ベーシックジーニアス英和辞典」を選びます。**

入力／項目選択画面が表示されます。



2 **スペル入力欄に調べたいスペルを入れます。**

候補が表示されます。

参考 **スペルがはっきりわからないとき**

- スペルを入れたあと［切替］を押すと、スペルチェック機能に切り替わり、スペルチェックができます。（☞次ページ）

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面が表示されます。

ベーシック ジーニアス英和辞典で成句を調べる

3つ以内の単語を入力して、それらの単語をすべて含んだ成句（熟語）を検索することができます。

1 **入力／項目選択画面で、「ベーシック成句検索」を選び** 検索/決定 **を押します。**

成句検索のスペル入力画面が表示されます。
以降は、115ページの「**英和辞典で成句を調べる**」の手順**2**以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

スペルチェック機能を使う

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどにはスペルチェック機能で目的の単語を探すことができます。

1 **入力／項目選択画面で、「スペルチェック」を選び、** 検索/決定 **を押します。**

スペル入力画面が表示されます。
以降は、116ページの「**スペルチェック機能を使う**」の手順**2**以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

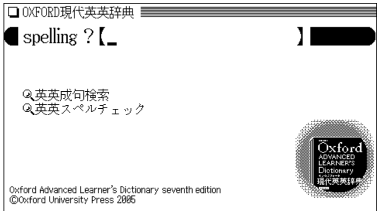
OXFORD現代英英辞典

スペルから単語の意味を調べる

単語のスペルを入れ、その意味（英語表記）を調べます。

1 **メニュー を押し、「英語系Ⅰ」から「OXFORD現代英英辞典」を選びます。**

入力／選択画面が表示されます。



2 **スペル入力欄にスペル（例：「advance」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面が表示されます。

英英辞典で成句を調べる

英和辞典と同様の操作で成句（熟語）を検索することができます。

1 **入力／選択画面で、「英英成句検索」を選び 検索/決定 を押します。**

成句検索のスペル入力画面が表示されます。
以降は115ページの「**英和辞典で成句を調べる**」の手順**2**以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

スペルチェック機能を使う

英和辞典と同様、スペルチェック機能で目的の単語を探すことができます。

1 **入力／選択画面で、「英英スペルチェック」を選び 検索/決定 を押します。**

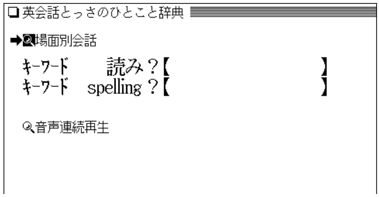
スペル入力画面が表示されます。
以降は、116ページの「**スペルチェック機能を使う**」の手順**2**以降と同様の操作で利用することができますのでご参照ください。

英会話とっさのひとこと辞典

日常生活の中での「とっさのひとこと」を、生活場面ごとに分けて収録した英会話表現集です。収録されている英会話の音声を連続して再生することができます。

場面別に会話文を調べる

会話文を場面別の一覧から調べます。



1 **メニュー を押し、「英語系Ⅰ」から「英会話とっさのひとこと辞典」を選びます。**

入力／選択画面が表示されます。

2 **「場面別会話」を選び 検索/決定 を押します。**

大分類画面が表示されます。

3 **目的の大分類を選び 検索/決定 を押します。**

中分類画面が表示されます。

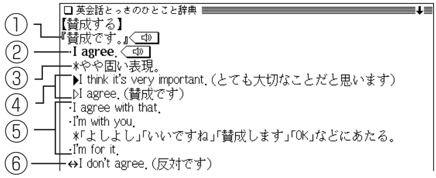
4 **目的の中分類を選び 検索/決定 を押します。**

小分類画面が表示されます。

5 **目的の小分類を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に会話文が表示されます。

参考 ● 詳細画面に表示される説明の構成



① **見出し文**　　　　　：日本語の会話文による見出しです。

② **英語見出し文**　　　：①に対応する英語会話文です。

③ **文・語彙の説明**　　：②のニュアンス・用法・発音・単語や熟語の意味を解説しています。日本人が用いるときに、注意すべきことなども含みます。

④ **会話例**　　　　　　：②を用いた会話例。対話・問答になっているので、どのような場面での会話か、より具体的にわかります。▷が英語見出し文を使った例文です。

⑤ **類似表現**　　　　　：①②とほぼ同じ意味をもつ言い換え表現。ニュアンスの異なるときは、＊や（　）の日本語訳で説明しています。この言い換え表現は、①②とまったく同じ意味とはかぎりませんので注意してください。同じような場面で用いたときに、ほぼ同じ内容を表現できるものです。

⑥ **反意文**（↔で示す）：①②の文とほぼ対をなす表現です。
　 応答表現（→で示す）：①もしくは⑤に答えるときの決まった表現です。

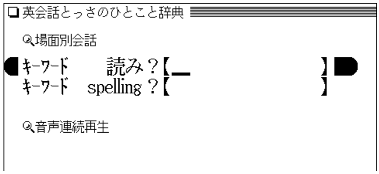
キーワードの読みまたはスペルから探す

会話文に含まれるキーワードから探します。

注意 ● コラムの内容は検索しません。

1 **入力／選択画面で入力欄へカーソルを移します。**

読みで探すときは読み入力欄へ、スペルで探すときはスペル入力欄へカーソルを移します。



2 **入力欄に調べたい語（例：「あす」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び [検索/決定] を押します。**

詳細画面に会話例が表示されます。

会話文の中の音声を連続して再生する

1 **入力／選択画面で、「音声連続再生」を選び [検索/決定] を押します。**

2 **120ページの手順3～5と同様の操作で詳細画面を表示させます。**

3 **[◁)) 訳] を押します。**

先頭の [◁))] が反転し音声再生が始まります。

参考
- 表示されているデータ内の [◁))] で示される音声データが順番に再生されます。このとき、再生中の音声データの [◁))] が反転します。
  [◁))] が隠れているときは、自動的に画面を送って表示させ、再生します。
- 再生を途中で止めるときは [戻る] を押します。
- 再生中止後、[◁)) 訳] を押すと画面に表示されている先頭の [◁))] で示される音声データから再生されます。
- しおりや単語帳には、場面別やキーワードから調べた会話文と、音声連続再生で調べた会話文は、別のデータとして登録されます。
  音声連続再生で登録された会話文は、しおりや単語帳のリスト画面で、タイトルの前に“[連続]”と表示されます。

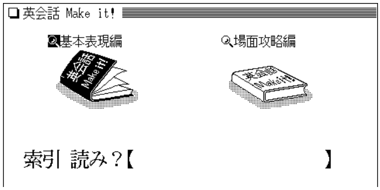
英会話Make it!

日常生活でよく使う基本表現を調べる

日常生活で必要な基本表現を調べることができます。

1 **メニュー を押し、「英語系Ｉ」から「英会話Make it!」を選びます。**

入力／選択画面が表示されます。



2 **「基本表現編」を選び 検索/決定 を押します。**

基本表現編のもくじ画面が表示されます。

3 **調べたいカテゴリーを選び 検索/決定 を押します。**

選んだカテゴリー内の項目選択画面が表示されます。

4 **目的の項目を選び 検索/決定 を押します。**

会話文例や解説・注意点などが表示されます。

さまざまな場面や状況での表現を調べる

さまざまな場面や状況での応用表現を調べることができます。

1 **入力／選択画面で、「場面攻略編」を選び 検索/決定 を押します。**

場面攻略編のもくじ画面が表示されます。

2 **カテゴリーを選び 検索/決定 を押します。**

選んだカテゴリー内の詳細選択画面が表示されます。

3 **目的の項目を選び 検索/決定 を押します。**

会話文例や解説・注意点などが表示されます。

キーワードで英会話の決まり文句を調べる

英会話の例文や解説を、キーワードの「読み」を入力して調べることができます。

1 **入力／選択画面で索引読みの入力欄へカーソルを移します。**

2 **入力欄に調べたい語（例：「りょうきん」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

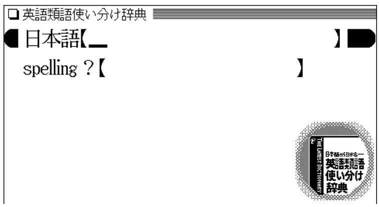
詳細画面に例文や解説が表示されます。

英語類語使い分け辞典

日本語や英語スペルから類語を調べる

1 **［メニュー］を押し、「英語系Ｉ」から「英語類語使い分け辞典」を選びます。**

スペルで探すときはスペル入力欄へカーソルを移します。



2 **入力欄に調べたい語（例：「いう」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面に使い分け例などが表示されます。

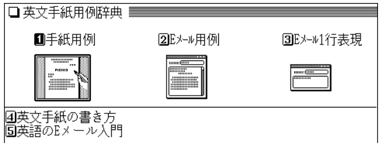
英文手紙用例辞典

英文手紙の用例を見る

書きたい英文手紙に近い用例を探し、置き換え表現や応用的な文などを調べます。

1 **メニュー を押し、「英語系 I 」から「英文手紙用例辞典」を選びます。**

選択画面が表示されます。



2 **「手紙用例」を選び 検索/決定 を押します。**

分類項目がリスト表示されます。

3 **項目を選び 検索/決定 を押します。**

選んだ項目内のタイトルリスト画面が表示されます。

4 **タイトルを選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に例文や訳文などが表示されます。

参考
- **用例の見かた**

用例は次の項目に分類して収録されています。

◆例文　英語の手紙文です。例文の中で【　】で囲まれた語句は、後ろに用意されている置き換え用の語句と置き換えて、置き換え練習ができます。
なお、【　】の前に(1)、(2)などの番号が記されている場合は、対応する番号の置き換え用語句と置き換えます。

◆訳文　例文の日本語訳です。訳文の中の【　】で囲まれた語句は、例文で【　】部分を置き換えたとき、対応する日本語語句に置き換える語句を示します。

◆語句　例文の語句注です。

【置き換え】
例文の【　】で囲まれた部分と置き換えて練習する語句です。

□**応用**　手紙文と同じテーマの別の文や発展的な表現を示しています。（収録されていない場合もあります。）

Eメール用例集・1行表現集を見る

1 **選択画面で「Eメール用例」または「Eメール1行表現」を選び、[検索/決定]を押します。**

件名（用件）または分類名のリスト画面が表示されます。

2 **見たい件名または分類名を選び[検索/決定]を押します。**

詳細画面に例文などが表示されます。

英文手紙の書き方・Eメール入門を見る

1 **選択画面で「英文手紙の書き方」または「英語のEメール入門」を選び、[検索/決定]を押します。**

タイトルのリスト画面が表示されます。

2 **見たいタイトルを選び[検索/決定]を押します。**

詳細画面に内容が表示されます。

参考
- 「英文手紙の書き方」では、小タイトルのリスト画面が表示されますので、小タイトルを選び[検索/決定]を押してください。

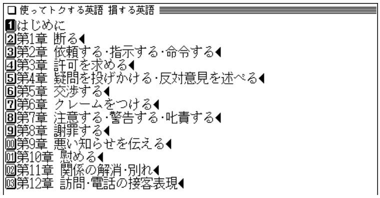
注意
- 本辞典の例文その他に使用されている会社名、製品名、人名、住所などは架空のものです。

使ってトクする英語 損する英語

英語で No を言い、英語で賛意を示し、英語で依頼や交渉をする。このような場合のネイティブ流の流儀やノウハウ、表現などをわかりやすい解説を交えてまとめました。

ネイティブ流の表現・解説を見る

1 **メニュー を押し、「英語系Ⅰ」から「使ってトクする英語 損する英語」を選びます。**



2 **見たい章を選び 検索/決定 を押します。**

大見出しがリスト表示されます。

3 **見たい大見出しを選び 検索/決定 を押します。**

小見出しがリスト表示されます。

4 **見たい小見出しを選び 検索/決定 を押します。**

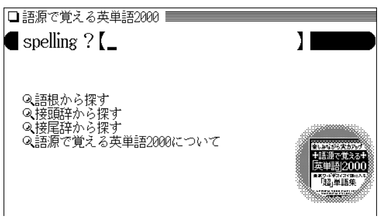
詳細画面に解説などが表示されます。

語源で覚える「英単語」2000

スペルから英単語を探す

1 **メニュー を押し、「英語系Ⅱ」から「語源で覚える「英単語」」を選びます。**

入力／選択画面が表示されます。



2 **スペル入力欄に調べたいスペル（例：「effect」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に意味や語源などが表示されます。

参考 ● 見出し語の前に ＊ マークが付く語は重要語、⁑ マークが付く語は最重要語です。

同じ語根の英単語を探す

1 **入力／選択画面で、「語根から探す」を選び 検索/決定 を押します。**

語根の分類（範囲）選択画面が表示されます。

2 **目的の語根が含まれる範囲を選び 検索/決定 を押します。**

語根がリスト（一覧）表示されます。

3 **目的の語根を選び 検索/決定 を押します。**

選んだ語根の語がリスト（一覧）表示されます。

4 **目的の語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面が表示されます。

接頭辞／接尾辞から探す

1 **入力／選択画面で、「接頭辞から探す」または「接尾辞から探す」を選び、検索/決定 を押します。**

語源の分類（範囲）選択画面が表示されます。以降は、「同じ語根の英単語を探す」の手順**2**以降と同様の操作ですので参照ください。

参考 ● 本コンテンツでは「語根」で扱った単語が「接頭辞」または「接尾辞」でも出てくることがあります。知識の定着と、語源の知識をさらに応用できるようにするため、135個の単語に関しては敢えて複数収録しています。

コンテンツ／機能説明編

英語系

「語源で覚える英単語2000について」を見る

1 入力／選択画面で、「語源で覚える英単語2000について」を選び、［検索/決定］を押します。

詳細画面に内容が表示されます。

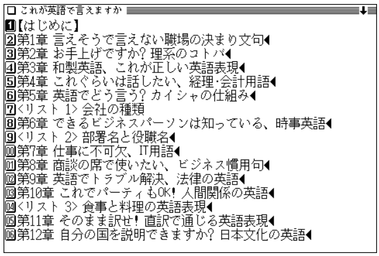
2 ［∨］、［∧］や［▼］、［▲］で画面を送りながら内容を読んでいきます。

これが英語で言えますか

言えそうで言えない言葉を調べる

テーマ別に分類されている言葉をリスト（一覧）から選んで調べます。

1 ［メニュー］を押し、「英語系Ⅱ」から「これが英語で言えますか」を選びます。



2 目的の言葉が収録されていると思われるテーマを選び［検索/決定］を押します。

言葉のリスト画面が表示されます。

参考
- 上記リスト画面で、後ろに◀マークがないテーマを選んだときは言葉のリスト画面は表示されず、詳細画面が表示されます。

3 目的の言葉を選び［検索/決定］を押します。

詳細画面に例文や訳文などが表示されます。

理科&社会

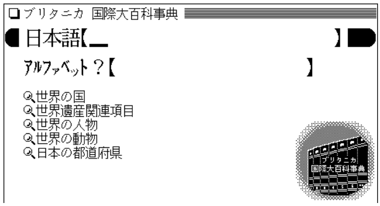
ブリタニカ国際大百科事典

言葉を入力して検索する

日本語やアルファベットを入れて探すことができます。

1 **メニュー を押し、「理科&社会」から「ブリタニカ国際大百科事典」を選びます。**

入力／選択画面が表示されます。



2 **▼、▲で入力欄を選び、調べたい語（例：「あかね」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面が表示されます。

分類から調べる

「世界の国」や「世界遺産関連項目」などの分類から調べます。

1 **入力／選択画面で、大分類項目を選び 検索/決定 を押します。**

地域や種類など、中分類の選択画面が表示されます。

2 **目的の中分類、小分類、名称などを選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面が表示されます。

本製品に収録しているブリタニカ国際大百科事典Quick Search Versionは、当社に版権を許諾いただいたデータを電子辞書用に編集して収録したもので、CD-ROM版ブリタニカ国際大百科事典Quick Search Versionと比較して、イラスト・図表の収録数は少なくなっております。

生物事典

生物用語の意味を調べる

1 メニュー を押し、「理科＆社会」から「生物事典」を選びます。

2 日本語入力欄に調べたい言葉を入れます。

候補が表示されます。

3 目的の語を選び 検索/決定 を押します。

詳細画面が表示されます。

化学小事典／物理小事典

関連する用語の意味を調べる

1 メニュー を押し、「理科＆社会」から「化学小事典」または「物理小事典」を選びます。

2 日本語入力欄に調べたい言葉を入れます。

候補が表示されます。

3 目的の語を選び 検索/決定 を押します。

詳細画面が表示されます。

日本史事典／世界史事典

史実を関連する用語から調べる

1 メニュー を押し、「理科＆社会」から「日本史事典」または「世界史事典」を選びます。

2 日本語入力欄に調べたい言葉を入れます。

候補が表示されます。

3 目的の語を選び 検索/決定 を押します。

詳細画面が表示されます。

学習（国語）

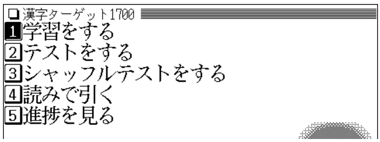
漢字ターゲット1700

「漢字ターゲット1700」の詳細画面に表示される48ドット漢字（大きい漢字）は教科書などで使用される字形に合わせています。
本製品の他の辞書などで使用されている漢字の字形は、JISの漢字表に準拠しており、「漢字ターゲット1700」や一般の辞典などに採用されている字形と異なることがあります。
漢字の学習には、漢字ターゲット1700の字形により学習ください。

漢字の読み書きを学習する

1 **［メニュー］を押し、「学習（国語）Ｉ」から「漢字ターゲット」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。

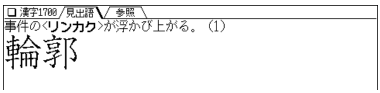


2 **「学習をする」を選び［検索/決定］を押します。**

学習の分類画面が表示されます。

参考 ● 「**つづきから学習をしますか？**」と表示されたときは、［Y］を押すと前回の続きから学習できます。ここでは［N］を押して新規に学習します。

3 **手順2と同様に選択画面で項目を選んでいき、学習内容を表示させます。**



4 **“参照”タブなどが表示されているときは、［切替］でタブを切り替えます。**

参照内容などが表示されます。

5 **［機能］［次見出］（［▽］）または［▶］で次の漢字を表示させます。**

参考
- この操作は、分類やグループの区切りにかかわりなく、データを順番に送って表示します。
- **参照内容について**
  参照内容には、難語句の意味のほか、次の記号で示す**発展・参考事項**を収録しています。
  (**対**)……対義語・対照語　(**類**)……類義語
  (**語**)……よく使われる語例　(**注**)……注意事項

漢字のテストをする

漢字または**読み**を隠してテストすることができます。

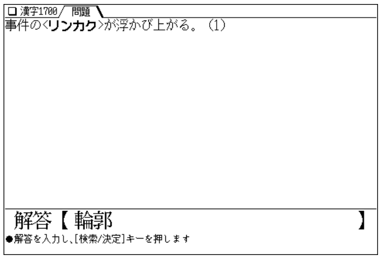
1 機能選択画面で「テストをする」を選び［検索/決定］を押します。
「テストをする」の範囲選択画面が表示されます。

参考
- 「**つづきからテストをしますか？**」と表示されたときは、［Y］を押すと前回の続きからテストできます。ここでは［N］を押して新規にテストします。

2 テストをする範囲を選び［検索/決定］を押します。
問題の分類画面が表示されます。

3 同様に選択画面で項目を選んでいき、問題を表示させます。

4 答え（例：「輪郭」）を入力します。
- 漢字は手書きで入力してください。



5 ［検索/決定］を押して正誤を確認します。
答えの正誤が一時表示され、解答・解説画面が表示されます。

6 ［検索/決定］を押して次の問題を表示させます。

参考
- テストの途中で［戻る］または［クリア］を押すと中断確認画面が表示され、［Y］を押すと前の選択画面または機能選択画面に戻ります。

進捗を確認する

1 機能選択画面で「進捗を見る」を選び［検索/決定］を押します。

進捗状況の確認画面が表示されます。

シャッフルテストで腕試しをする

「漢字のテストをする」のテスト問題の順番をランダムに並べ替えて出題します。選んだ分類（範囲）に問題が20問以上ある場合は、ランダムに20問が出題されます。

1 機能選択画面で「シャッフルテストをする」を選び［検索/決定］を押します。

シャッフルテストのテスト選択画面が表示されます。

2 選択画面で項目を選んでいって、問題を表示させます。

参考
- 「すべての範囲から…」や「この単元すべての範囲から…」などを選んだときは、その画面に表示されている全グループの中から20問出題されます。

3 前ページの「漢字のテストをする」と同様の操作で、問題に解答していきます。

最後の問題に解答すると正解数が一時表示された後、シャッフルテストの選択画面に戻ります。

参考
- シャッフルテストの結果は、「進捗を見る」のグラフには反映されません。

読みから漢字を調べる

漢字の「書き方」に収録されている漢字を、読みを入力して調べることができます。

1 機能選択画面で「読みで引く」を選び［検索/決定］を押します。

「読みで引く」の入力画面が表示されます。

2 読み入力欄に調べたい言葉（例：「おんけん」）を入れます。

候補が表示されます。

3 目的の語を選び［検索/決定］を押します。

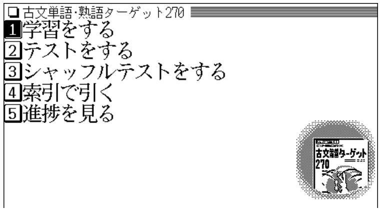
詳細画面が表示されます。

古文単語・熟語ターゲット270

古文の単語・熟語を学習する

1 **メニュー を押し､「学習(国語) I 」から「古文単語・熟語ターゲット」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



2 **以降、133ページと同様の操作で表示させ、学習していきます。**

単語・熟語や例文のテストをする

単語・熟語の意味や**例文の語句**を隠してテストすることができます。

単語・熟語のテストをする

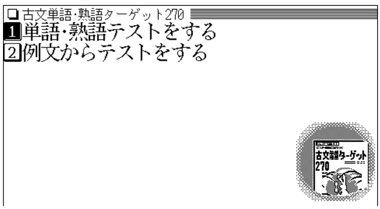
1 **機能選択画面で「テストをする」を選び 検索/決定 を押します。**

「テストをする」の範囲選択画面が表示されます。

参考 ●「**つづきからテストをしますか？**」と表示されたときは、 Y を押すと前回の続きからテストできます。ここでは N を押して新規にテストします。

2 **テストをする範囲を選び 検索/決定 を押します。**

問題の分類画面が表示されます。



3 **「単語・熟語テストをする」を選び 検索/決定 を押します。**

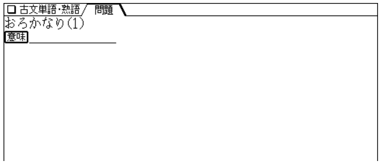
章の選択画面が表示されます。

参考 ● 正解率が100%の章には「全問正解！」が表示されます。

4 **章を選び［検索/決定］を押します。**

単語・熟語のテスト画面が表示されます。

隠れた部分（下線部分）の意味を考えてください。



5 **［検索/決定］を押して正解を表示させます。**

6 **考えた答えが正解のときは［Y］、不正解のときは［N］を押します。**

次の問題が表示されます。

参考 ● テストの途中で［戻る］または［クリア］を押すと中断確認画面が表示され、［Y］を押すと前の選択画面または機能選択画面に戻ります。

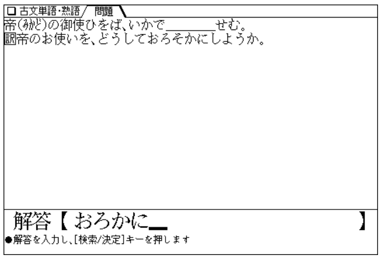
例文のテストをする

1 **前ページと同様の操作で、問題の分類画面を表示させ、「例文からテストをする」を選び［検索/決定］を押します。**

章の選択画面が表示されます。

2 **以降、134ページの手順３以降と同様の手順で解答していきます。**

- 隠れた部分（下線部分）に入る言葉を解答欄に入れます。



シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

単語・熟語を読みなどから調べる

1 **機能選択画面で「索引で引く」を選び［検索/決定］を押します。**

索引検索の入力画面が表示されます。

2 **日本語入力欄に調べたい言葉（例：「こと」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面が表示されます。

漢字検定に挑戦！

漢字検定に合格するためのトレーニングができます。
2級～ 5級の各級別に問題を解いていくと、出題終了後、成績が表示されます。その後、個々の問題の答えを確認することができます。

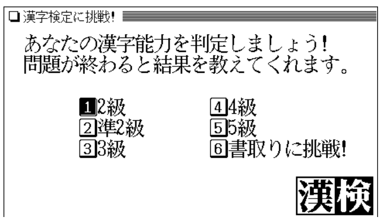
漢字検定の書き取り問題や空欄に漢字を入れる問題を本コンテンツでは択一問題に置き換えています。
一部の書き取り問題は手書き入力パッドに手書きして漢字を入力します。
本製品では、正確に書かなくても候補から目的の漢字を選ぶことができる場合がありますが、実際の漢字検定では、漢字を楷書で丁寧に書いてください。
本機能は、模擬試験を行うものではありません。

「書き取りに挑戦！」は
漢字の書き取りの練習をすることができる機能です。
１回に５問の書き取り問題が出題されますので、手書きパッドに漢字を書いて解答します。

トレーニングをする

1 **メニュー を押し、「学習（国語）Ⅰ」から「漢字検定に挑戦！」を選びます。**

漢字検定の級選択画面が表示されます。



2 **挑戦する「級」または「書取りに挑戦！」を選び 検索/決定 を押します。**

準備待ちの画面が表示されます。

3 **準備ができたら 検索/決定 を押します。**

問題が表示されます。

4 **解答欄に解答を入力します。**

5 **［検索/決定］を押します。**

次の問題が表示されます。

6 **手順４～５の操作で同レベルの問題にすべて解答します。**

成績が表示されます。

7 **［検索/決定］を押します。**

解答の正誤一覧が表示されます。

8 **［検索/決定］を押します。**

解答が表示されます。

9 **以降、［機能］［▽］（次見出）または［▶］と押していくと、出題順に解答が表示されます。最後の問題が表示された後、［検索/決定］を押すと級選択画面に戻ります。**

参考
- 手順3以降の各画面で［戻る］を押すと終了確認画面が表示されますので、終了するときは［Y］を押してください。

読めそうで読めない漢字・もっと読めそうで読めない漢字

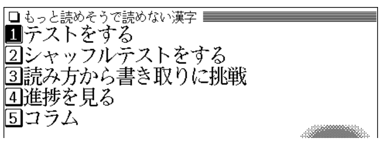
「読めそうで読めない漢字」、「もっと読めそうで読めない漢字」で、楽しみながら漢字力をアップさせましょう。
ここでは「もっと読めそうで読めない漢字」で説明します。
「読めそうで読めない漢字」も同様の操作で利用できます。

読みや漢字のテストをする

読みまたは漢字のテストです。

1 **［メニュー］を押し、「学習（国語）Ⅰ」から「もっと読めそうで読めない漢字」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



2 **以降、134ページの「漢字のテストをする」と同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。**

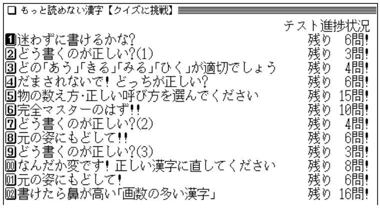
クイズに挑戦する

注意 ●「読めそうで読めない漢字」には「クイズに挑戦」はありません。

答えを入力する問題

1「テストをする」を選び、範囲を選んで分類（章）選択画面で、「クイズに挑戦」を選び［検索/決定］を押します。

タイトル選択画面が表示されます。



2 タイトル（例：「迷わずに書けるかな？」）を選び［検索/決定］を押します。

問題が表示されます。

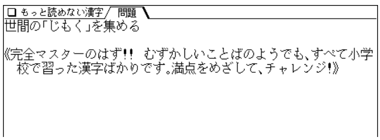
3 以降、134ページの「漢字のテストをする」と同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。なお、択一問題は手書きパッドの数字ボタンまたは数字キーで解答を入力してください。

参考 ●「シャッフルテストをする」にも「クイズに挑戦」があります。

漢字を考える問題

1 上記のタイトル選択画面でタイトル（例：「完全マスターのはず！！」）を選び［検索/決定］を押します。

問題が表示されます。



2「　」内の読み（または漢字）の正しい漢字を考え、紙などに書きます。

3［検索/決定］を押して正解を表示させます。

解答・解説の画面が表示されます。

4 考えた答えが正解のときは［Y］、不正解のときは［N］を押します。

次の問題が表示されます。

進捗を確認する

1 **機能選択画面で「進捗を見る」を選び［検索/決定］を押します。**

進捗状況の確認画面が表示されます。

シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

漢字の書き取りに挑戦する

- プレビュー表示を「切」にして行ってください。

1 **機能選択画面で「読み方から書き取りに挑戦」を選び、［検索/決定］を押します。**

読みの入力画面が表示されます。

2 **読みを入れます。**

入力した文字を先頭に持つことばからはじまるリストが表示されます。

3 **表示されたことばの漢字を紙などに書いてください。**

4 **書いたことばを選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面に漢字とその読み、意味が表示されます。紙に書いた漢字が正しいか確認してください。

参考
- ［機能］［∨］(次見出)、［機能］［∧］(前見出)または、［▶］［◀］で次や前の漢字が表示できます。

コラムを見る

1 **機能選択画面で「コラム」を選び［検索/決定］を押します。**

タイトルの選択画面が表示されます。

2 **見たいタイトルを選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面が表示されます。

やっぱり読めそうで読めない漢字

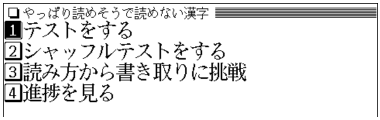
「**読めそうで読めない漢字・もっと読めそうで読めない漢字**」と同様の操作でご利用いただけます。

読みや漢字のテストをする

しりとりのようにつながっている漢字や諺に出てくる漢字などを読んでいきます。

1 **［メニュー］を押し、「学習（国語Ⅰ）」から「やっぱり読めそうで読めない漢字」を選びます**

機能選択画面が表示されます。



2 **以降、134ページの「漢字のテストをする」と同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。**

- 「**漢字でしりとり編**」では、選んだ範囲の漢字がしりとりの一組になります。

クイズに挑戦する

1 **141ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。**

- 「**漢字のクロスワード**」では、右のような問題が表示されます。□内に入る上下左右の文字を組み合わせると、熟語（熟字）になる漢字を考え、「**漢字を考える問題**」と同様の操作で解答します。

　透
証□快
　朗

シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

漢字の書き取りに挑戦する

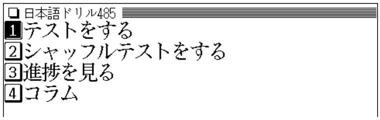
前ページの「**漢字の書き取りに挑戦する**」と同様の操作で、書き取りに挑戦します。

日本語ドリル 485

日本語ドリルで知識を確認する

1 **メニュー を押し、「学習（国語）Ⅰ」から「日本語ドリル485」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



2 **以降、134ページの「漢字のテストをする」と同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。**

クイズ・パズルに挑戦する

1 **141ページの「クイズに挑戦する」と同様の操作でクイズ・パズルの問題を表示させ、解答していきます。**

問題には **「漢字を考える問題」「択一式の問題」「読みなどを答える問題」** がありますので、134ページ等を参照して解答してください。

シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

コラムを見る

1 **機能選択画面で「コラム」を選び 検索/決定 を押します。**

コラムの範囲（番号）選択画面が表示されます。

2 **範囲を選び 検索/決定 を押します。**

コラムのタイトル選択画面が表示されます。

3 **タイトルを選び 検索/決定 を押します。**

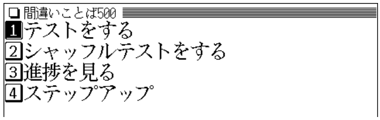
詳細画面が表示されます。

間違いことば 500

日本語力をテストする

1 **メニュー を押し、「学習（国語）Ⅰ」から「間違いことば500」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



2 **以降、134ページの「漢字のテストをする」と同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。**

（134ページ参照）

熟語パズル/クイズに挑戦！

1 **141ページの「クイズに挑戦する」と同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。**

シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

ステップアップ（コラム）を見る

1 **機能選択画面で、「ステップアップ」を選び 検索/決定 を押します。**

コラムの範囲（番号）選択画面が表示されます。

2 **範囲（番号）を選び 検索/決定 を押します。**

コラムのタイトル選択画面が表示されます。

3 **タイトルを選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面が表示されます。

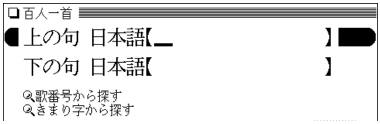
百人一首

上の句、下の句から歌を探す

上の句または下の句の先頭の数文字から歌を探します。

1 **［メニュー］を押し、「学習（国語）Ⅱ」から「百人一首」を選びます。**

入力／選択画面が表示されます。



2 **上の句または下の句の入力欄へ、句の先頭の数文字を入れます。**

候補の上の句または下の句が表示されます。

3 **候補を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面に和歌および歌の意味、解説などが表示されます。

参考
- 各歌には音声が収録されており（🔊）マークで示しています。音声は、上の句、下の句を連続して再生します。上の句だけ、下の句だけの再生は行えません。

歌番号から歌を探す

1 ～ 100まで付けられている歌番号で探します。

1 **入力／選択画面で、「歌番号から探す」を選び［検索/決定］を押します。**

番号の範囲選択画面が表示されます。

2 **番号の範囲を選び［検索/決定］を押します。**

歌がリスト表示されます。

3 **歌を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面に和歌などが表示されます。

きまり字から歌を探す

1 **入力／選択画面で、「きまり字から探す」を選び 検索/決定 を押します。**

きまり字数の選択画面が表示されます。

2 **何字ぎまりかを選び 検索/決定 を押します。**

きまり字がリスト表示されます。

3 **きまり字を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面に、きまり字から始まる歌が表示されます。

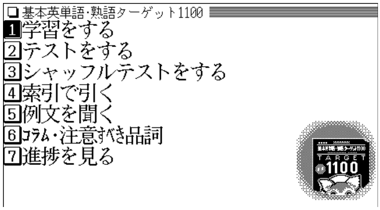
学習（英語）

基本英単語・熟語ターゲット1100

英単語・熟語を学習する

1 **メニュー を押し、「学習（英語）Ⅰ」から「基本英単語・熟語ターゲット」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



2 **以降、133ページと同様の操作で表示させ、学習していきます。**

英単語・熟語や例文のテストをする

「英単語・熟語を学習する」で調べた**英単語・熟語の意味**などを隠してテストすることができます。

1 **上記の機能選択画面から、136ページと同様の手順でテストの問題を表示させ、解答していきます。**

- 「**例文からテストをする**」では、右のような問題が表示されます。下線の部分に入る言葉を解答欄に入れます。複数の単語を入れるときはスペースで区切ります。

シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

コンテンツ／機能説明編
学習（英語）

索引のスペルから英単語・熟語を調べる

1 **機能選択画面で「索引で引く」を選び［検索/決定］を押します。**

索引検索のスペル入力画面が表示されます。

2 **スペル入力欄に調べたい言葉（例：「amount」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面が表示されます。

参考 ● ［機能］［∨］または［▶］を押すと、アルファベット順で入力したスペルの次の英単語・熟語の詳細画面が表示されます。

例文の音声を聞いて学習する

1 **機能選択画面で「例文を聞く」を選び［検索/決定］を押します。**

「例文を聞く」のグループ選択画面が表示されます。

2 **グループを選び［検索/決定］を押します。**

分類選択画面が表示されます。

3 **分類を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面が表示されます。このとき、例文は隠されて、［◁］マークが反転表示しています。

4 **［検索/決定］を押します。**

例文の音声が再生されます。（［◁］マークの反転が戻ります。）
例文およびその訳を考えてください。

5 **［検索/決定］を押します。**

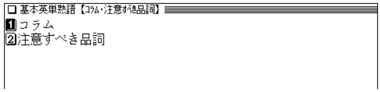
答え（例文とその訳）が表示されます。

6 **［検索/決定］を押します。**

次の例文の画面が表示されます。

コラムや注意すべき品詞の内容を見る

1 **機能選択画面で「コラム・注意すべき品詞」を選び［検索/決定］を押します。**



グループ選択画面が表示されます。

2 **グループを選び［検索/決定］を押します。**

分類（タイトル）選択画面が表示されます。

3 **分類を選び［検索/決定］を押します。**

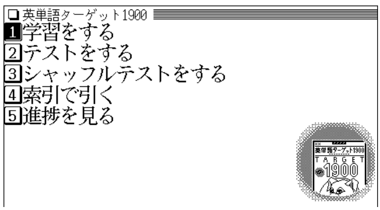
詳細画面が表示されます。

英単語ターゲット1900

英単語を学習する

3グループに分けられた英単語の意味や例文を学習します。

1 **［メニュー］を押し、「学習（英語）Ⅰ」から「英単語ターゲット」を選びます。**



機能選択画面が表示されます。

2 **以降、133ページと同様の操作で表示させ、学習していきます。**

英単語や例文のテストをする

「英単語を学習する」で調べた**英単語の意味**や**例文の語句**を隠して表示させ、テストすることができます。
136ページの「**単語・熟語や例文のテストをする**」と同様の操作でテストを行います。

シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

スペルから英単語を調べる

1 **機能選択画面で「索引で引く」を選び［検索/決定］を押します。**

索引検索のスペル入力画面が表示されます。

2 **スペル入力欄に調べたい言葉（例：「abandon」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面が表示されます。

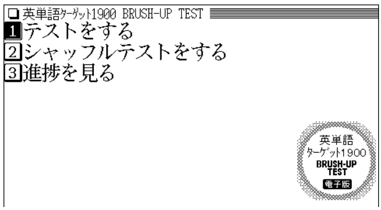
英単語ターゲット1900 BRUSH-UP TEST

英単語をテストする

3グループに分けられた英単語のテストをします。

1 **［メニュー］を押し、「学習（英語）Ⅰ」から「英単語ターゲット BRUSH-UP」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



2 **以降、134ページと同様の手順で問題を表示させ、解答していきます。**

シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

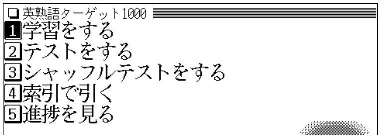
英熟語ターゲット1000

英熟語を学習する

4つの章に分けられた英熟語の意味や例文を学習します。

1 **[メニュー]を押し、「学習（英語）Ⅰ」から「英熟語ターゲット」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



2 **以降、133ページと同様の操作で表示させ、学習していきます。**

英熟語や例文のテストをする

「英熟語を学習する」で調べた**英熟語の意味**や例文の語句を隠して表示させ、テストすることができます。
134ページの「漢字のテストをする」と同様の操作でテストを行います。

シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

英熟語を調べる

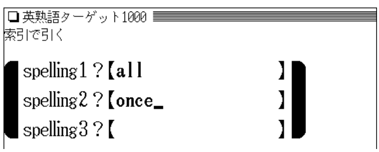
英単語のスペルを入力し、その語が含まれる英熟語を調べます。英単語は3つまで入力でき、それらの英単語をすべて含んだ英熟語を検索することができます。

1 **機能選択画面で「索引で引く」を選び[検索/決定]を押します。**

索引検索のスペル入力画面が表示されます。

2 **英単語を入れます。**

- 複数の単語を入れるときは[▼]、[▲]でカーソルを移します。



3 検索/決定 **を押します。**

入力した単語が含まれた英熟語の候補がリスト表示されます。

4 **目的の熟語を選び** 検索/決定 **を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

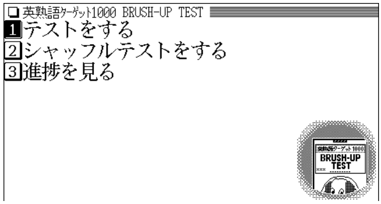
英熟語ターゲット1000 BRUSH-UP TEST

英熟語をテストする

4つの章に分けられた英熟語のテストをします。

1 メニュー **を押し、「学習（英語）Ⅰ」から「英熟語ターゲット BRUSH-UP」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



2 **以降、134ページと同様の手順で問題を表示させ、解答していきます。**

シャッフルテストで腕試しをする

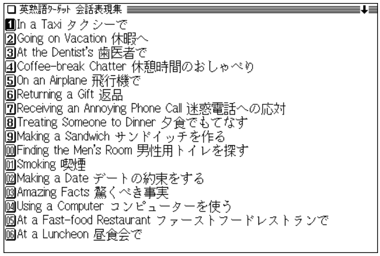
135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

英熟語ターゲット1000会話表現集

会話表現集を見る、会話文を聞く

全34シーンで会話表現を学習します。

1 [メニュー]を押し、「学習（英語）Ⅰ」から「熟語ターゲット会話表現集」を選びます。

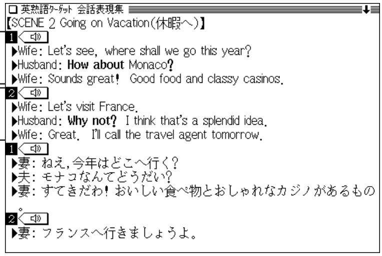


2 シーンを選び [検索/決定] を押します。

会話文が表示されます。

英会話文 1
音声再生（☞59ページ）

英会話文 2
音声再生（☞59ページ）

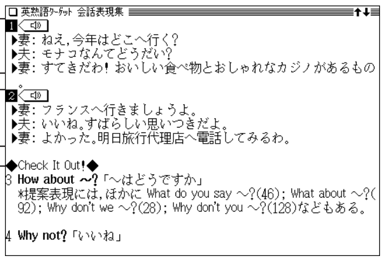


3 [▽]、[△]や[▼]、[▲]で画面を送りながら内容を読んでいきます。

英会話文 1 の日本語訳
（音声は英会話文 1 ）

英会話文 2 の日本語訳
（音声は英会話文 2 ）

重要表現収録のタイトル



英語リスニング スタート編

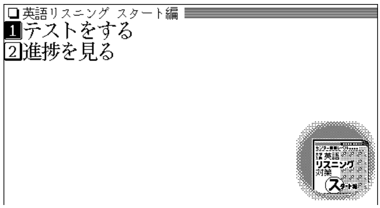
使いかた概要

本コンテンツではリスニング力のトレーニングができます。
問題を表示させると画面右下に音声マーク(　)が表示されます。
音声キーを押すとマークが白黒反転(　)して対話式の音声が再生されます(再生が終わるとマークは通常表示に戻ります)。音声を聞いた後、問いに対する答えを選択肢から選び 検索/決定 を押します。
本コンテンツの構成を157ページに掲載していますので参考にしてください。

テストをする

1 **メニュー を押し、「学習(英語)Ⅰ」から「英語リスニング対策 スタート編」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



2 **「テストをする」を選び 検索/決定 を押します。**

「テストをする」の範囲選択画面が表示されます。

参考
- 「つづきからテストをしますか?」と表示されたときは、 Y を押すと前回の続きからテストできます。ここでは N を押して新規にテストします。

3 **同様に選択画面で項目を選んでいき、問題を表示させます。**

学習目的や学習のしかたについての解説が表示されます。

4 **検索/決定 を押します。**

テスト(Getting the Point)の案内が表示されます。

5 **切替 でタブを切り替え、問題を表示させます。**

6 **音声キーを押して音声を聞きます。**

音声(対話)が再生されます。音声を聞き、対話が成り立つような返答を考えてください。

7 **[▽]（または[▼]）で答えの選択肢をすべて表示させ、対話が成り立つ文を選択肢の中から選んで、番号を入れます。**

8 **[検索/決定]を押します。**

正誤が判定され、解答と解説が表示されます。

参考
- [切替]で日本語訳を表示させることができます。
- [切替]でタブを切り替えて問題文を表示させると[🔈読]で音声を再生させることもできます。
- 問題のパターンには、上記のように一問解答すると正解と解説が表示されるものと、連続して数問解答した後に、正解と解答が表示されるものがあります。

9 **[検索/決定]を押します。**

次の問いが表示されます。手順6以降と同様の操作で答えていきます。

Getting the Point の問題が終わるとLet' s give it a try!のテストの案内が表示されます。
手順5以降と同様の操作で、問いに答えていきます。

参考
- テストの途中で[戻る]または[クリア]を押すと中断確認画面が表示され、[Y]を押すと前の選択画面または機能選択画面に戻ります。
- **進捗を見るときは**
  機能選択画面で「進捗を見る」を選び[検索/決定]を押します。
  進捗を消去するときは[機能][後退]（削除）と押し、画面に従って操作します。

コンテンツ構成

Part 1 基本演習	Level 1	Getting the Point		No.1 ～ No.5
		Let’s give it a try		No.1 ～ No.20
	Level 2	Getting the Point		No.1 ～ No.5
		Let’s give it a try		No.1 ～ No.20
	Level 3	Getting the Point		No.1 ～ No.5
		Let’s give it a try		No.1 ～ No.20
Part 2 応用演習	第1問	Let’s give it a try	Level 1	No.1 ～ No.6
			Level 2	No.1 ～ No.6
			Level 3	No.1 ～ No.6
	第2問	Let’s give it a try	Level 1	No.1 ～ No.7
			Level 2	No.1 ～ No.7
			Level 3	No.1 ～ No.7
	第3問A	Let’s give it a try	Level 1	No.1 ～ No.3
			Level 2	No.1 ～ No.3
			Level 3	No.1 ～ No.3
	第3問B	Let’s give it a try	Level 1	No.1 ～ No.3
			Level 2	No.1 ～ No.3※
			Level 3	No.1 ～ No.3
	第4問A	Let’s give it a try	Level 1	No.1 ～ No.3
			Level 2	No.1 ～ No.3
			Level 3	No.1 ～ No.3
	第4問B	Let’s give it a try	Level 1	No.1 ～ No.3
			Level 2	No.1 ～ No.3
			Level 3	No.1 ～ No.3
Part 3 実戦演習	TEST 1	第1問		問1 ～問6
		第2問		問7 ～問13
		第3問A		問14～問16
		第3問B		問17～問19
		第4問A		問20～問22
		第4問B		問23～問25
	TEST 2	第1問		問1 ～問6
		第2問		問7 ～問13
		第3問A		問14～問16
		第3問B		問17～問19
		第4問A		問20～問22
		第4問B		問23～問25

※各問題は基本的に選択肢が表示され、その中から答えを選びますが、Part 2の第3問B-Level 2では、問題を表示している画面に選択肢は表示されず、問題文画面に表示される絵の番号を選びます。
問題画面と問題文画面は［/切替］で切り替えて表示させることができます。

傾向と対策　英語リスニング

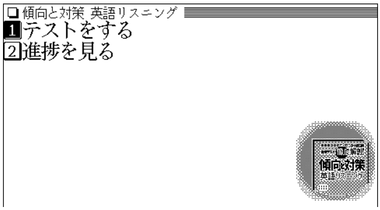
使いかた概要

本コンテンツはセンター試験のリスニング対策に適した問題集です。
問題を表示させると画面右下に音声マーク(◁))が表示されます。
◁)話 を押すとマークが白黒反転(◀))して対話式の音声が再生されます（再生が終わるとマークは通常表示に戻ります）。音声を聞いた後、問いに対する答えを選択肢から選び 検索/決定 を押します。
解答すると正誤が表示された後、問題の解説が表示されます。

テストをする

1 **メニュー を押し、「学習（英語）Ⅰ」から「傾向と対策 英語リスニング」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



2 **「テストをする」を選び 検索/決定 を押します。**

「テストをする」の範囲選択画面が表示されます。

参考 ●「**つづきからテストをしますか？**」と表示されたときは、Y を押すと前回の続きからテストできます。ここでは N を押して新規にテストします。

3 **同様に選択画面で項目を選んでいき、問題を表示させます。**

問題（大問）選択画面が表示されます。

4 **大問を選び 検索/決定 を押します。**

問題文が表示されます。

5 **切替 を押します。**

問題（小問）が表示されます。

6 **◁)話 を押して音声を聞きます。**

音声(対話）が再生されます。音声をよく聞き内容を把握します。

7 **表示されている問題の答えを選択肢の中から選んで、番号を入れます。**

8 [検索/決定]を押します。

答えの正誤が一時表示され、解答と解説が表示されます。

参考
- [切替]で日本語訳を表示させることができます。
- [切替]で問題文を表示させているときは、[🔈読]で音声を再生させることもできます。

9 [検索/決定]を押します。

次の問題が表示されます。手順6以降と同様の操作で答えていきます。
小問がすべて終わると、次の大問の問題文が表示されます。
手順5以降と同様の操作で小問に答えていきます。

参考
- テストの途中で[戻る]または[クリア]を押すと中断確認画面が表示され、[Y]を押すと前の選択画面または機能選択画面に戻ります。
- **進捗を見るときは**
  機能選択画面で「進捗を見る」を選び[検索/決定]を押します。
  進捗を消去するときは[機能][後退](削除)と押し、画面に従って操作します。

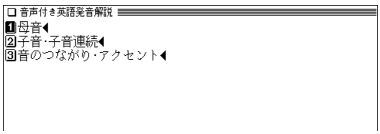
音声付き英語発音解説

母音や子音、音のつながりなどの発音の解説と、アメリカ発音、イギリス発音の発音例を収録しています。(一部除く)

発音解説を見て、発音例を聞く

1 [メニュー]を押し、「学習(英語)Ⅱ」から「音声付き英語発音解説」を選びます。

選択画面が表示されます。



2 分類を選び[検索/決定]を押します。

発音記号等選択画面が表示されます。

3 発音記号等、見たい項目を選び[検索/決定]を押します。

詳細画面に解説などが表示されます。

参考 ● 詳細画面で［🔈発声］を押し、［▼］、［▶］などで＜🔈］を反転させて［検索/決定］を押すと、下部に掲載の語を発音します（音声再生：☞59ページ）。
「アメリカ発音」の後ろの ＜🔈］ を反転させているときはアメリカ発音を、「イギリス発音」の後ろの ＜🔈］ を反転させているときはイギリス発音を聞くことができます。（ただし、一方の音声しか収録されていない場合もあります。

音声付き英会話

場面別、機能別に分類された会話文を見て、発音を聞きます。

会話文を見て、発音を聞く

1 **［メニュー］を押し、「学習（英語）Ⅱ」から「音声付き英会話」を選びます。**

分類選択画面が表示されます。

2 **分類を選び［検索/決定］を押します。**

場面選択画面が表示されます。

3 **場面または機能を選び［検索/決定］を押します。**

会話例選択画面が表示されます。

4 **会話例を選び［検索/決定］を押します。**

会話例が表示されます。

英語長文講義（初級/中級/上級）

※ここでは、初級コースを例に説明します。中級、上級コースにおいても同様の操作でご使用いただけます。

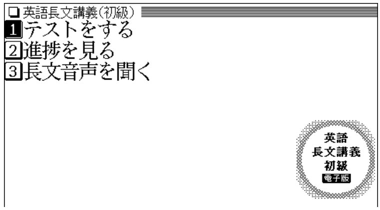
長文問題のテストをする

英語長文問題を解いて、速く正確に読む力を養います。

1 **[メニュー]を押し、「学習（英語）Ⅱ」から「英語長文講義 初級」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。

- 中級、上級コースを選ぶときは「**英語長文講義 中級**」または「**英語長文講義 上級**」を選びます。



2 **「テストをする」を選び[検索/決定]を押します。**

問題（大問）の選択画面が表示されます。

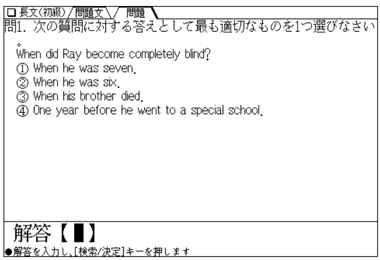
参考 ●「**つづきからテストをしますか？**」と表示されたときは、[Y]を押すと前回の続きからテストできます。ここでは[N]を押して新規にテストします。

3 **問題を選び[検索/決定]を押します。**

問題文が表示されます。

4 **問題文を読んだ後[切替]でタブを切り替え、問題（小問）を表示させます。**

5 **答え（例：「1」）を解答欄に入れます。**



参考 ● [切替]で問題と問題文を交互に表示させることができます。

6 検索/決定 を押します。

答えの正誤が一時表示され、次の問題（小問）が表示されます。

7 同様に、問題に解答していきます。

すべての小問に解答すると正解・解説画面が表示されます。

参考
- ∨、∧ や ▼、▲ で画面を送りながら内容を読んでいきます。
  各問題の解説の後、各パラグラフの読み取りの解説も収録されています。

8 検索/決定 を押すと、次の問題（大問）の問題文が表示されます。

参考
- テストの途中で 戻る または クリア を押すと中断確認画面が表示され、Y を押すと前の選択画面または機能選択画面に戻ります。
- **進捗を見るときは**
  機能選択画面で「進捗を見る」を選び 検索/決定 を押します。
  進捗を消去するときは 機能 後退（削除）と押し、画面に従って操作します。

長文音声を聞く

問題文を音声で聞くことができます。

1 機能選択画面で「長文音声を聞く」を選び 検索/決定 を押します。

問題（大問）の選択画面が表示されます。

2 問題を選び 検索/決定 を押します。

音声再生画面（全文再生画面）が表示されます。問題文内の文章ごとに、◁ マークが表示されます。

3 ◁ 読 を押すと、問題文の音声が再生されていきます。

再生が終わると ◁ マークの反転表示が解除されます。

4 ◁ マークが反転していないとき 検索/決定 を押すと次の問題文の音声再生画面が表示されます。

コンテンツ／機能説明編　学習（英語）

参考
- 表示されているデータ内の [音声アイコン] で示される音声データが順番に再生されます。このとき、再生中の音声データの [音声アイコン] が反転します。
  [音声アイコン] が隠れているときは、自動的に画面を送って表示させ、再生します。
- 再生を途中で止めるときは [戻る] を押します。
- 再生中止後、[音声・訳] を押すと画面に表示されている先頭の [音声アイコン] で示される音声データから再生されます。

CAT方式　英検語彙力判定テスト

英検の全級に共通の出題形式で、合否に大きく関わる大問１を使って、語彙力の判定をします。結果は、英検の各級レベル※で表示されます。
※英検語彙力判定テストの級判定は、（株）教育測定研究所のデータと判定方式を使用しております。

CAT（Computerized Adaptive Testing）：コンピュータによる個人適応型テストのことです。解答する人の解答の正解・不正解により、次の出題の難易度を調整し、最後に到達した難易度レベルで能力判定を行います。その解答者の能力に合った問題を選んで提示するため、比較的少ない出題数で精度の高い能力推定値を算出することができます。

英検語彙力判定テストをする

1 **[メニュー] を押し、「学習（英語）Ⅱ」から「英検語彙力判定テスト」を選びます。**

レベル選択画面が表示されます。

2 **以降、139ページの「トレーニングをする」と同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。**

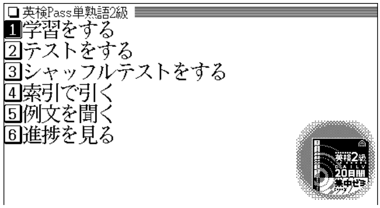
英検Pass単熟語2級/英検Pass単熟語準2級

英単語・熟語を学習する

英単語や熟語の意味や例文を表示させて学習します。

1 **［メニュー］を押し、「学習（英語）Ⅱ」から「英検Pass単熟語2級」または「英検Pass単熟語準2級」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



2 **以降、133ページと同様の操作で表示させ、学習していきます。**

語句や例文のテストをする

単語・熟語の意味や**例文の語句**を隠してテストします。
136ページの「**単語・熟語や例文のテストをする**」と同様の操作でテストを行います。

シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

単語・熟語をスペルから調べる

1 **機能選択画面で「索引で引く」を選び［検索/決定］を押します。**

索引検索のスペル入力画面が表示されます。

2 **スペル入力欄に調べたい言葉（例：「info」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面に意味などが表示されます。

参考
- ［機能］［∨］または［▶］を押すとアルファベット順で、入力したスペルの次の単語・熟語の詳細画面が表示されます。

コンテンツ／機能説明編
学習（英語）

例文を音声で聞く

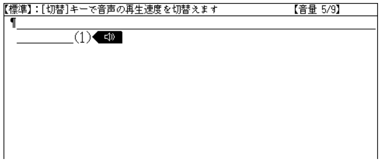
収録されている熟語の例文を音声で聞くことができます。

1 **機能選択画面で「例文を聞く」を選び［検索/決定］を押します。**

「例文を聞く」の編選択画面が表示されます。

2 **同様に選択画面で項目を選んでいきます。**

詳細画面が表示されます。このとき、例文は隠されて、［音声］マークが反転表示しています。



3 **［検索/決定］を押します。**

例文が音声で読み上げられます。
その後、［音声］マークの反転が解除されます。

4 **［検索/決定］を押します。**

例文が表示されます。

5 **［検索/決定］で次の例文を表示させます。**

参考
- 一度聞いた例文をもう一度聞く場合は［音声/読］で［音声］マークを反転表示させ、［検索/決定］を押します。

山口英文法講義　問題演習

受験生から熱烈な支持を受けている『英文法講義の実況中継（上・下）』の問題演習版です。過去の入試問題や出題傾向を踏まえた問題に丁寧かつ明快な解説を加えています。

テストをする

品詞などに分類した問題を解いていくことで英文法を学習していきます。

1 **［メニュー］を押し、「学習（英語）Ⅲ」から「山口英文法 問題演習」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。

2 **以降、134ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。**

- 解答は、選択肢の中から１つを選ぶ（数字を入力する）もの、英単語などを入力するもの、ご自身で考えて正解を確認して合っているかどうかを判断するものなどがあります。

TOEIC® テストの英文法

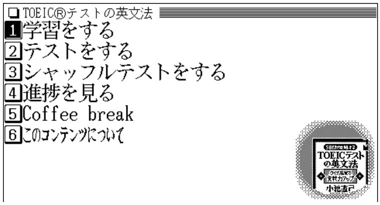
本コンテンツでは、TOEIC®試験で重要な英文法の例題を、5つのレベルに分けて収録しています。また、意外な文法の知識を「Coffee break」として参照できるようにしています。

- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This (publication/product) is not endorsed or approved by ETS.

問題を解きながら英文法を学習する

1 **［メニュー］を押し、「学習（英語）Ⅲ」から「TOEIC®テストの英文法」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。



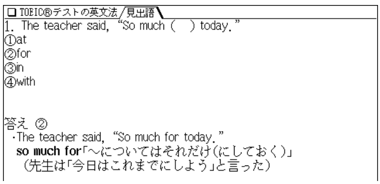
2 **「学習をする」を選び［検索/決定］を押します。**

学習の分類画面が表示されます。

参考 ●「つづきから学習をしますか？」と表示されたときは、［Y］を押すと前回の続きから学習できます。ここでは［N］を押して新規に学習します。

3 **手順2と同様の操作で、選択画面で項目を選んでいき、学習内容を表示させます。**

4 **問題を解き、答えや訳文などを確認します。**



5 **［機能］［▽］（次見出）または［▶］で次の内容を表示させて学習します。**

学習した内容をテストする

134ページの「漢字のテストをする」と同様の操作でテストを行います。

シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

文法の知識を見る（Coffee break）

1 **機能選択画面で「Coffee break」を選び [検索/決定] を押します。**

項目選択画面が表示されます。

2 **見たい項目を選び [検索/決定] を押します。**

項目の詳細な内容が表示されます。

3 **[∨]、[∧] や [▼]、[▲] で画面を送りながら、内容を読んでいきます。**

「このコンテンツについて」を見る

TOEICの商標に関する記載や、このコンテンツの構成などの説明が収録されています。

1 **機能選択画面で「このコンテンツについて」を選び [検索/決定] を押します。**

項目選択画面が表示されます。

2 **見たい項目を選び [検索/決定] を押します。**

詳細画面が表示されます。

学習（その他）

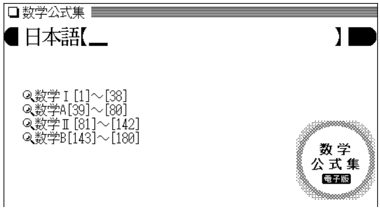
数学公式集

数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの4科目から重要公式180をとりあげ、公式の導き方、使い方、注意、参考、覚え方など幅広く解説しています。

数学用語から公式を探す

1 **［メニュー］を押し､｢学習（その他）｣から「数学公式集」を選びます。**

入力／項目選択画面が表示されます。



2 **入力欄に探したい用語（例：「よげん」）を入れます。**

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面が表示されます。

4 **［▽］、［△］や［▼］、［▲］で画面を送りながら内容を読んでいきます。**

参考
- 重要度を★の数で表示しています。数が多いほど重要な公式です。ただし、数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの範囲を越えるものや、やや程度の高いものについては表示していません。
- タイトル（公式名）の前に［113］などの番号（連番）をつけています。解説などで、［97］などの番号が記載されている場合は、その番号の公式を示していますので、参照してください。

科目などの分類から公式を探す

1 **入力／項目選択画面で、目的の科目を選び［検索/決定］を押します。**

計算の種類選択画面が表示されます。

2 **目的の計算種類を選び［検索/決定］を押します。**

公式名などがリスト表示されます。

3 **目的の公式名を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面が表示されます。

4 **▽、△や▼、▲で画面を送りながら内容を読んでいきます。**

世界史年代暗記ターゲット315・日本史年代暗記ターゲット312

収録されている年代のゴロあわせや年代の解説を表示させて学習することができます。
また、年代などを隠してテストすることもできます。

- **ここでは世界史を用いて説明しますが、日本史の場合も同様の操作でご使用いただけます。**

世界史／日本史を学習する

1 **メニュー を押し、「学習（その他）」から「世界史年代暗記ターゲット」を選びます。**

機能選択画面が表示されます。

参考
- 日本史を学習するときは、「学習（その他）」から「日本史年代暗記ターゲット」を選びます。

2 **以降、133ページと同様の操作で表示させ、学習していきます。**

年代のテストをする

年代などを隠して表示させ、テストすることができます。
134ページの「漢字のテストをする」と同様の操作でテストを行います。

シャッフルテストで腕試しをする

135ページと同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。

年代順リストで調べる

収録されている出来事を、年代順のリストから調べることができます。

1 **機能選択画面で「年代で引く」を選び 検索/決定 を押します。**

年代順のリスト画面が表示されます。

2 **目的の年を選び 検索/決定 を押します。**

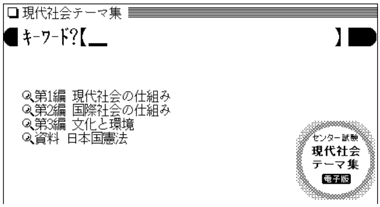
詳細画面が表示されます。

現代社会テーマ集

キーワードに関連する内容を探す

1 **メニュー を押し、「学習（その他）」から「現代社会テーマ集」を選びます。**

入力／項目選択画面が表示されます。



2 **入力欄に調べたいキーワード（例：「どくせん」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び 検索/決定 を押します。**

詳細画面が表示されます。

分類からテーマを探す

各テーマは編および章の中に分類されており、順番に選択していきます。
「資料　日本国憲法」は章、条に分類されており、順番に選択していきます。

1 **入力／項目選択画面で、目的のテーマに関係する編を選び 検索/決定 を押します。**

章の選択画面が表示されます。

2 **目的のテーマに関係する章を選び［検索/決定］を押します。**

テーマの選択画面が表示されます。

3 **目的のテーマを選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面が表示され、説明などが表示されます。

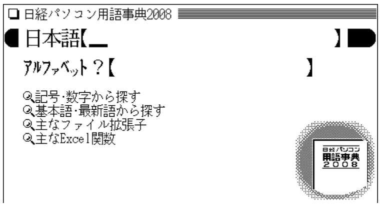
参考
- 各テーマの重要度を★の数で示しています。
  ★……一般的　★★……重要　★★★……最重要

日経パソコン用語事典2008

言葉を探して意味を調べる

1 **［メニュー］を押し、「学習（その他）」から「日経パソコン用語事典2008」を選びます。**

入力／選択画面が表示されます。



2 **入力欄へ調べたい語（例：「パケット」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面に説明が表示されます。

参考
- 数字や記号などを入れることはできません。数字や記号から始まる語は「記号・数字から探す」で探してください。
  途中に数字や記号がある場合は、その前までの文字を入れ、表示されている候補の中から選んでください。

分類から用語を探す

記号や数字から始まる用語、基本語、最新語など、用語の分類から探します。また、ファイル拡張子やExcel関数を調べることができます。

1 **入力／選択画面で、分類（例：「基本語・最新語から探す」）を選び、［検索/決定］を押します。**

検索範囲の選択画面が表示されます。

2 **目的の語の先頭文字が含まれる範囲を選び［検索/決定］を押します。**

用語が一覧表示されます。

3 **目的の語を選び、［検索/決定］を押します。**

詳細画面が表示されます。

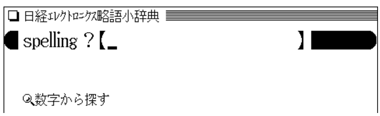
参考
- 見出し語の前に 基本 または 最新 マークが表示されている場合は、それぞれ基本語、最新語を示します。両方のマークが表示される場合もあります。また、見出し語の前に Vista または Office と表示されている場合は、Windows Vista または Microsoft Officeに関する用語を示しています。

日経エレクトロニクス略語小辞典

アルファベットで探す

1 **［メニュー］を押し、「学習（その他）」から「NE略語小辞典」を選びます。**

入力／選択画面が表示されます。



2 **スペル入力欄へ調べたい語（例：「EL」）を入れます。**

候補が表示されます。

3 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

詳細画面に略語の意味などが表示されます。

参考
- **スペルの入力について**
  スペルの入力欄に記号や数字などを入れることはできません。数字から始まる語は「数字から探す」で探してください。
  途中に数字や記号などがある場合は、その前までの文字を入れ、表示されている候補の中から選んでください。
  なお、μは「MICRO」と入れて検索してください。

数字から始まる用語を探す

1 **入力／選択画面で、「数字から探す」を選び［検索/決定］を押します。**

数字から始まる用語がリスト表示されます。

2 **目的の語を選び［検索/決定］を押します。**

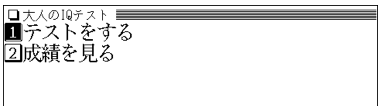
詳細画面に略語の意味などが表示されます。

大人のIQテスト

参考 ● 図形については、ドット表示のため、印刷物とは異なることがあります。

IQテストで脳をレベルアップ

1 **［メニュー］を押し、「学習（その他）」から「大人のIQテスト」を選びます。**



機能選択画面が表示されます。

2 **以降、134ページの「漢字のテストをする」と同様の操作で問題を表示させ、解答していきます。**

7カ国会話

わがまま歩き旅行会話

この製品には次の旅行会話集が収録されています。
わがまま歩き旅行会話

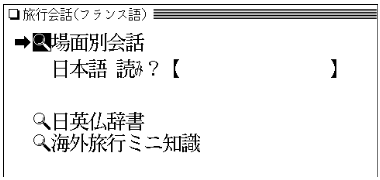
英語 スペイン語＋英語 中国語＋英語	イタリア語＋英語 ドイツ語＋英語	フランス語＋英語 韓国語＋英語

※ **以降の操作説明では、フランス語を例に説明します。**なお、「韓国語」には韓英日辞書、「中国語」には中英日辞書があり、韓国語（ハングル）、または中国語（漢字）を手書き入力して調べることができます（☞177ページ）。

場面から会話文を調べる

1 **[メニュー]を押し、「7ヵ国会話」から「旅行会話 フランス語」を選び[検索/決定]を押します。**

入力／選択画面が表示されます。



2 **「場面別会話」を選び[検索/決定]を押します。**

場面別もくじ画面が表示されます。

3 **もくじを選び[検索/決定]を押します。**

場面選択画面が表示されます。

4 **場面を選び[検索/決定]を押します。**

会話集の画面が表示され、会話文が表示されます。

5 **[▽]、[△]などで目的の会話文を表示させます。**

6 **画面の上部に[関連語]タブが表示されているときは、[切替]で関連語を見ることができます。**

参考 ● 英語、韓国語、中国語以外では単語が名詞の場合、後ろに (m)、(f) などの記号が付されています。これは、その名詞の性を表します。

(m)＝男性形　(f)＝女性形　(n)＝中性名詞　(pl)＝複数形

語尾変化をする場合には、女性形の語尾とルビを[ ]内に表記してあります。また、男性形、女性形で語尾変化をする形容詞の場合、( )内に女性形の語尾とルビを付けてあります。

キーワードから会話文を調べる

読み（ひらがな）を入れてキーワードとなる語を探し、キーワードに関する会話文を探します。

1 キーワード入力欄に調べたい語（例：「わいん」）を入れます。

入力した読みを先頭に持つ語、または並び順でそれ以降の語が表示されます。

2 キーワードを選び 検索/決定 を押します。

キーワードに関連する会話文が表示されます。

辞書機能で単語を調べる

各国語には辞書機能があり、日本語（単語）に対応する各国語の単語などを調べることができます。

1 入力／選択画面で「日英仏辞書」を選び 検索/決定 を押します。

入力画面が表示されます。

2 言葉の読み（例：「ふくつう」）を入れます。

入力した読みを先頭に持つ語、または並び順でそれ以降の語が表示されます。

3 目的の語を選び 検索/決定 を押します。

対訳語が表示されます。

旅行に役立つ「ミニ知識」を見る

旅行をする際に、知っていると便利なこと、気をつけておきたいことなどをまとめています。

1 入力／選択画面で、「海外旅行ミニ知識」を選び［検索/決定］を押します。

タイトル画面が表示されます。

2 見たいタイトルを選び［検索/決定］を押します。

内容が表示されます。

韓国語辞書で言葉を調べる

ここでは、韓国語を例に説明します。中国語の「中英日辞書」も同様の操作で利用できます。

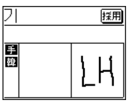
1 ［メニュー］を押し、「7ヵ国会話」から「旅行会話 韓国語」を選び［検索/決定］を押します。

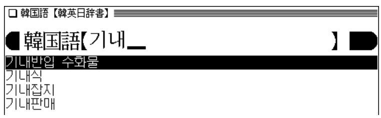
入力／選択画面が表示されます。

2 「韓英日辞書」を選び［検索/決定］を押します。

韓英日辞典の韓国語入力画面が表示されます。

3 手書きでハングル文字を書き、入力します。





候補の語が表示されます。

4 目的の語を選び［検索/決定］を押します。

対訳語が表示されます。

トラベル英会話

場面／行動から旅行会話文を探す

場面から探す場合も、行動から探す場合も、操作方法はだいたい同じですので、下記の例を参照してください。

1 **[メニュー]を押し、「7ヵ国会話」から「トラベル英会話」を選びます。**
検索方法選択画面が表示されます。

2 **検索する方法を選び[検索/決定]を押します。**
検索内容の選択画面が表示されます。

3 **検索する内容を選び[検索/決定]を押します。**
関連項目の選択画面が表示されます。

4 **関連項目を選び[検索/決定]を押します。**
会話集の画面が表示され、会話文が表示されます。

5 **[▽]、[△]などで目的の会話文を表示させます。**

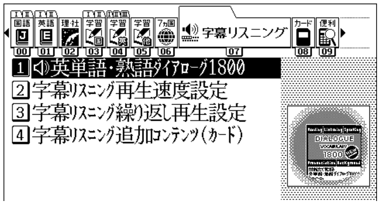
字幕リスニング再生

本製品には、会話文を音声で読み上げながら、画面にその文章を表示させていく、字幕リスニング機能があります。字幕リスニング機能対応コンテンツとして「英単語・熟語ダイアローグ1800」を本体に収録しています。

字幕リスニング再生をする

1 **[メニュー]を押し、「字幕リスニング」を選びます。**

字幕リスニングのメニュー画面が表示されます。



2 **「英単語・熟語ダイアローグ1800」を選び、[検索/決定]を押します。**

再生方法の選択画面が表示されます。

前回のファイルを再生：前回再生していると濃く表示され、選択するとそのファイルを再生します。

目次を表示：分類（フォルダ）、項目（ファイル）を選んでいって再生させます。

3 **ここでは「目次を表示」を選び、[検索/決定]を押します。**

分類（フォルダ）の選択画面が表示されます。

4 **分類（フォルダ）を選び、[検索/決定]を押します。**

項目（ファイル）が表示されます。

5 **再生したい項目（ファイル）を選び、[検索/決定]を押します。**

選んだ項目（ファイル）が再生されます。

参考

- 反転表示している箇所が、音声出力され、1文単位で反転していきます。
- 再生中に再生速度を切り替えるときは、手書きパッドに表示されるボタンにタッチするか、[切替]を押します。
  82ページの方法で切り替えることもできます。

再生の操作

次のキーで再生時の操作をします。詳しくはMP3プレーヤーの操作（☞191ページ）を参照ください。

△：再生中のデータ（ファイル）の先頭へ戻って再生します。

▽：同じフォルダ内で並びが次のデータを再生します。

◀：再生中のデータを少し（約10秒分）戻って再生します。

▶：再生中のデータを少し（約10秒分）送って再生します。

▲：再生中のデータ（ファイル）内で、一文前に戻ります。ただし、文の再生開始から3秒を超えているときは、再度その文の先頭から再生します。

▼：再生中のデータ（ファイル）内で、一文次へ進みます。

戻る：再生を中止して、前の画面に戻ります。

検索/決定：再生の一時停止、解除を交互に行います。

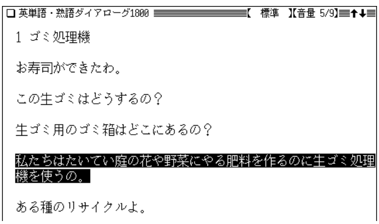
注意
- 再生中はオートパワーオフ機能が働きません。電池が消耗しますので、再生状態のままで放置しないでください。

表示する言語を切り替える

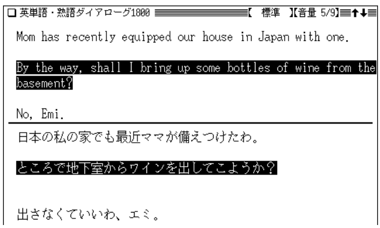
1 **コンテンツ再生中に、手書きパットの 英語 や 同時表示 などをタッチします。**

タッチした表示画面に切り替わります。

日本語表示画面



英語・日本語同時表示画面

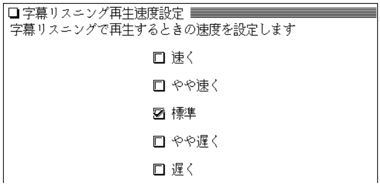


再生速度を設定する

字幕リスニングの再生速度を設定することができます。

1 字幕リスニングのメニュー画面で「字幕リスニング再生速度設定」を選び、［検索/決定］を押します。

再生速度設定画面が表示されます。



2 "✔" を設定したい項目へ移し［検索/決定］を押します。

再生速度が設定され、字幕リスニングのメニューに戻ります。

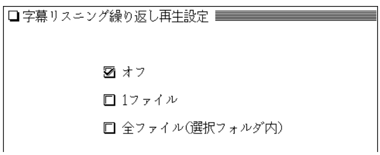
繰り返し再生を設定する

次の繰り返し再生を設定することができます。

オフ	：繰り返し再生を行いません。 再生を開始したフォルダ内のデータをリストで表示された順番に、最後まで再生して終了します。
1ファイル	：再生を開始したデータ（ファイル）を繰り返し再生します。
全ファイル （選択フォルダ内）	：再生を開始したフォルダ内のデータをリストで表示された順番に繰り返し再生します。

1 字幕リスニングのメニュー画面で「字幕リスニング繰り返し再生設定」を選び、［検索/決定］を押します。

繰り返し設定画面が表示されます。



2 "✔" を設定したい項目へ移し［検索/決定］を押します。

選択した繰り返し再生が設定され、字幕リスニングのメニューに戻ります。

追加コンテンツについて

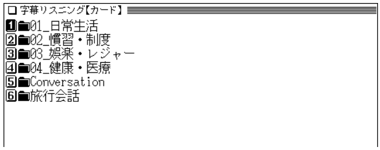
本体に内蔵している「英単語・熟語ダイアローグ1800」のほかに、字幕リスニングに対応したコンテンツをSDメモリーカードで追加して利用することができます。

カード内のコンテンツを再生する

1 **［メニュー］を押してメインメニュー画面にし、字幕リスニングデータが入ったSDメモリーカードを取り付けます。**

2 **メインメニューで「字幕リスニング」を選びます。**

3 **字幕リスニングのメニュー画面で「字幕リスニング追加コンテンツ（カード）」を選び、［検索/決定］を押します。**



フォルダやデータ（ファイル）がリスト表示されます。

4 **フォルダが表示された場合はフォルダを選んでから、再生したいデータ（ファイル）を選び［検索/決定］を押します。**

字幕リスニングデータの再生が開始されます。

カードの使いかた

この電子辞書には、カードスロットが１基、設けられています。
カードスロットには、別売のコンテンツカードを取り付けることができ（本書では、**カード**と記載します）、辞書などのコンテンツを追加することができます。また、市販のSDメモリーカードに字幕リスニング用データやMP3形式の音声データを入れて再生することができます。

SDメモリーカード：Secure Digital memory card

カードの取り付けかた／取り外しかた

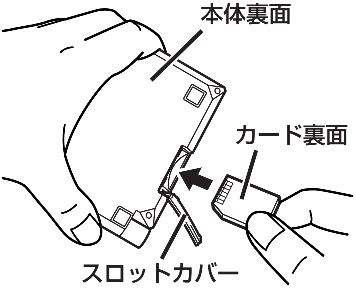
カードの取り付け、取り外しは次の手順で行ってください。

注意
- カードの取り付け、取り外しは［メニュー］を押して**メインメニュー画面になったことを確認して**から行ってください。
  メインメニュー画面以外で行うと、カードのデータが消える、動作しなくなるなどの異常が発生することがあります。
- たて続けにカードの取り付け／取り外し操作を行わないでください。データが消えたり、故障したりすることがあります。

カードを取り付ける

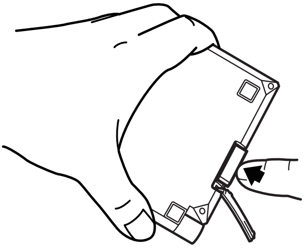
1 **［メニュー］を押してメインメニュー画面にします。**

2 **カードスロットのスロットカバーを開き、図のように電子辞書の裏面とカードの裏面が同じ方向になるようにして、奥まで確実に挿入します。**



カードの裏表や前後をまちがえないでください。まちがえると、故障したりカードが取り出せなくなったりします。

スロットカバーを引っぱらないでください。無理に引っぱると取り付け部が切れ、取り付けられなくなります。



カードの取り付け、取り外し時に、爪でカードを弾くように指を離すと、**カードが飛び出すことがあります**ので、ゆっくり押し、ゆっくり離してください。

3 メインメニューで「カード」を選びます。

装着しているカードのメニュー画面などが表示されます（カードにより表示される内容は異なります）。
それぞれの説明書等を参照してご使用ください。

別売の電子辞書専用コンテンツカードの取扱説明書に、「カード内へは、1回だけジャンプすることができます」との説明をしている場合がありますが、それらの**カードを本電子辞書に装着したときは、本体と同様のジャンプ機能をご使用いただけます。**

参考

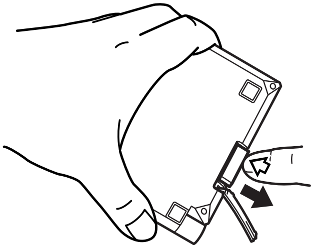
- **カードの使用に関するメッセージが表示された場合は**
  - ・ カードが入っていません
    カードを使用する機能を選んだときにこのメッセージが表示された場合はカードが装着されていません。カードを正しく装着してください。
    （☞183ページ）
  - ・ このカードは使用できません
    この電子辞書で扱えないカード、データが壊れているなどの理由で、この電子辞書で使用することができません。使用できるカードを装着してください。
- **電源が切れたり、カードが使えないときは**
  カードを取り付けて電源を入れると、**すぐに電源が切れたり**、正しいコンテンツカードを取り付けていても**「カードが入っていません」と表示される**場合は、電子辞書の電池が消耗している場合があります。331ページを参照して電池を交換してみてください。

カードを取り外す

1 **［メニュー］を押してメインメニュー画面にします。**

2 **スロットカバーを開き、カードの端を指で押し込み、ゆっくり離します。**

ロックが外れ、カードが少し出てきます。



爪でカードを弾くように指を離すと、**カードが飛び出すことがあります**ので、ゆっくり押し、ゆっくり離してください。

3 **カードを抜き取ります。**

4 **スロットカバーを元どおりかぶせます。**

カードのメモリーを確認する

カードのメモリー使用量などを確認します。

1 **［メニュー］を押し、「カード」から「メモリー確認」を選びます。**

カードのメモリー確認画面が表示されます。

カードを初期化（フォーマット）する

他で使用していたSDメモリーカードを使用したい場合や、内容をすべて消去する場合に初期化（フォーマット）します。

注意 ● 初期化するとカード内のすべての内容が消去されますので、注意してください。

1 **［メニュー］を押し、「カード」から「カードの初期化」を選びます。**

初期化の確認画面が表示されます。

2 **［Y］を押します。**

カードが初期化されます。

参考 ● カードのLOCK（ロック）スイッチがLOCK側（書き込み禁止）になっているときは、初期化できません。
また、電池が消耗しているときは初期化できません。

別売のコンテンツカードのご使用について

本製品で従来機用電子辞書専用コンテンツカード（PW-CA01 ～ PW-CA14、PW-CA30）をご使用いただく場合、次の点が異なりますので、ご留意の上ご使用ください。

また、前ページのメモリー確認とカードの初期化はできません。

- カードの取扱説明書では、リスト（一覧）画面で項目を選択するときは、基本的に数字キーで選択するよう説明していますが、本製品に装着した場合、入力欄と選択項目が同時に表示される画面では、項目を数字キーで選択することができません（項目の前に付いていた番号がなくなる場合や、🔍マークになる場合があります）。
  この場合は、[▼]、[▲]で項目を選び、[検索/決定]を押してください。

別売品のPW-CA10のご使用について

本製品で別売のPW-CA10（TOEICカード）を使用することができます。ただし、「別売のコンテンツカードのご使用について」に加えて、使用方法が変わる部分があります。

「TOEIC®テスト　英単語・熟語　パーフェクト攻略」の使いかた

本コンテンツをご使用いただく場合はカードに付属の取扱説明書の「音声再生対応の電子辞書で使う」の項をご覧ください。

基本的な操作はカードの取扱説明書のとおりですが、次の点が変わります。

1　カードメニュー画面で「TOEIC®テスト　英単語･熟語　パーフェクト攻略」を選び機能選択画面を表示させます。機能選択画面はリスト画面になり、「学習をする」「テストをする」にあった「つづき」「新規」の選択項目がなくなっています。

本製品で使用するときは、「学習をする」または「テストをする」を選択すると、「つづき」か「新規」かを選択する確認画面が表示され、[Y]を押すと「新規」、[N]を押すと「つづき」を選択できます。
ただし、はじめて使う場合は、確認画面は表示されず、「新規」になります。

2 「TOEIC®テスト　英単語・熟語　パーフェクト攻略」では、シャッフルテストができるようになります。機能選択画面でシャッフルテストを選び、「テストをする」と同様の操作で問題を表示させて解答していきます。（135ページもご参照ください。）

別売品のPW-CA30のご使用について

本製品で別売のPW-CA30（中国語カード）を使用することができます。ただし、上記内容に加えて、使用方法が変わる部分があります。

中日辞典の使いかた

1 本製品の中国語漢字の手書き入力機能を利用するため、「中国語」入力欄が設けられました。
中国語入力欄にカーソルを移し、漢字を手書き入力して読みや意味を調べます。

2 同じ画面に「日本語読み」入力欄がありましたが、選択項目「日本語読み検索」を設け、この項目を選択すると「日本語読み」入力欄が表示されて、日本語読みで検索できるようにしております。

3 選択項目に「熟語検索」機能があり、漢字を読みや部首、総画で検索して熟語を検索する機能がありましたが、この機能は画面から削除されました。本製品に装着した場合、漢字を手書きで直接入力して熟語などを検索することができます。

4 「部首や画数で検索」では、従来機では、「部首読み」、「部首画数」、「総画数」をそれぞれ単独に使用して検索していましたが、本製品に装着した場合、2項目を組み合わせた検索もできるようになりました。
「部首読み」と「総画数」または「部首画数」と「総画数」の入力項目に検索条件を入力して検索します。
なお、「部首画数」の入力において、画数を入力して［検索/決定］を押すと部首一覧が表示され、部首一覧から部首を選ぶと漢字の候補が表示されていましたが、本製品の場合は同じ操作で部首画数入力欄に部首が入力されます。
続いて総画数を入力するときは［▼］でカーソルを移して入力します。
総画数を入れずに検索するときは［検索/決定］を押します。

しおり機能について

- PW-CA30の取扱説明書には、しおり機能が利用できないことの記述がありませんが、本製品にPW-CA30を装着した場合は、しおり機能は働きません。

単語帳の削除機能

- PW-CA30の取扱説明書に、「中日辞書」、「日中辞典」、「らくらく旅の中国語」の単語帳を各コンテンツごとにまとめて削除する場合、メインメニュー画面で「各種設定」を選び「単語帳削除」を選んで表示される単語帳削除画面で、それぞれのコンテンツ名を選んで削除できるように記載されていますが、本製品にPW-CA30を装着した場合は、各コンテンツごとには削除できません。
  本製品でPW-CA30のコンテンツの単語帳を削除するときは、単語帳削除画面で「カード」を選んで削除してください。

TTSによる音声読み上げ機能

- PW-CA30は、本製品のTTSによる音声読み上げ機能に対応していませんので、音声読み上げ機能は働きません。

MP3プレーヤーを使う

パソコンなどで市販のSDメモリーカードにMP3形式の音声データ（MP3データ）を入れ、そのSDメモリーカードを本製品に装着して再生することができます。
語学学習などにご利用いただけます。

参考
- パソコンなどからSDメモリーカードにMP3データ（ファイル）を入れる方法は、パソコンなど使用機器の説明書をご覧ください。
- 本製品へのSDメモリーカードの取り付け・取り外しは183ページを参照して行ってください。
- 本製品では、2GBを超える容量のSDメモリーカードはご使用になれません。なお、動作確認済みのSDメモリーカードは次のWebサイトでご確認ください。
  http://www.sharp.co.jp/papyrus/

SDメモリーカードのフォーマット（初期化）について

SDメモリーカードのフォーマット（初期化）を行う場合は、この電子辞書で行ってください。パソコン等でフォーマットを行うと、カードが使えなかったり、データの読み取りに通常より多くの時間がかかったりする場合があります。

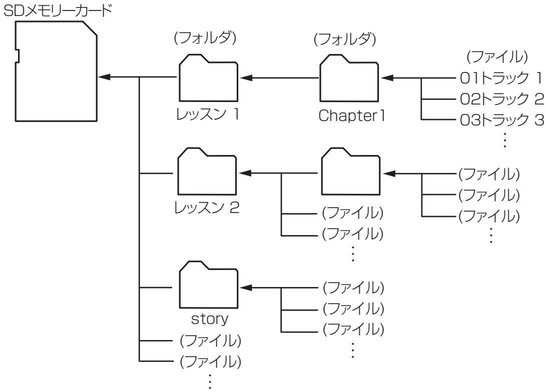
MP3データについて

SDメモリーカードに、本製品で再生するためのMP3データを入れる場合、次の内容をお守りください。

1 1フォルダには200件を超えてMP3データ（ファイル）を入れないでください。本製品では200件までしか表示されません。

2 ファイル名の長さは、一番上のフォルダからファイルまでの、フォルダ名やファイル名の文字数を加えていった合計文字数が拡張子を含めて248文字以下になるようにしてください。また、数字、英字、全角ひらがな・カタカナ、漢字をお使いください。特殊な記号や文字は表示されません。

- **再生可能ビットレート**：32 ～ 256kbps



カードに入れたMP3データは、誤操作・事故・カードの紛失などにより失われることがあります。MP3データは必ずパソコンに保存しておいてください。

MP3プレーヤーの使いかた

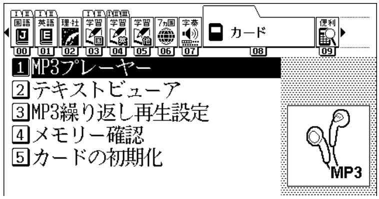
準備をする

1 **［メニュー］を押してメインメニュー画面にし、MP3データが入ったSDメモリーカードを取り付けます。**

183ページをご覧のうえ、取り付けてください。

2 **メインメニューで「カード」を選びます。**

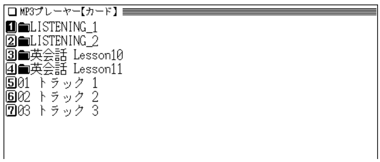
カードメニュー画面が表示されます。



MP3データを再生する

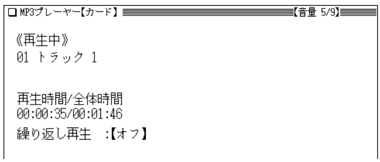
1 **カードメニュー画面で、「MP3プレーヤー」を選び［検索/決定］を押します。**

カード内のMP3データ（ファイル）やフォルダがリスト表示されます。



2 **再生したいMP3データを選び［検索/決定］を押します。**

MP3データの再生が開始されます。



参考
- フォルダ内のデータを選ぶ場合は、フォルダを選び［検索／決定］を押して、表示される MP3 データやフォルダのリスト表示から選んでください。
- イヤホンで聞く場合や、音量調整に関しては、64、82 ページを参照してください。

再生の操作

次のキーでMP3再生時の操作をします。

[∧]：再生中のデータ（ファイル）の先頭へ戻って再生します。先頭から3秒以内に押すと同じフォルダ内で並びが前のデータ※1を再生します。

[∨]：同じフォルダ内で並びが次のデータ※2を再生します。

[◀]：再生中のデータを少し（約10秒分）戻って再生します。データの先頭に近く、1回分戻れないときはデータの先頭から再生します。

[▶]：再生中のデータを少し（約10秒分）送って再生します。データの最後を超えるときは、「MP3繰り返し再生設定」（☞次ページ）の設定に従って、次のデータの再生や同じデータの再生を行います。

[戻る]：再生を終了して、前の画面に戻ります。

[検索/決定]：再生の一時停止、解除を交互に行います。

- 本プレーヤーは、SDメモリーカードを一つのフォルダと見なして、フォルダと同様に扱います。

※1 フォルダ内の先頭のデータを再生しているときは、並び順で最後のデータを再生します。

※2 フォルダ内の最後のデータを再生しているときは、並び順で先頭のデータを再生します。

注意
- 再生中はオートパワーオフ機能が働きません。電池が消耗しますので、再生状態のままで放置しないでください。

参考
- 本プレーヤー機能では、音声再生速度を変更することはできません（82 ページの「**音声の再生速度を設定する**」で再生速度を切り替えても、本プレーヤー機能の再生速度は切り替わりません）。

＝暗号化データの再生＝

下記のWebサイトで、CDのリスニング教材などを本製品で再生できるようにデータ変換をするソフトウェア「CDデータ転送ソフト」をご案内しています。

http://www.sharp.co.jp/papyrus/

このソフトウェアは著作権保護のため、データ（ファイル）を作成するときに、ご自身の名前を登録して暗号化します。
この暗号化データは、89ページで本製品に登録した名前と一致した場合にのみ再生することができます。
もし、名前の一致しない暗号化データを再生しようとすると、次のようなメッセージを一時表示して再生を行いません。

このファイルに設定されている著作権保護用の名前と、本体に設定されている名前が異なるため再生できません

正しく再生させるために、名前は正しく登録してください。

MP3繰り返し再生を設定する

次の繰り返し再生を設定することができます。

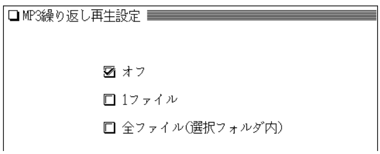
オフ　：繰り返し再生を行いません。
再生を開始したフォルダ内のMP3データや暗号化データ※をリスト表示で表示された順番に、最後まで再生して終了します。

1ファイル　：再生を開始したMP3データ（ファイル）を繰り返し再生します。

全ファイル（選択フォルダ内）：再生を開始したフォルダ内のデータ※をリスト表示で表示された順番に繰り返し再生します。

※ 順番にデータを再生しているとき、名前が一致しない暗号化データがあると、その時点で再生を終了します。

1 **カードメニュー画面で「MP3繰り返し再生設定」を選び［検索/決定］を押します。**



2 **“✔”を設定したい項目へ移し［検索/決定］を押します。**
選択した繰り返し再生が設定され、カードメニュー画面に戻ります。

テキストビューアを使う

パソコンのテキストエディタやメモ帳で作成したテキストデータを市販のSDメモリーカードに入れ、そのSDメモリーカードを本製品に装着して表示することができます。

テキストデータについて

次のテキストファイルを表示させることができます。

- 拡張子が .txt のテキストファイル
- 容量が5MB以下のテキストファイル
  ただし、改行がほとんどないテキストデータは表示できない場合があります。
- JIS第1・第2水準漢字、仮名、数字、英字を使ったテキストファイル
  注：ファイル名にも同様の文字を使用してください。全角記号などを使用した場合、リストに表示されない場合があります。

参考 ● 表示できない文字や記号は、半角スペースに（全角文字は□に）置き換えて表示されます。

テキストデータを表示する

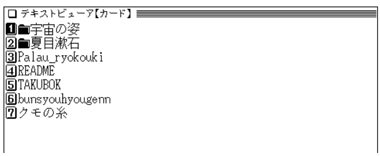
1 [メニュー]を押してメインメニュー画面にし、テキストデータが入ったSDメモリーカードを取り付けます。

2 メインメニューで「カード」を選びます。

カードのメニュー画面が表示されます。

3 「テキストビューア」を選び、[検索/決定]を押します。

カード内のテキストデータ（ファイル）やフォルダがリスト表示されます。



4 表示したいテキストデータを選び[検索/決定]を押します。

選んだテキストデータが表示されます。

参考
- フォルダ内のテキストデータを選ぶ場合は、目的のデータが入っているフォルダを選んで[検索/決定]を押し、表示されるテキストデータやフォルダのリストから目的のテキストデータを選んで[検索/決定]を押します。
- テキストビューアの詳細画面に英単語がある場合は、英和辞典の音声データによる音声再生や、TTS による音声読み上げができます（☞ 59、61 ページ）。Sジャンプや W検索で、本体内のコンテンツ内容を参照することができます。ただし、全角のアルファベットや数字は音声読み上げやSジャンプに使用できません。
- 詳細画面は、文字サイズを12/16/24ドットサイズに切り替えることができます。

しおり機能を使う

しおりを登録する

1 テキストデータを表示している画面で、手書きパッドの [しおりを登録] にタッチします。

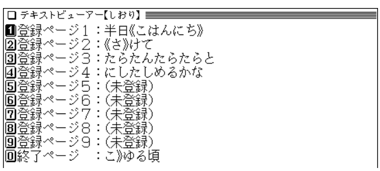
アラートが表示され、表示している1行目の文字がしおりとして登録されます。

参考
- しおりは1ファイルに9箇所まで登録できます。
  また、登録数を超えると、古いしおりから自動的に削除されます。
- 電源が切れたときや、ファイルを閉じたとき、そのとき開いていた箇所が終了ページとして自動的にしおりに登録されます。
  ただし、しおりやSジャンプの画面でファイルを閉じたときは自動登録は行われません。
- しおりは10ファイルまで登録できます。
- SDメモリーカードを抜し差ししても、しおりの内容は保持されます。ただし、カード内のテキストファイルを削除したり、追加したり、またファイルの内容を編集したりすると、しおりの内容が削除される場合があります。

しおりを呼び出す

1 しおりが登録されているテキストデータを表示させて [しおり] を押します。

登録されているしおりがリスト表示されます。



2 表示したいしおりを選び、[検索/決定] を押します。

選んだしおりの箇所が画面に表示されます。

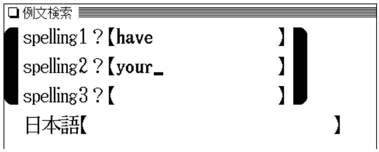
便利な機能

例文検索

例文を検索する

1 **［メニュー］を押し、「便利な機能」から「例文検索」を選びます。**
または［例文検索］を押します。
入力画面が表示されます。

2 **スペル入力欄または日本語入力欄に、調べたい語を入れます。**
- スペルは3語まで入れることができます。



3 **［検索/決定］を押します。**
入力した語の例文がリスト表示されます。
- 上部にタブで例文が検出されたコンテンツが示されます。

3 **［切替］を押してコンテンツ（タブ）を選びます。**

4 **［∨］、［▼］などで例文を見ていきます。**

手紙文作成

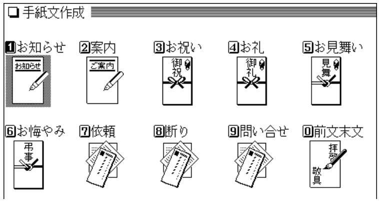
「手紙文作成」を使えば、質問に答えていくだけで手紙の文例を作成することができます。実際に手紙を書くときには、作成した文例を参照しながら書くことができます。

手紙文を作成する

1 メニュー を押し、「便利な機能」から「手紙文作成」を選びます。

文例種類選択画面が表示されます。

注：画面のイラストは文例の種類を表すイメージとして使用しています。



2 文例の種類を選び 検索/決定 を押します。

タイトルの選択画面が表示されます。

3 タイトルを選び 検索/決定 を押します。

質問が表示されます。

4 答えを選び 検索/決定 を押すと、次の質問が表示されますので、順番に答えていきます。※

最後の質問に対する答えの選択が終わると「作成終了しました」と表示した後、作成した文例が表示されます。

※ 時候の挨拶文を選ぶ場合は、画面下に表示されるメッセージにしたがって、∨、∧で採用する挨拶文を表示させ、検索/決定を押して採用します。

参考

- 質問を表示しているときや、作成が終了した直後では、戻るを押すと1つ前の質問に戻ります。
- 作成終了後、クリアを押すと文例の種類選択画面に戻ります。
- 文例の中の★マークで示された部分は、手紙を書くとき、ご自身の状況に合った内容に書き換えてください。

作成した手紙文（文例）の保存は

作成した文例は「しおり」として、最新のものから100件まで記憶されます。

- **呼び出すときは**

  手紙文作成の画面でしおりを押し、表示されるリスト（一覧）画面で、見たい文例のタイトルを選び検索/決定を押します。

- **手紙文の作成を中止するときは**

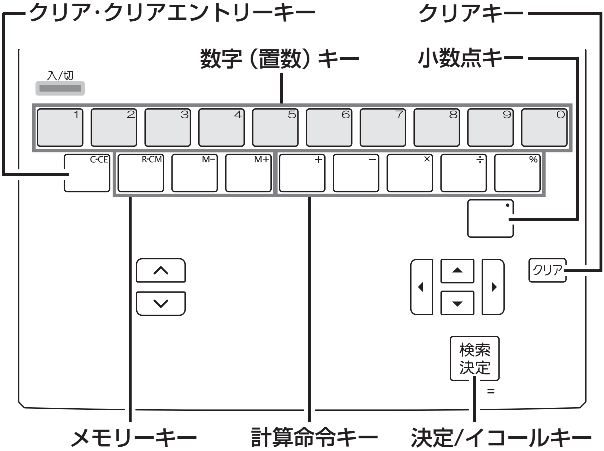
  手紙文作成中にクリアを押したときや、他の機能を選択したときは、手紙文の作成中止を確認する画面が表示されます。このとき、Yを押すと手紙文の作成が中止されます。

  Nを押すと、手紙文作成の画面に戻ります。

便利計算機能を使う

便利計算機能では、普通の計算の他に、通貨や単位の換算、年号や年齢の計算ができます。

電卓で主に使用するキー



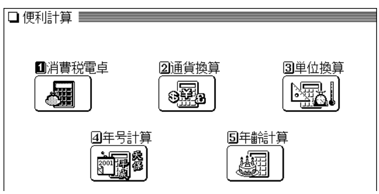
これらのキーに加えて、手書きパッドには入力や計算など、状況により数字入力画面や数字入力・計算画面（☞46ページ）が表示されますので、これらを利用することができます。

消費税電卓で計算をする

12桁までの加減乗除、税込／税抜計算、メモリー計算などができます。
一般の四則計算などは、この「消費税電卓」で行います。

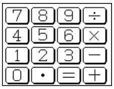
1 **メニュー を押し、「便利な機能」から「便利計算」を選びます。**

便利計算の機能選択画面が表示されます。



2 「消費税電卓」を選び［検索/決定］を押します。

電卓画面が表示されます。
手書きパッドには数字入力・計算画面が表示されます。



参考 **計算を始める前に**

- 計算を行う前に、［R·CM］［R·CM］［クリア］と押して、メモリーと表示をクリアしてから始めてください。
- 消費税計算を行うときは税率を確認し、必要なときは設定し直してください(☞202ページ)。
- 負の数が最初にくるときは、減算記号(［−］)を負数シンボル(マイナス)として計算を始めることができます。
- 入力中に数字を入れまちがえたときは［C·CE］を押して、もう一度入れ直してください。
- 計算の途中や結果を示すため、画面に"="、"M+"、"M−"、"+"、"−"、"×"、"÷"が表示されますが、以降の計算例では、これらの表示は省略しています。"="は［=］または［%］を押したとき、その他の"M+"、"+"などは、それぞれのキーを押したときに表示されます。

こんなときはエラーが出ます

計算結果の整数部が13桁以上になったときや、除数が0の除算をしたときなどは、画面に「E」が表示されて、その後の計算ができなくなります。
［C·CE］を押してエラー状態を解除してください。
次のような概数表示では、小数点は兆の位を示します。

例　：4567890123［×］4560［=］　E 20.8295789608
［C·CE］　20.8295789608
↑
兆の位

	計 算 例	キ ー 操 作	表示(答)
加減乗除	(−24)÷4−2＝	[クリア] [−] 24 [÷] 4 [−] 2 [＝]	−8.
定数計算	34 + 57 ＝ 45 + 57 ＝	34 [＋] 57 [＝] 45 [＝] （加数が定数となります）	91. 102.
	68 × 25 ＝ 68 × 40 ＝	68 [×] 25 [＝] 40 [＝] （被乗数が定数となります）	1'700. 2'720.
パーセント計算	200の10%は？	200 [×] 10 [%]	20.
	9は36の何%	9 [÷] 36 [%]	25.
割増割引	200の10%増しは？	200 [＋] 10 [%] (または200 [×] 10 [%] [＋] [＝])	220.
	500の20%引きは？	500 [−] 20 [%] (または500 [×] 20 [%] [−] [＝])	400.
べき乗	$4^6 = (4^3)^2 =$	4 [×] [＝] [＝] [×] [＝]	4'096.
逆数計算	1 / 8 ＝	8 [÷] [＝]	0.125
税込計算	25000円の税込額（5%）	25000 [◀]	税込 26'250.
	税額（5%）	[◀]	税額 1'250.
	税抜額が1000円と500円の合計額	1000 [＋] 500 [＝]	1'500.
	税込額（5%）	[◀]	税込 1'575.
	税額（5%）	[◀]	税額 75.

	計算例	キー操作	表示(答)
税抜計算	44100円の 税抜額 (5%)	44100 [▶]	税抜 42'000.
	税額 (5%)	[▶]	税額 2'100.
	税込額が 1050円と525円の 合計額	1050 [+] 525 [=]	1'575.
	税抜額 (5%)	[▶]	税抜 1'500.
	税額 (5%)	[▶]	税額 75.
メモリー計算	(累計)	計算の前にメモリーを消去します → [R·CM] [R·CM]	※
	25 × 5=	25 [×] 5 [M+]	M 125.
	−) 84 ÷ 3=	84 [÷] 3 [M−]	M 28.
	+) 68 +17=	68 [+] 17 [M+]	M 85.
	(計) =	[R·CM]	M 182.
	(定数記憶)	[R·CM] [R·CM]	
		12 [+] 14 [M+]	M 26.
	135×(12+14)=	135 [×] [R·CM] [=]	M 3'510.
	(12+14)÷5=	[R·CM] [÷] 5 [=]	M 5.2

- [−]キーは [H] を押します。

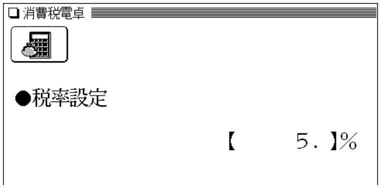
※メモリーに0以外の数値が入ると、"M" が表示されます。
[M+]、[M−]は[=]の働きもかねています。

消費税率を変更する

税率の変更があったときに行います。
消費税率はあらかじめ5%に設定されています。

1 電卓画面で [∧] を押します。

消費税率を設定する画面が表示されます。



2 税率を入力します。

小数点を数えずに、4桁の範囲で設定できます。

3 [検索/決定] を押します。

新しい消費税率が設定され、電卓画面に戻ります。

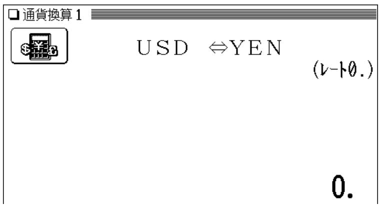
通貨換算をする

通貨のレートを設定する

4種類の通貨レートが設定できます。

1 機能選択画面で、「通貨換算」を選び [検索/決定] を押します。

通貨換算画面が表示されます。



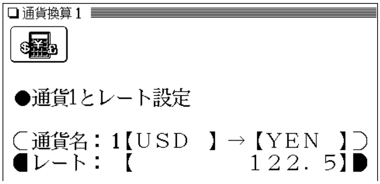
参考 ● 画面は「通貨換算1」から「通貨換算4」の4画面あり、[▼]、[▲] で切り替えます。

2 レートを設定する画面（例：「通貨換算1」）を選び、[∧] を押します。

通貨・レート設定画面が表示されます。

3 通貨名と通貨レートを入力します。

参考
- **通貨名の入力は**
  4文字以内の英大文字で通貨名を入力します。
  左右の入力項目は ▶、◀ でカーソルを移動させて選びます。
- 「通貨換算1」の通貨名の欄には、あらかじめ左側に「USD」(米ドル)、右側に「YEN」(円)が入力されています。
- 左側に基準の通貨名、右側にレートを設定する通貨名を入力します。
- **通貨・レートの入力は**
  小数点を数えずに、10桁の範囲で入力できます。



通貨・レート設定画面

- 設定内容を変更するときは、変更したい欄へカーソルを移し、クリア で内容を消してから新しい内容を入力してください。

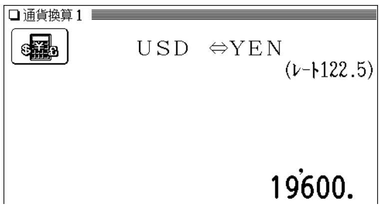
4 検索/決定 を押します。

通貨・レートが設定されます。

通貨を換算する

事前に通貨·レートを設定しておいてください。

1 通貨換算画面で換算する金額(例:「19600」)を入力します。

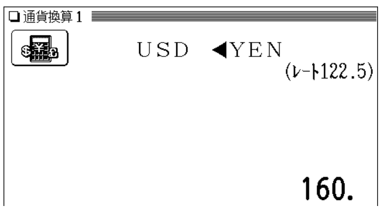


参考
- 入力は、例えば「2450×8=」のような計算をして入れることもできます。

2 例えば ◀ を押して換算します。

- ▶ で左の通貨から右の通貨へ、◀ で右の通貨から左の通貨へ換算します。

換算された金額が表示されます。



参考
- 別の金額を換算するときは、そのまま数値を入力するか、C·CE で数値を消してから、新たに入力します。

単位換算をする

単位換算機能で、長さや重さ、温度の単位を換算することができます。

1 **機能選択画面で、「単位換算」を選び［検索/決定］を押します。**

単位換算の入力画面が表示されます。

2 **［▲］、［▼］で換算する単位（例：「長さ換算 2/4　feet⇔m」）を選びます。**

3 **換算する数値（例：「210」）を入力します。**

4 **例えば［▶］を押して換算します。**

- ［▶］で左の単位から右の単位へ、［◀］で右の単位から左の単位へ換算します。

換算結果が表示されます。

参考
- 別の数値を換算するときは、そのまま数値を入力するか、［C･CE］で数値を消してから、新たに入力します。
- この製品では、次のような単位の換算ができます。

長さ1	inch（インチ）⇔cm（センチメートル）
長さ2	feet（フィート）⇔ m（メートル）
長さ3	yard（ヤード）⇔ m（メートル）
長さ4	mile（マイル）⇔ km（キロメートル）
重さ1	常用oz（オンス）⇔ g（グラム）
重さ2	常用lb（ポンド）⇔ kg（キログラム）
温度	° F（華氏）⇔ ℃（摂氏）

- 上記単位の「ポンド」は常用ポンド、「オンス」は常用オンスです。この場合、1ポンドは16オンスになります。
この他に、トロイポンド、トロイオンスなどがあります。

年号計算をする

西暦593年から2087年までの間で、西暦と和暦を換算したり、その年の干支などを調べることができます。

年号の検索には次の2つの方法があります。

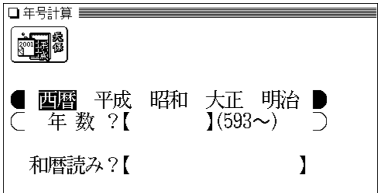
西暦または和暦（平成～明治）の年数から調べる：画面の西暦または和暦を選び、年を入力

和暦から調べる：和暦の読みを入力

西暦から和暦を調べる

1 **機能選択画面で、「年号計算」を選び［検索/決定］を押します。**

年号計算の入力画面が表示されます。



2 **「西暦」を選び、カーソルを年数の入力欄へ移します。**

3 **年数（例：「1850」）を入力します。**

該当する年から順番にリスト（一覧）表示されます。

4 **“➡”マークを目的の年数へ移し、［検索/決定］を押します。**

その年の詳細画面が表示されます。

和暦から西暦を調べる

1 **年号計算の入力画面で、和暦読みの入力欄へカーソルを移します。**

2 **和暦の読み（例：「ぶんえい」）を入力します。**

入力した読みで始まる和暦が50音順にリスト（一覧）表示されます。

3 **“➡”マークを目的の和暦へ移し、［検索/決定］を押します。**

年の順にリスト（一覧）表示されます。

4 **“➡”マークを目的の年へ移し、［検索/決定］を押します。**

その年の詳細画面が表示されます。

年齢計算をする

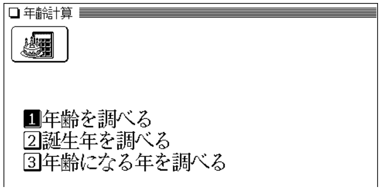
年齢や誕生年（生まれた年）を計算したり、干支などを調べることができます。

年齢を調べる

誕生年がわかっているとき、何歳になるのかを調べます。

1 機能選択画面で、「年齢計算」を選び［検索/決定］を押します。

年齢計算の機能選択画面が表示されます。

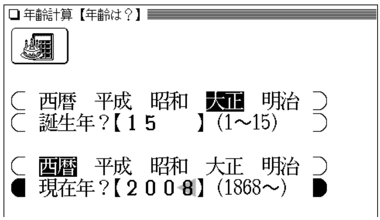


2 「年齢を調べる」を選び［検索/決定］を押します。

誕生年と現在年の入力画面が表示されます。

3 ［▶］、［◀］で西暦または和暦（例：「大正」）を選び、［▼］で誕生年入力欄へカーソルを移して生まれた年（例：「15」）を入力します。

4 ［▼］でカーソルを下段へ移して、［▶］、［◀］で西暦または和暦を選び現在年（例：「2008」）を入力します。



5 ［検索/決定］を押します。

詳細画面に年齢が表示されます。

参考 ● 誕生年、現在年に、西暦にして1868年～ 2087年以外になる年を入力したときは、エラーを示すメッセージが一時表示されますので、入力内容を確認して、修正してください。

生まれた年（誕生年）を調べる

年齢が分かっているとき、何年生まれかを調べます。

1 **年齢計算の機能選択画面で、「誕生年を調べる」を選び［検索/決定］を押します。**

現在年と年齢の入力画面が表示されます。

2 **西暦または和暦を選び、現在年を入力します。**

3 **年齢の入力欄へカーソルを移し、年齢を入力します。**

4 **［検索/決定］を押します。**

詳細画面に生まれた年が表示されます。

参考
- 現在年に、西暦にして1868年～ 2087年以外になる年を入力したときや計算の結果、誕生年が西暦1868年より前の年になったときは、エラーを示すメッセージが一時表示されますので、入力内容を確認して修正してください。

ある年齢になる年を調べる

誕生年がわかっているとき、ある年齢になるのが何年なのかを調べます。

1 **年齢計算の機能選択画面で、「年齢になる年を調べる」を選び［検索/決定］を押します。**

誕生年と年齢の入力画面が表示されます。

2 **西暦または和暦を選び、誕生年を入力します。**

3 **年齢の入力欄へカーソルを移し、年齢を入力します。**

4 **［検索/決定］を押します。**

詳細画面に、指定した年齢になる年が表示されます。

参考
- 誕生年に、西暦にして1868年～ 2087年以外になる年を入力したときは、エラーを示すメッセージが一時表示されますので、入力内容を確認して、修正してください。

コンテンツ（辞書）データについて

スーパー大辞林3.0（凡例）

1. 見出し

1 見出しは現代仮名遣いによる。
2 和語・漢語は平仮名、外来語は片仮名で表示。
3 見出しの中の「・」は活用する語の語幹と語尾との区切りを示す。
「○」は、○ 以下が語幹語尾の区別のできない活用語であることを示す。

2. 歴史的仮名遣い

歴史的仮名遣いが見出しと異なる場合は、見出しの次に、異なる部分をひらがなで示した。見出しと一致する部分は — の記号で省略した。

3. アクセント

現代語の見出しには共通語としてのアクセントを示した。
→「この辞書のアクセント表示」参照

4. 表記形

1【　】の中に標準的な書き表し方を示した。
【　】の中の漢字が「常用漢字表」にないものには「▶」、その漢字が「常用漢字表」にはあるが、見出しに相当する音訓が示されていないものには「▷」を付した。「常用漢字表」の「付表」の語は《　》で囲んで示した。
2 送り仮名は、内閣告示「送り仮名の付け方」の通則に基づいて示した。
3 外来語については【　】の中に綴りを示した。ギリシャ語・梵語等はローマ字綴りに直した。

5. 品詞・活用

1 見出し語の品詞・活用の種類を（　）の中に略語で示した。但し、名詞には品詞表示を省略した。
→「略語・記号一覧」参照
2 動詞には活用の行を示した。
3 主な助動詞には活用を示した。
4 スルは、サ変動詞としての用法があることを示す。

6. 文語形

活用語で口語形と文語形の異なるものは、口語形見出しのあとに**文** として活用の種類と文語形を示した。

7. 解説

1 現代語として用いられる意味・用法を先に、古語としての意味・用法をあとに記述した。
2 専門用語については〘　〙の中に適宜その分野を示した。
→「略語・記号一覧」参照
3 解説をすべて他の見出しで行なっている場合は ➡解説: で示し、参照項目はその見出しを➡で示した。

8. 用例

1 用例は語釈のあとに「　」で囲んで示した。
2 用例中の見出し語に相当する部分は―で略した。
活用語は、語幹の部分を ―･で略した。語幹語尾の区分のできない語は略してない。
3 出典名・作者名は、適宜略称を用いて示した。

9. 漢字見出し

1 熟語として一般によく用いられる漢字を、その漢字の代表字音で配列し、解説した。たとえば、「あ」という代表字音をもつ漢字を【あ】[漢] というタイトルのもとに示してある。

略語・記号一覧

○品詞欄

(名)	名詞
(代)	代名詞
(動五)	動詞五段活用
(動五[四])	動詞口語五段活用・文語四段活用
(動四)	動詞四段活用
(動上一)	動詞上一段活用
(動上二)	動詞上二段活用
(動下一)	動詞下一段活用
(動下二)	動詞下二段活用
(動カ変)	動詞カ行変格活用
(動サ変)	動詞サ行変格活用
(動ナ変)	動詞ナ行変格活用
(動ラ変)	動詞ラ行変格活用
(動特活)	動詞特別活用
(形)	形容詞
(形ク)	形容詞ク活用
(形シク)	形容詞シク活用
(形動)	形容動詞
(形動ナリ)	形容動詞ナリ活用
(形動タリ)	形容動詞タリ活用
(ト｜タル)	「～と」(副)「～たる」(連体詞)の形で用いられるもの
(連体)	連体詞
(副)	副詞
(接続)	接続詞
(感)	感動詞

(助動)	助動詞	(間投助)	間投助詞
(格助)	格助詞	(並立助)	並立助詞
(接助)	接続助詞	(準体助)	準体助詞
(副助)	副助詞	(接頭)	接頭語
(係助)	係助詞	(接尾)	接尾語
(終助)	終助詞	(連語)	連語

(枕詞)　枕詞
スル　サ変動詞の用法

○専門用語

〘哲〙	哲学	〘数〙	数学
〘論〙	論理学	〘物〙	物理学
〘倫〙	倫理学	〘化〙	化学
〘仏〙	仏教	〘天〙	天文学
〘言〙	言語学	〘地〙	地学
〘心〙	心理学	〘気〙	気象学
〘法〙	法律	〘電〙	電気工学
〘経〙	経済	〘機〙	機械工学
〘教〙	教育	〘建〙	建築
〘医〙	医学	〘音〙	西洋音楽
〘生〙	生物学	〘美〙	美学・美術

○記号

0 1 2 3	… アクセント
《　》	主に使用する漢字
文	文語形
季	季語
[可能]	可能動詞
[派生]	派生語
[慣用]	慣用句
[表記]	同訓の漢字の使い分け
➡対義語:	対義語
➡	参照項目
➡解説:	解説
➡類語:	類語○専門用語

アクセント表示

(1) 見出し語のうち、現代語および現代でも使用されることのある語にアクセントを示した。ただし、方言、古語、人名・地名・作品名などのいわゆる固有名詞、仏教その他特殊な専門用語、および付属語には原則として示さなかった。また、二語以上の要素から成る語で一語化の度合が薄く、それぞれの構成要素のアクセントから類推できると思われる語にも示さなかったものが多い。

(2) 本辞典で示したアクセントは、現在テレビ・ラジオなどで用いられている全国共通語のアクセントである。

(3) アクセントは単語ごとに、高く発音される部分から低く発音される部分へ移る境目の音が何番目の音であるかを[1][2][3]・・・によって示した。低くならない語は[0]とした。動詞・形容詞など活用する語は、見出し語としての終止形のアクセントのみを示した。また「十人十色」（ジューニン・トイロ）（傍線の部分を高く発音する）などのように、一つの見出し語に二つのアクセントの単位を含むものは[1]－[1]のように示した。
なお、例えば「うらとりひき」では[3][4]と示しているが、これは、[3]にアクセントがある場合も、[4]にアクセントがある場合もある、ということを示している。

○この辞書のアクセント表示

- 日本語のアクセントは、単語を発音するときに、その単語の中の個々の「拍」を高く発音するか低く発音するかによって決まる。「拍」というのは日本語の音の長さの単位で、「シャ・チュ・キョ」などの拗音はカナ２字で１拍である。現在、東京の言葉を基盤として日本全国で共通に使われている「全国共通語」では、アクセントの種類は、語の拍数によって決まっている。
- アクセントの種類は大きく「平板式」と「起伏式」とに分けられる。
- 共通語ではすべての単語において、１拍目と２拍目との間に音の高低の変化がある。
- 平板式は2拍目で高くなったあと、高低の変化がなく、アクセントは一種類だけである。
- 起伏式は、音が低くなったあとに続く部分には音の高低の変化がない。起伏式をさらに細かく分けるときは、1拍目だけ高く、あとは低いものを「頭高型」といい、2拍語で2拍目が高くその語に続いて発音される助詞などは低い場合など、単語の最後の拍が高くてそのあとで音が低くなるものを「尾高型」、その他の起伏式のアクセントを「中高型」という。
- 動詞・形容詞など「活用のある語」は、活用形によってアクセントがかわる。

図　日本語のアクセントの型

	平板式	起伏式					
		頭高型	中高型・尾高型（灰色）				
	0	1	2	3	4	5	6
一拍語	ナ 名	キ 木					
二拍語	ミズ 水	アキ 秋	ハナ 花				
三拍語	カイシャ 会社	デンキ 電気	オカシ お菓子	オトコ 男			
四拍語	ダイガク 大学	ブンガク 文学	ユキグニ 雪国	サイジキ 歳時記	オトオト 弟		
五拍語	チュウゴクゴ 中国語	シャアベット シャーベット	フキュウリツ 普及率	ヤマノボリ 山登り	コガタバス 小型バス	モモノハナ 桃の花	
六拍語	ケンブツニン 見物人	ケンモホロロ けんもほろろ	オマワリサン お巡りさん	キンコンシキ 金婚式	コクゴジテン 国語辞典	タンサンガス 炭酸ガス	ジュウイチガツ 十一月

0 平板式：二拍目で高くなってから高低の変化がない
1 起伏式・頭高型：一拍目だけ高く、あとは低い
2 起伏式・中高(尾高)型：二拍目だけ高く、あとは低い
3 起伏式・中高(尾高)型：二〜三拍目が高く、あとは低い
4 起伏式・中高(尾高)型：二〜四拍目が高く、あとは低い
5 起伏式・中高(尾高)型：二〜五拍目が高く、あとは低い
6 起伏式・中高(尾高)型：二〜六拍目が高く、あとは低い

【文節・活用形のアクセント例】

● 本辞典では、現代語のほとんどの項目にアクセントを示してある。しかし、実際に発音されるときは、助詞・助動詞や接辞を伴ったり、活用形であったりすることが多い。ここには文節の形や活用形の場合のアクセントのおもな例を掲げた。傍線は高く発音する部分であり、⌝のところで下がることを示す。

平板式名詞「みず〔水〕」
ミズサエ　水さえ
ミズシカ　水しか
ミズスラ　水すら
ミズダ　水だ
ミズダソーダ　水だそうだ
ミズダロー　水だろう
ミズデショー　水でしょう
ミズデス　水です
ミズデワ　水では
ミズナド　水など
ミズニワ　水には
ミズノ　水の
ミズバカリ　水ばかり
ミズマデ　水まで
ミズヨリ　水より

起伏式名詞「よる〔夜〕」
ヨルサエ　夜さえ
ヨルシカ　夜しか
ヨルスラ　夜すら
ヨルダ　夜だ
ヨルダソーダ　夜だそうだ
ヨルダロー　夜だろう
ヨルデショー　夜でしょう
ヨルデス　夜です
ヨルデワ　夜では
ヨルナド　夜など
ヨルニワ　夜には
ヨルノ　夜の
ヨルバカリ　夜ばかり
ヨルマデ　夜まで
ヨルヨリ　夜より

平板式動詞「くらべる〔比べる〕」
クラベ（クラベ）　比べ（連用形）
クラベサセル　比べさせる
クラベズライ　比べづらい
クラベタ　比べた
クラベタイ　比べたい
クラベタリ　比べたり
クラベテ　比べて
クラベナイ　比べない
クラベナガラ　比べながら
クラベニクイ　比べにくい
クラベマス　比べます
クラベヨ　比べよ
クラベヨー　比べよう
クラベラレル　比べられる
クラベル　比べる（終止形・連体形）
クラベルカラ　比べるから
クラベルケレド　比べるけれど
クラベルソーダ　比べるそうだ
クラベルダロー　比べるだろう
クラベルデショー　比べるでしょう
クラベルナ　比べるな（禁止）
クラベルノデ　比べるので
クラベルホド　比べるほど
クラベルヨーダ　比べるようだ
クラベルラシイ　比べるらしい
クラベレバ　比べれば
クラベロ　比べろ
クラベワ　比べは（しない）

起伏式動詞「しらべる〔調べる〕」
シラベ　調べ(連用形)
シラベサセル　調べさせる
シラベズライ　調べづらい
シラベタ　調べた

シラベタイ　調べたい
シラベタリ　調べたり
シラベテ　調べて
シラベナイ　調べない
シラベナガラ　調べながら
シラベニクイ　調べにくい
シラベマス　調べます
シラベヨ（シラベヨ）　調べよ
シラベヨー　調べよう
シラベラレル　調べられる
シラベル　調べる(終止形・連体形)
シラベルカラ　調べるから
シラベルケレド　調べるけれど
シラベルソーダ　調べるそうだ
シラベルダロー　調べるだろう
シラベルデショー　調べるでしょう
シラベルナ　調べるな(禁止)
シラベルノデ　調べるので
シラベルホド　調べるほど
シラベルヨーダ　調べるようだ
シラベルラシイ　調べるらしい
シラベレバ　調べれば
シラベロ　調べろ
シラベワ　調べは（しない）

平板式形容詞「つめたい〔冷たい〕」
ツメタイ　冷たい(終止形・連体形)
ツメタイカラ　冷たいから
ツメタイケレド　冷たいけれど
ツメタイシ　冷たいし
ツメタイソーダ　冷たいそうだ
ツメタイダロー　冷たいだろう
ツメタイデショー　冷たいでしょう
ツメタイデス　冷たいです
ツメタイト　冷たいと
ツメタイナ　冷たいな
ツメタイノ　冷たいの
ツメタイノデ　冷たいので
ツメタイバカリ　冷たいばかり
ツメタイホド　冷たいほど
ツメタイヤラ　冷たいやら
ツメタイヨーダ　冷たいようだ
ツメタイラシイ　冷たいらしい
ツメタカッタ　冷たかった
ツメタガル　冷たがる
ツメタカロー　冷たかろう
ツメタク　冷たく(連用形)
ツメタクテ　冷たくて
ツメタクナイ　冷たくない
ツメタクワ　冷たくは
ツメタゲ　冷たげ
ツメタケレバ　冷たければ
ツメタサ　冷たさ
ツメタソーダ　冷たそうだ

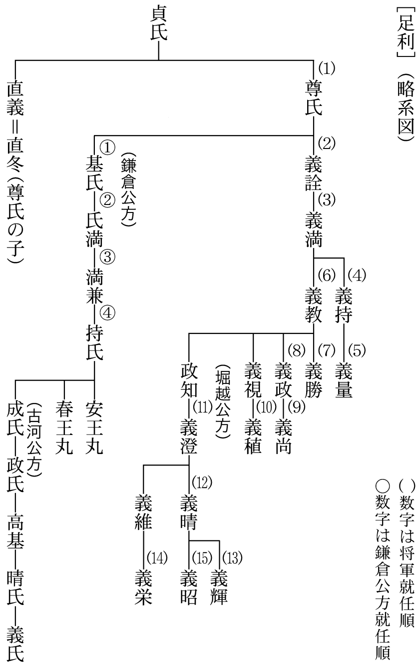
起伏式形容詞「うれしい〔嬉しい〕」
ウレシイ　嬉しい(終止形・連体形)
ウレシーカラ　嬉しいから
ウレシーケレド　嬉しいけれど
ウレシーシ　嬉しいし
ウレシーソーダ　嬉しいそうだ
ウレシーダロー　嬉しいだろう
ウレシーデショー　嬉しいでしょう
ウレシーデス　嬉しいです
ウレシート　嬉しいと
ウレシーナ　嬉しいな
ウレシーノ　嬉しいの
ウレシーノデ　嬉しいので
ウレシーバカリ　嬉しいばかり
ウレシーホド　嬉しいほど
ウレシーヤラ　嬉しいやら
ウレシーヨーダ　嬉しいようだ
ウレシーラシイ　嬉しいらしい
ウレシカッタ　嬉しかった
ウレシガル　嬉しがる
ウレシカロー　嬉しかろう
ウレシク　嬉しく(連用形)
ウレシクテ　嬉しくて
ウレシクナイ　嬉しくない
ウレシクワ　嬉しくは
ウレシゲ　嬉しげ
ウレシケレバ　嬉しければ
ウレシサ　嬉しさ
ウレシソーダ　嬉しそうだ

スーパー大辞林 付表・絵図

【付表】

【絵図】

【足利】



【アルキル基】

［アルキル基］

メチル基	CH_3―	ヘキシル基	C_6H_{13}―
エチル基	C_2H_5―	ヘプチル基	C_7H_{15}―
プロピル基	C_3H_7―	オクチル基	C_8H_{17}―
ブチル基	C_4H_9―	ノニル基	C_9H_{19}―
ペンチル基	C_5H_{11}―	デシル基	$C_{10}H_{21}$―

【アメリカ合衆国】

［アメリカ合衆国］（州一覧）

州区分	州都
北東部	
コネチカット	ハートフォード
ニューハンプシャー	コンコード
バーモント	モントピーリア
マサチューセッツ	ボストン
メーン	オーガスタ
ロードアイランド	プロビデンス
東部	
ウエストバージニア	チャールストン
デラウェア	ドーバー
ニュージャージー	トレントン
ニューヨーク	オールバニ
ノースカロライナ	ローリー
バージニア	リッチモンド
ペンシルバニア	ハリスバーグ
メリーランド	アナポリス
南東部	
サウスカロライナ	コロンビア
ジョージア	アトランタ
フロリダ	タラハッシー
中西部	
アイオワ	デモイン
イリノイ	スプリングフィールド
インディアナ	インディアナポリス
ウィスコンシン	マディソン
オハイオ	コロンバス
カンザス	トピーカ
サウスダコタ	ピーア
ネブラスカ	リンカーン
ノースダコタ	ビスマーク
ミシガン	ランシング
ミズーリ	ジェファーソンシティー
ミネソタ	セントポール
南部	
アーカンソー	リトルロック
アラバマ	モンゴメリー
オクラホマ	オクラホマシティー
ケンタッキー	フランクフォート
テキサス	オースティン
テネシー	ナッシュビル
ミシシッピ	ジャクソン
ルイジアナ	バトンルージュ
西部	
アイダホ	ボイシ
アリゾナ	フェニックス
コロラド	デンバー
ニューメキシコ	サンタフェ
ネバダ	カーソンシティー
モンタナ	ヘレナ
ユタ	ソルトレークシティー
ワイオミング	シャイアン
太平洋岸部	
オレゴン	セーレム
カルフォルニア	サクラメント
ワシントン	オリンピア
本土外	
アラスカ	ジュノー
ハワイ	ホノルル

【アルカン】

［アルカン（メタン系炭化水素）］

名称	化学式	沸点（℃）
メタン	CH_4	−161
エタン	CH_3CH_3	−89
プロパン	$CH_3CH_2CH_3$	−42
ブタン	$CH_3(CH_2)_2CH_3$	−1
ペンタン	$CH_3(CH_2)_3CH_3$	36
ヘキサン	$CH_3(CH_2)_4CH_3$	69
ヘプタン	$CH_3(CH_2)_5CH_3$	98
オクタン	$CH_3(CH_2)_6CH_3$	126
ノナン	$CH_3(CH_2)_7CH_3$	151
デカン	$CH_3(CH_2)_8CH_3$	174

【アルケン】

［アルケン（エチレン系炭化水素）］

名称	慣用名	化学式	沸点（℃）
エテン	エチレン	$CH_2{=}CH_2$	−104
プロペン	プロピレン	$CH_2{=}CHCH_3$	−47
1-ブテン	1-ブチレン	$CH_2{=}CHCH_2CH_3$	−6
シス-2-ブテン トランス-2-ブテン	2-ブチレン	$CH_3CH{=}CHCH_3$	4 1
2-メチルプロペン	イソブチレン	$CH_2{=}C{<}^{CH_3}_{CH_3}$	−7

【アルキン】

［アルキン(アセチレン系炭化水素)］

名称	慣用名	化学式	沸点(°C)
エチン	アセチレン	$HC\equiv CH$	−74
プロピン	メチルアセチレン	$CH_3C\equiv CH$	−23
1-ブチン	エチルアセチレン	$CH_3CH_2C\equiv CH$	8
2-ブチン	ジメチルアセチレン	$CH_3C\equiv CCH_3$	27
1-ペンチン	プロピルアセチレン	$CH_3(CH_2)_2C\equiv CH$	40
2-ペンチン	エチルメチルアセチレン	$CH_3CH_2C\equiv CCH_3$	56

【院政】

［院政①］

上皇	天皇	院政期間	上皇	天皇	院政期間
白河	堀河・鳥羽・崇徳	1086〜1129	後伏見	花園	1313〜1318
鳥羽	崇徳・近衛・後白河	1129〜1156	後宇多	後醍醐	1318〜1321
後白河	二条・六条・高倉	1158〜1179	後伏見	光厳	1331〜1333
高倉	安徳	1180	光厳	光明・崇光	1336〜1351
後白河	安徳・後鳥羽	1180〜1192	後光厳	後円融	1371〜1374
後鳥羽	土御門・順徳・仲恭	1198〜1221	後円融	後小松	1382〜1393
後高倉	後堀河	1221〜1223	長慶	後亀山	1385頃
後堀河	四条	1232〜1234	後小松	称光・後花園	1412〜1433
後嵯峨	後深草・亀山	1246〜1272	後花園	後土御門	1464〜1470
亀山	後宇多	1274〜1287	後陽成	後水尾	1611〜1617
後深草	伏見	1287〜1298	後水尾	明正・後光明・後西・霊元	1629〜1680
伏見	後伏見	1298〜1301	霊元	東山・中御門	1687〜1732
後宇多	後二条	1301〜1308	光格	仁孝	1817〜1840
伏見	花園	1308〜1313			

【干支】

［干支①］(六十干支表)

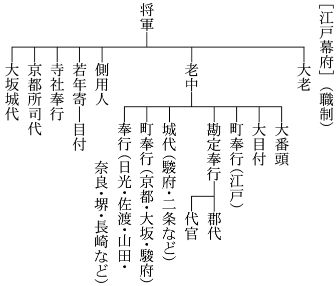
1 甲子	7 庚午	13 丙子	19 壬午	25 戊子	31 甲午	37 庚子	43 丙午	49 壬子	55 戊午
2 乙丑	8 辛未	14 丁丑	20 癸未	26 己丑	32 乙未	38 辛丑	44 丁未	50 癸丑	56 己未
3 丙寅	9 壬申	15 戊寅	21 甲申	27 庚寅	33 丙申	39 壬寅	45 戊申	51 甲寅	57 庚申
4 丁卯	10 癸酉	16 己卯	22 乙酉	28 辛卯	34 丁酉	40 癸卯	46 己酉	52 乙卯	58 辛酉
5 戊辰	11 甲戌	17 庚辰	23 丙戌	29 壬辰	35 戊戌	41 甲辰	47 庚戌	53 丙辰	59 壬戌
6 己巳	12 乙亥	18 辛巳	24 丁亥	30 癸巳	36 己亥	42 乙巳	48 辛亥	54 丁巳	60 癸亥

【江戸幕府(将軍)】

［江戸幕府］(将軍)

代	将軍氏名	在職年代	没年
1	徳川家康	1603−1605	1616
2	徳川秀忠	1605−1623	1632
3	徳川家光	1623−1651	1651
4	徳川家綱	1651−1680	1680
5	徳川綱吉	1680−1709	1709
6	徳川家宣	1709−1712	1712
7	徳川家継	1713−1716	1716
8	徳川吉宗	1716−1745	1751
9	徳川家重	1745−1760	1761
10	徳川家治	1760−1786	1786
11	徳川家斉	1787−1837	1841
12	徳川家慶	1837−1853	1853
13	徳川家定	1853−1858	1858
14	徳川家茂	1858−1866	1866
15	徳川慶喜	1866−1867	1913

【江戸幕府（職制）】



【炎色反応）】

［炎色反応］

元素	炎色	青色コバルトガラスを通した色
ルビジウム	深赤	赤紫
セシウム	青紫	紫青
インジウム	藍	紫
タリウム	黄緑	青紫
ナトリウム	黄	無色
カリウム	赤紫	紫
カルシウム	橙赤	橙緑
バリウム	緑	青
ストロンチウム	深赤	紫
銅	青緑	青紫
リチウム	深赤	赤紫
ガリウム	青	紫青
スズ	淡青	淡紫

【蔭位】

［蔭位］

官人	嫡子	庶子	嫡孫	庶孫
一位	従五位下	正六位上	正六位上	正六位下
二位	正六位下	従六位上	従六位上	従六位下
三位	従六位上	従六位下	従六位下	正七位上
正四位	正七位下	従七位上		
従四位	従七位上	従七位下		
正五位	正八位下	従八位上		
従五位	従八位上	従八位下		

【音名】

［音名］（各国の幹音名）

アメリカ・イギリス	ドイツ	フランス	イタリア	日本
C シー	C ツェー	ut ユット	do ド	ハ
D ディー	D デー	ré レ	re レ	ニ
E イー	E エー	mi ミ	mi ミ	ホ
F エフ	F エフ	fa ファ	fa ファ	ヘ
G ジー	G ゲー	sol ソル	sol ソル	ト
A エイ	A アー	la ラ	la ラ	イ
B ビー	H ハー	si シ	si シ	ロ

【海溝】

［海溝］（世界の主な海溝）

海溝名	最深部（m）
マリアナ海溝	10920
トンガ海溝	10800
フィリピン海溝	10057
ケルマデック海溝	10047
伊豆・小笠原海溝	9780
千島・カムチャツカ海溝	9550
北ニューヘブリデス海溝	9175
ニューブリテン海溝	8940
ヤップ海溝	8646
プエルトリコ海溝	8605
南サンドウィッチ海溝	8325
サンクリストバル海溝	8322
チリ海溝	8170
パラオ海溝	8054
日本海溝	8020
アリューシャン海溝	7679

【賀寿】

［賀寿］

還暦	六一歳
古希	七〇歳
喜寿	七七歳
傘寿	八〇歳
半寿	八一歳
米寿	八八歳
卒寿	九〇歳
白寿	九九歳
上寿	一〇〇歳

（数え年）

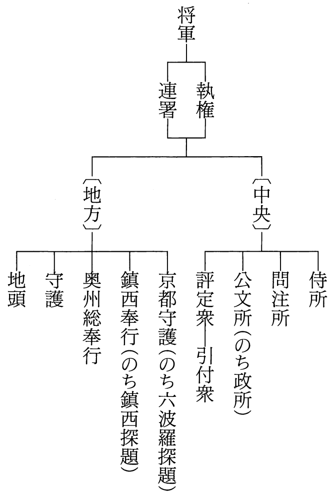
【鎌倉幕府（将軍）】

［鎌倉幕府］（将軍）

代	将軍氏名	在職年代	没年
1	源頼朝	1192—1199	1199
2	源頼家	1202—1203	1204
3	源実朝	1203—1219	1219
4	九条頼経	1226—1244	1256
5	九条頼嗣	1244—1252	1256
6	宗尊親王	1252—1266	1274
7	惟康親王	1266—1289	1326
8	久明親王	1289—1308	1328
9	守邦親王	1308—1333	1333

【鎌倉幕府（職制）】

［鎌倉幕府］（職制）



【華氏温度】

［華氏温度］（華氏—摂氏温度換算表）

華氏温度（°F）—摂氏温度（°C）

°F	°C	°F	°C	°F	°C	°F	°C
110	43.33	80	26.67	50	10.00	20	−6.67
108	42.22	78	25.56	48	8.89	18	−7.78
106	41.11	76	24.44	46	7.78	16	−8.89
104	40.00	74	23.33	44	6.67	14	−10.00
102	38.89	72	22.22	42	5.56	12	−11.11
100	37.78	70	21.11	40	4.44	10	−12.22
98	36.67	68	20.00	38	3.33	8	−13.33
96	35.56	66	18.89	36	2.22	6	−14.44
94	34.44	64	17.78	34	1.11	4	−15.56
92	33.33	62	16.67	32	0.00	2	−16.67
90	32.22	60	15.56	30	−1.11	0	−17.78
88	31.11	58	14.44	28	−2.22	−2	−18.89
86	30.00	56	13.33	26	−3.33	−4	−20.00
84	28.89	54	12.22	24	−4.44	−6	−21.11
82	27.78	52	11.11	22	−5.56	−8	−22.22

【歌舞伎十八番】

［歌舞伎十八番］

演目	読み
不破	ふわ
鳴神	なるかみ
暫	しばらく
不動	ふどう
嫐	うわなり
象引	ぞうひき
勧進帳	かんじんちょう
助六	すけろく
外郎売	ういろううり
押戻	おしもどし
矢の根	やのね
景清	かげきよ
関羽	かんう
七つ面	ななつめん
毛抜	けぬき
解脱	げだつ
蛇柳	じゃやなぎ
鎌髭	かまひげ

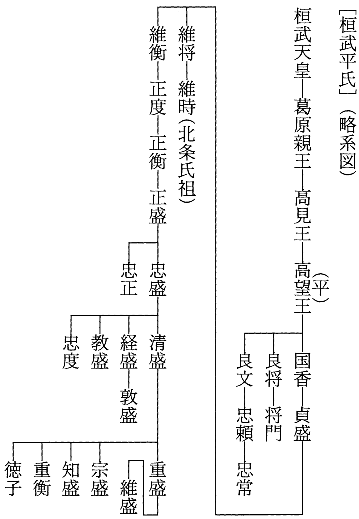
【川】

［川］（日本の主な河川）

名称	流域面積(km²)	幹川流路延長(km)
利根川	16,840	322
石狩川	14,330	268
信濃川	11,900	367
北上川	10,150	249
木曾川	9,100	227
十勝川	9,010	156
淀川	8,240	75
阿賀野川	7,710	210
最上川	7,040	229
天塩川	5,590	256
阿武隈川	5,400	239
天竜川	5,090	213
雄物川	4,710	133
米代川	4,100	136
富士川	3,990	128

【桓武平氏】

［桓武平氏］（略系図）



【強弱記号】

［強弱記号］

記号	名称	意味
ppp	ピアニッシッシモ	できるだけ弱く
pp	ピアニッシモ	ごく弱く
p	ピアノ	弱く
mp	メゾピアノ	やや弱く
mf	メゾフォルテ	やや強く
f	フォルテ	強く
ff	フォルティッシモ	ごく強く
fff	フォルティッシッシモ	できるだけ強く
∧, $>$	アクセント	アクセントをつけて
$<$	クレッシェンド	だんだん強く
$>$	ディミヌエンド デクレッシェンド	だんだん弱く
fp	フォルテピアノ	強くただちに弱く
sf, *sfz*	スフォルツァンド	その音だけを強く

【ギリシャ文字】

［ギリシャ文字］

Α	α	アルファ
Β	β	ベータ
Γ	γ	ガンマ
Δ	δ	デルタ
Ε	ε	エプシロン
Ζ	ζ	ゼータ
Η	η	エータ（イータ）
Θ	θ	テータ（シータ）
Ι	ι	イオタ
Κ	κ	カッパ
Λ	λ	ラムダ
Μ	μ	ミュー
Ν	ν	ニュー
Ξ	ξ	クシー（クサイ）
Ο	ο	オミクロン
Π	π	パイ
Ρ	ρ	ロー
Σ	σ	シグマ
Τ	τ	タウ
Υ	υ	ユプシロン
Φ	φ	フィー（ファイ）
Χ	χ	キー（カイ）
Ψ	ψ	プシー（プサイ）
Ω	ω	オメガ

【ギリシャ神話】

［ギリシャ神話］（オリンポス十二神）

ギリシャ名	ローマ名	一般名	神の属性
アテナ	ミネルバ		知識・工芸の女神
アフロディテ	ウェヌス	ビーナス	愛・美・豊饒の女神
アポロン	アポロ		音楽・医術・託宣の神
アルテミス	ディアナ	ダイアナ	狩猟・月の女神
アレス	マルス		戦いの神
ゼウス	ユピテル	ジュピター	最高神・全能の神
デメテル	ケレス		大地の女神
ヘスティア	ウェスタ		炉の女神
ヘファイストス	ウルカヌス	バルカン	火と鍛冶の神
ヘラ	ユノ	ジュノー	主女神・女性の守護神
ヘルメス	メルクリウス	マーキュリー	商業の神・旅人の守護神
ポセイドン	ネプトゥヌス	ネプチューン	海・泉の神

【結婚記念式】

［結婚記念式］

年数	名称
1年目	紙婚式
5年目	木婚式
10年目	錫婚式
15年目	水晶婚式
20年目	磁器婚式
25年目	銀婚式
30年目	真珠婚式
35年目	珊瑚婚式
40年目	ルビー婚式
45年目	サファイア婚式
50年目	金婚式
55年目	エメラルド婚式
60年目	ダイヤモンド婚式（イギリス）
75年目	ダイヤモンド婚式（アメリカ）

【県花】

［県花］（都道府県の花）

都道府県名	花名	都道府県名	花名	都道府県名	花名
北海道	ハマナス	石川	クロユリ	岡山	モモ
青森	リンゴ	福井	スイセン	広島	モミジ
岩手	キリ	山梨	フジザクラ	山口	夏ミカンの花
宮城	ミヤギノハギ	長野	リンドウ	徳島	スダチ
秋田	フキノトウ	岐阜	レンゲソウ	香川	オリーブ
山形	ベニバナ	静岡	ツツジ	愛媛	ミカン
福島	ネモトシャクナゲ	愛知	カキツバタ	高知	ヤマモモ
茨城	バラ	三重	ハナショウブ	福岡	ウメ
栃木	ヤシオツツジ	滋賀	シャクナゲ	佐賀	クスノキの花
群馬	レンゲツツジ	京都	シダレザクラ	長崎	ウンゼンツツジ
埼玉	サクラソウ	大阪	サクラソウ・ウメ	熊本	リンドウ
千葉	ナノハナ	兵庫	ノジギク	大分	ブンゴウメ
東京	ソメイヨシノ	奈良	ナラヤエザクラ	宮崎	ハマユウ
神奈川	ヤマユリ	和歌山	ウメ	鹿児島	ミヤマキリシマ
新潟	チューリップ	鳥取	二十世紀ナシのはな	沖縄	デイゴ
富山	チューリップ	島根	ボタン		

【県鳥】

［県鳥］（都道府県の鳥）

都道府県名	鳥名	都道府県名	鳥名	都道府県名	鳥名
北海道	タンチョウ	石川	イヌワシ	岡山	キジ
青森	ハクチョウ	福井	ツグミ	広島	アビ
岩手	キジ	山梨	ウグイス	山口	ナベヅル
宮城	ガン	長野	ライチョウ	徳島	シラサギ
秋田	ヤマドリ	岐阜	ライチョウ	香川	ホトトギス
山形	オシドリ	静岡	サンコウチョウ	愛媛	コマドリ
福島	キビタキ	愛知	コノハズク	高知	ヤイロチョウ
茨城	ヒバリ	三重	シロチドリ	福岡	ウグイス
栃木	オオルリ	滋賀	カイツブリ	佐賀	カササギ
群馬	ヤマドリ	京都	オオミズナギドリ	長崎	オシドリ
埼玉	シラコバト	大阪	モズ	熊本	ヒバリ
千葉	ホオジロ	兵庫	コウノトリ	大分	メジロ
東京	ユリカモメ	奈良	コマドリ	宮崎	コシジロヤマドリ
神奈川	カモメ	和歌山	メジロ	鹿児島	ルリカケス
新潟	トキ	鳥取	オシドリ	沖縄	ノグチゲラ
富山	ライチョウ	島根	オオハクチョウ		

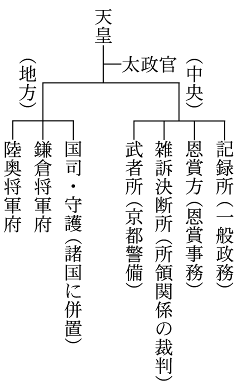
【県木】

［県木］（都道府県の木）

都道府県名	木名	都道府県名	木名	都道府県名	木名
北海道	エゾマツ	石川	アテ	岡山	アカマツ
青森	ヒバ	福井	マツ	広島	モミジ
岩手	ナンブアカマツ	山梨	カエデ	山口	アカマツ
宮城	ケヤキ	長野	シラカバ	徳島	ヤマモモ
秋田	アキタスギ	岐阜	イチイ	香川	オリーブ
山形	サクランボ	静岡	モクセイ	愛媛	マツ
福島	ケヤキ	愛知	ハナノキ	高知	ヤナセスギ
茨城	ウメ	三重	ジングウスギ	福岡	ツツジ
栃木	トチノキ	滋賀	モミジ	佐賀	クスノキ
群馬	クロマツ	京都	キタヤマスギ	長崎	ヒノキ・ツバキ
埼玉	ケヤキ	大阪	イチョウ	熊本	クスノキ
千葉	マキ	兵庫	クスノキ	大分	ブンゴウメ
東京	イチョウ	奈良	スギ	宮崎	フェニックス
神奈川	イチョウ	和歌山	ウバメガシ	鹿児島	カイコウズ・クスノキ
新潟	ユキツバキ	鳥取	ダイセンキャラボク	沖縄	リュウキュウマツ
富山	タテヤマスギ	島根	クロマツ		

【建武の新政】

［建武の新政］（建武政府機構）



【黄道十二宮】

［黄道十二宮］

名称	星座名	記号
白羊宮	牡羊座	♈
金牛宮	牡牛座	♉
双子宮	双子座	♊
巨蟹宮	蟹座	♋
獅子宮	獅子座	♌
処女宮	乙女座	♍
天秤宮	天秤座	♎
天蠍宮	蠍座	♏
人馬宮	射手座	♐
磨羯宮	山羊座	♑
宝瓶宮	水瓶座	♒
双魚宮	魚座	♓

【五胡十六国】

［五胡十六国］

種族	国名	存続期間
匈奴	漢（前趙）	304～329
	北涼	397～439
	夏	407～431
羯	後趙	319～351
鮮卑	前燕	337～370
	後燕	384～409
	西秦	385～431
	南涼	397～414
	南燕	398～410
氐	成（成漢）	304～347
	前秦	351～394
	後涼	386～403
羌	後秦	384～417
漢人	前涼	301～376
	西涼	400～421
	北燕	409～436

【こそあど】

［こそあど］

		近称	中称	遠称	不定称	品詞
人		こいつ	そいつ	あいつ	どいつ	代名詞
事物		これ	それ	あれ	どれ	
場所		ここ	そこ	あそこ	どこ	
方角		こちら	そちら	あちら	どちら	
		こっち	そっち	あっち	どっち	
状態		こう	そう	ああ	どう	副詞
		こんな	そんな	あんな	どんな	形容動詞
指示		この	その	あの	どの	連体詞

【五代十国】

［五代十国］

	王朝・国名	存続期間
五代	後梁	907～923
	後唐	923～936
	後晋	936～946
	後漢	947～950
	後周	951～960
十国	前蜀	907～925
	後蜀	934～965
	荊南	907～963
	楚	907～951
	呉	902～937
	南唐	937～975
	呉越	907～978
	閩	909～945
	南漢	917～971
	北漢	951～979

【西国三十三所】

［西国三十三所］

紀伊	1	青岸渡寺	山城	18	頂法寺
	2	紀三井寺		19	行願寺
	3	粉河寺		20	善峰寺
和泉	4	施福寺	丹波	21	穴太寺
河内	5	葛井寺	摂津	22	総持寺
大和	6	壺坂寺		23	勝尾寺
	7	岡寺		24	中山寺
	8	長谷寺	播磨	25	清水寺
	9	興福寺		26	一乗寺
山城	10	三室戸寺		27	円教寺
	11	上醍醐寺	丹後	28	成相寺
近江	12	岩間寺		29	松尾寺
	13	石山寺	近江	30	宝厳寺
	14	三井寺		31	長命寺
山城	15	観音寺		32	観音正寺
	16	清水寺	美濃	33	華厳寺
	17	六波羅蜜寺			

【雑節】

［雑節］　土用および彼岸は入りの日

名称	太陽黄経	備考
土用	297°	立春前18日間
節分		立春の前日
彼岸		春分を中心とする1週間
土用	27°	立夏前18日間
八十八夜		立春から88日目
入梅	80°	芒種から6日目
半夏生	100°	夏至から11日目
土用	117°	立秋前18日間
二百十日		立春から210日目
彼岸		秋分を中心とする1週間
土用	207°	立冬前18日間

【三角関数】

［三角関数］（加法定理）

$\sin(\alpha+\beta)=\sin\alpha\cos\beta+\cos\alpha\sin\beta$
$\sin(\alpha-\beta)=\sin\alpha\cos\beta-\cos\alpha\sin\beta$
$\cos(\alpha+\beta)=\cos\alpha\cos\beta-\sin\alpha\sin\beta$
$\cos(\alpha-\beta)=\cos\alpha\cos\beta+\sin\alpha\sin\beta$
$\tan(\alpha+\beta)=\dfrac{\tan\alpha+\tan\beta}{1-\tan\alpha\tan\beta}$
$\tan(\alpha-\beta)=\dfrac{\tan\alpha-\tan\beta}{1+\tan\alpha\tan\beta}$
$\sin(\alpha+\beta+\gamma)=\sin\alpha\cos\beta\cos\gamma+\cos\alpha\sin\beta\cos\gamma+\cos\alpha\cos\beta\sin\gamma-\sin\alpha\sin\beta\sin\gamma$
$\cos(\alpha+\beta+\gamma)=\cos\alpha\cos\beta\cos\gamma-\cos\alpha\sin\beta\sin\gamma-\sin\alpha\cos\beta\sin\gamma-\sin\alpha\sin\beta\cos\gamma$
$\tan(\alpha+\beta+\gamma)=\dfrac{\tan\alpha+\tan\beta+\tan\gamma-\tan\alpha\tan\beta\tan\gamma}{1-\tan\beta\tan\gamma-\tan\gamma\tan\alpha-\tan\alpha\tan\beta}$

【執権】

［執権②］（鎌倉幕府執権表）

代	執権氏名	在職年代	没年
1	北条時政	1203—1205	1215
2	北条義時	1205—1224	1224
3	北条泰時	1224—1242	1242
4	北条経時	1242—1246	1246
5	北条時頼	1246—1256	1263
6	北条長時	1256—1264	1264
7	北条政村	1264—1268	1273
8	北条時宗	1268—1284	1284
9	北条貞時	1284—1301	1311
10	北条師時	1301—1311	1311
11	北条宗宣	1311—1312	1312
12	北条熙時	1312—1315	1315
13	北条基時	1315—1315	1333
14	北条高時	1316—1326	1333
15	北条貞顕	1326—1326	1333
16	北条守時	1326—1333	1333

【十干】

［十干］

甲	コウ	木の兄	きのえ
乙	オツ	木の弟	きのと
丙	ヘイ	火の兄	ひのえ
丁	テイ	火の弟	ひのと
戊	ボ	土の兄	つちのえ
己	キ	土の弟	つちのと
庚	コウ	金の兄	かのえ
辛	シン	金の弟	かのと
壬	ジン	水の兄	みずのえ
癸	キ	水の弟	みずのと

【十三仏】

［十三仏］

不動	初七日
釈迦	二七日
文殊	三七日
普賢	四七日
地蔵	五七日
弥勒	六七日
薬師	七七日
観音	百箇日
勢至	一周忌
阿弥陀	三回忌
阿閦	七回忌
大日	十三回忌
虚空蔵	三十三回忌

【十二支】

［十二支］

子	ね	シ	鼠
丑	うし	チュウ	牛
寅	とら	イン	虎
卯	う	ボウ	兎
辰	たつ	シン	竜
巳	み	シ	蛇
午	うま	ゴ	馬
未	ひつじ	ビ	羊
申	さる	シン	猿
酉	とり	ユウ	鶏
戌	いぬ	ジュツ	犬
亥	い	ガイ	猪

【四天王】

［四天王②ウ］（武将の代表例）

源頼光	渡辺綱、坂田金時、碓井貞光、卜部季武
木曾義仲	今井兼平、樋口兼光、根井幸親、楯親忠
源義経	佐藤継信、佐藤忠信、鎌田盛政、鎌田光政
織田信長	柴田勝家、滝川一益、丹羽長秀、明智光秀
徳川家康	酒井忠次、井伊直政、本多忠勝、榊原康政
豊臣秀頼	木村重成、真田幸村、長宗我部盛親、後藤基次

【十二神将】

［十二神将］

宮毘羅大将（くびらだいしょう）	弥勒	子神
伐折羅大将（ばさらだいしょう）	勢至	丑神
迷企羅大将（めきらだいしょう）	弥陀	寅神
安底羅大将（あんちらだいしょう）	観音	卯神
頞儞羅大将（あじらだいしょう）	如意輪	辰神
珊底羅大将（さんちらだいしょう）	虚空蔵	巳神
因陀羅大将（いんだらだいしょう）	地蔵	午神
波夷羅大将（はいらだいしょう）	文殊	未神
摩虎羅大将（まこらだいしょう）	大威徳	申神
真達羅大将（しんだらだいしょう）	普賢	酉神
招杜羅大将（しょうとらだいしょう）	大日	戌神
毘羯羅大将（びからだいしょう）	釈迦	亥神

【尺貫法】

［尺貫法］（換算表）

長さ

	尺	間	町	里	メートル
尺	1	0.166666	0.0027777	0.000077	0.30303
間	6	1	0.016666	0.000462	1.81818
町	360	60	1	0.027777	109.09
里	12960	2160	36	1	3927.27

面積

	平方尺	坪	畝	反	町	平方メートル
平方尺	1	0.027777	0.000926	0.000092	0.000009	0.091827
坪（歩）	36	1	0.033333	0.003333	0.000333	3.30579
畝	1080	30	1	0.1	0.01	99.1736
反（段）	10800	300	30	1	0.1	991.736
町	108000	3000	300	10	1	9917.36

体積

	合	升	斗	石	立方メートル
合	1	0.1	0.01	0.001	0.00018
升	10	1	0.1	0.01	0.001804
斗	100	10	1	0.1	0.018039
石	1000	100	10	1	0.18039

質量

	匁	斤	貫	グラム
匁	1	0.00625	0.001	3.75
斤	160	1	0.16	600
貫	1000	6.25	1	3750

【四等官】

［四等官］

官名	長官	次官	判官	主典
神祇官	伯	副(大、少)	祐(大、少)	史(大、少)
太政官	太政大臣 左大臣 右大臣	大納言 中納言	少納言 弁(大、中、少)	外記(大、少) 史(大、少)
省	卿	輔(大、少)	丞(大、少)	録(大、少)
坊・職	大夫	亮	進(大、少)	属(大、少)
寮	頭	助	允(大、少)	属(大、少)
司・監	正		佑	令史
署	首		佑	令史
台	尹	弼	忠(大、少)	疏(大、少)
衛府	督	佐	尉(大、少)	志(大、少)
大宰府	帥	弐(大、少)	監(大、少)	典(大、少)
国司	守	介	掾(大、少)	目(大、少)
郡司	大領	少領	主政	主帳
家令	令	扶	従(大、少)	書吏(大、少)

【自律神経】

［自律神経］(自律神経のはたらき)

	交感神経	副交感神経
心臓の拍動	促進	抑制
消化器官の運動	抑制	促進
瞳孔の開閉	散大	縮小
胃・小腸・膵臓の分泌腺	抑制	促進
唾液腺の分泌	促進	促進
体幹・四肢の血管	収縮	なし
汗の分泌	促進	なし
立毛筋	収縮	なし

【正史】

［正史②］(一覧表)

書名	著者	巻数	書名	著者	巻数
史記	司馬遷	一三〇	隋書	魏徴ら	八五
漢書	班固	一〇〇	南史	李延寿	八〇
後漢書	范曄	一二〇	北史	李延寿	一〇〇
三国志	陳寿	六五	旧唐書	劉昫ら	二〇〇
晋書	房玄齢ら	一三〇	新唐書	欧陽脩ら	二二五
宋書	沈約	一〇〇	旧五代史	薛居正ら	一五〇
南斉書	蕭子顕	五九	新五代史	欧陽脩	七四
梁書	姚思廉	五六	宋史	脱脱ら	四九六
陳書	姚思廉	三六	遼史	脱脱ら	一一六
魏書	魏収	一三〇	金史	脱脱ら	一三五
北斉書	李百薬	五〇	元史	宋濂ら	二一〇
周書	令狐徳棻ら	五〇	明史	張廷玉ら	三三二

【速度標語】

［速度標語］

標語	名称	意味
largo	ラルゴ	非常にゆっくりと
lento	レント	ゆっくりと
adagio	アダージョ	ゆるやかに
andante	アンダンテ	歩く速さで
moderato	モデラート	中くらいの速さで
allegro	アレグロ	快速に
vivace	ビバーチェ	生き生きと速く
presto	プレスト	急速に

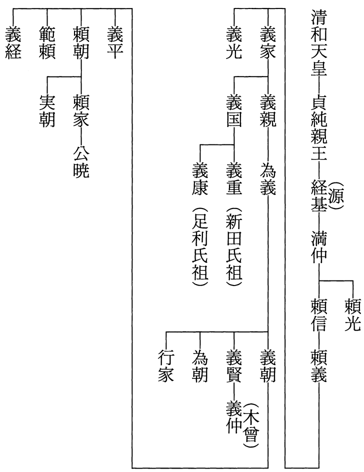
【出世魚】

［出世魚］（代表的な出世魚の成長名）　　（単位はcm）

魚名	稚魚・幼魚	若魚・未成魚	成魚	特大魚	呼称地
スズキ	コッパ（小型のもの）	セイゴ（15〜25） フッコ（30〜40）	スズキ（60以上）		全国
ボラ	ボラコ（約3） イキナゴ（約6）	コボラ（9〜12） イナ（約15）	ボラ オオボラ（大型のもの）		高知
	オボコ（3〜9） イナッコ（約10） スバシリ（約10）	イナ（10〜25）	ボラ（30〜50）	トド（50以上）	東京
ブリ	ツバス（10〜15）	ハマチ（30〜40） メジロ（約60）	ブリ（80以上）		大阪
	モジャコ（3〜8）	ワカナ（15〜20） ハマチ（25〜45）	メジロ（50〜60） ブリ（約70以上）		高知
	ワカシ（約15）	イナダ（30〜40） ワラサ（約60）	ブリ（90以上）		東京

【清和源氏】

［清和源氏］（略系図）



【誕生石】

［誕生石］

1月	ガーネット
2月	アメシスト
3月	アクアマリン ブラッドストーン
4月	ダイヤモンド
5月	エメラルド
6月	真珠 ムーンストーン
7月	ルビー
8月	橄欖石、紅瑪瑙 縞瑪瑙
9月	サファイア
10月	オパール
11月	トパーズ
12月	トルコ石 ラピスラズリ

【月】

［月③］（陰暦月異名）

- 一月　睦月（むつき）
- 二月　如月（きさらぎ）
- 三月　弥生（やよい）
- 四月　卯月（うづき）
- 五月　皐月（さつき）
- 六月　水無月（みなづき）
- 七月　文月（ふみづき）
- 八月　葉月（はづき）
- 九月　長月（ながつき）
- 十月　神無月（かみなづき）
- 十一月　霜月（しもつき）
- 十二月　師走（しわす）

【二十四番花信風】

［二十四番花信風］

節気	一候	二候	三候
小寒（しょうかん）	梅花（ばいか）	山茶（つばき）	水仙（すいせん）
大寒（だいかん）	瑞香（じんちょうげ）	蘭花（らんか）	山礬（さんばん）
立春（りっしゅん）	迎春（おうばい）	桜桃（ゆすら）	望春（こぶし）
雨水（うすい）	菜花（さいか）	杏花（きょうか）	李花（りか）
啓蟄（けいちつ）	桃花（とうか）	棣棠（やまぶき）	薔薇（そうび）
春分（しゅんぶん）	海棠（かいどう）	梨花（りか）	木蘭（もくらん）
清明（せいめい）	桐花（とうか）	麦花（ばくか）	柳花（りゅうか）
穀雨（こくう）	牡丹（ぼたん）	荼蘼（とび）	楝花（おうち）

【東海道五十三次】

［東海道五十三次］

品川 → 川崎 → 神奈川 → 程ヶ谷 → 戸塚 → 藤沢 → 平塚 → 大磯 → 小田原 → 箱根 → 三島 → 沼津 → 原 → 吉原 → 蒲原 → 由井 → 興津 → 江尻 → 府中 → 鞠子 → 岡部 → 藤枝 → 島田 → 金谷 → 日坂 → 掛川 → 袋井 → 見付 → 浜松 → 舞坂 → 新居 → 白須賀 → 二川 → 吉田 → 御油 → 赤坂 → 藤川 → 岡崎 → 池鯉鮒 → 鳴海 → 宮 → 桑名 → 四日市 → 石薬師 → 庄野 → 亀山 → 関 → 坂之下 → 土山 → 水口 → 石部 → 草津 → 大津

【二十四節気】

［二十四節気］

季節	名称	概略日付	黄経
春	立春	2月4日	315°
	雨水	2月19日	330°
	啓蟄	3月6日	345°
	春分	3月21日	0°
	清明	4月5日	15°
	穀雨	4月20日	30°
夏	立夏	5月6日	45°
	小満	5月21日	60°
	芒種	6月6日	75°
	夏至	6月22日	90°
	小暑	7月8日	105°
	大暑	7月23日	120°
秋	立秋	8月8日	135°
	処暑	8月24日	150°
	白露	9月8日	165°
	秋分	9月23日	180°
	寒露	10月9日	195°
	霜降	10月24日	210°
冬	立冬	11月8日	225°
	小雪	11月23日	240°
	大雪	12月8日	255°
	冬至	12月22日	270°
	小寒	1月6日	285°
	大寒	1月20日	300°

【二十八宿】

［二十八宿①］

	漢名	和名	距星	
東方七宿	角	すぼし	おとめ座	α
（蒼竜）	亢	あみぼし	おとめ座	κ
	氐	ともぼし	てんびん座	α
	房	そいぼし	さそり座	π
	心	なかごぼし	さそり座	σ
	尾	あしたれぼし	さそり座	μ
	箕	みぼし	いて座	γ
北方七宿	斗	ひきつぼし	いて座	ϕ
（玄武）	牛	いなみぼし	やぎ座	β
	女	うるきぼし	みずがめ座	ε
	虚	とみてぼし	みずがめ座	β
	危	うみやめぼし	みずがめ座	α
	室	はついぼし	ペガスス座	α
	壁	なまめぼし	ペガスス座	γ
西方七宿	奎	とかきぼし	アンドロメダ座	ζ
（白虎）	婁	たたらぼし	おひつじ座	β
	胃	えきえぼし	おひつじ座	35
	昴	すばるぼし	おうし座	17
	畢	あめふりぼし	おうし座	ε
	觜	とろきぼし	オリオン座	ϕ
	参	からすきぼし	オリオン座	δ
南方七宿	井	ちちりぼし	ふたご座	μ
（朱雀）	鬼	たまおのほし	かに座	θ
	柳	ぬりこぼし	うみへび座	δ
	星	ほとおりぼし	うみへび座	α
	張	ちりこぼし	うみへび座	ν
	翼	たすきぼし	コップ座	α
	軫	みつかけぼし	からす座	γ

【日本十進分類法】

［日本十進分類法］（主類）

000	総記
100	哲学
200	歴史
300	社会科学
400	自然科学
500	技術、工学
600	産業
700	芸術
800	語学
900	文学

【女房詞】

［女房詞］（女房詞の例）

あか	小豆（あずき）
いしいし	団子
いと	納豆
おあし	銭（ぜに）
おかべ	豆腐
おこわ	赤飯
おなか	食事
おひやし	水
おひら	平椀、鯛
おむし	味噌
かちん	餅
かもじ	髪
くこん（九献）	酒
くろもの	鍋、釜
こもじ	鯉
しろもの	塩
すもじ	鮨（すし）
ぞろ	素麺（そうめん）

【年齢】

［年齢］（年齢の異名）

十五歳	志学（しがく）
二十歳	弱冠（じゃっかん）
三十歳	而立（じりつ）
四十歳	不惑（ふわく）
五十歳	知命（ちめい）
六十歳	耳順（じじゅん）
七十歳	従心（じゅうしん）

【発想標語】

［発想標語］

標語	名称	意味
animato	アニマート	いきいきと
con brio	コン-ブリオ	活気をもって
cantabile	カンタービレ	歌うように
dolce	ドルチェ	甘く、柔らかに
espressivo	エスプレッシーボ	表情豊かに
grave	グラーベ	荘重に
grazioso	グラツィオーソ	優美に
lamentabile	ラメンタービレ	悲しげに
maestoso	マエストーソ	威厳をもって
con moto	コン-モート	動きをつけて
passionato	パッショナート	熱情的に
semplice	センプリチェ	装飾なしで
tranquillo	トランクィッロ	穏やかに
vivo	ビーボ	活発に

【ビタミン欠乏症】

［ビタミン欠乏症］

		症状
脂溶性ビタミン		
	ビタミンA	夜盲症、角膜乾燥症、粘膜の乾燥角化
	ビタミンD	佝僂病、骨軟化症
	ビタミンE	不妊症（ネズミ）
	ビタミンK	血液凝固障害
水溶性ビタミン		
	ビタミンB_1	脚気、多発性神経炎
	ビタミンB_2	口角炎、舌炎、脂漏性皮膚炎
	ニコチン酸	ペラグラ
	ビタミンB_6	脂漏性湿疹、口唇炎、口角炎、貧血
	パントテン酸	皮膚炎、末梢神経障害（ネズミ、ニワトリ）
	ビオチン	皮膚炎（ネズミ）
	ビタミンB_{12}	悪性貧血
	葉酸	悪性貧血
	ビタミンC	壊血病

【比熱】

［比熱］ (1J=0.24cal)

	物質	温度（℃）	比熱（J/g･K）
気体	空気（乾燥）	20	1.006
	酸素	16	0.922
	水蒸気	100	2.051
	水素	0	14.191
	二酸化炭素	16	0.837
液体	エチルアルコール	0	2.29
	オリーブ油	7	1.97
	海水	17	3.93
	ベンゼン	10	1.42
	水	0	4.2174
固体	アルミニウム	0	0.880
	金	0	0.128
	コンクリート	室温	約0.84
	砂	0	約0.8
	鉄	0	0.435
	木材	20	約1.25

【物理量】

［物理量］（主な例）

物理量	主な記号	単位の名称	単位記号
長さ	***x*,*l***	メートル	m
質量	***m***	キログラム	kg
時間	***t***	秒	s
面積	***S***	平方メートル	㎡
体積	***V***	立方メートル	㎥
速度	***v***	メートル毎秒 キロメートル毎時	m/s ㎞/h
角速度	***ω***	ラジアン毎秒	rad/s
加速度	***a***	メートル毎秒毎秒	m/s^2
力	***f***	ニュートン	N
運動量	***mv***	キログラムメートル毎秒	kg•m/s
力積	***ft***	ニュートン秒	N•s
仕事 エネルギー	***W*** ***E***	ジュール	J
仕事率 電力	***P***	ワット	W
圧力	***p***	ニュートン毎平方メートル 気圧 パスカル	N/㎡ atm Pa
温度	***t***	ケルビン セルシウス度	K ℃
熱量	***Q***	ジュール	J
比熱	***c***	ジュール毎キログラムケルビン	J/kg•K
周波数 振動数	***f***	ヘルツ	Hz
振幅	***A***	メートル	m
波長	***λ***	メートル	m
周期	***T***	秒	s
電気量	***Q***	クーロン	C
電界の強さ	***E***	ニュートン毎クーロン ボルト毎メートル	N/C V/m
電気容量	***C***	ファラド	F
電流	***I***	アンペア	A
電圧	***V***	ボルト	V
電気抵抗	***R***	オーム	Ω
抵抗率	*ρ*	オームメートル	Ω•m
磁界の強さ	***B***	テスラ ニュートン毎アンペアメートル	T N/Am

【符牒】

［符牒②］（数の符牒）

職業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
糸商	え	び	す	だ	い	こ	く	げ	ほ	う
花柳界	お	き	や	く	は	た	い	せ	つ	
荒物商	つ	る	か	め	ま	ひ	あ	そ	ぶ	
バー	さ	け	の	み	は	ふ	く	の	か	み
露天商	い	つ	も	ふ	け	い	き	な	し	
香具師	やり	ふり	かち	ため	ずか	みず	おき	あった	がけ	
菓子商	やり	ふり	かち	めった	しずか	みず	おき	あすた	きわ	
理髪師	やり	りふ	かち	めった	しずか	みず	おき	あすた	きわ	
賭博師	ぴん	にぞう	さんずん	よつや	ごけ	ろっぽん	しちん	ちょうべい	かぶ	ぶた
寿司職	ぴん	ののじ りゃんこ	げた	だり	めのじ	ろんじ	せいなん	ばんど	きわ	ぴんそく

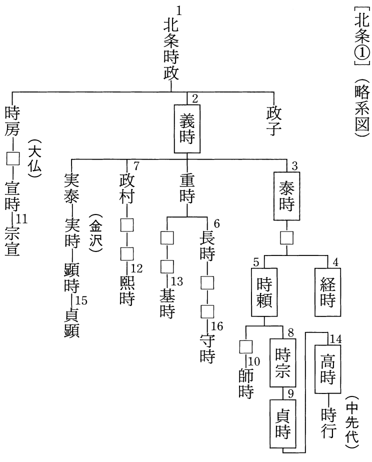
【 湖 】

［湖］（日本の主な湖）

名称	面積(㎢)	最大水深(m)	湖沼型
琵琶湖	670.5	103.8	中栄養
霞ヶ浦	167.6	11.9	富栄養
サロマ湖	150.4	19.6	富栄養
猪苗代湖	103.3	93.5	酸栄養
中海	86.8	17.1	富栄養
屈斜路湖	79.4	117.5	酸栄養
宍道湖	79.2	6.0	富栄養
支笏湖	78.4	360.1	貧栄養
洞爺湖	70.7	179.7	貧栄養
浜名湖	65.0	13.1	中栄養
小川原湖	62.2	24.4	中栄養
十和田湖	61.0	326.8	貧栄養
能取湖	58.4	23.1	富栄養
風蓮湖	57.5	13.0	貧栄養
北浦	35.2	7.8	富栄養

【北条】

［北条①］（略系図）



（数字は執権就任の順序、□は得宗）

【無限級数】

［無限級数］

$$\frac{1}{1\mp x}=1\pm x+x^2\pm x^3+x^4\pm x^5+\cdots\cdots\pm x^{2n-1}+x^{2n}+\cdots\cdots\text{（ただし、}x^2<1\text{）}$$

$$\frac{1}{(1\mp x)^2}=1\pm 2x+3x^2\pm 4x^3+\cdots\cdots\pm 2nx^{2n-1}+(2n+1)x^{2n}+\cdots\cdots\text{（ただし、}x^2<1\text{）}$$

$$\sqrt{1\pm x}=1\pm\frac{1}{2}x-\frac{1\cdot 1}{2\cdot 4}x^2\pm\frac{1\cdot 1\cdot 3}{2\cdot 4\cdot 6}x^3-\frac{1\cdot 1\cdot 3\cdot 5}{2\cdot 4\cdot 6\cdot 8}x^4\pm\cdots\cdots\text{（ただし、}x^2<1\text{）}$$

$$e^x=1+\frac{x}{1!}+\frac{x^2}{2!}+\frac{x^3}{3!}+\frac{x^4}{4!}+\cdots\cdots+\frac{x^n}{n!}+\cdots\cdots\text{（ただし、}x^2<\infty\text{）}$$

$$a^x=1+\frac{x\log a}{1!}+\frac{x^2(\log a)^2}{2!}+\frac{x^3(\log a)^3}{3!}+\cdots\cdots+\frac{x^n(\log a)^n}{n!}+\cdots\cdots\text{（ただし、}x^2<\infty\text{）}$$

$$\log(1+x)=x-\frac{x^2}{2}+\frac{x^3}{3}-\cdots\cdots+(-1)^{n-1}\frac{x^n}{n}+\cdots\cdots\text{（ただし、}-1<x\leqq 1\text{）}$$

$$\sin x=x-\frac{x^3}{3!}+\frac{x^5}{5!}-\frac{x^7}{7!}+\cdots\cdots+(-1)^{n-1}\frac{x^{2n-1}}{(2n-1)!}+\cdots\cdots\text{（ただし、}x\text{：}rad,\ x^2<\infty\text{）}$$

$$\cos x=1-\frac{x^2}{2!}+\frac{x^4}{4!}-\frac{x^6}{6!}+\cdots\cdots+(-1)^{n-1}\frac{x^{2n-2}}{(2n-2)!}+\cdots\cdots\text{（ただし、}x\text{：}rad,\ x^2<\infty\text{）}$$

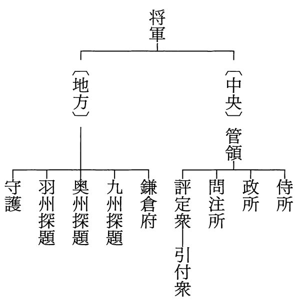
$$\tan x=x+\frac{x^3}{3}+\frac{2x^5}{15}+\frac{17x^7}{315}+\frac{62x^9}{2835}+\cdots\cdots\text{（ただし、}x\text{：}rad,\ |x|<\pi/2\text{）}$$

【室町幕府（将軍）】

［室町幕府］（将軍）

代	将軍氏名	在職年代	没年
1	足利尊氏	1338—1358	1358
2	足利義詮	1358—1367	1367
3	足利義満	1368—1394	1408
4	足利義持	1394—1423	1428
5	足利義量	1423—1425	1425
6	足利義教	1429—1441	1441
7	足利義勝	1442—1443	1443
8	足利義政	1449—1473	1490
9	足利義尚	1473—1489	1489
10	足利義稙	1490—1521	1523
11	足利義澄	1494—1508	1511
12	足利義晴	1521—1546	1550
13	足利義輝	1546—1565	1565
14	足利義栄	1568—1568	1568
15	足利義昭	1568—1573	1597

【室町幕府（職制）】



［室町幕府］（職制）

【ヤード-ポンド法】

［ヤード-ポンド法］（換算表）

長さ

	インチ	フィート	ヤード	マイル	メートル
インチ	1	0.083333	0.027778	0.000016	0.0254
フィート	12	1	0.333333	0.000189	0.3048
ヤード	36	3	1	0.000568	0.9144
マイル	63360	5280	1760	1	1609.344

面積

	平方ヤード	エーカー	平方マイル	平方メートル
平方ヤード	1	0.000207	—	0.836127
エーカー	4840	1	0.001563	4046.86
平方マイル	—	640	1	—

体積

	ガロン(英)	ガロン(米)	立方インチ	立方メートル	リットル
ガロン(英)	1	1.20095	277.42	0.004546	4.546
ガロン(米)	0.833	1	231	0.003785	3.78541

質量

	オンス	ポンド	トン(英)	トン(米)	グラム
オンス	1	0.0625	0.000028	0.000031	28.3495
ポンド	16	1	0.000446	0.0005	453.592
トン(英)	35840	2240	1	1.12	1016050
トン(米)	32000	2000	0.892857	1	907185

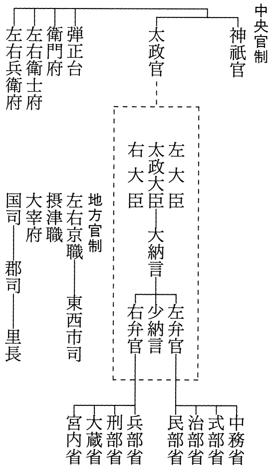
【六国史】

［六国史］

書名	撰進年	主な撰進者	期間
日本書紀	七二〇	舎人親王	神代～持統朝
続日本紀	七九七	藤原継縄	六九七～七九一
日本後紀	八四〇	藤原緒嗣	七九二～八三三
続日本後紀	八六九	藤原良房	八三三～八五〇
文徳実録	八七九	藤原基経	八五〇～八五八
三代実録	九〇一	藤原時平	八五八～八八七

【律令制】

［律令制］（律令官制表）



【六曜】

［六曜］（早見表）

旧暦日					1・7	2・8	3・9	4・10	5・11	6・12
1	7	13	19	25	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口
2	8	14	20	26	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝
3	9	15	21	27	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引
4	10	16	22	28	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負
5	11	17	23	29	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅
6	12	18	24	30	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安

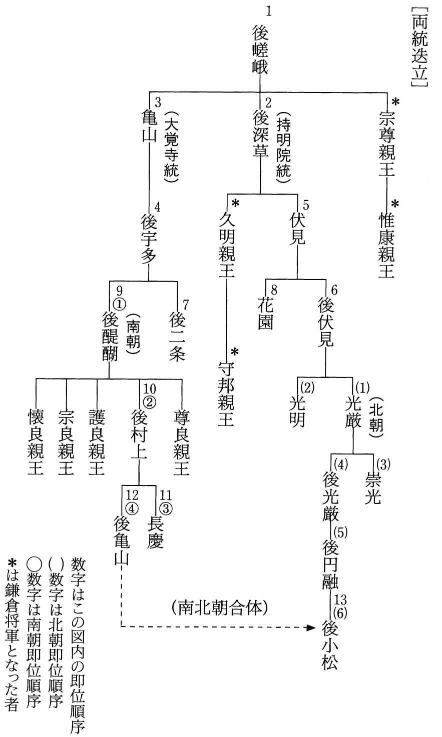
（旧暦月の欄：六曜）

【ローマ数字】

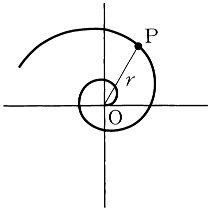
［ローマ数字］

1	I	8	Ⅷ
2	II	9	IX
3	III	10	X
4	IV	50	L
5	V	100	C
6	VI	500	D
7	Ⅶ	1000	M

【両統迭立】

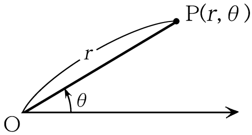

［両統迭立］
1 後嵯峨
3 亀山
（大覚寺統）
2 後深草
（持明院統）
＊宗尊親王
＊惟康親王
4 後宇多
＊久明親王
5 伏見
9 ① 後醍醐
（南朝）
7 後二条
＊守邦親王
8 花園
6 後伏見
懐良親王
宗良親王
護良親王
10 ② 後村上
尊良親王
(2) 光明
(1) 光厳
（北朝）
12 ④ 後亀山
11 ③ 長慶
(4) 後光厳
(3) 崇光
(5) 後円融
（南北朝合体）
13 (6) 後小松
数字はこの図内の即位順序
（）数字は北朝即位順序
○数字は南朝即位順序
＊は鎌倉将軍となった者

【アルキメデスの螺線】



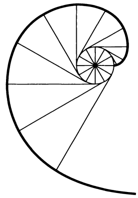
［アルキメデスの螺線］

【極座標】



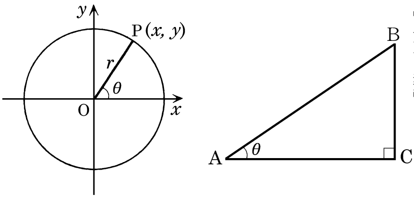
［極座標］

【インボリュート曲線】



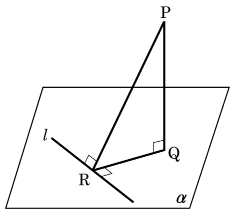
［インボリュート曲線］

【三角関数】



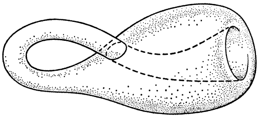
［三角関数］

【三垂線の定理】



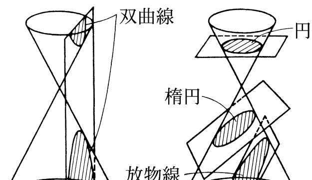
［三垂線の定理］

【クラインの壺】



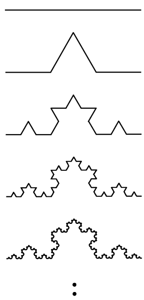
［クラインの壺］

【円錐曲線】



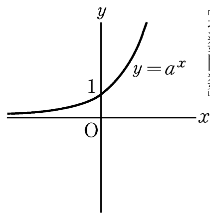
［円錐曲線］

【コッホ曲線】



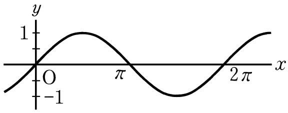
［コッホ曲線］

【指数関数】



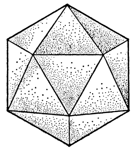
［指数関数］

【正弦曲線】



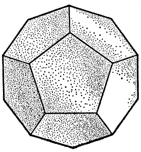
[正弦曲線]

【正二十面体】



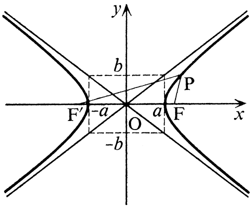
[正二十面体]

【正十二面体】



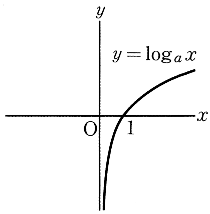
[正十二面体]

【双曲線】



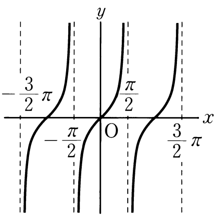
[双曲線]

【対数関数】



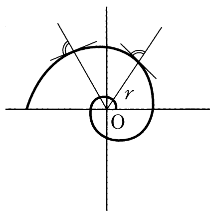
[対数関数]

【正接曲線】



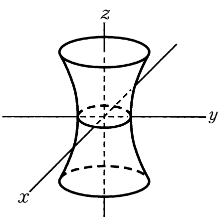
[正接曲線]

【対数螺線】

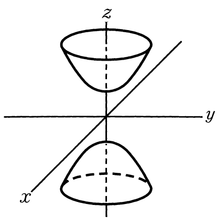


[対数螺線]

【双曲面】



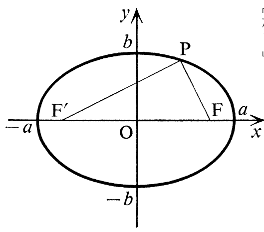
一葉



二葉

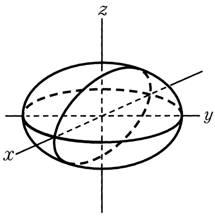
[双曲面]

【楕円】



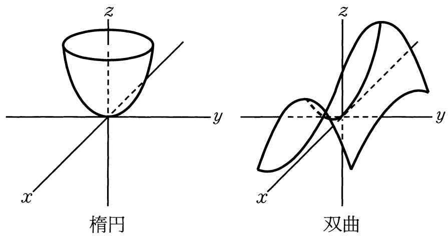
[楕円]

【楕円面】



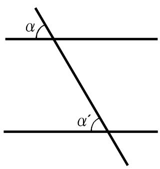
［楕円面］

【放物面】



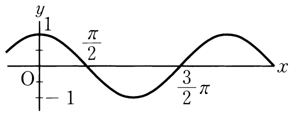
［放物面］

【同位角】



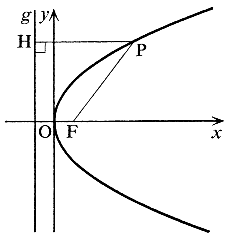
［同位角］

【余弦曲線】



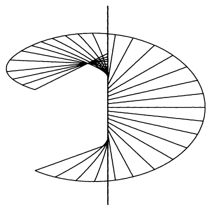
［余弦曲線］

【放物線】



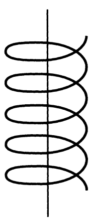
［放物線］

【螺線面】



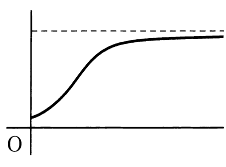
［螺線面］

【螺線】



［螺線②］

【ロジスティック曲線】



［ロジスティック曲線］

新明解国語辞典

編集方針

この辞典は、現代の言語生活において最も普通に用いられる日本語に就いて、その多岐にわたる用法を種種の角度から内省・確認し、併せて正確・効果的な使用が可能であることを念じて編集された。

見出し語

一　**採録方針**　いわゆる自明合成語・擬音語は多く省略に従った。また、動詞とその名詞形との間に大きな用法の違いの無いものや、形容詞および いわゆる形容動詞に基づく派生形（—**さ**・—**み**：—**げ**・—**がる**）も、語釈の末尾に［派］のラベルを付けて示すのみにとどめ、別掲しなかった。

二　**重要語**　三千四百三十九に⁑*の印を付けた。

三　**字音語の造語成分**　見出し語の配列に準じた。

語　釈　単なる文字の説明および堂堂めぐりを極力排し、文の形による語義の解明を大方針とした。

一　**語義の分類**　無意義な細分化を避け、大分類に従った。文脈に即しての意味は、用例の次のパラフレーズによって示した。

二　**語義の配列**　語義は、現代日本語において通常使用されているものを凝視し、頻度の高いものから低いものへ、一般的なものから特殊なものへという方向によることを原則とした。古義・原義で、あとへ回すことに忍びないものは、語原として冒頭に注した。

三　**類義語の弁別**　漢語的表現・古語的表現・老人語・雅語的表現・和語的表現・字音語的表現・古風な表現 などの術語のもとに類義語間の用法の相違を記述した。

上の術語中における〈漢語〉は、狭義における用法に属し、字音語一般とは区別されるものを指す。

四　**語義の補足的説明**　語釈に先立って、語原・位相を示すと共に、語の使用場面などに就いての限定を知らせることに努めた。外来語のスペリングも語原扱いとした。原語の意味を注記したものも少なくない、

例、サイダー［1］〔cider＝りんご酒〕…

本義と異なる広義・狭義の用法および転義並びに必要な補足的説明を語釈の末尾に施した。

五　**語の運用に関する情報**　《運用》欄を設け、日常会話に用いられる表現に関する運用上の情報を示した。待遇表現にかかわる用法を中心に、必ずしもその語の一般的な意味とは一致しない側面や含意された意味を取り出し、対人関係にもたらすプラス・マイナス両面の表現効果を、具体的な用法を明示しながら解説を行なった。

六　**かぞえ方**　実際の使用例から採集した物の算（カゾ）え方を、《かぞえ方》欄に示した。なお、「一個·一つ」という算え方については、少数に限って併記·単記して掲げた。因（チナ）みに、この欄には「一山・二箱・…」など、広い意味の算え方ではあるが、厳密には助数詞とは言えないものをも注記した。

細　則

見出しの表記と体裁

1　和語・字音語は ひらがなで表記した。

2　外来語はカタカナで表記した。 ただし、慣用久しきに及ぶ約十語は準和語扱いとした。
なお、1は「現代仮名遣い」（昭和六一年七月一日内閣告示）に、2は「外来語の表記」（平成三年六月二八日内閣告示）に従うことを旨とした。

3　**あいき どう**［オ］【合気道】・**ねがわく は**［ワ］【願わくは】等における右傍の［ ］で囲まれたカタカナは、本行（ホンギヨウ）の1に対応する表音式表記である。

4　一見出しの区分は原則として二区分とした。助詞「の・つ」を介するものは助詞までを上位に扱った。また、促音・撥（ハツ）音が新たに添加される口頭語形は、促音・撥音から以下を下位として扱い、本来の変化形と区別した、例、

　　そ っけ〔素っ気の意〕**ぞっ け**（ゾク―）【俗気】
　　ふんま·える【踏んまえる】（「踏まえる」の口頭語形）
　　ふん ば·る【踏（ん）張る】

なお、区分は、現代の言語意識に即して行い、必ずしも語原にまでは さかのぼらない。起原における区分は、語原欄に注した。

5　二字の漢字で表わされる見出しでも、動植物名・固有名詞および借字によるもの（仏教語の音訳や万葉がなによる国名の表記を含む）は区分を設けなかったものが多い。

6　活用語は原則として終止形で掲げ、語幹と語尾に分けられるものは、その間に・を入れた。

見出しの配列

7　五十音順による。同一のかなの中では、清音・濁音・半濁音、また促音・拗（ヨウ）音→直音の順序に従った。

8　一をもって表わす外来語の長音は、直前の母音がア・イ・ウ・エ・オのいずれであるかによって、それぞれの音を表わす かなに置きかえた位置に配列した。

9　同音語のオーダーは次の順位で配列した、
（1）記号→造語成分→接辞（接頭語·接尾語）→単純語→複合語〔語の性質·構成〕
（2）助詞→助動詞→感動詞→接続詞→副詞→連体詞→用言（動詞・形容詞）→名詞（代名詞はその直前）〔品詞の区分〕
（3）カナ→漢字〔表記〕
（4）外来語→字音語（同音の漢字は画数順。同画数のものは、康熙（コウキ）字典の順。上記に見えない字体は、同画の最初）→和語〔語の種類〕
（5）ハ イシャ　歯医者→ハイ シャ　拝謝・配車・敗者
　　カ·エル（代える・変える）→カエ·ル（反る・返る・孵る）
　　のように、上位の音節数の少ないものから多いものへと配列した。〔同一品詞に属する同音節数の語の区分〕

10　共通の成分で くくられる同音語、および語原の異なる同形の外来語を便宜 一 二 で統合し、スペースの倹約を図った。

子見出し

11 同根を統合する範囲は、外来語（梵（ボン）語の音訳を除く）は四音節以上、字音語は複合語見出しに限り、また、和語は三音節以上に限る。

12 慣用句・ことわざの類は【　】で囲んだ。

アクセントの指示

13 単語として独立の用法を持つ すべての見出し語に就いてアクセントを示した。□で囲んで示したアラビア数字がアクセント記号である。

14 単独の見出しを掲げなかった語のアクセントは、言替えなどをしたその所において示すことを原則とした。

歴史的仮名遣いの指示

15 アクセントに続けて、（　）で囲ったカタカナで歴史的仮名遣いを示した。複合語の場合は当該部分だけのカナを示して他は—で省記した、

例、**あいだ** [0]（アヒダ）【間】

あい ちょう［オ］[0]（—テウ）【哀調】

見出し語の正書法

16【　】の中に、「常用漢字表」（昭和五六年一〇月一日内閣告示）に依拠しつつその語の「正書法」を示した（ただし、かな表記を普通とするものの場合は省略）。ここで言う「正書法」とは、漢字かな交じり文中における 漢字を主体とする表記の、最も標準的な書き表わし方として一般に行われるものを指す。

17 表記が二つ以上有る場合は、正書法欄に掲げないものを、《表記》欄に古来の慣用・本来の用字・代用字 などの別を示しながら掲げた。

18 ローマ字で書くことが普通であるものも、この欄に示した、

例、**アイ エル オー【ILO】**

19 常用漢字表外の字には左側に〈 を付けた。二字以上に連続して同じ事を示す場合は〈 〉で包んで示した。

20 常用漢字表に有っても本表に無い訓（ヨ）みをする場合は、当該の文字の左に《を付けた。

21 二字以上の漢字を常用するものの中、訓（ヨ）みに問題の有る語に就いて、

（1）熟字の各字が日本語の複合語の各成分と一対一対応を示さないものに就いては、当該部分を｛｝で囲み、常用漢字表の付表に掲げられている語などの常用例は正書法欄に〔a〕、然らざるものは表記欄に〔b〕示した、

a　**あす【**｛明日｝**】**……《表記》⇨付表

b　**きせる**……《表記》普通、「｛煙管｝」と書く。

なお、bの外縁に「漢語表記」「…は義訓」と特に注記した一類〔c〕が有る。難読性の高いcは、今日 表記一般として万人に求められるものではないが、広汎（コウハン）な読書のためには有用な知識と考え、この欄に関説した。

（2）付表に掲げられている語でも、一対一対応をなすものと認められる語は、他の語と同じように、一字ごとに本書の一般原則を適用した上で、表記欄に付表にその語例が載っている旨を注記した、

でこ ぼこ【《凸《凹】……《表記》⇨付表「凸凹」
とも だち【友《達】……《表記》⇨付表「友達」。「《達」は、借字。

品詞などの指示

22 【 】の直下に（かな表記のものは見出し、またはアクセントの直下に）、名詞以外の品詞名を（ ）に包んで示した。

23 品詞以外で（ ）を用いたものは次のごとくである、

（造語）　造語成分
（接頭）　接頭語　（接尾）　接尾語
（略）　略語

〔参考〕本辞書では 連語 という術語は一切 用いなかった。また、連語にはアクセント表示を行わなかった。

24 名詞・副詞のうち、サ変動詞またはいわゆる形容動詞としての用法を併せ有するものは次のごとく扱った、

—する	名詞のほかにサ変動詞の用法
—な —に	名詞のほかに連体形に「な」、連用形に「に」の用法
—な	上記のうち、一般には連体形の用法だけのもの
—たる —と	名詞のほかに連体形に「たる」、連用形に「と」の用法
—と	上記のうち、一般には連用形の用法だけのもの
—な —する	名詞のほかにダ活用形容動詞とサ変動詞の用法
—と —する	名詞のほかにタルト活用形容動詞とサ変動詞の用法

ただし、上記の用法は雅馴（ガジュン）と認められるものに限り、網羅を宗とはしなかった。

25 動詞は活用の種類と自他の区別を示した。ただし、日本語の動詞の自他に就いては問題も多いので、サ変動詞のうち**24**に関するものは一切しるさなかった。補助動詞は「て」「で」を介するものだけに限り、他は〔接尾語的に〕などの注記の形で示した、

例、**あ·う**【合う】一（自五）…　二〔接尾語的に〕…

26 複合語構成要素としての動詞連用形は利用者の便を図って、動詞連用形の名詞用法と同じ見出しで扱い、以下のように区分した、

例、**あそび**【遊（び）】一 ……　二（造語）動詞「遊ぶ」の連用形。……

また、動詞「遊ぶ」の項の末尾からは、名詞用法の見出しを参照させた、

例、**あそ·ぶ**【遊ぶ】……　➡ 遊び 二

27 助詞は、格助詞・副助詞・接続助詞・終助詞の四種に分けた。

動詞を述語とする文の基本構文の型

28 文の意味の的確な理解を図るとともに、表現面への応用に役立つことを意図し、重要度の高い動詞項目について、それを述語とする文の基本構文の型を記載した。すなわち、重要語の指示⁑*を付した動詞項目および［—する］の形式で動詞としての用法のあることを示した名詞について、これら動詞を述語とする文を構成する上で必須の要素である　名詞（句）＋格助詞　を一定の方式に従って〈　〉に入れ、構文の型を示した。語釈の意味区分の有無にかかわりなく

すべての語釈に適用される場合は自他の別・活用の種類を示した直後に、そうでない場合は、㊀、㊁ 等の直後に掲げた。また、二つの形式がある場合は〈／〉によって示した、

例、（他五）〈なにヲ―〉

㊀〈なにヲ―〉… ㊁〈だれヲ―／だれニ―〉…

― する〈だれト―する〉…

（―は見出し語に該当する動詞または名詞を示す）

なお、この基本構文の型は⁑*を付した形容詞に関しても表示した、

例、㊃〈なにニ―〉（「明るい」の項）

記載の方針は概（オオム）ね以下の通りである。

（1）文構成上必須の要素と考えられる格助詞をヲ・ニ・デ・ト・カラ・マデに限った。

（2）動作・作用や存在、性質・状態等の主体を表わす「ガ」（「鳥ガ鳴く」「犬ガいる」「空ガ青い」）は動詞を述語とするすべての文に必須の要素であることから敢（ア）えて示さなかった。また、動作性の意味を持つ動詞を述語とする文に必須の要素である、動作・作用の行われる場所を表わす「デ」（「学校デ勉強する」）も同じ理由で示さなかった。従って、本辞書に示したデは方法・手段等を表わす用法（「電車デ行く」「木デ作る」）に限られる。

なお、動作・作用を向ける対象を表わすヲ（「紙ヲ切る」）と移動性の動作の経路や通過点を表わすヲ（「空ヲ飛ぶ」）とを形式的に区別することはしなかった。

（3）格助詞に前接する名詞（句）はその意味の特徴から　だれ・なに・どこ・なんだの四種に区分した、

だれ……人または人に準ずるものを表わす名詞（句）

例、〈だれト―／だれニ―〉（「会う ㊀」の項）

なに……前記の　だれ　に該当しない事物・事柄・時などを表わす名詞（句）

例、〈（なにデ）なにヲ―〉（「暖める ㊀」の項）

どこ……場所・位置や物の部分などを表わす名詞（句）

例、〈どこニ―〉（「居る」の項）

なんだ…発言・思考・意志・感情などの内容を表わす句

例、〈なにヲ／（なにヲ）なんだト―〉（「考える ㊀」の項）

（4）移動性動作を表わす動詞を述語とする文における移動の方向を表わす「へ」（「北へ向かう」）を必須の要素とする文では、同時に到達点を表わす「ニ」（「北ニ向かう」）も必須の要素となる場合が大多数を占めるので、本辞書ではすべて〈どこニ―〉の形式によって代表させた。

（5）名詞（句）の区分のうち、なんだ　はすべて〈なんだト―〉の形式でのみ示した。これによって、動作を向ける相手などを示す〈だれト―〉などの「ト」との文法的機能の違いが判別される。

（6）文脈上の制約などにより、必ずしも必須の要素とはならない用法のあるものについてはそれを（　）にくくって示した、

例、〈（なにデ）―〉（「沸く ㊀ ㊁」の項）

位相などの指示

29 次の五種のほかは、〔野球で〕〔すもうで〕〔仏教で〕〔数学で〕〔…方言〕のごとく具体的に示した、

〔雅〕　雅語。日常のくだけた会話や文章には常用されず、短歌・俳句などの詩的表現や文語文に多く用いられるヤマトコトバ。

〔古〕　古語。漢文訓読系統の古風な文章語としてしか用いられないものや、江戸時代までは日常語として行われた字音語など。

〔口頭〕口頭語。ごく普通の話し言葉。やや崩れた形を含む。

〔俗〕　俗語。話し言葉のうち、やや下品に傾くもの〔少数に、適用〕。

〔卑〕　卑語。公衆の面前では遠慮すべき表現〔極めて少数に適用〕。

語釈の表記

30 常用漢字をフルに使い、かつ独自の方針で表記を統一した、

例、　（一）哺（ホ）乳類 などをルビ無しで頻繁に用いた。

（二）文中における動植物名は多くカタカナ書きにした。

（三）外字および難読字には（　）内に、カタカナを用いて訓（ヨ）みを示した。

31 取り扱いに問題のある送り仮名に就いて、

史的に見れば、送り仮名は、訓（ヨ）みの確認のため漢字の傍らに随時小書きしたもので、一貫した理法など由来 存しない。

然しながら、規範を生命とする辞書の場合、全くの無方針を避けるとすると、結局 常識の範囲内で多く送るもの〔a〕と、比較的少なく送るもの〔b〕との別が有ることを指摘した上で、そのうち、多く送る部分については（　）を以て示すことが親切であると考えた。

以下、「送り仮名の付け方」（昭和四八年内閣告示第二号、昭和五六年内閣告示第三号一部改正）との関連について示す。

（1）a が「送り仮名の付け方」の本則と一致するものは注記を施さない。

（2）b が本則と一致するものは、語釈の末尾にその旨注記する、

【汚（な）い】……《表記》本表＝「汚い」

【下（だ）る】……《表記》本表＝「下る」

【伴（な）う】……《表記》本表＝「伴う」

【上（ぼ）る】……《表記》本表＝「上る」

なお、本表とは、常用漢字表の本表を指す。

（3）a が「送り仮名の付け方」の例外と一致する場合は、その旨注記する、

【幸（い）】……《表記》例外＝「幸い」

【幸（せ）】……《表記》例外＝「幸せ」

（4）複合の名詞のうち慣用として送り仮名を付けない、とされている語は、その趣旨を生かし b のみを示した、

【合間】【並木】【巻紙】【字引】【乗組員】

これに基づき、例えば「家並・町並・人並・十人並」などにも「並木」と同じ方法を適用した。

（5）複合語の上位が かな書きの場合、下位の表記は多く a に従った。

（6）常用漢字以外を使用する見出しに就いても上記を準用した。

常用漢字表「付表」

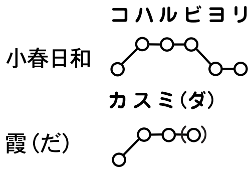
あす	明日
あずき	小豆
あま	海女
いおう	硫黄
いくじ	意気地
いちげんこじ	一言居士
いなか	田舎
いぶき	息吹
うなばら	海原
うば	乳母
うわき	浮気
うわつく	浮つく
えがお	笑顔
おかあさん	お母さん
おじ	叔父／伯父
おとうさん	お父さん
おとな	大人
おとめ	乙女
おば	叔母／伯母
おまわりさん	お巡りさん
おみき	お神酒
おもや	母屋／母家
かぐら	神楽
かし	河岸
かぜ	風邪
かな	仮名
かや	蚊帳
かわせ	為替
かわら	河原／川原
きのう	昨日
きょう	今日
くだもの	果物
くろうと	玄人
けさ	今朝
けしき	景色
ここち	心地
ことし	今年
さおとめ	早乙女
ざこ	雑魚
さじき	桟敷
さしつかえる	差し支える
さつきばれ	五月晴れ
さなえ	早苗
さみだれ	五月雨
しぐれ	時雨
しない	竹刀
しばふ	芝生
しみず	清水
しゃみせん	三味線
じゃり	砂利
じゅず	数珠
じょうず	上手
しらが	白髪
しろうと	素人
しわす	師走
（「しはす」とも言う。）	
すきや	数寄屋／数奇屋
すもう	相撲
ぞうり	草履
だし	山車
たち	太刀
たちのく	立ち退く
たなばた	七夕
たび	足袋
ちご	稚児
ついたち	一日
つきやま	築山
つゆ	梅雨
でこぼこ	凸凹
てつだう	手伝う
てんません	伝馬船
とあみ	投網
とえはたえ	十重二十重
どきょう	読経
とけい	時計
ともだち	友達
なこうど	仲人
なごり	名残
なだれ	雪崩
にいさん	兄さん
ねえさん	姉さん
のら	野良
のりと	祝詞
はかせ	博士
はたち	二十／二十歳
はつか	二十日
はとば	波止場
ひとり	一人
ひより	日和
ふたり	二人
ふつか	二日
ふぶき	吹雪
へた	下手
へや	部屋
まいご	迷子
まっか	真っ赤
まっさお	真っ青
みやげ	土産
むすこ	息子
めがね	眼鏡
もさ	猛者
もみじ	紅葉
もめん	木綿
もより	最寄り
やおちょう	八百長
やおや	八百屋
やまと＝	大和＝（大和絵大和魂等）
ゆかた	浴衣
ゆくえ	行方
よせ	寄席
わこうど	若人

アクセント表示について

1　アクセントの山を数字で示す

語のあとに、「雨 [1] 」「雪 [2] 」のように数字でその語のアクセントの山（「核」ともいう）の位置を示す。[0]は、「風 [0] 」のように、アクセントの山の無い、いわゆる平板なアクセントであることを表わしている。

なお、[2] [3] [4]…… の場合は、いつも最初の拍が低く始まる。例えば、「小春日和[4] 」のアクセントの上がり下がりは図示したようなものである。「霞 [0] 」のアクセントは、次に助動詞の「だ」が付く場合も平らに続いて、どこにも高から低へ移るところがない。



アクセントが二つ以上ある場合は、「秋風 [2] [3] 」のように並べて示す。また、形態素の切れ目が意識されて、別別にアクセントの山がある場合は、「春一番 [1] - [2] 」のように示す。また、動詞・形容詞については、終止形と連体形を区別して、この順序に示す。「荒れる [3] : [0] 」のように。

なお、アクセントを並べる順序は、わかっていれば若→老の順に、ときに、山の手風→下町風の順に並べ、年齢差も地域差もはっきりしない場合は、やむをえず多数→少数の順に並べた。

2　見出し語以外にもアクセントを付ける

自立語である限り、親見出しの語も子見出しの語にも、そのすべてにアクセントを付けた。また、語釈の末尾にときに添えられる類義語や言いかえ語も、そのアクセントが他の見出し語に見出されないときには、それにもなるべく付けるようにした。

こうして、この辞書の総項目数は七万六千五百語であるのに対して、アクセントの付いた語ははるかにそれを超えている。

アクセントを付けた一般国語辞書は、他にいくつかあるが、それらは、なぜか、古語をはじめ固有名詞（地名・人名・組織名など）や長い複合用言（例えば「抑え難い」など）にはアクセントを付けない習慣ができつつある。しかし、この辞書では、これらの語にも、他の語と分け隔てなく付けた。固有名詞についてはもちろん、古語にしても、短歌で用いられることがあって、それを東京語ではどう言うか、その情報を期待する向きもあるからである。

3　東京語のアクセントを採用する

日本語のアクセントは、地域差や年齢差、さらに個人差が大きく、そのすべてを載せることは不可能である。そこで、ここでは一貫して東京のある層のアクセントを採用することにした。

そのアクセントは、現代の東京アクセントの実態を反映させようとしたもので、かくあるべき規範を示したものではない。また、放送のことばとしてふさわしいアクセントの規範意識を表示したものでもない。

4　年齢差・地域差・個人差を示す

第五版のときもそうだったが、第六版についても、徹底した大調査はできなかった。

今回は、二十歳台の若い世代のアクセントを反映させるために、鏑木麗（一九七五生・目黒区）、藤田理子（一九七七生・江戸川区）のふたりに、別別に全巻を見通して、自分のと違うアクセントを抜き出し、それをさらに若くて男性の井口豪（一九七九生・文京区）のアクセントと比較して、一定の作業ルールに従って処理して、現代の若い世代のアクセントとした。
なお、新しく採用された語については、老年層のアクセントを反映させるために、中田信子（一九二四生・新宿区四谷）、中年層として従来からのアクセント提供者沢木幹栄（一九五〇生・江戸川区）、若年層として前述の鏑木麗のアクセントを取りあげた。
そもそも本書のアクセントは、第四版以来、＊浅野百合子（一九二〇生・港区）・＊竜岡博（一九二二生・品川区）・沢木幹栄・熊谷康雄（一九五五生・新宿区）諸氏のアクセントが土台になっている。さらに、部分的情報は、＊鈴木たか（一九二二生・目黒区）・倉持保男（一九三四生・豊島区）・宮岡良成（一九五七生・小金井市）の諸氏からも得ている。（＊は故人であることを示す）

5　アクセントの必要度

東京のなかだけでも、同じ語と見られるものに年齢・地域・個人によるこれほどの違いがある。将来、そのうちのあるものを「標準アクセント」として規範を示すことになるかもしれない。しかし、現在は二通り、三通りあるアクセントのどれで発音しても差し支えないし、ことばを取り違えることもまずないと思う。
アクセントは、語の骨格を作る重要なバネであるが、そのバネは弾力のあるもので、アクセントが違っていても話が通じないということはないと思う。

［柴田　武］

【付表1】アクセントの型一覧

アクセントの型の種類は、語または文節の拍数に左右される。一拍語では二種類の型しかないのが五拍語には六種類の型がある。 両者の間には、 a＝m＋1 (ただし、aはアクセントの型の種類の数、mは拍数)の関係が見られる。
高低を目で見てわかる形に示した。 は、その語につく助詞・助動詞が高に続くことを示し、 は、同じく低に、 は平らに続くことを示す。
表中の語は、仮名遣いによる表記ではなく、音(韻)による表記によった。

拍数＼アクセント	0	1	2	3	4	5
1	ハ(葉)。	キ(木)。 ア[感動詞]。				
2	エダ(枝)。 イク(行く)	ミキ(幹)。 クル(来る)。	ハナ(花)。 イク(行く)。			
3	スミレ。 トーイ(遠い)	オチバ。 オーイ(多い)。	ツツジ。 シロイ(白い)。	ツボミ。 トーイ(遠い)。		
4	カレエダ。 サッソク	タンポポ。 ボツボツ[副詞]	ヒマワリ。 シバラク	マツカサ。 ユックリ	クサカリ。 チカッテ	
5	サツマイモ。 シンセンナ	チューリップ。 ニジューサン。	ゴヨーマツ。 アナタサマ。	ヤマザクラ。 ソレダカラ	カラスムギ。 ホカナラヌ	タケノカワ。 コンニチワ

◎ 各語の末尾に付けた句点(。)は、それが文末語の形であることを示し、同じく無印のものは、連体形・連用形または修飾語であることを示す。
◎ それぞれの例語は、ここに示したアクセント型しか持たないということではない。例えば、クサカリは4でもあり、3でもある。

【付表2】名詞に助詞・助動詞が付いた文節のアクセント

A 助詞・助動詞の拍数	B 助詞・助動詞の種類	C 名詞のアクセント	D 文節のアクセント	E 文節の例
1	が・に・を・とで／は／も／かよ／ね／	制限なし	D=C	サツマイモ[0]→サツマイモガ[0]、 ヤマザクラ[3]→ヤマザクラモ[3]、 ツツジ[2]→ツツジヨ[2]、 キョー[1]→キョーネ[1]
	の	[-1]	[0]	ハナ（花）[2]=[-1]→ハナノ[0]、 ツボミ[3]=[-1]→ツボミノ[0]
		[-1]以外	D=C	エダ[0]→エダノ[0]、 カラスムギ[4]→カラスムギノ[4]
2	ほど／から	制限なし	D=C	ヒマワリ[2]→ヒマワリホド[2]、 カレエダ[0]→カレエダカラ[0]
	より・まで・など／こそ／／です	[0]	[-2]	スミレ[0]→スミレヨリ[4]=[-2]、 ワタクシ[0]→ワタクシコソ[5]=[-2]、 ハ（葉）[0]→ハデス[2]=[-2]
		[0]以外	D=C	タンポポ[1]→タンポポマデ[1]、 マツカサ[3]→マツカサコソ[3]、 ミキ[1]→ミキデス[1]
3	だろう・でしょう・らしい（推定）	[0]	[-2]	エダ[0]→エダデショー[4]=[-2]、 スミレ[0]→スミレラシイ[5]=[-2]
		[0]以外	D=C	オチバ[1]→オチバダロー[1]、 タケノカワ[5]→タケノカワラシイ[5]
	ばかり・ぐらい	[0]	[-3]	ハ（葉）[0]→ハバカリ[2]=[-3]、 サツマイモ[0]→ サツマイモグライ[6]=[-3]
		[0]以外	D=C	タネ[1]→タネバカリ[1]、 タンポポ[1]→ タンポポグライ[1][5]=[-3]

◎ 名詞に助詞や助動詞が付いて文節を作る場合には、「さつま芋[0]→さつま芋が[0]」のように、名詞のアクセントが文節の中でもそのまま保たれる、すなわち、単独の語のアクセントと文節のアクセントが一致する場合と、「さつま芋[0]→さつま芋ぐらい[6]」のようにアクセントの位置が変わる場合とがある。付表2はそれを示している。

◎ 名詞のアクセントと文節のアクセントが異なる後者の場合、2拍以上の助詞・助動詞においては、文節の中で、助詞・助動詞の冒頭の拍にアクセントが来る。右の「さつま芋ぐらい[6]」は、実は語末から逆に数えて三拍め([-3])であり、「ぐらい」の第一拍に当たる。

【付表3】動詞の活用形・派生形・結合形のアクセント

動詞には、型として平板式 (:[0]) と起伏式 (:[-2]) しかない。(「:[ ]」は連体形のアクセントであることを示す)

ここでは、拍数や活用の種類 (五段活用 ・ 上一段活用など) による制約はなく、助動詞·助詞の付き方による種別がある。第一は、活用形のまま使われる場合、第二は、活用形に助動詞・助詞が固く結び付いた、派生形の場合、第三は、活用形と助動詞との結びつきが緩い、結合形の場合である。

	文法形式＼アクセント		平板式動詞	起伏式動詞	語例
(1)	活用形	連体形	[0]	[-2]	キク (聞く) [0]、 ハナス (話す) [-2]
(2)		終止形/命令形	[0] [-1]	[-2]	キク。[0]、キケ。[0]、 ハナス。[-2]、ハナセ[-2]
(3)	派生形	未然形＋(さ)せる /連用形＋たい	[0]	[-2]	キカセル。[0]、キカセタイ。[0]、 ハナサセル。[-2]、 ハナシタイ。[-2]
(4)		未然形＋ない /連用形＋ます	[0]	[-3]	キカナイ。[0]、キイテ[0]、 ハナサナイ。[-3]、ハナシテ[-3]
(5)		未然形＋(よ)う /連用形＋ます	[-2]	[-2]	キコー。[-2]、キキマス。[-2]、 ハナソー。[-2]、ハナシマス。[-2]
(6)		已然形＋ば	[-2]	[-3]	キケバ[-2]、ハナセバ[-3]
(7)	結合形	連体形＋だろう	[-2]	[-3]＋[-2]	キクダロー。[-2]、 ハナスダロー。[-3]＋[-2] (＝[-5])
(8)		連体形＋みたい・ そうだ (伝聞)	[-3]	[-3]＋[-2]	キクミタイ。[-3]、 ハナスミタイ。[-3]＋[-2] (＝[-5])

◎ 限られた語ではあるが、起伏式の複合動詞で連体形が[-2]でないものがある。例えば、「くつがえる」は[-3]、「恐れ入る」は[-4]、「叩き起こす」は[-5]である。これらの語では、終止形・命令形も[-3]である。派生形では、連体形のアクセントが保たれる。「くつがえって[2]」、「恐れ入ります[2]」、「叩き起こせば[2]」

◎ 結合形について、[-3]＋[-2] (＝[-5]) としたのは、結合形式の[-3]に起伏式本来の[-2]をプラスした[-5]であることを示す。つまり、もとの動詞のアクセントは動かないという意味である。また、平板式で[-3]とあるのは、三拍の助動詞の第一拍にアクセントが来ることを示す。いずれも、結合形における動詞と助動詞の結び付きが緩いことから来ている。

◎「見る」は起伏式であるが、派生形「見て」において、[-3]になりようがなく、[-2]にとどまる。「来る」も起伏式であるが、「来て」のキの母音が無声化するために[-2]にとどまることができず、一つ後へ移って、「来て[-1]」となる。

【付表4】形容詞の活用形・派生形・結合形のアクセント

形容詞は、動詞と同様、型として平板式（[0]）と起伏式（[-2]）しかない。
動詞と同様、活用形・派生形・結合形に分けて示す。

	文法形式＼アクセント		平板式形容詞		起伏式形容詞	語　　例
			ク活用	シク活用		
（1）	活用形	連体形/連用形	[0]	[0]	[-2]	カタイ（固い）[0]、カタク[0]、ヤワラカイ[-2]、ヤワラカク[-2]
（2）	活用形	終止形	[0] [-1]	[0] [-1]	[-2]	カタイ。[0] [-1]、ヤワラカイ。[-2]
（3）	派生形	未然形＋う	[-2]	[-2]	[-2]	カトー[-2]、ヤワラコー[-2]
（4）	派生形	連用形＋て	[-3]	[-4]	[-4]	カタクテ[-3]、カナシクテ[-4] ヤワラカクテ[-4]
（5）	派生形	未然形＋ば/音便形＋た	[-4]	[-5]	[-5]	カタケレバ[-4]、カナシケレバ[-5]、ヤワラカケレバ[-5] カタカッタ。[-4]、カナシカッタ。[-5]、ヤワラカカッタ。[-5]
（6）	結合形	連体形＋だろう	[-2]	[-2]	[-3]＋[-2]	カタイダロー。[-2]、カナシーダロー。[-2]、ヤワラカイダロー。[-5]
（7）	結合形	連体形＋みたい・そうだ	[-3]	[-3]	[-3]＋[-2]	カタイミタイ。[-3]、カナシーミタイ。[-3]、ヤワラカイミタイ。[-5]

◎ 拍数による制約はない。しかし、活用の種類（ク活用・シク活用）による制約はある。

◎ 少数の形容詞に、連体形が[0]でも[-2]でもないものがある。例えば、「つまらない」「やり切れない」は、いずれも[-3]である。連用形も「つまらなく[-3]」「やり切れなく[-3]」である。

◎「良い」は起伏式の形容詞であるが、(4)(5)においては、語が短いために頭打ちになり、[-4]→[-3]、[-5]→[-4]のように変わる。

全訳古語辞典

この辞典のきまりと使い方

この辞典は、高等学校における古典学習を中心に、大学入試にも役立つように、数々の特色を盛り込んで編集されたものである。また、これから古典に親しもうとする一般社会人にも利用しやすいように多くの考慮が払われている。

収録語

（1）本書に収録した語は、約22500語である。上代から近世までのわが国の主要な古典から、使用頻度（ひんど）の高い語を中心に選んで収録した。さらに、古典の学習に欠くことのできない、複合語・連語・慣用句・古典によくみられる特有の言い回しも収録した。
（2）古典の読解や文学史の理解のために必要な、人名・地名・作品名などの固有名詞、枕詞・文芸用語などを豊富に収録した。
（3）教科書にのっている作品などを中心に、著名な和歌(百人一首はすべて)・歌謡360首、俳句・川柳159句を収録した。

見出しの立て方と表記

（1）見出し語は、歴史的仮名遣いにより、太字の平仮名で表記した。ただし、人名・地名・作品名は漢字表記によって見出しを示した。
（2）見出し語には、学習上の重要度を、⁑印、*印および無印により、三段階に分けて示した。

最重要語(⁑ 印)	約860語
重要語(* 印)	約2200語
一般語(無印)	約19500語

（3）二通りの仮名遣いのあるものは、両方を見出しとして掲げ、より一般的なもののほうに語釈を付けた。

いはけ-な・し（イワケー）【稚けなし】（形ク）…………

いわけ-な・し【稚けなし】（形ク）→ いはけなし

（4）歴史的仮名遣いと現代仮名遣いとが相違する語のうち、重要な語には現代仮名遣いによる見出しをも掲げて、検索の便をはかった。

あわし〖淡し〗⇨ あはし　　**おとこ**〖男〗⇨ をとこ

（5）見出し語を構成する要素を、「-」でくぎって示した。ただし、枕詞・漢字表記による見出し語などには示さなかった。

あがた-めし【県召し】　　**べく-も-あら-ず**

（6）接頭語はその後に、接尾語はその前に「-」を付けて示した。
さらに、重要なものには【例語】欄を設けて列挙した。

うち-【打ち】（接頭）

-そ・む【初む】（接尾マ下二型）(動詞の連用形に付いて)………。

【例語】相見初む·言ひ初む·生ひ初む………

(7) 重要な敬語動詞･補助動詞を次のような形で立項し、かつ、その【例語】をも列挙し、語構成の観点から語彙力が豊かに身につくように配慮した。

おぼし＝【思し･覚し】(他サ四連用形) (動詞の上に付いて)…………。
【例語】思し急ぐ･思し掟（おき）つ･思し置く……

＝あり･く【歩く】(補動カ四) {か･き･く･く･け･け} (動詞の連用形の下に付いて)………。【例語】憧（あくが）れ歩く･歩（あゆ）み歩く……

(8) 動詞・形容詞・助動詞・活用のある接尾語は終止形で示し、助動詞を除き、語幹と活用語尾との区別のあるものには、その間を「・」で区別した。なお、形容動詞は語幹で示した。

あそ･ぶ【遊ぶ】(自バ四)
あたら･し【惜し】(形シク)
らる (助動下二型)　　**-が･る** (接尾ラ四型)
なのめ【斜め】(形動ナリ)

(9) 主要な助動詞については、終止形以外の各活用形をも見出し語として掲げた。

し　助動詞「き」の連体形。　　**な**　助動詞「ぬ」の未然形。

(10) 和歌・歌謡・俳句・川柳は、第一句を見出しとして掲げた。

あさぼらけ… [和歌]　　**はしけやし**… [歌謡]
しづかさや… [俳句]　　**くじふくは**… [川柳]

(11) 複合語･連語･慣用句などは、そのままの形を見出しとし、わかりにくいものには [なりたち] を付けた。

(12) 人名は原則として姓名で引くようにし、名または号で呼びならわされているものは、それをも見出しとし、解説は姓名の見出しのほうで行った。

西鶴（さいかく）〘人名〙→井原西鶴（ゐはらさいかく）

見出し語の配列

配列は、表記の仮名の五十音順とした。また、漢字表記の見出し語は、その読み（＝歴史的仮名遣い）の五十音順とした。なお、五十音順で定まらない語は、次の方針によって配列した。

①濁音･半濁音は清音のあと、拗音（ようおん）・促音は直音のあと。
②品詞などの順は、接頭語･接尾語･名詞･代名詞･動詞･形容詞･形容動詞･連体詞･副詞・接続詞・感動詞・助動詞・助詞・連語・慣用句・枕詞・和歌(歌謡)・俳句(川柳)の順。
③和歌･歌謡･俳句･川柳で、第一句が同じ場合には、第二句以下の表記の五十音順。

見出し漢字と読み方の表示

(1) 見出し語の仮名に相当する漢字を【　】内に示した。二種以上の漢字表記があるものについては併記し、一般的なものから先に掲げた。また、送り仮名などは、平仮名・歴史的仮名遣いで示した。

(2) 見出し語の仮名遣いが現代仮名遣いと相違するものには、見出し語の後に、現代仮名遣いに準じて半角の片仮名で示した。その際、現代仮名遣いと同じ部分は — で示した。また、慣用的な読み方のあるものは(　)を用いて併記した。

⁑あなづらは・し (ｱﾅｽﾞﾗﾜｼ)【侮らはし】(形シク) ❶……
いへ-あるじ (ｲｴ—)【家主】(名)
うかが・ふ (ｳｶｶﾞ(ｺﾞ)ｳ)【伺ふ】(他ハ四)

品詞および活用の表示

(1) 品詞名は略語によって(　)で示した。また、動詞には活用の種類と全活用形を｛　｝で示した。形容詞にはク活用・シク活用の別を、形容動詞にはナリ活用・タリ活用の別を示した。活用のある接尾語には活用の型を示した。〈略語は略語・記号一覧を参照〉

おこ・る【起こる】(自ラ四) ｛ら・り・る・る・れ・れ｝
うとま・し【疎まし】(形シク) **あら-らか** (形動ナリ)
-ば・む (接尾マ四型)

(2) 助動詞は活用の型を(　)で示すとともに、おもな助動詞には全活用形を｛　｝で示した。動詞のうち、特殊な活用をするものについても｛　｝で示した。

き (助動特殊型)　｛せ・○・き・し・しか・○｝
く【来】(自カ変)　｛こ・き・く・くる・くれ・こ｝

(3) 品詞の分類および活用の種類については、現行の学校文法教科書の最も一般的なものに従った。ただし、普通名詞の中で、動詞のサ行変格活用および形容動詞の語幹となるものについては、その品詞および語尾の活用も示した。

そう-らん【奏覧】(名・他サ変)
あん-をん (—ｵ(ﾉ)ﾝ)【安穏】(名・形動ナリ)

(4) 動詞は、自動詞・他動詞・補助動詞を区別し、(自カ四)(他ラ下二)(補動ラ変)などのように示した。なお、本製品では、敬語となる補助動詞(連語は除く)は別見出しとして立項した。

たてまつ・る(1)【奉る】▬ (他ラ四) ｛ら・り・る・る・れ・れ｝……………
たてまつ・る(2)【奉る】(補動ラ四) ｛ら・り・る・る・れ・れ｝……………
たてまつ・る(3)【奉る】(他ラ下二) ｛れ・れ・○・○・○・○｝……………
たてまつ・る(4)【奉る】(補動ラ下二) ｛れ・れ・○・○・○・○｝……………

(5) 助詞は、次の六分類に従った。
格助詞・接続助詞・副助詞・間投助詞・係助詞・終助詞

(6) 固有名詞のうち、物語・随筆・日記などの作品名、作家・歌人・俳人・作中人物などの人名、山・川を含めた地名については、〘作品名〙〘人名〙〘地名〙と表示した。

(7) 枕詞・歌枕は、《枕詞》 歌枕 と表示した。

(8) 連語・慣用句などは特に連語表示をせず、無印とした。

語釈および解説

(1) 語釈および解説は的確・明瞭を旨とし、助詞・助動詞・敬語動詞・その他の重要語については、特に詳しく解説した。さらに、必要に応じて なりたち 接続 語法 文法 注意 参考 冒頭文 の欄を設けた。
(2) 同一見出しで品詞が異なる場合、活用の種類が異なる場合は、一 二 ……によって行をかえて示した。
(3) 一つの見出し語に意味が二つ以上ある場合は、❶ ❷ ……によってわけて示した。❶ ❷ の中をさらにわける場合は、㋐ ㋑ ……によってわけて示した。
(4) 必要な語については、解説にさきだって、その語についての語源・原義・転化・なりたちの形などを〔 〕で、語の位相を仏教語、上代語、近世語などと限定できるものは《 》で囲んで示した。なお、語形変化の説明は、原則として音韻変化による場合を「転」、複合語・連語などの一部の省略による場合を「略」とした。
(5) 説明または補足的なものは、( )に囲んで示した。
  (下に打消の語を伴って)……
  (…の意から)……
(6) 解説文中、難解な語句には、(＝)で注を施した。
(7) 対義語がある場合は、⟷の記号を付けて示した。語義の全体に共通する対義語は、その見出し語の項末に《⟷》の形で示した。語義の一部に該当する対義語は、その語義の用例・訳のあとに示した。
(8) 省略記述として、次のような記号を用いた。
  →…他の見出し語の語釈やその語に関する事項などを参照させる場合。
  ⇨…現代仮名遣いによる見出しから歴史的仮名遣いの見出しへ指示する場合。また、〚学習〛を参照させる場合。
(9) 見出しとした和歌・歌謡・俳句・川柳には、通釈を施した。なお、歌中・句中に含まれる枕詞・序詞・掛詞・縁語などの修辞は、通釈のあとに( )で囲んで指摘・説明した。
また、出典によって表記の異なるもの、作品の成立事情、解釈に諸説のあるもの、本歌どりの歌の場合はその本歌を、その他学習上特に注意すべき事柄などについては 参考 欄で解説した。

▼なりたち なりたち

連語・慣用句・古文特有の言い回しなどについては、組成・語形の変化など、その構成を明らかにした。

▼接　続 接続

助詞・助動詞について、その語が文法上どのような語、また、どのような活用形に付くかを説明した。

▼文　法 文法 文法

文法 主要な助詞・助動詞には、その文法的機能・意味用法などについて、詳細な解説を施した。

文法 最重要語・重要語の用例と見出し和歌・俳句とを中心に、訳出するうえでポイントとなる文法事項を指摘した。

▼**語　法**　語法

見出し語の実際の用いられ方、用法などについて特に注意を要する点などについて指摘した。

▼**注　意**　注意

その見出し語について理解するうえで、また、学習上特に注意を要する点、誤りやすい点などを指摘した。

▼**参　考**　参考

見出し語についての理解をいっそう深めるため、語義の補足説明、時代による語の盛衰・語義の移り変わりなどの語史的説明、類似語との比較説明、その他古語・古典を理解するうえで参考となる事柄について解説を加えた。

▼**学　習**　〖学習〗

古語を理解するうえで、まちがえやすい点、わかりにくい点、また、覚えておくと便利な事柄などについて解説を加えた。

▼**冒頭文**　冒頭文

著名な作品は見出しでとりあげ、解説のあとに冒頭の一節とその通釈を収めた。

▼**枕詞・歌枕・季語**

①枕詞は次のように示した。

あまのはら【天の原**】**《枕詞》「富士」にかかる。……

②歌枕は次のように示した。

明石（あかし）〖地名〗歌枕 今の兵庫県明石市。……

③見出し語のうち、俳句の季語となるものには、その語釈のあとに、春 夏 秋 冬 の記号でその季を示した。また、見出し語から派生した季語は、次のように(　)に囲んで示した。

あし【葦·蘆**】**（名）……。秋。(葦茂る 夏・葦の花 秋)

用　例

（1）語義・用法の理解を助ける適切な用例を、次の基準によって採録した。

①著名古典を中心として、さらに教科書・大学入試問題などによくとりあげられ、親しまれているもの。

②文脈がわかりやすく、文意がひとまとまりであるもの。

（2）表記は、歴史的仮名遣いによった。むずかしい漢字には読み仮名を付け、または仮名書きに改め、送り仮名や句読点を補うなどして読みやすくした。

（3）用例中の見出し語にあたる部分は「—」で示した。なお、見出し語が動詞・形容詞・形容動詞である場合は、その語幹にあたる部分を「—」で示し、語尾は「・」でくぎってそのあとに示し、かつその活用形をも㊊などの表示で示した。連語の類もこれに準じて示した。

ただし、語幹・語尾の区別のない動詞(上一・下一・カ変・サ変・下二の「得（う）」)および助動詞については、それらが活用して変化した語形を、助詞については語形を㊍などの表示で活用形を示した。

なお、各活用形の表示は次の通りである。

(未)→未然形　(用)→連用形　(終)→終止形
(体)→連体形　(已)→已然形　(命)→命令形

す・ぐ【過ぐ】(自ガ上二) {ぎ·ぎ·ぐ·ぐる·ぐれ·ぎよ} …………。

[万葉] 一·二八『春—・ぎ (用) て夏来（きた）るらし白栲（しろたへ）の……』

みる【見る】(他マ上一) {み·み·みる·みる·みれ·みよ} ………。

[土佐]『……女もしてみ (未) むとてするなり』

ぬ (助動ナ変型)………。[古今] 冬『わが待たぬ年は来ぬれ (已) ど冬草のかれに (用) し人はおとづれもせず』

なべて-なら・ず【並べてならず】………。[方丈] 二『— - ぬ (体) 法ども行はるれど、更にそのしるしなし』

(4) 用例の一部分を省略する場合、省略した部分を「…」を用いて示した。

用例の訳

用例には原則として現代語訳を施し、[訳] の記号で表示した。現代語訳を施すに際しては、次の方針によった。

(1) 訳文は、学習上の観点から、できうる限り文法に忠実な逐語訳であるように心がけ、助詞・助動詞・敬語なども的確に訳し込むようにつとめた。

(2) 文体は、原則として「だ・である」体を用いた。会話文・韻文などでも、原文に敬語が含まれていなければ、通常の文体で訳を施した。ただし、見出し和歌・俳句の訳については、一つの作品ととらえて、適宜「です・ます」体を用いた。

(3) 時制については、原文の時制と訳文の時制とが一致することを原則とし、文脈上通常過去形の訳をあてるような場合においても、原文が現在形であれば訳文も現在形とした。

(4) 文脈をわかりやすくするための、主語・客語・その他の状況説明などの補足は、(　)に囲んで補った。

(5) 訳文中、意味のむずかしい語・部分については、該当する語・部分の直下に（＝　）の形で説明を補った。

(6) 用例が短くかつ容易で、現代語訳を必要としないと認めたものについては、訳を省いた場合もある。また、むずかしい語のみに補注または部分訳を付して全文訳を省いた場合もある。

(7) とりあげた用例中に、掛詞・縁語・枕詞・序詞が含まれていればその詳細の説明を、また、別解・補足説明などを、訳文のあとに(　)で囲んで示した。

(8) 用例としてとりあげた和歌・歌謡・俳句・川柳が見出しとして立項されている場合は、訳を付けず、見出しの通釈を参照するようにした。

出典の表示

用例の出典の示し方は、次の方針によって表示した。

(1) 教科書・大学入試などに頻出する重要作品20点については、特に次のような略称の記号で表示し、目立たせた。

竹取(竹取物語)	大鏡 (大鏡)
伊勢(伊勢物語)	方丈 (方丈記)
土佐(土佐日記)	宇治 (宇治拾遺物語)
大和(大和物語)	平家 (平家物語)
蜻蛉(蜻蛉日記)	著聞 (古今著聞集)
枕(枕草子)	徒然 (徒然草)
源氏(源氏物語)	細道 (おくのほそ道)
堤(堤中納言物語)	万葉 (万葉集)
更級(更級日記)	古今 (古今和歌集)
今昔(今昔物語集)	新古 (新古今和歌集)

(2) 前項にあげた作品のほか、次の作品も略称で示した。

古事記→〔記〕	落窪物語→〔落窪〕
日本書紀→〔紀〕仁徳など	栄花物語→〔栄花〕
日本霊異記→〔霊異記〕	十訓抄→〔十訓〕
宇津保物語→〔宇津保〕	雨月物語→〔雨月〕

(3) (1)(2)以外の出典は、原則として作品名をそのまま掲げた。ただし、歌集は「和歌集」の部分を省略して示した。

(4) 和歌には歌集名・部立て(主として勅撰集に)を、俳句には句集名・作者名を示した。特に「万葉集」は、巻数と「新編国歌大観」を示した。

〔拾遺〕冬　　〔猿蓑〕芭蕉　　万葉 二・一四二

(5) 著名な出典には、「巻名」「巻数」「段数」「編名」「小見出し」「説話番号」などを付記した。(「枕草子」の段数、小見出し、説話番号などは「日本古典文学大系」のそれによった)

(6) ジャンル名・種類の表示は、次のような略称で示した。

①芸能に関するもの

浄瑠璃→浄　　謡曲→謡　　狂言→狂　　歌舞伎→伎

②近世の小説類のうち、次にあげたジャンル名は略称で示し、その他は作品名のみ表示した。

浮世草子→浮　　仮名草子→仮名　　御伽草子→伽
黄表紙→黄　　洒落本→洒

略語・記号一覧

〔品詞･その他〕

(名)	名詞
(代)	代名詞
(自)	自動詞
(他)	他動詞
(補動)	補助動詞
(形)	形容詞
(形口)	口語形容詞
(形動)	形容動詞
(形動口)	口語形容動詞
(連体)	連体詞
(副)	副詞
(接)	接続詞
(感)	感動詞
(助動)	助動詞
(格助)	格助詞
(接助)	接続助詞
(副助)	副助詞
(間助)	間投助詞
(係助)	係助詞
(終助)	終助詞
(接頭)	接頭語
(接尾)	接尾語

〔活　用〕

(四)	四段活用
(上一)	上一段活用
(上二)	上二段活用
(下一)	下一段活用
(下二)	下二段活用
(カ変)	カ行変格活用
(サ変)	サ行変格活用
(ナ変)	ナ行変格活用
(ラ変)	ラ行変格活用
(ク)	ク活用
(シク)	シク活用
(タリ)	タリ活用
(ナリ)	ナリ活用
㊍	未然形
㊐	連用形
㊕	終止形
㊡	連体形
㊣	已然形
㊅	命令形

〔その他〕

＊＊	最重要語
＊	重要語
〖　〗	現代仮名遣いによる見出し語
⟷	対義語
⦅⟷⦆	語義❶❷❸……の全体に共通する対義語
→	他の見出し語の語釈やその語に関する事項などへの参照
⇨	現代仮名遣いから歴史的仮名遣いへの指示および学習への参照

動詞活用表

種類	行	例語	語幹／語尾	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用する段
四段活用	カ	咲(さ)く	さ	-か						ア段
					-き					イ段
						-く	-く			ウ段
								-け	-け	エ段
										オ段
		五十音図の「ア・イ・ウ・エ」の四段にわたって活用する。								
	ガ	泳(およ)ぐ	およ	-が	-ぎ	-ぐ	-ぐ	-げ	-げ	
	サ	消(け)す	け	-さ	-し	-す	-す	-せ	-せ	
	タ	待(ま)つ	ま	-た	-ち	-つ	-つ	-て	-て	
	ハ	思(おも)ふ	おも	-は	-ひ	-ふ	-ふ	-へ	-へ	
	バ	呼(よ)ぶ	よ	-ば	-び	-ぶ	-ぶ	-べ	-べ	
	マ	読(よ)む	よ	-ま	-み	-む	-む	-め	-め	
	ラ	取(と)る	と	-ら	-り	-る	-る	-れ	-れ	
ラ行変格活用（ラ変）		有(あ)り	あ	-ら						ア段
					-り	-り				イ段
							-る			ウ段
								-れ	-れ	エ段
										オ段
		ラ行の四段にわたって活用するが、終止形がイ段の音（「り」）で終わり、四段活用とちがっている。「有り」「居(を)り」「侍(は)り」「いまそがり」の四語が基本。								
ナ行変格活用（ナ変）		死(し)ぬ	し	-な						ア段
					-に					イ段
						-ぬ	-ぬる	-ぬれ		ウ段
									-ね	エ段
										オ段
		ナ行の四段にわたって活用するが、連体形・已然形はウ段の音（「ぬ」）に「る」「れ」が付き、四段活用とちがっている。「死ぬ」「往(い)ぬ（去(い)ぬ）」の二語。								
下一段活用	カ	蹴(け)る	（蹴）							ア段
										イ段
										ウ段
				け	け	ける	ける	けれ	けよ	エ段
										オ段
		エ段の「け」と、それに「る」「れ」「よ」の付いたものとからなる。「蹴る」の一語。								

種類	行	例語	語幹／語尾	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用する段
下二段活用										ア段
										イ段
	ア	得（う）	（得）			う	うる	うれ		ウ段
				え	え				えよ	エ段
										オ段
		ウ・エ・の二段と、ウ段の音に「る」「れ」、エ段の音に「よ」が付いたものとからなる。								
	カ	受（う）く	う	-け	-け	-く	-くる	-くれ	-けよ	
	ガ	告（つ）ぐ	つ	-げ	-げ	-ぐ	-ぐる	-ぐれ	-げよ	
	サ	寄（よ）す	よ	-せ	-せ	-す	-する	-すれ	-せよ	
	ザ	混（ま）ず	ま	-ぜ	-ぜ	-ず	-ずる	-ずれ	-ぜよ	
	タ	捨（す）つ	す	-て	-て	-つ	-つる	-つれ	-てよ	
	ダ	出（い）づ	い	-で	-で	-づ	-づる	-づれ	-でよ	
	ナ	寝（ぬ）	（寝）	ね	ね	ぬ	ぬる	ぬれ	ねよ	
	ハ	経（ふ）	（経）	へ	へ	ふ	ふる	ふれ	へよ	
	バ	比（くら）ぶ	くら	-べ	-べ	-ぶ	-ぶる	-ぶれ	-べよ	
	マ	改（あらた）む	あらた	-め	-め	-む	-むる	-むれ	-めよ	
	ヤ	覚（おぼ）ゆ	おぼ	-え	-え	-ゆ	-ゆる	-ゆれ	-えよ	
	ラ	流（なが）る	なが	-れ	-れ	-る	-るる	-るれ	-れよ	
	ワ	据（す）う	す	-ゑ	-ゑ	-う	-うる	-うれ	-ゑよ	
主な用法［活用形の見分け方］				ム・ズに連なる	タリに連なる	言い切る	トキ・コトに連なる	ドモに連なる	命令の意味で言い切る	
上一段活用										ア段
	カ	着（き）る	（着）	き	き	きる	きる	きれ	きよ	イ段
										ウ段
										エ段
										オ段
		イ段の音と、それに「る」「れ」「よ」が付いたものとからなる。								
	ナ	似（に）る	（似）	に	に	にる	にる	にれ	によ	
	ハ	干（ひ）る	（干）	ひ	ひ	ひる	ひる	ひれ	ひよ	
	マ	見（み）る	（見）	み	み	みる	みる	みれ	みよ	
	ヤ	射（い）る	（射）	い	い	いる	いる	いれ	いよ	
	ワ	居（ゐ）る	（居）	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐよ	

種類	行	例語	語幹／語尾	活用形						活用する段
				未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	
上二段活用	カ	起(お)く	お							ア段
				-き	-き				-きよ	イ段
						-く	-くる	-くれ		ウ段
										エ段
										オ段
		イ・ウの二段と、ウ段の音に「る」「れ」、イ段の音に「よ」が付いたものとからなる。								
	ガ	過(す)ぐ	す	-ぎ	-ぎ	-ぐ	-ぐる	-ぐれ	-ぎよ	
	タ	落(お)つ	お	-ち	-ち	-つ	-つる	-つれ	-ちよ	
	ダ	恥(は)づ	は	-ぢ	-ぢ	-づ	-づる	-づれ	-ぢよ	
	ハ	強(し)ふ	し	-ひ	-ひ	-ふ	-ふる	-ふれ	-ひよ	
	バ	延(の)ぶ	の	-び	-び	-ぶ	-ぶる	-ぶれ	-びよ	
	マ	恨(うら)む	うら	-み	-み	-む	-むる	-むれ	-みよ	
	ヤ	悔(く)ゆ	く	-い	-い	-ゆ	-ゆる	-ゆれ	-いよ	
	ラ	下(お)る	お	-り	-り	-る	-るる	-るれ	-りよ	
カ行変格活用（カ変）		来(く)	（来）							ア段
					き					イ段
						く	くる	くれ		ウ段
										エ段
				こ					こ（こよ）	オ段
		イ・ウ・オの三段の音と、ウ段の音に「る」「れ」、オ段の音に「よ」の付いたものとからなる。「来」の一語。								
サ行変格活用（サ変）		為(す)	（為）							ア段
					し					イ段
						す	する	すれ		ウ段
				せ					せよ	エ段
										オ段
		イ・ウ・エの三段の音と、ウ段の音に「る」「れ」、エ段の音に「よ」の付いたものとからなる。「為」「おはす」のほかに、複合語「ものす」「愛す」「命ず」「重んず」など。								
主な用法［活用形の見分け方］				ム・ズに連なる	タリに連なる	言い切る	トキ・コトに連なる	ドモに連なる	命令の意味で言い切る	

形容詞活用表

種類	例語	語幹／語尾	活用形 未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ク活用	よし	よ	-から	-く -かり	-し	-き -かる	-けれ	-かれ
シク活用	美し	うつく	-しから	-しく -しかり	-し	-しき -しかる	-しけれ	-しかれ
主な用法［活用形の見分け方］			ズに連なる	キ・ナルに連なる	言い切る	トキ・ベシに連なる	ドモに連なる	命令の意味で言い切る

形容動詞活用表

種類	例語	語幹／語尾	活用形 未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ナリ活用	静かなり	しづか	-なら	-なり -に	-なり	-なる	-なれ	-なれ
タリ活用	堂々たり	だうだう	-たら -と	-たり	-たり	-たる	-たれ	-たれ
主な用法［活用形の見分け方］			ズに連なる	キ・ナルに連なる	言い切る	トキ・ベシに連なる	ドモに連なる	命令の意味で言い切る

主要助動詞活用表

種類	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用型	接続	意味・用法
受身 自発 可能 尊敬	らる	られ	られ	らる	らるる	らるれ	られよ（自発 可能 ○）	下二段型	左のほかの未然形	❶受身の意を表す。…られる。 ❷自発の意を表す。自然に…られる。…ないではいられない。 ❸可能の意を表す。…ことができる。 ❹尊敬の意を表す。お…になる。…なさる。
	る	れ	れ	る	るる	るれ	れよ（自発 可能 ○）	下二段型	四段・ナ変・ラ変の未然形	❶受身の意を表す。…れる。 ❷自発の意を表す。自然に…れる。…ないではいられない。 ❸可能の意を表す。…ことができる。 ❹尊敬の意を表す。お…になる。…なさる。
使役 尊敬	しむ	しめ	しめ	しむ	しむる	しむれ	しめよ〔しめ〕	下二段型	未然形	❶使役の意を表す。…せる。…させる。 ❷「給ふ」とともに用いて、程度の高い尊敬の意を表す。お…になられる。…なされる。 ❸おもに会話文で、「聞こゆ」「申す」「奉る」「啓す」などの謙譲語に付いて、より高い謙譲の意を表す。
	さす	させ	させ	さす	さする	さすれ	させよ	下二段型	左のほかの未然形	❶使役の意を表す。…させる。 ❷尊敬の補助動詞「給ふ」「おはします」「まします」、尊敬の助動詞「らる」などとともに用いて、尊敬の意をさらに強める。最高敬語。お…になられる。…なされる。 ❸謙譲の意の「聞こゆ」とともに用いて、最高の謙譲の意を表す。申し上げる。お…申しあげる。 ❹軍記物などで、受身の「らる」に代えて用いる。「武者詞（むしゃことば）」といわれ、「…られる」というところを「…させる」と言い表す。
	す	せ	せ	す	する	すれ	せよ	下二段型	四段・ナ変・ラ変の未然形	❶使役の意を表す。…せる。 ❷尊敬の動詞「賜（たま）ふ」「宣（のたま）ふ」などに付いて、最高の尊敬の意を表す。 ❸謙譲の動詞「参る」「奉（たてまつ）る」「申す」などに付いて、謙譲の意を強める。 ❹尊敬の補助動詞「給ふ」「おはします」「まします」、尊敬の助動詞「らる」などとともに用いて、尊敬の意をさらに強める。最高敬語。お…になられる。…なされる。 ❺軍記物などで、受身の「る」に代えて用いる。「武者詞（むしゃことば）」といわれ、「…れる」というところを「…せる」と言い表す。

▽〔 〕内は、上代のもの、あるいは用例の少ないもの。（ ）内は、そのように表記されることもあるもの。また、〈 〉内の基本形は、上代語。

	(基本形)	(未然形)	(連用形)	(終止形)	(連体形)	(已然形)	(命令形)	(活用型)	(接続)	(意味・用法)
推量	らむ(らん)	○	○	らむ(らん)	らむ(らん)	らめ	○	四段型	終止形、ラ変には連体形	❶目の前にない現在の事実について推量する意を表す。今ごろ…ているだろう。❷現在の事実について、その原因・理由を推量する意を表す。(…というので)…のだろう。❸現在の事実について、その原因・理由を疑問をもって推量する意を表す。どうして…ているのだろう。…ているのはなぜだろう。❹他から聞いたり読んだりしたという伝聞の意を表す。…ているという。…ているそうだ。❺(連体形を用いて)仮定または婉曲(えんきょく)の意を表す。…ているとすれば、その。…ているような。❻「む」と同じく、単なる推量の意を表す。…だろう。❼(已然形「らめ」が疑問の助詞「や」を伴って)反語の意を表す。…ているだろう(か)(いや、…ないだろう)。
推量	むず(んず)	○	○	むず(んず)	むずる(んずる)	むずれ(んずれ)	○	サ変型	未然形	❶推量の意を表す。…だろう。❷意志の意を表す。…う。…よう。❸適当・当然の意を表す。…のがよいだろう。…べきだ。
推量	む(ん)	○	○	む(ん)	む(ん)	め	○	四段型	未然形	❶推量の意を表す。…(の)だろう。❷意志・意向の意を表す。…う。…よう。…つもりだ。❸(連体形を用いて)仮定または婉曲(えんきょく)の意を表す。…とすれば、その。…ような。❹(多く「こそ」の結びとして已然形を用いて)適当・当然、婉曲(えんきょく)な命令の意を表す。…のがよい。…はずだ。❺勧誘の意を表す。…う。…よう。…ない(か)。❻(已然形「め」が疑問の助詞「や」「か」を伴って)反語の意を表す。…だろう(か)(いや、…ないだろう)。…(ない)だろう(か)(いや、…だろう)。
打消	ず	○ ○ ざら	〔に〕 ず ざり	〔ぬ〕 ず 〔ざり〕	ぬ ○ ざる	ね ○ ざれ	○ ○ ざれ	特殊型	未然形	打消の意を表す。…ない。

	(基本形)	(未然形)	(連用形)	(終止形)	(連体形)	(已然形)	(命令形)	(活用型)	(接続)	(意味・用法)
推量	**まし**	〔ませ〕 ましか	○	まし	まし	ましか	○	特殊型	未然形	❶㋐(「ませば…まし」「ましかば…まし」の形で)事実に反することを仮に想像し、仮想する意を表す。もし…(た)なら…(た)だろう(に)。㋑(「未然形＋ば」など仮定条件句を受けて)仮定の上に立って仮想する意を表す。…(た)だろう(に)。 ❷(単独で用いて)仮定の条件を含んでの仮想の意を表す。…たら(よかった)。 ❸(「いかに」「なに」「や」など疑問の意を表す語と共に用いて)決断しかねる意を表す。…たらよいだろう。…たものだろう。 ❹((中世語))単なる推量の意を表す。…う。…よう。…だろう。
	べし	べから	べく (べかり)	べし	べき (べかる)	べけれ	○	ク活用型	終止形、ラ変には連体形	❶推量の意を表す。㋐ある事の起こることを予想する。…そうだ。㋑確実な推測を表す。きっと…だろう。…にちがいない。…らしい。 ❷予定の意を表す。…ことになっている。 ❸当然の意を表す。…はずだ。…にちがいない。 ❹適当の意を表す。…がよい。…が適当だ。 ❺義務の意を表す。…なければならない。 ❻可能、または可能性を推定する意を表す。…ことができそうだ。…ことができよう。 ❼(終止形を用いて)意志を表す。…う。…よう。…つもりだ。
	らし	○	○	らし	らし 〔らしき〕	らし	○	特殊型	終止形、ラ変には連体形	❶ある根拠・理由に基づき、確信をもって推定する意を表す。…にちがいない。きっと…だろう。 ❷明らかな事実・状態を表す語に付いて、その原因・理由を推定する意を表す。…(と)いうので…らしい。 ❸根拠・理由は示さないが、確信をもって推定する意を表す。…にちがいない。きっと…だろう。
	めり	○	めり	めり	める	めれ	○	ラ変型	終止形、ラ変には連体形	❶目前の事実について推量する意を表す。…ように見える。…ようだ。 ❷断定を避けて婉曲にいう意を表す。…ようだ。
	けむ **(けん)**	○	○	けむ (けん)	けむ (けん)	けめ	○	四段型	連用形	❶過去のある動作・状態を推量する意を表す。…ただろう。…ていただろう。 ❷(疑問語とともに用いて)過去の事実について、時・所・原因・理由などを推量する意を表す。…たのだろう。…ていたのだろう。 ❸過去の事実を人づてに聞き知ったように婉曲に表す。…たという。…たとかいう。

	(基本形)	(未然形)	(連用形)	(終止形)	(連体形)	(已然形)	(命令形)	(活用型)	(接続)	(意味・用法)
完了	つ	て	て	つ	つる	つれ	てよ	下二段型	連用形	❶動作・作用が実現し、完了した意を表す。…た。…てしまう。…てしまった。❷動作・作用の実現を確信したり、確認したりする意を表す。確述(強意)の用法。㋐単独で用いる場合。必ず…。確かに…。…てしまう。㋑推量の助動詞とともに用いて、「てむ」「てまし」「つべし」などの形になる場合。推量・意志・可能などの意を、「確かに」「きっと」「必ず」の気持ちで述べる。❸(中世以降の用法)終止形を重ね用いた「…つ…つ」の形で、二つの動作・作用が並立している意を表す。…たり…たり。
過去	けり	〔けら〕	○	けり	ける	けれ	○	ラ変型	連用形	❶今まで気づかなかった事実に、気がついて述べる意を表す。…たのだ。…たなあ。❷人づてに聞き知った過去の事実を伝聞として述べる意を表す。…たという。…たそうだ。…たとさ。❸以前から現在まで続いている事柄や伝承を回想する意を表す。…た。…たのであった。❹詠嘆の意をこめて、これまであったことに今、気づいた意を表す。…たことよ。…ことよ。
	き	〔せ〕	○	き	し	しか	○	特殊型	連用形、カ変・サ変は特殊	❶過去に直接経験した事実、または過去にあったと信じられる事実を回想していう意を表す。…た。…ていた。❷(平安時代末期以降の用法)動作が完了して、その結果が存続している意を表す。…ている。…てある。
打消の推量	まじ	まじから	まじく まじかり	まじ	まじき まじかる	まじけれ	○	シク活用型	終止形、ラ変には連体形	❶打消の推量の意を表す。…そうもない。…ないだろう。❷打消の当然の意を表す。…はずがない。❸不適当の意を表す。…ないほうがよい。…のはふさわしくない。❹禁止の意を表す。…てはならない。❺不可能の予測を表す。…(ことが)できそうもない。❻打消の意志を表す。…まい。…ないつもりだ。
	じ	○	○	じ	じ	じ	○	特殊型	未然形	❶打消の推量を表す。…ないだろう。❷主語が話し手の場合、打消の意志を表す。…まい。…ないつもりだ。
伝聞 推定	なり	○	なり	なり	なる	なれ	○	ラ変型	終止形、ラ変には連体形	❶(音や声が聞こえることから)推定する意を表す。…ようだ。…のが聞こえる。❷(世間のうわさ・人の話・故事などによる)伝聞の意を表す。…そうだ。…ということだ。❸(周囲の状況などから判断して)推定する意を表す。…ようだ。…らしい。

	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用型	接続	意味・用法
希望	たし	たから	たく (たかり)	たし	たき (たかる)	たけれ	○	ク活用型	連用形	❶自己の動作の実現を希望する意を表す。…たい。 ❷他の動作・状態について、話し手自身の希望の意を表す。…てほしい。
	まほし	まほしから	まほしく まほしかり	まほし	まほしき まほしかる	まほしけれ	○	シク活用型	未然形	❶動作の主体の希望の意を表す。…たい。 ❷他に対してその状態への希望の意を表す。…てほしい。
完了	り	ら	り	り	る	れ	れ	ラ変型	四段の已然形 サ変の未然形	❶動作・作用が継続している意を表す。…ている。 ❷動作・作用の結果が存続している意を表す。…ている。…てある。 ❸動作・作用が完了した意を表す。…てしまった。…た。
	たり	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ	ラ変型	連用形	❶動作・作用が完了した意を表す。…た。 ❷動作・作用の結果が存続している意を表す。…ている。 ❸動作・作用が継続している意を表す。…ている。 ❹その状態であること、またはその性状をそなえていることの意を表す。…ている。…た。 ❺(中世以降の用法)終止形を重ね用いた「…たり…たり」の形で、二つの動作・作用が並立している意を表す。…たり…たり。
	ぬ	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね	ナ変型	連用形	❶動作・作用が実現し、完了した意を表す。…た。…てしまう。…てしまった。 ❷動作・作用の実現を確信したり、確認したりする意を表す。確述(強意)の用法。㋐単独で用いる場合。必ず…。確かに…。…てしまう。㋑他の助動詞とともに用いて、「なむ」「なまし」「ぬべし」などの形になる場合。推量・意志・可能などの意を、「確かに」「きっと」「必ず」の気持ちで述べる。 ❸(中世以降の用法)終止形を重ね用いた「…ぬ…ぬ」の形で、二つの動作・作用が並立している意を表す。…たり…たり。

	(基本形)	(未然形)	(連用形)	(終止形)	(連体形)	(已然形)	(命令形)	(活用型)	(接続)	(意味・用法)
反復継続	**〈ふ〉**	は	ひ	ふ	ふ	へ	〔へ〕	四段型	四段の未然形	❶動作の反復の意を表す。何度も…。しきりに…。❷動作の継続の意を表す。…つづける。
尊敬	**〈す〉**	さ	し	す	す	せ	せ	四段型	四段・サ変の未然形	軽い尊敬、親愛の意を表す。お…になる。…なさる。
受身可能自発	**〈らゆ〉**	らえ	○	○	○	○	○	下二段型	ナ行下二段の未然形	可能の意を表す。…ことができる。…られる。
	〈ゆ〉	え	え	ゆ	ゆる	ゆれ	○	下二段型	四段・ナ変・ラ変の未然形	❶受身の意を表す。…れる。❷可能の意を表す。…ことができる。❸自発の意を表す。自然に…れる。
比況	**ごとし**	○	ごとく	ごとし	ごとき	○	○	ク活用型	連体形、助詞「の」「が」	❶ある事柄が他のある事柄と同じである意を表す。…(と)同じだ。…(の)とおりだ。❷ある事柄を他の似ている事柄に比べたとえる意を表す。…(の)ようだ。❸(平安時代末期以降)多くの中からあるものを例示する意を表す。たとえば…(の)ようだ。
断定	**たり**	たら	たり(と)	たり	たる	たれ	たれ	タリ活用型	体言	断定の意を表す。…だ。…である。
	なり	なら	なり(に)	なり	なる	なれ	なれ	ナリ活用型	体言・連体形	❶断定を表す。…である。…だ。❷(場所などを表す語を受けて)存在を表す。…にある。…にいる。❸(親族関係を表す語を受けて)資格を表す。…である。…にあたる。❹(近世語)人名などを表す語を受けて「…という」意を表す。

漢字源（JIS第1～第4水準版）

親字について

収録の範囲

親字（見出しになっている漢字）はJIS（日本工業規格）の「情報交換用符号化拡張漢字集合」（X 0213-2004）に掲載されている第一水準、第二水準、第三水準、第四水準の漢字、「情報交換用漢字符号－補助漢字」（X 0212-1990）に掲載されている補助漢字など、計13,255字を収録した。

部首について

部首の分け方は「康熙字典」（1716年に完成した中国の字書）に準じている。ただし、その漢字の成り立ちから判断して他の部首に入れた漢字もある。また「康熙字典」では同じ部首であったが、二つにわけたものもある。

（例　刀部と刂部、心部と忄部、手部と扌部、水部と氵部、火部と灬部）

親字見出しについて

①『常用』、『人名用』はそれぞれその漢字が常用漢字・人名用漢字であることを示す。『一年』『二年』『三年』『四年』『五年』『六年』はその漢字が学年配当漢字（いわゆる学習漢字）であり、その学年に配当されていることを示している。

②『常読』は、「常用漢字表」に示されている音訓を示した。訓読みで『・』からあとは送りがなを示す。

③『字音』は、漢字音（音読み）を示す。（　）内は歴史的かな遣いをあらわし、(漢)・(呉)・(慣)などは、漢音・呉音・慣用音などの区別を示す。

④『音読』は意味読み（訓読み）を示す。

⑤旧字体は、「常用漢字表」に示される以前の字体で、JIS漢字中にあるもののみを示した。「常用漢字表」に示された新字体が、二つ以上の旧字体の音と意味をもっている場合は、(A)、(B)で区別した。

⑥異体字は、音と意味が同じで形が違う漢字を示した。

〈意味〉について

①親字の意味を❶❷❸…の順に記述した。その際、その漢字の成り立ちに基づく原義（本来の意味）を第一として、順次、派生した意味に及ぶようにした。

②用法上から分類した品詞名を❶❷❸…の後に示した。その際の品詞の分類は、漢語の文法で一般に使われるものによった。

③品詞の後の（　）内は歴史的かな遣いをあらわし、またその漢字が漢文訓読の際、サ変動詞・形容動詞・副詞に用いられるものは、その形を品詞の前に（　）で示した。

④漢字本来の意味と異なった日本語特有の意味がある場合は、(国)をつけて、①②③…の順に記述した。その際、品詞名は省略した。

⑤その漢字の意味に、同義（同じ意味）・類義（似た意味）・反義（反対の意味）または対義（対称の意味）の漢字がある場合はそれを(同)(類)(対)として示した。

〈解字〉と〈単語家族〉について

①漢字の成り立ちを〈解字〉で解説した。その際、その漢字の六書（リクショ）（漢字の四つの造字法と二つの使用法）を冒頭に示した。

②漢字の成り立ちや、意味がさらによく理解できるように、〈単語家族〉の欄で同じ系統の漢字をまとめて解説した。

〈類義〉について

意味が似ている漢字の使い方の違いを〈類義〉の欄で解説した。

〈異字同訓〉について

訓が同じで、意味に違いがある漢字の用法を、国語審議会漢字部会資料によって解説した。

JISコードについて

その漢字のコードを区点コード、JIS16進コード、シフトJISコード、ユニコードの順で示した。

ピンインについて

〈字音〉欄に〈 〉で、その漢字の現代中国のペキン語による発音を、中国の「漢語ピンイン方案」によるローマ字綴りで示した。

熟語について

収録の範囲

①中国の主な古典にみえる語句、故事成語、地名などを収録した。

②日本の主な古典にみえる語句及び、現代生活に必要と思われる難読の語も収録した。

③仏教の経典にみえる主な仏教語も収録した。

配列の方法

熟語の読みの五十音順に示す。

見出しの体裁

同音の漢字による書きかえ（国語審議会漢字部会資料に基づく）字が使用されている場合、書きかえ前の漢字を｛ ｝でくくって示した。

〈例〉【画｛劃｝然】(カクゼン)

意味の記述

①意味の記述は原義に近い順に❶❷❸…とした。

②日本語特有の意味がある場合は、(国)をつけて記述した。

③その熟語が仏教語・俗語である場合は(仏)(俗)の記号で示した。(俗)には宋・元・明代の俗語から現代中国語まで含まれる。

④その熟語と偏（ヘン）や旁（ツクリ）が異なるだけで、同音同義の熟語は次のように示した。

〈例〉【偏旁】(ヘンボウ) の説明文中において ＝偏傍・扁旁 と表記。

⑤一字目が同じで、意味が同じ熟語は、｛ ｝をつけて示した。

〈例〉【倫次】(リンジ)の説明文中において｛倫序〈リンジョ〉｝と表記。

⑥その熟語と同義（同じ意味）·類義（似た意味）·反義（反対の意味）または対義（対称の意味）の熟語がある場合は、それぞれ(同)(類)(対)として示した。
⑦人名については(人)に続けて解説した。
⑧書物については(書)に続けて解説した。
⑨熟語の中の故事成語は、(故)で示す。

略語・記号一覧

(呉)	呉音
(漢)	漢音
(唐)	唐宋音
(慣)	慣用音
(平)	平声
(上)	上声
(去)	去声
(入)	入声
{名}	名詞
{動}	動詞
{形}	形容詞
{副}	副詞
{助動}	助動詞
{接続}	接続詞
{感}	感動詞
{指}	指示詞
{前}	前置詞
{代}	代名詞
{疑}	疑問詞
{助}	助辞・接頭辞・接尾辞
{単位}	単位詞
{数}	数詞
(国)	日本語特有の意味
(仏)	仏教語
(俗)	俗語
(同)	同音同義の漢字・熟語
(類)	同義の漢字・熟語
(対)	反義の漢字・熟語
(人)	主要な人名の説明
(書)	主要な書籍の説明
(故)	故事に関係のある熟語
▷	補足説明
＝	偏や旁が異なるだけで同音同義の熟語
{　}	親字が同じ熟語で、意味も同じ熟語
[　]	表せない漢字の読み
常用	常用漢字
人名用	人名用漢字
国字	日本製の漢字
〈意味〉	親字の意味
〈解字〉	漢字の成り立ち
〈単語家族〉	同じ系統の漢字の説明
〈類義〉	意味が似ている漢字の説明
〈異字同訓〉	訓が同じで意味に違いがある漢字の用法
〈参考〉	使用にあたっての注意すべき点
〈名付け〉	名前をつけるときに使う読み方
〈難読〉	読み方の難しい熟語
〈注〉	他の親字の熟語を参照

学研　故事ことわざ辞典

故事ことわざ辞典編集要旨

■見出し語

配列　五十音順。

表記

1 現代かなづかい。
2 中国出典のものについてはなるべく原典を尊重した。
3 比較的長いもの、区切り方に注意を要するものについては積極的に読点「、」を入れた。
4 見出し語の表記とは別の読み方があるもの、また、表記の一部に異なった言い方があるものについては、注釈の中で解説した。
5 意味が同じで全体の表記や言い方に違いがある場合には、頻度の高いほうを見出し語とし、他方は ➡ でその語が参照できるようにした。

■解説と記号

意味 意味　見出し語の意味を示した。

注釈 注釈　ことわざの背景、用語の解説、誤用に対する注意、異なる表記や言い方の違いなどの情報を記載した。

出典 出典　特に、中国出典のものについて書名または人名で示した。

例 例　特に、慣用的に使われる用法や古川柳を示した。

類句 類句　見出し語と類似のことわざ、関連のあることわざなどを示した。

反対句・対句 対句　反対の意味のことわざ、対句として用いられるものを示した。

英語のことわざ 英語　見出し語と似た意味のことわざ、発想が似ているもの、意味は反対だが場面が似ているなど、参考となるものを示した。

[ことわざ使用についてのご注意]

ことわざは、その成立過程から言って、その当時の社会通念を反映しており、きわめて差別的な意味を含んでいたり、蔑視的な表現であったりするものが少なくありません。
また、知らないことわざを調べるという辞典の性格上、古典にしか出現しないものも取り上げてあることをご理解ください。このようなことわざについては、人の心を傷つけ、人権を侵害することのないよう、使い方には十分注意してください。
参考として掲載した古川柳や英語のことわざにも同じ配慮をお願いします。

参考：「使用シーン/内容」別のタイトル一覧

使用シーン / 内容	タイトル		
使用シーン	結婚式 入学 / 卒業式 誕生日 / 記念日	葬式 入社 / 退職 会議 / 朝礼	成人式 出産 歓送迎会
感情	喜び 不安 / 恐怖	悲しみ / 絶望	怒り / 憎悪
性格･行動	長所 行動	短所	思考
人生･生活	運命 成功 / 失敗 暮らし	生 / 老 / 死 チャンス 容姿	健康 / 病気 危険 / 困難 宗教
人間関係	家族 教育	恋愛 / 友情	道徳
自然･時	自然 数	時間 方向	色

学研　四字熟語辞典

四字熟語辞典編集要旨

■四字熟語とは何か

2字以上の漢字が結合して、ある意味を表す漢語のことを熟語といい、その熟語と他のもう1つの熟語が連結して四字で1つのまとまった意味を表すものを「四字熟語」という。
本辞典ではおもに中国の古典に典拠をもつ四字熟語を採録した。そのため、「左側通行」「経済成長」など、四字として特別な意味をもたない複合語・合成語は採録しなかった。また、日本で訓読するとき慣用的に「の」を補足して読んでいる語は、「之」の字を加えて四字熟語としたものもある。

■見出し語

配列　五十音順。

表記

見出し語の漢字が、偏（へん）や旁（つくり）の違いだけで、同音・同義の異体字である場合、また、国語審議会報告の『同音による書きかえ』資料などによって、書き替えることになっている漢字については、次のように示した。
（例）意気消沈　（=意気銷沈）
また、意味が同じで表記に違いのある場合には、原則として、頻度の高いほうを見出し語とし、他方は ➡ で参照できるようにした。

読み

見出し語の読み方で、慣用上「の」を入れて読むこともある語については、それを示した。「の」を入れたり入れなかったりして読む場合は、別の見出し語をたてて示した。

（例）　君子三楽→くんしさんらく
　　　　君子三楽→くんしのさんらく

活用

見出し語が動詞として使われたり、状態表現として使われたりするものは、それを示した。

（例）　悪戦苦闘（スル）〈動詞〉　悪逆非道（ナ・ノ）〈状態表現〉

レベル表示

⁂　みんなが当然使っている表現
⁑　使って損はない表現
＊　知らねば損をする表現
〈無印〉知っていて損はない表現

■解説と記号

意味 意味　見出し語の意味を示した。
注釈 注釈　四字熟語の背景、用語の解説のほか、いろいろな情報を記載した。
出典と引用文 出典　中国出典・仏典のものについて書名または人名で示した。
例 例　文章作成やスピーチに役立つように、実際の使い方の文例を示した。
類句 類句　見出し語と類似の四字熟語、または関連のものを示した。
反対句・対句 対句　反対の意味、対句として用いられる四字熟語、および関連のものを示した。
参考 参考　英語のことわざ、だじゃれ、古川柳など、ことば遊びやちょっとした情報を示した。

学研　パーソナルカタカナ語辞典

パーソナルカタカナ語辞典編集要旨

見出し語の表記

1 原則として平成3年内閣告示「外来語の表記」の趣旨にしたがいながら、新聞などで一般的によく使われている表記を用いた。

2 エ行やオ行の長音は、原則として「エー」「オー」の表記を優先にしている。ただし、慣用として「エイ」や「オウ」が一般的なものは、それにしたがったものもある。

（例）ボール・ペン　　ボウリング（スポーツ）

3 原語がvのものは「ヴ」を用いず「バ」行を用いた。ただし、商標や固有名詞のものは「ヴ」にしたがった。

（例）ビレッジ　　イヴ・サンローラン

4 原語のdi、tiには「ジ」「ディ」「チ」「ティ」の2通りの表記法があるが、慣例にしたがった。

（例）ジレンマ　　ディレクトリー

5 語末の長音は、理化学用語などでは省略されることが多いが、長音のままとした。

（例）コンピューター

6 複合語は、原語が分かれている場合にだけ・を置いた。

配列

1 配列は、カタカナ部分だけでなく、漢字・数字・アルファベットまでもカナに変えた読みで五十音順とした。

2 長音符（ー）の読みと・は省略して、配列した。

（例）グリーンGDP（ぐりんじでぃぴ）

3 同じ読みで長音符のある語とない語では、ないものを前に置いた。

4 清音、濁音、半濁音の順番に配列した。

5 原語の異なる同音語や同じつづりでも語源の異なる語は別見出し語とし、右肩に123…の数字を付けて区別した。

原語の表記

1 原語は見出し語の直後に【　】にくくって入れた。

2 原語名を原語の直後に置いて示した。ただし、原語が英語のものはそれを表記していない。また、商標や地名などは、原語名を省略した。

3 原語の英語は、基本的にイギリス式つづりよりもアメリカ式つづりを採用した。

4 ギリシャ語、ロシア語、中国語など、特殊な文字をもつ原語については、ローマ字化して示した。

5 植物の属名など学名表記が一般的なものはラテン語で表した。

6 漢字・平仮名とカタカナが混じったもので、原語が特定できないものは、その部分をダッシュで省略した。
(例) ミサイル療法【missile －】
7 原語のないもの、示しようのないものは原語表記をしていないものがある。
8 商標に関しては、全部が大文字のものでも、本辞典では語頭のみ大文字で表記した。

和製語

1 和製語のものは【 】内の原語の後に **和** を入れた。
2 原語が変化したものや省略されたものは、その語に「<」を用いて記し、和製語と同じ扱いとした。
(例) ジルバ【<jitterbug】
3 漢字や仮名の混じった語は、**和** を入れていない。
4 複数の外国語からなる複合語は+を用いて表した。
(例) アルペン・スキー【Alpen ドイツ ＋ ski **和**】
5 原語はその外国語としては成立するが、意味が極めて日本独自の内容で用いられているものなどには、本文中に「和製用法」の記述を入れた。

本文中の語義と記号

1 語義に複数の意味があるときは、①②③…を用いて示した。
2 補注と記号
＊ 同義のカタカナ語、略語・記号などを示した。
◇ 用例を示した。
◆ 語源や類語解説、補足説明などを必要に応じて記述した。
➡ 参照語を示した。
➡ 解説: 見出し語と同義であり、くわしい解説があることを示した。
➡ ⇔ 反対語、対語を示した。
〘 〙原義や他の外国語での表記など、原語上の注記を与えた。
3 分野表記
必要に応じて《 》でくくり、特定分野などの表示をした。
宇…宇宙 気…気象 経…経済・経営 航…航空 鉱…鉱物
社…社会学 宗…宗教 心…心理 生化…生化学 俗…俗語
地…地学 天…天文学 電…電気 電算…コンピューター
美…美術 服…服飾 理…物理
アメフト…アメリカン・フットボール
フィギュア…フィギュア・スケート 造語…造語成分 など
4 商標に関しては、多くを《商標》として記したが、主に商品名にとどめ、企業名などはその表記を省略した。

常用漢字の難読辞典

- 見出し語は、一字目の常用漢字の音訓順に並べた。
- 見出し語には、当て字や、通常はかな書きにすることばも含まれる。
- 常用漢字表の表内音訓で読めるものは、見出し語の後に◇印を付した。なお、それには常用漢字表付表の語も含まれる。
- ▼のあとには、見出し語についての、読み書きを中心とした情報を示した。

▼「○○」とも。　＝見出し語と意味が同じで、異なる表記や異なる読みがある場合。

例・・象る【かたどる】・・・　▼「模る」とも。
例・・玄孫【やしゃご】・・・　▼「げんそん」とも。
例・・濁酒【どぶろく】・・・　▼「濁×醪」とも。また「だくしゅ」とも。

なお、表記に付した×印は、常用漢字表外の漢字であることを表す。この印は「読み書き 問題編」にも用いた。

▼「○○」と読めば別の意。　＝見出し語と表記が同じで、読みおよび意味が異なる場合。

例・・変化【へんげ】・・・　▼「へんか」と読めば別の意。
例・・漁る【すなどる】・・・　▼「あさる」と読めば別の意。

なお、このケースには、まったく別の意味である場合や、意味が一部重なる場合、また、別の意味を含む場合などがある。ただし、独立して用いられることの少ない語や古語は省略し、また、おもなことばを選んで載せた。

ジーニアス英和辞典 第4版

1. 見出し語

A. 見出し語の並べ方

①アルファベット順に並べてある。
②同じつづりで語源の異なる語は別見出しとし，右肩に番号をつけた。
bill[1]　bill[2]　Bill

B. 重要語の表示（重要度に応じて次のような記号をつけてランクを示した。）

⁂	Aランク	中学学習語，特に使用頻度の高い語	（約1150語）
⁑	Bランク	高校学習語	（約3100語）
*	Cランク	大学生・社会人に必要な語	（約5300語）
無印	Dランク	その他の語	（約70450語）

C. いろいろなつづりがある場合

①米国式と英国式のつづりがあるときは，米国式を優先し，英国式つづりは参照見出しとした。
⁂col·or,《英》−·our ... 名
②(　) は省略可能の部分，−は最初のつづりとの共通部分を示す。
③(−) はハイフンつきまたはハイフンなしの１語となることを示す。

D. 分節

①音節の切れ目は，·（小さい中点）で表示した。
②発音によって切り方が違うときは，最初に掲げた発音による切り方を示した。１語化した複合語（非分離複合語）では，構成要素の間だけを·で表示し，他の分節の表示は省略した。

E. 分離複合語（２語見出し）

２語以上からなる見出し語（以下「分離複合語」という）は，最初の語の複合語として，アルファベット順に掲げた。
ただし，Newのつく地名はnewの末尾でなく独立の見出し語とした。

F. 派生語の扱い

〜は見出し語まるごとの代用である。

2. 発音

①発音記号は/　/に入れて示した。省略可能な音は (　) に入れて示した（省略可能なəは*ə*とした）。
第１強勢（ストレス）は ´，第２強勢は ` をつけた。複数の発音が併記してある場合は，最初に示したものが最も一般的な発音である。
②発音の一部を省略するときは，省略部分をハイフン (−) で示した。
③品詞によって発音が違うときは，見出し語の直後に一括して掲げた（重要語についてはそれぞれの品詞のところにも示した）。

動 ＋は「動詞の場合はこの発音もある」という意。

④米国式と英国式の発音が異なるときは，米音・英音の順で示し，間に | を入れた。
《米＋》は「米国ではこの発音もある」の意。
《英＋》は「英国ではこの発音もある」の意。

● 次の音については米音と英音が異なっていて、次のように対応している。

/ɔ(ː)/	→ 米 /ɔː/	英 /ɔ/	
/(j)uː/	→ 米 /uː/	英 /juː/	（時に/(j)ʊ//(j)ə/も用いた）
/ə*r*/	→ 米 /ɚ/	英 /ə/	
/əː*r*/	→ 米 /ɚː/	英 /əː/	
/əːr\ʌr/	→ 米 /ɚː/	英 /ʌr/	
/oʊ/	→ 米 /oʊ/	英 /əʊ/	（英音を特に示すときは/əʊ/を用いた）
/ɑː*r*/	→ 米 /ɑɚ/	英 /ɑː/	
/ɔː*r*/	→ 米 /ɔɚ/	英 /ɔː/	
/ɪə*r*/	→ 米 /ɪɚ/	英 /ɪə/	
/eə*r*/	→ 米 /eɚ/	英 /eə, ɛː/	
/ʊə*r*/	→ 米 /ʊɚ/	英 /ʊə/	
/ɪər/	→ 米 /ɪr/	英 /ɪər/	
/eər/	→ 米 /er/	英 /eər, ɛːr/	
/ʊər/	→ 米 /ʊr/	英 /ʊər/	
/aɪə*r*/	→ 米 /aɪɚ/	英 /aɪə, aə/	
/aʊə*r*/	→ 米 /aʊɚ/	英 /aʊə, aə/	

⑤主として日本人の発音に多い誤りを防ぐ配慮から，次のような語の終りにくる音節主音的子音 /l/ /m/ /n/ の前では通例母音を表示しない。

（1） /pl/ **opal** /óʊpl/　　/kl/ **local** /lóʊkl/
/sl/ **Russell** /rʌ́sl/　　/bl/ **global** /glóʊbl/
/fl/ **beautiful** /bjúːtəfl/
（ただし，「…1杯分」の -ful は /-fʊ̀l/）
/zl/ **hazel** /héɪzl/　　/tl/ **metal** /métl/
/nl/ **panel** /pǽnl/　　/ml/ **normal** /nɔ́ː*r*ml/
その他 /dl/ /gl/ /vl/ など。
副詞形では **normally** /nɔ́ː*r*məli/ のようになる。

（2） /tn/ **button** /bʌ́tn/
/dn/ **harden** /hɑ́ː*r*dn/　　/zn/ **reason** /ríːzn/
/sn/ **lesson** /lésn/　その他 /fn/ /vn/ など。

（3） /zm/ **prism** /prízm/　　/ðm/ **rhythm** /ríðm/

⑥何らかの強勢が置かれた場合の発音（これを「強形（strong form）」という）と強勢が置かれない場合の発音（これを「弱形（weak form）」という）を区別する語については，それぞれ《強》《弱》という表示をつけて示した。

⑦Cランク以下の非分離複合語・ハイフン付き複合語については，特に必要な場合を

除いて，発音表記を省略し，強勢だけを示した。分離複合語も強勢だけを表示した。ただし，複合語の構成要素がこの辞典の見出し語にない場合や，特にわかりにくい場合などは発音を示した。複数の強勢型がある場合には構成要素（2音節以上のとき）を少し長めのダッシュで表し/⌐⌐⌐, ⌐⌐ /のように示した。

⑧ 接頭 接尾 連結要素 の発音は代表的な発音だけを示した。

⑨ 発音がわかりにくい語や日本人がよく誤って発音する語には《発音注意》《アクセント注意》（これは「強勢の位置に注意」の意）と注記した。発音との関係などでつづりを誤りやすい語には《つづり注意》と注記した。

⑩ 日本人の立場から見て発音が似ていてまぎらわしい語を「類音」として掲げた。
fork /fɔ́ːrk/ ([類音] folk)

3. 原義（語源的意味）・基本義・語義展開図

① 原義（語源的意味）あるいは基本義（中核的意味）を【　】に入れて示した。その語（句）の理解に役立つ語源的情報や由来などを適宜【　】で示した。

② 外来語（完全に英語化しているものも含む）は，その由来する言語名を【フランス】【スペイン】などとして示した。

③【聖】は聖書，【Shak.】はシェイクスピアの作品に由来する句・用法であることを示す。

④ 主な派生語を【　】欄のなかの原義あるいは基本義の後に示した。

⑤ 多義語には見出し語の後ろの〈解説〉に「語義展開図」を収録し，基本義からの主要な意味の展開の様子を示した。これは必ずしも歴史的経緯をなぞるものではなく，現在のその語の主な語義を相互的関連のもとに理解するためのものである。

⑥ 主な前置詞には基本義を視覚的に表したイメージ図を示した。

4. 品詞

① 品詞は次のように示した。

名 名詞	代 代名詞	形 形容詞	副 副詞
動 動詞	自 自動詞	他 他動詞	助 助動詞
前 前置詞	接 接続詞	間 間投詞	冠 冠詞
接頭 接頭辞	接尾 接尾辞	連結要素 連結要素	
略 略語	記号 記号		

5. 語形変化

A. 語形変化の表示の原則

① 名詞，動詞，形容詞，副詞の語形変化は，品詞表示のすぐ後に(　)に入れて示した。

② ～は見出し語まるごとの代用，－は見出し語の一部（音節の切れ目から前）の代用である。/ ～ / は（語形変化した場合でも）発音が見出し語と同じであることを示す。

B. 名詞の複数形

(複　　) と表示した。

C. 動詞の語形変化

(三人称単数現在形；過去形，過去分詞形；現在分詞形)のように示した。但し，

- 過去形と過去分詞形が同じ場合は１回だけ表示した。
- ２つ以上の形があるときは or で示した。

D. 形容詞・副詞の比較変化

① A，Bランクの１，２音節からなる形容詞・副詞については比較変化をすべて示した。

- (～・er[est]) とあるのは原級に －er，－est を付加するものである。
- 語末の y を i に変える場合は(－・i・er[est])などと示した。
- ３音節以上で表示のないものは more 型である。

② Cランク以下の語では，表示のない場合，

- １音節の語では －er 型，
- ２音節以上の語では more 型である。

－er，－est をつけるとき語尾の子音を重ねるものは (-tt-) (《英》-ll-) などと示した。

③ A，Bランクの語を中心に，形容詞・副詞で通例比較変化しない語・語義には，(比較なし)と表示した。

６. 語義・文型表示・語法・用例

A. 語義の区分・順序

語義は ❶，❷，❸ ... の数字で区分し，さらに必要に応じて a)，b)，c) ...やセミコロン(;)で区切って示した。多くの語義のある語では，Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ...で大きな意味ブロックに分けた。

B. 語義の示し方

①訳語のうち省略可能な部分や補足的な部分は(　)に入れた。

②[　]は直前の語句と交換ができる語句を示す。

decolorize ... 動 ...脱色[漂白]する

[「脱色する」または「漂白する」の意になる]

③語義の定義や内容説明は《　》に入れて示した。

C. 用法の指示，文法上の注記

さまざまな用法・文法上の注記を[　]に入れて示した。

例

語形　[P ～]　見出し語は小文字だが，大文字で用いる。

　　　[p ～]　見出し語は大文字だが，小文字で用いる。

名詞の用法

[the ～] [a ～] [an ～]　それぞれの冠詞つきで用いる。

[one's ～]　所有格の人称代名詞 (my, your, his, her, ourなど) つきで用いる。

[～s] [～es]　複数形で用いる。(子音＋ y で終る音については[～ies]と示した。)

形容詞の用法

[叙述]　叙述用法 (predicative use)（be, remain など連結動詞 (copulative verb)の補語となる用法）で用いる。

[限定]　限定用法(attributive use)（名詞の直前[または時に直後]に置いてその名詞を直接修飾する用法）で用いる。

[他動詞的に]　他動詞に由来し,「(…を)…させるような」といった意味で用いる。

動詞の用法

[be ～ ed]　受身形で用いる。

[be ～ ing]　進行形で用いる。

そのほか

[俗用的に]　は, 専門的な語が本来の専門用語としてでなく通俗的な意味で用いられた場合をいう。

D. 文型表示 (S, V, O (または O_1, O_2), C, M)

①記号の意味　S＝主語　V＝動詞　O＝目的語　C＝補語
　M＝副詞的修飾語(句)（前置詞句, 副詞など）

②不定詞, 動名詞, that節, wh節などを伴う場合や, ある前置詞を決まって用いる場合などは, それも含めて示した。用いたり用いなかったりする部分は(　)に入れた。/ は, その両側が交換可能であることを示す。

[SV to do/SV doing]

③ “to do” “doing” という表示は to be, being を含む。to be, being だけのときは “to be” “being” とする。

E. スピーチレベル

語の使われる地域, 文体, 時代的差異などに関するスピーチレベルは,《　》に入れて示した。主なものは次のとおり（指示のない語は普通に用いられる一般語である）。

社会的差異

《非標準》 非標準英語（標準英語には特に表示しない）

レジスター（標準英語内における機能的差異・スピーチレベル）

《正式》　堅い書き言葉・話し言葉（時に《文》に通じる）

《略式》　くだけた書き言葉・話し言葉

《俗》　俗語, 非常にくだけた話し言葉

《性俗》　性的な俗語（下品な語, タブーとされる語も含む）

《文》　文語, 堅い書き言葉（時に《古》《詩》に通じる）

《詩》　詩で用いる言葉

《まれ》　使用頻度のきわめて低い言葉

年齢的・人種的差異

《学生語》 学生特有の言葉

《小児語》 小児特有の言葉

《黒人語》 米国の黒人特有の言葉

地域的差異

《方言》　ある地域でだけ用いる。《英方言》とあれば英国のある地域でのみ用いる言葉。

《米》　米国でのみ用いる。

《英》　英国でのみ用いる。

《カナダ》　カナダでのみ用いる。

《豪》　オーストラリア・ニュージーランドでのみ用いる。ニュージーランドだけで用いる場合は特に《NZ》と表示した。

《南ア》　南アフリカ共和国でのみ用いる。

《イング》　イングランド方言

《北イング》　北部イングランド方言

《スコット》　スコットランド方言

《アイル》　アイルランド方言

その他，必要に応じていろいろな地域名を用いた。

時代的差異　《やや古》《古》《廃》

その他　《愛称》《掲示》《Eメール》　など

F.《PC》・《侮蔑》

①性差別･人種差別･障害者差別等につながりうる語句には，非差別的表現を，《PC》という表現をつけて掲げた。
(PC＝politically correct)

assemblyman　議員 (《PC》assembly member)

②特定の人種・民族や同性愛者などを見下した文脈で用いられ，侮辱的と受け取られる語には《侮蔑》という表示をつけて，特に使用上の注意を促した。

G. 専門語

専門的な語，決まった分野で用いられる語では，分野を〔　〕で示し，多くは略号を用いた (9. 専門分野略語表参照)。

H. 選択制限・連語関係

①主語・目的語などにどういう内容の語がくるかを〈　〉で示した。また，その語と一緒によく用いられる前置詞(場合により動名詞・不定詞など)を，語義の後に〔　〕に入れて示した。それに対応する訳語も〔　〕で示した。

fire... 動 ...❶〈人が〉〈銃・弾丸など〉を〔…めがけて〕発射する，発砲する...〔at, into, on, upon〕

②動詞にしばしば伴う副詞辞は，語義の後に＋印をつけて (　) に入れて示した。

figure... 動 ... ❷ …を計算する，合計する(+up)

I. いろいろな注記・記号

①語義の後の (　) 内に同義語または言い換え可能な英語を示した。

②語義・訳語についての関連情報や語法説明・語のイメージなどは《◆　》に入れて示した。

● 「次の句」とあれば、同じ語義の用例 (例) に句があることを示す。

③必要に応じて，次のような表示を用いた。

[語法] 特に高校生とって必要とされる重要な解説には 重 をつけた。
[関連]　　[文化]　　[事情]
[類] 類義語
[類語比較] 類義語の意味・用法の違いの解説
[表現] 主に英語で表現する場合に役立つ知識
×　文法的に誤った英語, 語法上不適切な表現
cf. …を参照せよ
→ …を見よ（直接関連する情報が他の箇所にある場合）
⇔　反意語・対になる語
♥♟ 人名の記述で, それぞれ男性・女性を表す。
《外来形容詞》 主にラテン語・ギリシア語からの外来語による形容詞形。学術語として用いるものが多い。

J. 用例

①見出し語と同じものを～で示した。
②語形変化した形については ～s, ～es, ～ed, ～ing のようにした。語尾の y を i に変えて es, ed をつけるものは ～ies, ～ied とした。
③[　]は, 語義の場合と同じように, 直前の語（句）と交換が可能であることを示す。英文中での交換の起点を「 で示す（ただし1語だけの交換の場合は省略）。
④英語とその訳の両方に[　]があるときは, [　]の前の語（句）同士, [　]の中の語（句）同士が原則として対応している（これは注記などでも同じ）。
（eclipseの項で）a sólar [lúnar] ～ 日[月]食
⑤名詞の用例の中の特に高頻度で用いられるコロケーション（連語）の部分は太い字体で示した。
⑥用例の中で, 決まった場面で用いられる固定した表現・決まり文句(lexical phrase)には►印をつけて注意を喚起した。
⑦用例の言い換えを（=）を用いて示した。
言い換えに用いた等号（=）はまったく等しいという意味ではなく, むしろ ≒ ということで, だいたいこのようにも言える, といったかなり幅のある記号である。

K. イントネーション, 強勢など

① イントネーションや強勢によって意味の違いが生じる場合など, 必要に応じて用例にイントネーションや強勢を示した。
(1) ↘（下降調） 通例平叙文で用いられ, 文の完結を示す。断定的口調。疑問文では同意や情報を求める場合に用いられる。
(2) ↗（上昇調） 通例疑問文で用いられ, 質問・勧誘・依頼などを表す。また文中で, 文が未完結であることを示す。
(3) ↘↗（下降上昇調） 通例文頭の文副詞・挿入句[節]で用いる。文末では対比とか話し手の含みのある態度を示す。

(4) ↘(部分下降調) 中途半端な下降で，未完結あるいは話し手のちゅうちょなどを表す。

② ┊ によって，若干の休止があることを示した。

7. C と U

名詞には，数えられるものに C (countable), 数えられないものに U (uncountable) の記号をつけた。

A. C U の意味

①C 名詞は，単数形では a, an (または the, my, any) などの決定詞が必要であり，複数形にすることができる。

②U 名詞は，冠詞(または他の決定詞)なしで用いることができ，複数形にならない。いわゆる物質名詞，抽象名詞，集合名詞などがこれに含まれる。
特に a, an がつくときは[a ～]，[an ～]と示した。また [しばしば a ～] [しばしば ～ s]は[or a ～]，[or ～ s]などと示した。

③C U は C 性の方が強いことを表している。

④U C は U 性の方が強いことを表している。

⑤U名詞の注記 ([種類] C)
U名詞であっても，その種類を問題にするときにC扱いになることがある。これを「chalk 名 ...❶ U ([種類] C) チョーク」のように注記した。この場合，チョークの種類を問題にするときは C となり，chalks of different colors(異なった色のチョーク)のように複数形が用いられる。

⑥U C はつけない場合
[the ～] [a ～] [～ s] [the ～ s] [one's ～] などとあるものは常にこの形で用いられることを示す。この場合 U C はつけない。

8. 成句・句動詞

A. 成句の掲げ方

① 成句は各品詞ごとに掲げた。

② 配列はアルファベット順である。

B. 成句に用いた記号

①O は動詞・前置詞の目的語を示す(ただし，目的語ではなくても便宜上 O を用いた場合がある)。

②one'sは成句の主語と同一指示のものが人称代名詞(my, your, her, their など)になって入ることを示す。
その他の場合はO'sとする。oneself は再帰代名詞(myself, yourself, herselfなど)が入ることを示す。

③〈 〉〔 〕( ) [ ]の意味は単語の語義の場合 (**6.B**, **6.H**) と同じである。
[ ] が成句見出しと訳の両方にあるときは，用例の場合(**6.J** ④参照)と同じように，英語とその訳を対応させて用いるのを原則とした。

④重要語に相当する成句には ＊印をつけた。

C. 成句を扱う場所

①原則として，その成句に含まれる名詞のところで扱う。名詞を含まない場合は成句の中でもっとも重要な語またはもっとも特徴的な語の見出し語のところで扱う。
② 成句は，「成句検索」を用いれば直接検索できる。

D. 成句の機能表示

①「動詞＋前置詞または副詞辞」からなる句動詞には，成句としての機能（品詞に準ずるもの）を次のように表示した。

[自]　自動詞＋副詞辞：目的語をとらない。

[他]　他動詞＋副詞辞：他動詞なので目的語をとる。原則として副詞辞は目的語の前にも後にも置かれる
（～ O up / ～ up O のいずれも可）。
ただし O が代名詞の場合は通例 ～ O up のみ可。
◇まれに副詞辞ではなく前置詞の場合もここに入れた。

[自$^{+}$]　[～ on O] 自動詞＋前置詞：目的語は前置詞の目的語である。他動詞に近づき、しばしば受け身が可能。

②句動詞以外でも，形や訳語からわかりにくいものは [名] [副] [接] のように機能表示をした。

E. 相互参照など

他の成句と同じ意味のときは＝を用いて示した。
（top の項で）

from tóp to tóe ＝➡from HEAD to foot.

［from head to foot と同じ意味であり，それは head（スモールキャピタルなっている）の項に説明があることを示す］

9. 専門分野略語表

〔アメフト〕アメリカンフットボール
〔アングリカン〕アングリカンチャーチ

〔医〕　医学	〔印〕　印刷	〔映〕　映画
〔英史〕　英国史	〔音〕　音楽	〔音声〕　音声学
〔化〕　化学	〔絵〕　絵画	〔化工〕　化学工業
〔カトリ〕　カトリック	〔機〕　機械（工業）	〔ギ神〕　ギリシア神話
〔魚〕　魚類	〔漁〕　漁業	〔軍〕　軍事
〔経〕　経済（学）	〔建〕　建築（学）	〔言〕　言語学
〔工〕　工業･工学	〔鉱〕　鉱物学	〔古生〕古生物
〔史〕　歴史（学）	〔歯〕　歯科（学）	〔社会〕　社会学
〔狩〕　狩猟	〔宗〕　宗教（学）	〔商〕　商業･商学
〔植〕　植物（学）	〔織〕　紡織	〔神〕　神学
〔心〕　心理学	〔人類〕　人類学	〔数〕　数学

〔生〕　生物(学)　〔政〕　政治(学)　〔生化〕　生化学
〔聖書〕　聖書(学)　〔精神医〕　精神医学　〔地〕　地学･地質学
〔虫〕　昆虫　〔鳥〕　鳥類　〔哲〕　哲学
〔天〕　天文学　〔電気〕　電気(工学)　〔電子工〕　電子工学
〔動〕　動物(学)　〔土木〕　土木(工学)　〔農〕　農業･農学
〔バスケ〕　バスケットボール　〔美〕　美術･美学
〔美史〕　美術史　〔物〕　物理(学)　〔プロテ〕　プロテスタント
〔米史〕　米国史　〔法〕　法律･法学　〔薬〕　薬学
〔郵〕　郵便　〔林〕　林業･林学　〔倫〕　倫理(学)
〔ロ神〕　ローマ神話　〔論〕　論理学

◇ このほかの分野については省略しない形で，または｢学｣だけを省略して示してある(例：〔教育〕= 教育(学))。

ジーニアス和英辞典 第2版

1. ジーニアス和英辞典のしくみ

A. 見出し語とその並べ方

①かな見出し（ひらがな・カタカナ）で，国語辞典式の五十音順に並べた。

②清音，濁音，半濁音の順。「っ」（促音），「ゃ」「ゅ」「ょ」（拗音）は，それぞれ「つ」「や」「ゆ」「よ」の次に置いた。

見出し中の長音符（ー）は，その直前の音の母音を重ねたものとして配置した。

スープ　「スウプ」の位置　　**キーパー**　「きいぱあ」の位置
セーフ　「セエフ」の位置　　**コーヒー**　「こおひい」の位置

（　）は省略可能，［　］は直前の部分との交替可能を表す。見出しの配列は（　）［　］を除いた部分で行なう。

③かな見出しで同じ表記のものが2つ以上あるときは，肩に数字をつけ，後ろに＜＞で区別の手がかりを記した。

ライト[1]＜明り＞
ライト[2]＜野球＞
ライト[3]＜複合語を作る＞

英語の品詞が見出し語から推測しにくいときにも，＜形＞などで英語の品詞を示した。

助詞・助動詞・接尾辞など独立では用いられない語は，ハイフンをつけて見出しにした。

-に　　**-すぎ［-過ぎ］**　　**-たい**

特に重要語では，ほぼ同じ英語が対応する2語をいっしょに扱うことがある。

いたむ【痛む】/ いたい【痛い】

④日本語の形容動詞に英語の形容詞を対応させる場合は，原則として，**まじめ（な）** **あべこべ(の)** のように示した。動詞が対応する場合は，**すき(だ)** のように示した。ただし，英語中見出しをたてない場合は（な）などは省略した。

B. 派生語見出し

「…する」「…した」「…ない」などのついた派生語見出しは，主見出しの後に 派 印の下に掲げた。日本語としてはやや長い語句であっても，英語では1語で表すものは適宜この形で示した。

英語中見出しなどの記述の方式は独立の見出しに準ずる。

コア解説（☞**3**）を設けるものは独立の見出しとした。

C. 記述の構成要素

①本辞典の記述内容は次のような要素からなる。

かぎ【鍵】………………………………………………………………… **見出し語**
①[鍵]…………………………………………………………………… **意味の区分**
key Ⓒ（戸・車などの）かぎ　　〈例〉…
…………………………………… **英語中見出し・英語中見出しを用いた用例**

コンテンツ／機能説明編　コンテンツ(辞書)データについて

▶玄関のかぎをかけ忘れる leave the door unlocked

……英語中見出し以外の語を用いた用例

複 かぎ輪 ker ring Ⓒ ……複合語

派 かぎがかかる lock ⓐ ... ……派生語

小さな項目では，適宜簡便な書き方をした。

D. 意味による区分

必要に応じ，見出し語を意味によって大きく区分して，①②…で示した。

あたま【頭】 ①［頭部］ ②［頭髪］ ③［頭脳］

英語の品詞によって区分することもある。

あいする【愛する】 ①〈動〉 ②〈形〉

2. 英語中見出し

A. 英語中見出し

①見出し語にほぼ対応する英語があるときは，「英語中見出し」を置き，その発音（わかりにくいもののみ）・文型・語義・用法・用例などを英和辞典と同じ方式で掲げた。配列は，その見出し語を含む文・句を英語で表現する場合の有用性を考慮した。

②成句も，見出し語にほぼ対応するものは「英語中見出し」として掲げた。

B. 記述の方法

①記述の方法や記号類の用法などは，『ジーニアス英和辞典』とほぼ同様である。（ジーニアス英和辞典の項参照）

②英語の品詞は，日本語との対応がわかりにくいものについて表示した。
英語中見出しの語義のうち，見出し語と同じものは，まぎらわしくない場合省略することがある(たとえば，「**かくう（の）**【架空（の）】」の項の英語中見出しimaginary の語義は「想像上の，実在しない」とし，「架空の」をあげていない）。

③英語の句・成句などで，動詞・前置詞の目的語をOで示した。また，目的語でなくても，便宜上，名詞にOを用いた場合がある。

3. コア解説

重要語で対応する複数の英語の使い分けが問題になる場合は，適宜囲み(バー(▬▬)で上下を区切る)で詳しい解説をした。ここで取り上げられる英語を「コア語」，囲みの解説を「コア解説」という。
コア解説ではコア語を初めにまとめて掲げ，解説・用例（➡印）ではそれらを一括して扱った。

A. コア語の選定

見出しになる日本語の中から重要な語をまず選び，それに相当する英語のシノニム（類義語）グループの中の重要な語をコア語とした。選定は，ネイティブスピーカーの直観的判断，コンピュータ・コーパスから得られる頻度，日本における英語教育の事情を考慮に入れて，日本人執筆者が行なった。

B. △・×

コア解説では，コア語のグループを構成するシノニムの使い分けを詳述した。

コロケーション（連語関係）には文法のような一律的な規則はなく，その可否は慣用と直観に基づききわめて不安定である。したがって，執筆に際してはネイティブスピーカーが次の5段階でコロケーションの可否を評価した。

+	OK
*	very slightly unusual
**	notably unusual
***	very unusual
****	deviant

実際にはこれを整理して，+(typical)は無印，*(less-typical)は△印，**以下(non-typical)は×印と3段階で表示した。

4. 用例

英語中見出しとは別に，見出し語を含む文・句を英語で表現する場合に役に立つ英語用例（英語中見出し以外の語を用いたもの）・成句を▶印の下に掲げた。

5. 複合語

①見出し語が最初につく複合語（原則として名詞）と，それにあたる英語を，複 印の下に掲げた。

②複数の英語をあげる場合は；で区切った。

重要なもの，用例を掲げるものは独立見出しとした。

ベーシックジーニアス英和辞典

1. 見出し語

A. 見出し語の並べかた

① アルファベット順に並べてある。同じつづりで大文字･小文字の違いのあるものは，小文字→大文字の順。

② 同じつづりで語源の異なる語は別見出しとし，右肩に番号をつけた(ただし，説明の都合で同語源でも別立てとしたものがある)。

bill[1]　bill[2]　Bill

B. 重要語の表示(重要度に応じて次のような記号をつけてランクを示した。)

⁑	Aランク	中学学習語	約1100語
⁎	Bランク	高校学習語	約2300語
無印	Cランク	その他	約30400語

C. いろいろなつづりがある場合

(　)は省略可能の部分，－は最初のつづりとの共通部分を示す。

(　)内の部分もアルファベット順に含めて配列した。

ben･zine, －･zin　[benzineともbenzinともつづる]

Bern(e)　[BernともBerneともつづる]

D. 分節

音節の切れ目は，・(小さい中点)で表示した。

E. 2語見出し(分離複合語)

2語以上からなる見出し語(以下「分離複合語」という)は，最初の語の項目の末尾にまとめて掲げた(アルファベット順)。例えば，table knifeは見出し語tableの末尾に táble knìfe として示した。

F. 派生語

ある語に接尾辞-ly，-ness，-ment，-(e)dをつけてできたCランクの派生語は，元の語の末尾(分離複合語のあと)に置く場合がある。(いくつか派生語があるとき，アルファベット順によらない。)

2. 発音

① 発音記号は/　/に入れた。省略可能な音は斜字体(*ə*，*j* など)で表記した。第1アクセントは ´，第2アクセントは ` をつけた。

② 発音記号の直後に，カタカナによる発音表記を示した。これは目安であり，これだけを見て正しい発音が再現できるものではない。

③ 同じ発音で違うアクセントもあるときは，ダッシュ (-)を使って/ˊ-ˋ-/のように表記した。(1音節につき1つのダッシュ)。

④ 分離複合語は，原則として発音を省略し，アクセントだけを示した。

⑤［連結形］の発音は代表的なものだけを示した。実際の語のなかでは他の発音もありうる。

⑥ 発音がわかりにくい語や日本人がよく誤って発音する語には(発音注意)(アクセント注意)と注記した。
⑦ 発音表記のあとに［同音］として見出し語と同じ発音の語を掲げた。見出し語または掲げた同音語にいくつか発音があるときは △印をつけた。
⑧ 日本人の立場から見て発音が似ていてまぎらわしい語を［類音］として掲げた。

fork /fɔ́ː(r)k/　(［類音］folk /fóuk)

3. 本義・原義・主要語義目録

① その語の語義全体の基本となる「本義(中核的意味)」または「原義(語源的意味)」を〚　〛に入れて示した。Cランクでも必要に応じて〚　〛で語源を示した。

cassette　〚小さい(-ette)箱(case)〛
close　〚「互いに密着している」が本義〛

② A, Bランクの語で多くの語義のある語については, 主要な語義を 解説 に掲げた。
③ 外来語(完全に英語化しているものも一部含む)は, その由来する言語名を〚フランス〛〚スペイン〛などとして示した。
④ 〚聖は聖書〛, 〚Shak.〛 はシェイクスピアの作品に由来する句・用法であることを示す。
⑤ 動詞の 自 他 は別々に示されているが, 実際は 自 と 他 は別個のものではない。この 自 と 他 の関係を明らかにするため, 解説 に表示をした。

4. 品詞

① 品詞は次のような記号で示した。

名	名詞			助	助動詞	連結形	連結形
代	代名詞			前	前置詞		
形	形容詞			接	接続詞		
副	副詞			間	間投詞		
動	動詞	自	自動詞	略	略語		
		他	他動詞	記号	記号		

② A, Bランクの語については, 重要な派生語(主としてA, Bランク)を(派)として品詞表示の前に掲げた。

5. 語形変化

A. 語形変化の表示の原則

① 名詞, 動詞, 形容詞, 副詞の語形変化は, 品詞表示のすぐあとに(　)に入れて示した。
② ～は見出し語まるごとの代用, -は見出し語の一部(音節の切れ目から前)の代用である。
③ 不規則変化する語およびA, Bランクの語で変化形に注意を要するもの(語尾のyをiに変える, -eを取って-ingをつける, など)については, 変化した形も見出し語に立てた。

B. 名詞の複数形

(複　　)として表示した。つづりが-oで終わる語, -esをつける語, yを iに変えて-esをつける語, その他注意を要する語については, Cランクでも複数形を示した。

C. 動詞の語形変化

① A, Bランクの動詞の語形変化は次のように示した。
run([三単現] ～ s/-z/; [過去] ran/rǽn/, [過分] run; [現分] run・ning)

② 過去形と過去分詞形が同じときは, [過去・過分] という表示で1回だけ示した。

③ 2つ以上の形があるときは(...または...)のように示した。

D. 形容詞・副詞の比較変化

① A, Bランクの1, 2音節からなる形容詞・副詞については比較変化をすべて示し, 比較級には [比較] , 最上級には [最上] と表示した。
3音節以上で表示のないものはmore ～ , most ～を用いる。

② Cランクの語では, 表示のない場合

1音節の語	-er, -est
2音節以上の語	more ～ , most ～

を用いる。(時に [比較] ～ **・er**, [最上] ～ **・est**)はmore型と-er型の両方が用いられることを示す。

6. 語義・文型表示, その他の注記

A. 語義の区分・順序

語義は **1, 2, 3** ...の数字で区分し, さらに必要に応じて **a, b, c** ...やセミコロン(;)で区切って示した。多くの語義のある語では, Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ…でいくつかの大きなブロックに分けた。

B. 語義の示し方

① (　)内は省略可能な部分, または「内包的意味」(普通そういう意味をこめて用いられるという部分)である。
hall... 名 ...... 2玄関(の広間)
[「玄関」または「玄関の広間」の意になる]
cabin... 名 1(丸太造りの)小屋

② [　] は直前の語句と交換ができる語句を示す。
brickyard... 名 ... れんが工場 [販売所]
[「れんが工場」または「れんが販売所」の意になる]

③ 語義のあとの《　》内は語義の定義や内容説明である。

C. 用法の指示, 文法上の注記

さまざまな語法・文法上の注記を [　] に入れて示した。(～は見出し語の代用。ただし, 2字以下の語やわかりにくい場合などは全部つづった。)以下に主なものを掲げる。

語形

[P ～] 見出し語は小文字だが, ここでは大文字で用いる。
[p ～] 見出し語は大文字だが, ここでは小文字で用いる。

名詞の用法

[the ～] [a ～] [an ～] それぞれの冠詞つきで用いる。

[one's ～] 人称代名詞の所有格(my, your, his, her, ourなど)つきで用いる。

[～ s] [～ es] 複数形で用いる。(yをiに変えて-esをつける語は全部つづった。)

形容詞の用法

[補語として] He is crazy. のcrazyのように, 連結動詞(be, remainなど)の補語として用いる。

[名前の前で] a crazy boyのcrazyのように, 名詞の直前に置いてその名詞を直接修飾する。

動詞の用法

[be ～ ed] 受身形で用いる。(yをiに変えて-edをつける語は全部つづった。)

[be ～ ed] および [通例 be ～ ed] については, それに続く訳語も受身にしたものを掲げた。

[be ～ ing] 進行形で用いる。

[～ oneself] 再帰代名詞(myself, yourselvesなど)とともに用いる。

そのほか, [a ～ of] [数詞の前で] [比較級を強めて] [命令形で] [比喩的に] などさまざまな表示をした。

D. 文型表示

① 重要な動詞および一部の形容詞については, 主語にS, 目的語(時に主語など)にA, B, 補語にCを用いて文型を表示した。

give 他 **1** [give (A) B/give B (to A)]
〈人が〉(A〈人〉に)B〈物・金〉を(無償で)与える

become 自 [become C] C(の状態)になる

kind 形 **1b** [A is kind to do/it is kind of A to do]…するとはA〈人〉は親切だ

② 不定詞, 動名詞, that節, wh節, 決まった前置詞などを伴う場合は, それも含めて示した。

E.スピーチレベル

語の使われる地域, 文体, 時代的差異などに関するスピーチレベルは, 《　》に入れて示した。主なものは次のとおり(指示のない語は普通に用いられる一般語である)。

機能的差異

《文》	文語, 堅い書き言葉(時に《古》《詩》に通じる)
《詩》	詩で用いる言葉
《正式》	あらたまった書き言葉・話し言葉
《略式》	くだけた書き言葉・話し言葉
《俗》	俗語, 非常にくだけた話し言葉

性的・年齢的・人種的差異

《男性語》　《女性語》　《学生語》　《小児語》

《黒人語》　米国の黒人特有の言葉

地域的差異

《方言》　ある地域でだけ用いる。《英方言》とあれば英国のある地域でのみ用いる言葉ということになる。
《米》　米国でのみ用いる。
《英》　英国でのみ用いる。
《カナダ》　カナダでのみ用いる。
《豪》　オーストラリア・ニュージーランドでのみ用いる。
《スコット》　スコットランド方言
《アイル》　アイルランド方言

その他, 必要に応じていろいろな地域名を用いた。

時代的差異

《古》　《やや古》　《廃》

その他

《愛称》　《掲示》

その他, 場面を表す短い言葉(《空港のアナウンス》《店員の言葉》など)を《　》で示した。

F.《PC》

性差別・人種差別・障害者差別等につながりうる語句には, 非差別的表現を, 《PC》という表示をつけて掲げた。(PC＝politically correct)
例えば, 人間全体を示す男性名詞(例：man, mankind), 男女両性を含む男性職業名詞(例：salesman, congressman), ことさら男女の違いを強調する語(例：lady doctor, waitress)などに対して, 男性に偏しない両性平等に使える語を示した。
《PC》としてあげた語は, 本辞典で見出し語となっていない場合がある。

G. 専門語

専門的な語, 決まった分野で用いられる語には, 分野を〔　〕で示した(訳語から明らかなものは表示を省略した場合がある)。〔動〕は動物(学),〔植〕は植物(学)の略。

H. 選択制限

① 動詞の主語・目的語・補語, 形容詞の被修飾語, 前置詞の目的語などにどういう内容の語がくるか(これを選択制限という)を, 語義の中に〈　〉で示した。

damage ... 動 ... 1〈物・事が〉〈物〉に損害を与える.
　[主語については〈…が〉のように示す]
derive ... 動　1 [derive A from B] B〈本源となる物・事〉からA〈利益・楽しみ・安心など〉を引き出す, 得る.
decisive ... 形 ... 1〈戦い・勝利などが〉明確な結果をもたらす, 決定的な.

② 動詞にしばしば伴う副詞辞は＋印をつけて(　)に入れ, 斜字体で示した。

fence ... 動 ... …に囲いをめぐらす(＋in, off).

I. 同義語

語義のあとの(　)内に同義語または言い換え可能な英語を示した。

J. いろいろな注記・記号

① 語義・訳語についての関連情報や語法説明・語のイメージ・補足などは《◆　　》に入れて示した。説明の長いものは囲み記事とし，一部は［Q&A］として質問と答えの形で 解説 に示した。

② 必要に応じて，次のような表示を用いた。

［関連］　［語法］　［文化］　［事情］
［類］　類義語　［比較］　日本語と英語の比較
［表現］　主に英語で表現する場合に役立つ知識
cf.　…を参照せよ
→　…を見よ(直接関連する情報が他の箇所にある場合)
↔　反意語・対になる語

K. 用例

① すぐに役立つ対話形式の用例を， 例 に［対話］と表示して収録した。

② ［　］は，語義の場合と同じように，直前の語と交換が可能であることを示す。

③ 英語とその訳の両方に［　］があるときは，［　］の前の語同士，［　］の中の語同士が原則として対応している(これは注記などでも同じ)。
a convex［concave］lens　凸［凹］レンズ.
［a convex lensが「凸レンズ」, a concave lensが「凹レンズ」となる］

④ 等号(=)は，「まったく同じ意味」ということではなく，「だいたい同じような意味である(ニュアンスに相違もある)」といった場合にも用いている。

L. イントネーション, ストレスなど

① イントネーションやストレスによって意味の違いが生じる場合(「部分否定」と「全否定」など)，丁寧さの度合いが異なる場合(Thank you.(⤴)(⤵)など)，その他必要に応じて用例にイントネーションやストレスを示した。イントネーションは，高低変化の終わった箇所に，次のような記号で示した。
⤵ (下降調)　通例平叙文で用いられ，文の完結を示す。断定的口調。
⤴(上昇調)　通例疑問文で用いられ，質問・勧誘・依頼などを表す。また文中で，文が未完結であることを示す。
⤵⤴ (下降上昇調)　通例文頭の文全体を修飾する副詞(句)・挿入句［節］で用いる。文尾では対比とか話し手の含みのある態度を示す。
↘ (部分下降調)　中途半端な下降で，未完結あるいは話し手のちゅうちょなどを表す。

② ストレスは，´ と ` のアクセント記号をつけて示した。

③ この他，┆によって，若干の休止があることを示した。

7. C と U

名詞には，数えられるものに C (countable)，数えられないものに U (uncountable) の記号をつけた。

A. C と U の意味

① C 名詞は，単数形ではa，an(またはthe，my，any，thatなどの決定詞)が必要であり，複数形にすることができる。

② U 名詞は，冠詞(または他の決定詞)なしで用いることができ，複数形にならない。いわゆる物質名詞，抽象名詞などがこれに含まれる。特にa, anがつくときは ［a ～］，また ［しばしば a ～］［しばしば ～s］ などとして示した。
特に a, an がつくときは [a ～]，また [しばしば a ～] [しばしば ～s] は[or a ～]，[or ～s] などと示した。

③ [集合名詞] としたものには通例 C U をつけない。

④ 固有名詞には通例 C U をつけない。

⑤ ［the ～］［a ～］［～s］［the ～s］［one's ～］ などとあるものは常にこの形で用いられることを示す。この場合 C U はつけない。
複数形の語の語義については，必要に応じ，［単数扱い］［複数扱い］［単数・複数扱い］ という表示をした。［単数扱い］ の語が主語になった場合は単数の主語に一致する動詞を用い，また単数の代名詞で受ける。(複数形で表示のないものは複数扱いである。)

8. 成句・句動詞

A.成句の掲げ方

① 配列はアルファベット順である。

② 句動詞(動詞＋前置詞または副詞辞で全体として動詞の機能をもつ成句)のうち，特に重要なものは独立の見出し語とした。

B.成句に用いた記号

① A，Bは動詞・前置詞の目的語を示す(ただし，目的語ではなくても便宜上A，Bを用いた場合がある)。

② one'sは成句の主語と同じものが人称代名詞(my，your，her，theirなど)になって入ることを示す。その他の場合はA'sとする。

③ oneselfは再帰代名詞(myself, yourself, themselvesなど)が入ることを示す

④ 成句には標準的なアクセントを表示した。ただし，文脈による変動や個人差も大きいので，ひとつの目安としての表示である。

C. 成句を扱う場所

① 名詞を含む成句は名詞のところで扱う。それ以外は，その成句の中でもっとも重要な語またはもっとも特徴的な語の見出し語のところで扱う。

② 引きにくいものについては，いろいろな箇所から引けるように参照見出しをつけた。

D. 機能表示

① 「動詞＋前置詞または副詞辞」からなる句動詞には，成句としての機能(品詞に準ずるもの)を次のように表示した。

［自］　自動詞＋副詞辞。目的語をとらない。

［他］　他動詞＋副詞辞。目的語は他動詞の目的語であり，原則として副詞辞は目的語の前にもあとにも置かれる。ただし目的語が代名詞の場合は通例～ A upの形でのみ使われる。

② 自動詞＋前置詞からなる句動詞は，［～́ thrògh A ］のように表示した。

③ 句動詞以外でも，形や訳語からわかりにくいものは［名］［副］［接］のように機能表示をした。

OXFORD現代英英辞典 第7版

この辞典の項目の概要

単語を探す

この辞典では、見出し語をアルファベット順に配列して項目を記載しています。複合語・派生語は各々の項目に、アルファベット順で記載しています。

見出し語

book·bind·er /ˈbʊkbaɪndə(r)/
noun a person whose job is fastening the pages of books together and putting covers on them
▸**book·bind·ing** noun [U]

book·case /ˈbʊkkeɪs/
noun a piece of furniture with shelves for keeping books on

ˈbook club
noun

項目

1 an organization that sells books cheaply to its members
2 = BOOK GROUP

見出し語の中には複数の品詞形を持つものがあります。

見出し語とすべての品詞形

blind·fold /ˈblaɪndfəʊld; NAmE -foʊld/
noun, verb, adj., adv.

"■" は各品詞の解説が始まる箇所を表します。

■ noun something that is put over sb's eyes so they cannot see
■ verb [VN] to cover sb's eyes with a piece of cloth or other covering so that they cannot see
◇The hostages were tied up and blindfolded.
■ adj., adv. (BrE) (also **blind·fold·ed** BrE, NAmE) with the eyes covered
◇The reporter was taken blindfold to a secret location.
◇I knew the way home blindfold (= because it was so familiar).
◇I could do that blindfold (= very easily, with no problems).

英語には、同じ綴りで異なる発音をする単語があります。

小さい数字は同綴異義語番号で、gillという綴りの2つの見出し語のうちの1つ目であることを表します。

gill1 /gɪl/
noun [usually pl.] one of the openings on the side of a fish's head that it breathes through
IDM
to the ˈgills
(informal) completely full
◇I was stuffed to the gills with chocolate cake.

見出し語ごとに異なる発音を表記しています。

gill2 /dʒɪl/
noun a unit for measuring liquids. There are four gills in a pint.

また英語には、いろいろな綴りがある単語があります。このような単語についての解説は最も頻繁に使われる綴りで表記しています。

括弧内にその他の綴りを表記します。

ban·is·ter (also **ban·nis·ter**) /ˈbænɪstə(r)/
noun (BrE also **ban·is·ters** [pl.]) the posts and rail which you can hold for support when going up or down stairs
◇to hold on to the banister / banisters

あまり頻繁に使われない綴りの見出し語からは、相互参照で主に使われる見出し語へ導きます。

ban·nis·ter
= BANISTER

動詞の米語変化形や不規則変化形も同様に扱います。
他の単語からの派生語は、元になる単語(基語)の意味から容易に理解できるので、単独の見出し語にはなりません。これらの単語は基語と同じ項目に、別途印を付けて表記されます。

▶印は派生語の解説が始まる箇所を表します。

be·lated /bɪˈleɪtɪd/
adj. coming or happening late
◇a belated birthday present
▶**be·lated·ly** adv.

慣用句や句動詞は、別途記号を付けて表記しています。

記号 IDM は慣用句の説明を表します。

記号 PHR V は句動詞の説明を表します。

fetch 🔑 /fetʃ/
verb
1 (especially BrE) to go to where sb/sth is and bring them/it back
◇[VN] to fetch help / a doctor
◇The inhabitants have to walk a mile to fetch water.
◇She's gone to fetch the kids from school.
◇[VNN] Could you fetch me my bag?
2 [VN] to be sold for a particular price SYN SELL FOR
◇The painting is expected to fetch $10 000 at auction.
IDM
fetch and 'carry (for sb)
to do a lot of little jobs for sb as if you were their servant
PHR V
ˌfetch 'up
(informal, especially BrE) to arrive somewhere without planning to
◇And then, a few years later, he somehow fetched up in Rome.

Oxford 3000™ (学習基本語彙3000語)

「OXFORD現代英英辞典 第7版」の中で説明に使われる単語は、オックスフォード大学出版局と専門家からなる編集チームが選んだ基本的な3000の単語で構成された、英語学習者がコミュニケーションを行う上で最も重要な基本語です。その3000語を "Oxford 3000™" と呼びます。

意味を探す

単語には項目が非常に長くなるものがあります。見つけたい意味のおおよその予測ができる場合は、項目すべてを最初から読む必要はありません。

ショートカットに背景や一般的な意味を表記します。

意味が似ているものは同じショートカットに表記します。

spin 🔑 /spɪn/
verb, noun
■ verb (**spin·ning**, **spun**, **spun** /spʌn/)
【TURN ROUND QUICKLY】
1 **~ (sth) (round / around)** to turn round and round quickly; to make sth do this
◇[V] The plane was spinning out of control.
◇a spinning ice skater
◇My head is spinning (= I feel as if my head is going around and I can't balance).
◇[VN] to spin a ball / coin / wheel
2 **~ (round / around)** to turn round quickly once; to make sb do this
◇[V] He spun around to face her.
[also VN]
【MAKE THREAD】
3 **~ (A into B)** | **~ (B from A)** to make thread from wool, cotton, silk, etc. by twisting it
◇[V] She sat by the window spinning.
◇[VN] to spin and knit wool
◇spinning silk into thread
【OF SPIDER / SILKWORM】
4 [VN] to produce thread from its body to make a web or COCOON
◇a spider spinning a web

単語を理解し、使用する

見出し語の中で🔑記号の付いた単語はOxford 3000に含まれるもので、学習者がコミュニケーションを行う上で最も重要な基本語です。

spin 🔑 /spɪn/
verb, noun
■ verb (**spin·ning**, **spun**, **spun** /spʌn/)

アメリカ英語で発音が異なる場合。

aard·vark /ˈɑːdvɑːk; NAmE ˈɑːrdvɑːrk/
noun an animal from southern Africa that has a long nose and tongue and that eats insects

アクセント符号は複合語のアクセント位置を表します。

ˌbaby ˈgrand
noun a small GRAND PIANO

動詞の不規則変化と発音。名詞の場合は不規則複数形も表記します。

この単語と共に使える前置詞、副詞と構文。

例文を◇印で表記します。

使用例を表すラベル(スタイルラベル)

cling /klɪŋ/
verb (**clung**, **clung** /klʌŋ/) [V]
1 **~ (on) to sb/sth** | **~ on / together** to hold on tightly to sb/sth
◇survivors clinging to a raft
◇She clung on to her baby.
◇Cling on tight!
◇They clung together, shivering with cold.
→ note at HOLD
2 **~ (to sth)** to stick to sth
◇a dress that clings (= fits closely and shows the shape of your body)
◇The wet shirt clung to his chest.
◇The smell of smoke still clung to her clothes.
3 **~ (to sb)** (usually disapproving) to stay close to sb, especially because you need them emotionally
◇After her mother's death, Sara clung to her aunt more than ever.
PHR V

形容詞の比較級と最上級

形容詞の使用例

hearty /ˈhɑːti; NAmE ˈhɑːrti/
adj., noun
■ adj. (**heart·ier, hearti·est**)
1 [usually before noun] showing friendly feelings for sb
◇a hearty welcome
2 (sometimes disapproving) loud, cheerful and full of energy
◇a hearty and boisterous fellow
◇a hearty voice
3 [only before noun] (of a meal or sb's APPETITE) large; making you feel full
◇a hearty breakfast

名詞の固定形

名詞の種類別解説

例文中の一般的な言い回しを強調文字で表記します。

名詞の種類別解説

Oxford 3000 に収録されていない定義で使用される単語。

動詞のパターンコード

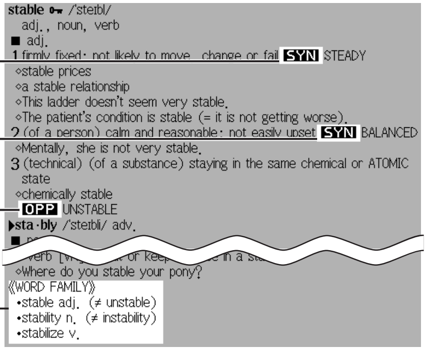
dock /dɒk; NAmE dɑːk/
noun, verb
■ noun
1 [C] a part of a port where ships are repaired, or where goods are put onto or taken off them
◇dock workers
◇The ship was **in dock**.
—see also DRY DOCK
2 **docks** [pl.] a group of docks in a port and the buildings around them that are used for repairing ships, storing goods, etc.
3 [C] (NAmE) = JETTY
4 [C] (NAmE) a raised platform for loading vehicles or trains
5 [C] the part of a court where the person who has been accused of a crime stands or sits during a trial
◇He's been **in the dock** (= on trial for a crime) several times already.
6 [U] a wild plant of northern Europe with large thick leaves that can be rubbed on skin that has been stung by NETTLES to make it less painful
◇dock leaves
■ verb
1 if a ship **docks** or you **dock** a ship, it sails into a HARBOUR and stays there
◇[V] The ferry is expected to dock at 6.
[also VN]
2 if two SPACECRAFT **dock**, or **are docked**, they are joined together in space
◇[VN] Next year, a technology module will be docked on the space station.
[also V]
3 [VN] **~ sth (from / off sth)** to take away part of sb's wages, etc
.

語彙を構築する

本辞典には、語彙の構築や、創造的な言葉の使用に役立つ情報が収録されています。

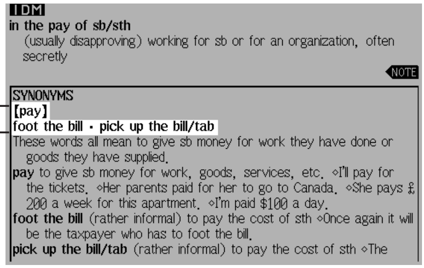
同義語と反意語を、記号を付けて表記します。

WORD FAMILY は見出し語に関連した単語の集まりです。


stable /ˈsteɪbl/
adj., noun, verb
■ adj.
1 firmly fixed; not likely to move, change or fail SYN STEADY
◇stable prices
◇a stable relationship
◇This ladder doesn't seem very stable.
◇The patient's condition is stable (= it is not getting worse).
2 (of a person) calm and reasonable; not easily upset SYN BALANCED
◇Mentally, she is not very stable.
3 (technical) (of a substance) staying in the same chemical or ATOMIC state
◇chemically stable
OPP UNSTABLE
▶sta·bly /ˈsteɪbli/ adv.
◇Where do you stable your pony?
《WORD FAMILY》
•stable adj. (≠ unstable)
•stability n. (≠ instability)
•stabilize v.

NOTE には正しい単語の選択方法や難解な文法の説明が記載されています。

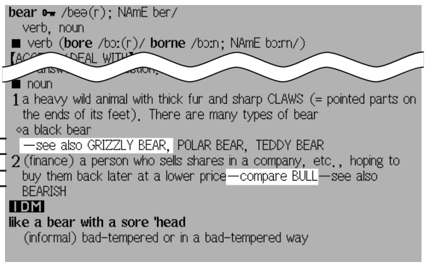
単語は使用頻度の高い順に配列しています。


IDM
in the pay of sb/sth
(usually disapproving) working for sb or for an organization, often secretly
NOTE
SYNONYMS
【pay】
foot the bill • pick up the bill/tab
These words all mean to give sb money for work they have done or goods they have supplied.
pay to give sb money for work, goods, services, etc. ◇I'll pay for the tickets. ◇Her parents paid for her to go to Canada. ◇She pays £200 a week for this apartment. ◇I'm paid $100 a day.
foot the bill (rather informal) to pay the cost of sth ◇Once again it will be the taxpayer who has to foot the bill.
pick up the bill/tab (rather informal) to pay the cost of sth ◇The

相互参照により、本辞典内の別の箇所にある記載へと導きます。

see also は類似もしくは関連した意味を持つ単語へ導きます。

compare は対照的な意味を持つ単語へ導きます。


bear /beə(r); NAmE ber/
verb, noun
■ verb (bore /bɔː(r)/ borne /bɔːn; NAmE bɔːrn/)
■ noun
1 a heavy wild animal with thick fur and sharp CLAWS (= pointed parts on the ends of its feet). There are many types of bear
◇a black bear
—see also GRIZZLY BEAR, POLAR BEAR, TEDDY BEAR
2 (finance) a person who sells shares in a company, etc., hoping to buy them back later at a lower price—compare BULL—see also BEARISH
IDM
like a bear with a sore 'head
(informal) bad-tempered or in a bad-tempered way

略語・記号の説明

1．省略形

abbr. ：省略形、短縮形
adj. ：形容詞
adv. ：副詞
C ：可算名詞
conj. ：接続詞
det. ：限定詞
n. ：名詞
pl. ：複数形
pp ：過去分詞形
prep. ：前置詞
pron. ：代名詞
pt ：過去形
sb ：だれか（somebody）
sing. ：単数形
sth ：何か（something）
symb ：シンボル
U ：不可算名詞
v. ：動詞

AustralE ：オーストラリア英語
BrE ：イギリス英語
CanE ：カナダ英語
EAfrE ：東アフリカ英語
IndE ：インド英語
IrishE ：アイルランド英語
NAmE ：北アメリカ英語
NEngE ：イングランド北部英語
NZE ：ニュージーランド英語
SAfrE ：南アフリカ英語
ScotE ：スコットランド英語
SEAsianE ：東南アジア英語
US ：アメリカ英語
WAfrE ：西アフリカ英語
WelshE ：ウェールズ英語

● 記号

～ ：見出し語の出だしの言葉に置き換えるもの
■ ：見出し語で新しい語法の部分を示す
▶ ：見出し語で派生語の部分
・ ：見出し語で、音節の区切りを表す
◇ ：例文
× ：文法的に誤った英語、語法上不適切な表現
IDM ：見出し語で慣用句の部分
PHR V ：見出し語で句動詞の部分
SYN ：同意語・類義語
OPP ：反意語
：Oxford 3000 に収録された単語を表す

２．スタイルラベル

本辞典では、特定の態度や場で使われる語には、ラベルをつけています。以下にそれぞれの意味を表示していますので、適切な語の使用に役立ててください。

approving	同意や賞賛の感情を示すときに用いる表現。
disapproving	不賛成や軽蔑の感情を示すときに用いる表現。
figurative	文字どおりではなく、暗喩的な意味を示す表現。
formal	厳粛な場や公式な場でのみ用いられる表現。日常会話での使用は不適切。
humorous	ユーモラスな表現。
informal	友人同士、あるいはくつろいだ場や非公式の場で用いられる表現。形式ばった場での使用は不適切。
ironic	本来の意味と反対または、まったく違った意味で使う。
literary	文学やフィクションで主に用いられる言語。
offensive	非常に侮辱的な表現。とくに人種や宗教、性別、身体障害に関して用いる。通常使うべきでない表現。
rare	一般的には使われない言語。たいてい別の語で言い換えられる。
slang	非常にくだけた表現。主に口語で用いられ、同年代や同業者など限定された集団の中で、通常使われる。
taboo	タブー語　多くの人が不愉快、衝撃的と感じるであろう単語。これらの単語の使用は避けるべき。 例：bloody、shitなど。
technical	特定の分野の専門家によって使われる言語。
AmE	アメリカ英語の表現。
BrE	イギリス英語の表現。
dialect	ブリテン諸島の地方特有の表現。ここではアイルランドやスコットランドは含まない。
old-fashioned	現代では使用されなくなりつつある表現。
old use	現代では使用されなくなった表現。
saying	ことわざなど良く知られた決まり文句や伝統的な表現。

３．verb patterns

本辞典では、動詞を用法別に22の型に分類し、ラベルで表示しています。各記号の意味は以下のとおりです。

▼　自動詞

[V]	動詞のみ
[V＋adv. / prep.]	動詞＋副詞または前置詞句

▼　他動詞

[VN]	動詞＋名詞句（補語）
[VN＋adv. / prep.]	動詞＋名詞句＋副詞または前置詞句

▼ 他動詞＋2つの目的語

[VNN]	動詞＋名詞句＋名詞句

▼ 連結動詞

[V-ADJ]	動詞＋形容詞
[V-N]	動詞＋名詞句
[VN-ADJ]	動詞＋名詞句＋形容詞
[VN-N]	動詞＋名詞句＋名詞句（目的補語）

▼ 節や句とともに使われる動詞

[V that] [V (that)]	動詞＋that節
[VN that] [VN (that)]	動詞＋名詞句＋ that 節
[V wh-]	動詞＋ wh- 節
[VN wh-]	動詞＋名詞句＋ wh- 節
[V to]	動詞＋ to 不定詞
[VN to]	動詞＋名詞句＋ to 不定詞
[VN inf]	動詞＋名詞句＋原形不定詞
[V -ing]	動詞＋現在分詞
[VN -ing]	動詞＋名詞句＋現在分詞

▼ 動詞＋直接話法

[V speech]	動詞＋直接話法
[VN speech]	動詞＋名詞句＋直接話法

英語類語使い分け辞典

1. 日本語類語における➡マークは、参照送りであり、その日本語見出し語にも関連する英語類語の使い分けがある（ジャンプできる）ことを示している。
2. 「使い分け」の解説において、英語単語のスピーチレベルとしては、〔口語〕と〔格式語〕があり、〔格式語〕とは英語の formal の訳で、改まった書き言葉や話し言葉の意味。
3. 「慣用表現」においては、その英語類語の慣用表現であるだけでなく、その日本語見出し語から連想される慣用表現も掲載している。

旺文社 生物事典-構成と表記法

1．構成と解説のしかた

構　成

（1） 全項目を五十音順に配列してある。

（2） 項目は頻出度・重要度を考慮して次のように区別してある。すなわち，◆◆ は高校での生物学習に絶対必要な重要項目，◆はぜひ知っておくべき項目，その他は無印の三段階に分けてある。日常学習に，また大学入試対策に一応のめやすにしていただきたい。

解　説

（1） まず，定義的な説明を簡単に述べた。

（2） 次に本文を掘りさげて徹底的に解説を加えた。文中にはできるだけ具体的な例をあげて，理解の便をはかった。

（3） 発展的な解説ないし資料などは，必要に応じて〔参考〕を設けて補足してある。

2．配列

（1） 原則として五十音順によった。ただし，見出し語が同じで欧文があとにつく場合は，アルファベット順に配列してある。

〔例〕「ビタミンA」「ビタミンB」「ビタミンC」……　のように配列してある。

（2） 同音のものはカタカナ・漢字の順に，また，清音・濁音・半濁音の順に配列してある。

〔例〕「チョウ」，「腸」；「カ」（蚊），「ガ」（蛾）のように配列してある。

3．表記

（1） 生物名・外国名・外国人名・外国地名は原則として「カタカナ」で示した。なお，見出しの生物名を除く外国語・外国人名・化石・幼生には欧文つづりを示してある。また，カタカナ表記が一般的に使われている語についても「カタカナ」で示してある。

〔例〕 アイ　　サクラ　　サル　　タンパク質
グルコース glucose
オーリクラリア auricularia
ダーウィン Darwin, Charles Robert

（2） 本文中は常用漢字・現代かなづかいによった。ただし，常用漢字以外でも意味のとりにくいものは漢字を使用し，適宜，読みをかっこ内に付記した。

〔例〕 穎（えい）　猛禽（きん）　孵（ふ）化

（3） 見出しの人名には生没年を付記した。ただし，4けたの数字の年代で，生没年が同一世紀の場合は初めの2けたを省略した。

〔例〕 アイマー　Eimer, Theodor　1843～98

（4） 用語で，２人以上の人名を冠したものは人名の区切りを・印で示した。同一人

物のネームの区切りは＝で示した。
〔例〕 ワトソン・クリックの模型
　　　レオナルド=ダ=ビンチ

（5） 用語は主として文部省の『学術用語集』に準拠したが，一般の慣用語も重視してある。

4．記号・符号

（1） ➡ 同内容のものであるが表記が異なるもの，または内容としてはそこに含まれるが，他の項目のところに説明されているもの。
〔例〕 アイソトープ ➡ 同位体
　　　アオヒモムシ ➡ 紐形動物
または、他所に見出し項目として出ている項目。原則として，項目理解に必要と思われるものについてつけた。「タンパク質」「細胞」などや分類名など，はっきりしているものにはつけていない。また，特に参照する必要のないものは除いてある。

（2） ➡ ➡ 参照することによって見出し項目の内容がよりいっそう理解できるような関連項目を文末に示した。

（3） 生物学習上の最重要項目には ◆◆，重要項目には ◆ で示してある。

（4） 『 』は書名を示す。

（5） ① ②… 同一項目で，内容的に類似ではあるが二つ以上の意味をもつ場合に用いてある。

化学小事典 凡例

Ⅰ　見出語

1. 見出語は「かな見出し」と「漢字見出し」を併用し,「かな見出し」は現代かなづかいを用いた.
   例：**ぶんべつじょうりゅう**【分別蒸留】
2. 見出語が外国語の場合は「かな見出し」をカタカナとした.
3. 日本語との複合語である外国語は― ― ―によって省略した.
   例：**さんかアルミニウム**【酸化― ― ―】
4. 人名項目については見出語のあとに生没年を併記し，外国人名については欧字綴りを付記した.
   例：**ファラデー**【Faraday, Michael】(1791 ～ 1867)
5. 他に説明のついた同義語または関連語がある場合は，同義語は ＝ ⇨，関連語は → ⇨ をもって説明のある本項目へ導いた.
   例：同義語は　**たんさんガス【炭酸―――】**＝ ⇨ 二酸化炭素
   　　関連語は　**シン - アンチいせい【―――異性】**→ ⇨ シス - トランス異性

見出語の配列

1. 配列は現代かなづかいによる五十音順とした.
2. 長音「ー」は無視して配列した.
3. 拗音および促音は配列のうえでは一つの固有音とした.

Ⅱ　本　文

1. 本文は常用漢字・現代かなづかいを用いることを原則とし，誤読・難読のおそれのあるものは振りがなを本文中初出の漢字についてだけ付した.
2. 本文および付表中に出てきた語のうち、他に参照すべき見出語のあるものは，⇨を付した.　例：⇨イオン結合
3. 見出語に関連した項目があって，その項目を参照することにより理解を助けるような場合は，文中または文末に →⇨ を付し関連項目へ導いた.
4. 同一見出語に二つ以上の意味があるときは，本文中に①，②，……を用いて区別した.
5. 文末に示した沸点，融点，密度(比重)，溶解度，比旋光度などは，かっこ内にとくに条件を示さない限り，常温・常圧における数値を示した．また，とくに断らない限り，そこに示した化学式をもつ物質の数値とした.
6. 本文中に出てくる生物名・外国語・外国人名・外国地名は原則としてカタカナで表し，術語・外来語の表記については原則として文部省の「学術用語集」，および「外来語の表記基準」に準拠したが，慣用をも重視した.

Ⅲ　略号

A：原子量，*M*：分子量，*Z*：原子番号，*F*：ファラデー定数，N^{A}：アボガドロ定数，*R*：リュードベリ定数，g：重力加速度，*h*：プランク定数，*n*：物質量，*d*：密度(比重)，η：粘度，Π：浸透圧，*E*：エネルギー，λ：波長，ν：振動数，v：速度，*n*：屈折率，$[\alpha]^{D}$：比旋光度(ナトリウムD線に対する比旋光度)，λ：崩壊定数，*T*：半減期，*o*-：オルト，*m*-：メタ，*p*-：パラ，p：陽子，n：中性子，e：電子，*l*-：左旋性，*d*-：右旋性，*dl*-：ラセミ体，D-，L-：糖類とアミノ酸の立体配置

Ⅳ　記号

μm：マイクロメートル，nm：ナノメートル，*l*：リットル，kg：キログラム，g：グラム，mg：ミリグラム，Å：オングストローム，N：規定度，M：モル濃度，mol：モル，pH：水素イオン指数，A：アンペア，V：ボルト，J：ジュール，W：ワット，Ω：オーム，N：ニュートン，℃：セルシウス温度，K：絶対温度，eV：電子ボルト，keV：キロ電子ボルト，MeV：メガ(百万)電子ボルト，Bq：ベクレル，R：レントゲン，s：秒，‰：パーミル，cal：カロリー，Pa：パスカル，atm：気圧，mmHg：水銀柱ミリメートル，ppm：百万分率

物理小事典 凡例

Ⅰ　見出し語と配列

1. 見出し語は「かな見出し」と「漢字見出し」を併用し，「かな見出し」は現代かなづかいを用いた.
   例，**はどうりきがく【**波動力学**】**
2. 見出し語が外国語の場合は「かな見出し」をカタカナとした.
3. 日本語との複合語である外国語は———によって省略した.
   例：**アボガドロのほうそく【**———の法則**】**
4. 人名項目については見出し語のあとに生没年を併記し，外国人名については欧字綴りを付記した.
   例：**ファラデー【**Faraday, Michael**】**(1791 ～ 1867)
5. ほかに説明のついた同義語または関連語がある場合は，同義語は ＝➡，関連語は →➡ をもって説明のある本項目へ導いた.
6. 見出し語の配列は現代かなづかいによる五十音順とした．また長音「ー」は無視して配列した.
7. 拗音および促音は配列のうえでは一つの固有音とした.
8. 必要によっては小見出し項目を設け，小見出し項目では「かな見出し」は省略した．小見出し項目の配列はかならずしも五十音順ではない.

Ⅱ　本　文

1. 本文は常用漢字･現代かなづかいを用いることを原則とし，誤読･難読のおそれのあるものはふりがなを本文中初出の漢字についてだけ付した.
2. 本文に出てきた語のうち，ほかに参照すべき見出し語のあるものは，➡ を付した.
   例：➡ ローレンツ変換
3. 見出し語に関連した項目があって，その項目を参照することにより理解を助けるような場合は，文中または文末に
   →➡ を付し関連項目へ導いた.
4. 本文中に出てくる外国人名･外国地名は原則としてカタカナで表し，術語･外来語の表記については原則として文部省の「学術用語集」，および「外来語の表記基準」に準拠したが，慣用にも配慮した.
5. 本文中に出てくる外国人名で，ほかに見出し語がある場合は人名に ➡ を，ない場合には欧字綴りを併記した.
6. 本文中に出てくるアルファベットは，原則として，物理量(速度vなど)はイタリック体で，記号･符号はローマン体とした．必要によってはベクトル量はボールドイタリック体(たとえば力 $\boldsymbol{F}$ など)を用いた.
7. 本文中の単位については，特に高等学校の教科書で扱われる用語･物理量については国際単位系(SI)に統一するようにした.

Ⅲ　略号，記号

cm：センチメートル，m：メートル，km：キロメートル，μm：マイクロメートル，nm：ナノメートル，Å：オングストローム，g：グラム，mg：ミリグラム，kg：キログラム，s：秒，A：アンペア，V：ボルト，W：ワット，Ω：オーム，N：ニュートン，℃：セルシウス温度，K：絶対温度，eV：電子ボルト，cal：カロリー，K：度(温度差)，Pa：パスカル，bar：バール，atm：気圧，mmHg：水銀柱ミリメートル，mol：モル，Hz：ヘルツ，erg：エルグ，J：ジュール，g：重力加速度，t：時間，T：周期，温度，f，ν：振動数，ω：角速度，v：速度，α，a：加速度，m，M：質量，P，p：運動量，誘電分極，I：慣性モーメント，F,f：力，E：エネルギー，電界，U：エネルギー，Q：熱量，電気量，W：仕事，Φ：磁束，R：電気抵抗，リュードベリ定数，C：電気容量，X：リアクタンス，L：インダクタンス，Z：インピーダンス，原子番号，A：質量数，c：光速度，p，P：圧力，v，V：体積，λ：波長，h：プランク定数，N^A：アボガドロ定数，θ：温度，角度，emu：電磁単位，esu：静電単位，p：陽子，n：中性子，e：電子，ν：ニュートリノ，n：屈折率，f：焦点距離，i，$j=\sqrt{-1}$，e：電気素量，自然対数の底.

旺文社　日本史事典 三訂版　凡例

Ⅰ　見出し語とその配列・解説について

1. 項目の見出しは原則として「かな見出し」と「本見出し」の2本立てとした。
2. 項目の配列は五十音順とした。
3. 促音（っ），拗音（ゃ，ゅ，ょ），ならびに外来語の表記に用いる小字（ァ，ィ，ゥ，ェ，ォ）は，それぞれ音順に含めて配列した。
4. 濁音・半濁音は，清音の次に，そして濁音→半濁音の順とした。また，同音の場合は「カタカナ」→「ひらがな」の順に配列した。
5. 長音符号「ー」，ハイフン（－），二重ハイフン（＝），中グロ（・）は，配列のうえでは無視した。
6. 同音・同字の項目で，まとめて解説したほうが理解しやすいものは，①，②，③，……の数字を付し，同じ項目にまとめて解説した。
7. 項目の解説は，定義部分と詳細解説部分との2段階構成としている。

Ⅱ　年代の表記について

1. 数字は原則として算用数字を使用した。しかし，日本語として定着している語句や歴史用語として慣用化しているものには，漢数字を用いた。
   〔例〕二・二六事件，五・四運動
2. 年代は原則として西暦で示し，特に日本年号が必要と認められるものについては（　）で示した。
   〔例〕………645（大化元）年……
3. 人名の生没年は，原則として本見出しの次に示した。
4. 本文中4けたの数字の年代で，同一世紀の年代が続いて出てくる場合，2番目以降は初めの2けたの数字を省略号「 ' 」で示した。
   〔例〕……1841年……，…'49年……
5. 人名で生没年のうちどちらかが不明のとき，あるいはいちおうの年代がわかるが認識できない場合は，次のように示した。
   〔例〕876～？　　?～1192　　1201ごろ～60

Ⅲ　人名項目について

1. 人名には人名漢字を用い，原則として姓名で示した。
2. 人名の読み方で，平安末期までは，姓と名の間に「の」を入れて読んだ。
   〔例〕そがのいるか　蘇我入鹿
   　　　ふじわらのみちなが　藤原道長
3. 外国人名は原則としてファミリーーネームで収録し，カタカナ表記とし，それに対応する原語綴りを示した。

〔例〕アダムズ　William Adams

ただし，中国・朝鮮・台湾の人名は慣用の日本語読みに従い，ひらがなをかな見出しとした。

〔例〕もうたくとう　毛 沢東

Ⅳ　記号・符号について

1. ➡　二つの項目間において，まったく同義であるが，使用頻度が低いと思われる項目や，他の事項とまとめて解説したほうがわかりやすいような場合や，読みのまちがえやすい項目には読みちがいの項目にこのマークを用いて参照させた。
2. ➡　大きな事項の一部分を意味したり，項目間の関連が容易に思い浮かばないような項目の場合には，便宜をはかるため，このマークを用いて参照させた。

Ⅴ　国名の略称について

国名は可能なかぎり通称で示したが，慣用度が高い場合や日本語としての前後関係などから，次のような略称を用いている場合もある。

〔例〕	アメリカ→米	イギリス→英	イタリア→伊
	フランス→仏	中国→中	インド→印
	ドイツ→独	ロシア→露	ソビエト連邦→ソ

執筆者一覧（50音順）

金澤利明　竹内秀一　藤野雅己　牧内利之　真中幹夫

旺文社 世界史事典 三訂版 凡例

Ⅰ 見出し語とその配列・解説について

1. 項目の見出しは原則として「かな見出し」と「本見出し」の2本立てとした。
2. 項目の配列は五十音順とした。
3. 促音（っ），拗音（ゃ，ゅ，ょ），ならびに外来語の表記に用いる小字（ァ，ィ，ゥ，ェ，ォ）は，それぞれ音順に含めて配列した。
4. 濁音・半濁音は，清音の次に，そして濁音→半濁音の順とした。また，同音の場合は「カタカナ」→「ひらがな」の順に配列した。
5. 長音符号「ー」，ハイフン（－），二重ハイフン（＝），中グロ（・）は，配列のうえでは無視した。
6. 同音・同字の項目で，まとめて解説したほうが理解しやすいものは，①，②，③，……の数字を付し，同じ項目にまとめて解説した。また，同項目内の解説で，便宜上内容を（1），（2），（3），……の数字を付し，まとめて解説したものもある。さらに内容によっては，【○○○】の小見出しを付して解説した。
7. 項目の解説は，定義部分と詳細解説部分との２段階構成としている。
8. 解説文中において，書名はすべて『　』（二重カギ）で示し，雑誌名や芸術・音楽などの作品名は「　」で示した。また，名言などの引用文や比喩的な表現は「　」・“　”で示した。

Ⅱ 年代の表記について

1. 数字は原則として算用数字を使用した。しかし，日本語として定着している語句や歴史用語として慣用化しているものには，漢数字を用いた。
   〔例〕　三・一事件，七月王政
2. 年代は原則として西暦で示した。
3. 人名の生没年と王朝（国名）の存続期間は，原則として本見出しの次に示した。
4. 本文中4けたの数字の年代で，文中に同一世紀の年代が続いて出てくる場合，2番目以降は初めの2けたの数字を省略した。
5. 紀元前のすべての年代と3桁の年代は，省略しないで示した。
6. 人名で生没年のうちどちらかが不明のとき，あるいはいちおうの年代がわかるが認識できない場合は，次のように示した。
   〔例〕　876～?　　?～1192　　483/484～550ごろ
   　　　1201ごろ～60（61）

Ⅲ 人名項目について

1. 西洋人名は原則としてファミリー－ネームで収録した。ただし，パーソナル－ネームとファミリー－ネームとが一緒に呼ばれるような慣用がある場合には，アダム＝スミスのように，ダブル－ハイフンでつなげて項目見出しとした。

2. 東洋史（主として中国・朝鮮）関係の人名は，本見出しの姓と名前との字間を半角分あけてわかりやすくした。

Ⅳ　外国語の表記と転写について

1. 西洋史関係の外国語の表記は，できるだけ原音に近いカタカナ表記を採用したが，慣用度の高い表記はそれを採用した。
2. 旧版で使用していたバ・ビ・ブ・ベ・ボの表記は，原則としてヴァ・ヴィ・ヴ・ヴェ･ヴォに改めた。ただし，現在の慣用例にならい，それに従ったものもある。またドイツ語のWとロシア語のVで構成されているものも原則としてヴで表記した。
3. 東洋史（主として中国・朝鮮）関係の地名・人名・事項は，原則として漢字の日本語読みによった。ただし，1910年以降の朝鮮関係の人名については原則として原地音の読みで表記した。また，1912年以後の中国人名および原地名には，本見出しの次に拼音式の原綴りを併記した。
4. 外国文字はすべてローマ字に転写した。
5. 項目には，発生地主義により，できるかぎり原綴りを併記した。内容が数か国にわたるような場合には，原則として英語を記し，英語以外の国語を併記した場合には，ドイツ，フランスなどとその国名をルビで示した。

Ⅴ　記号・符号について

1. ➡　二つの項目間において，まったく同義であるが，使用頻度が低いと思われる項目や，他の事項とまとめて解説したほうがわかりやすいような場合や，読みのまちがえやすい項目には読みちがいの項目にこのマークを用いて参照させた。
2. ➡　大きな事項の一部分を意味したり，項目間の関連が容易に思い浮かばないような項目の場合には，便宜をはかるため，このマークを用いて参照させた。

Ⅳ　国名の略称について

国名は可能なかぎり通称で示したが，慣用度が高い場合や日本語としての前後関係などから，次のような略称を用いている場合もある。

〔例〕			
	アメリカ→米	イギリス→英	イタリア→伊
	インド→印	オーストリア→墺	オランダ→蘭
	スペイン→西	ソヴィエト連邦→ソ	中国→中
	ドイツ→独	トルコ→土	日本→日
	フランス→仏	プロイセン→普	メキシコ→墨
	ロシア→露		

参　考

字形について

- この製品に使われている日本語の漢字の字形はJIS X 0213-2004に準拠していますので、一般の辞典などで採用されている文字と字形が異なるものがあります。
- ただし、補助漢字やJISの漢字表以外の漢字も一部含まれています。
- また、限られたドット数で文字を構成しているため、一部の漢字は略字を用いています。

【例】

活字　　漢字源の見出し漢字など（48ドット）　　各辞書機能の意味など（12ドット）

- 手書きパッドに表示される認識文字は、限られたドット数で文字を構成しているため、略字を用いている場合があります。

コンテンツ（辞書など）の表現の違いについて

- この製品は、基本的に各コンテンツ（辞書など）の内容を変更することなく収録しています。このため、同じ語を別々の辞書などで引いた場合、表現などに違いがあることがあります。

コンテンツの内容について

- この製品に収録されている各コンテンツで書籍が刊行されているものの内容は、基本的に書籍版の内容を変更することなく収録しておりますが、画面表示の都合、その他の事情により、各出版社の監修に基づいて一部内容を変更していることがあります。

困ったときは

よくあるご質問

ご質問内容	対応方法（回答）
メイン表示や手書きパッドの表示が濃い・薄い	各種設定のメニュー画面で、「表示濃度の調整」を選び、検索／決定を押して、メイン表示と手書きパッドをそれぞれ調整します（☞81ページ）。
キータッチ音は消せますか	各種設定のメニュー画面で、「キータッチ音」を選選び、検索／決定を押して、キータッチ音の「鳴る（入）／鳴らない（切）」を切り替えます。
調べたい語が出てこない	次のことを確認してみてください。 ● 読みかたは正しいですか。別の読みかたではありませんか。 ●「つ」と「っ」など、大きい文字と小さい文字がまちがって入力されていませんか。 ●「ば」と「ぱ」など、濁音や半濁音がまちがって入力されていませんか。 ●「づ」と「ず」、「ぢ」と「じ」などの使いかたが違っていませんか。
調べたい単語が出てこない	単語は変化形ではありませんか。変化形の場合は原形でも調べてみてください。
読みのわからない漢字の調べかたは…	手書き入力や部品の読み、部首画数、総画数で調べることができます（☞102ページ）。
“？”や“～”が使える機能は？	ワイルドカード“？”、ブランクワード“～”は、スーパー大辞林、英和辞典、和英辞典、英英辞典などで使えます（☞65ページ）。逆引きスーパー大辞林などでは使えません。
ローマ字で思うように入力できない	334～336ページをご参照いただいて入力してください。 スーパー大辞林の読み入力などで A や S を押しても何も入らないときは、「50音かな入力」方法になっていると思われます。各種設定のメニュー画面で「かな入力方法」を選び、検索／決定を押してかな入力方法を「ローマ字かな入力」に切り替えてみてください（☞80ページ）。
「50音かな入力」ができない キーを押すと「っっっ‥」と小さい「っ」が入る	かなの入力方法が「ローマ字かな入力方法」になっていると思われます。 各種設定のメニュー画面で「かな入力方法」を選び検索／決定を押して、かな入力方法を「50音かな入力」に切り替えてみてください（☞80ページ）。

ご質問内容	対応方法（回答）
手書きで長音符「ー」が入らない	漢数字の「一」と認識されやすいので、手書きパッドに表示される候補の中から選んでください。
消費税の税率が変わってしまったら… レートが変わったら…	消費税の税率や、通貨の換算レートは変更することができます。202ページをご覧いただき、設定を変更してご使用ください。
国名などが変わっている古いデータになっている	この製品は、書籍版のコンテンツ（辞書など）のデータを収録しておりますので、その辞書などの記述に合わせております。
オプションで辞書などのデータをパソコンに取り込んだり、印刷する機器はありませんか	辞書などの内容は各出版社等の著作物であり、著作権保護のうえから、そのようなオプション機器は用意しておりません。
検索したリストに同じ見出し語が複数個表示されることがあるのはなぜ…	１つの見出し語に複数の語が収録されている場合、個々の語に対して検索を行うので、同じ見出し語が複数個表示されることがあります。
ジャンプ機能で、ほかの辞書などにもあるはずの語へジャンプできない	辞書などにより見出し語などに使われる文字の種類や表記のしかたが違うことがあり、このような場合は違う言葉と判断されるためジャンプできません。 **例** 表記の違い：敢え無い（スーパー大辞林） 敢えない（和英）
充電式電池は使えますか？	充電式電池は、三洋電機株式会社製の単４形 eneloop® （エネループ）のみお使いになれます。その他の充電式電池はお使いいただけません。
英和辞典などで数字を含む見出し語を引く方法は？	見出し語の読みどおりにアルファベットで入力して検索します。 **例** 2 → two　3 → three　20 → twenty
音声の再生ができない	●音量が小さくなっていませんか。調整してみてください（☞82ページ）。 ●電池が消耗している可能性があります。電池交換してみてください（☞331ページ）。 ●本体のイヤホン端子にイヤホンのプラグが接続されていませんか。接続されているとスピーカーから音が出ません。

ご質問内容	対応方法（回答）
手書きパッドで、タッチした位置と文字が書かれる位置がずれている	手書きパッドの位置調整をしてください（☞83ページ）。
手書きパッドに書いている途中で認識されてしまう	42ページの「手書き入力のご注意」を参照いただき、必要に応じて手動認識でご利用ください。
CDデータ転送ソフトで作成したデータ（ファイル）が再生できない	データに登録した名前と本製品に登録した名前（☞89ページ）は一致していますか。 名前が一致していないと再生できません。
韓国語の文字（ハングル）の手書き入力で目的の文字候補が出ない	韓国語文字（ハングル）には、同じ文字が書体によって違った文字に見えるものがあります（例：잔と잔はㅈとㅈが異なって、違う文字に見えますが、同じ文字です）。

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお確かめください
電源が入らない	●電池が消耗していませんか（☞332ページ）。 ●指定の電池以外の電池を使用していませんか（☞331ページ）。 ●電池が正しい向きで取り付けられていますか（☞333ページ）。 ●表示濃度の調整が淡くなりすぎていませんか（☞81ページ）。 上記のどれでもないときは本体裏側のリセットスイッチを押してください（☞327ページ「異常が発生したときの処理」）。
メイン表示や手書きパッドの表示が淡い（濃い）	表示濃度が見やすい濃さに調整されていますか（☞81ページ）。
すべてのキーが働かない	本体裏側のリセットスイッチを押してください（☞327ページ）。
キーを押したときや手書きパッドにタッチしたとき“ピッ”と鳴らない	キータッチ音が「切」になっていませんか（☞79ページ）。

こんなとき	ここをお確かめください
キー入力で文字が入らない 正しく入らない	かな入力方法が切り替わっていませんか。かな入力方式を切り替えてみてください（☞80ページ）。
手書き文字が正しく認識されない。 手書き入力の方法は？	38 ～ 45ページをご参照ください。42ページの「手書き入力のご注意」に手書きするときにご注意いただきたい点も掲載しております。
自動的に電源が切れる	この製品には、しばらく使わないと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能がついています。 電源が切れるまでの時間は変更することができます（☞80ページ）。 なお、本体を閉じると電源が切れます。
電源を入れると、デモ（商品紹介）の確認画面や「四字熟語」が表示される	オープニング設定画面で「表示なし」に設定してください。（☞84ページ）。
充電池での使用時間が「参考」として記載されている使用時間に比べて短い。	使用電池の設定が「アルカリ乾電池」になっていませんか。「充電池」に設定してください（☞85ページ）。
電池の消耗が早い	本製品は電源が切れたときの画面や状態を保持するため、電源を切った状態でもわずかに電力を消耗しています。そのため、そのまま放置すると電池は約３ケ月で消耗します。（アルカリ乾電池の場合） 電池を長持ちさせるためには、［機能］キーを押してから［入／切］キーを押すと、画面や状態を保持させないようにでき、電池をより長く持たせることができます。 長期間お使いにならないときには［機能］＋［入／切］を使って電源を切ることをおすすめします。 なお、この場合、次回電源を入れて使えるようになるまでに約10秒必要となります。

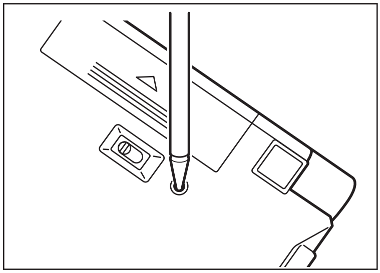
異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれに［クリア］も含めたすべてのキーが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。このときは、以下のリセット操作をしてください。

リセット操作

1 本体裏側のリセットスイッチをボールペンなどで押します。

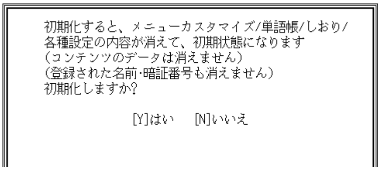
初期化の確認画面が表示されます。



注意 ● リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。

2 本体を開き、右のように表示されていることを確認して［N］キーを押します。

手書きパッドの調整画面が表示されます。



3 画面に従って、手書きパッドの調整、表示濃度の調整、キータッチ音の設定などを行ってください（6ページの手順7以降を参照）。

異常を知らせるメッセージが表示されたときは

電源を入れたときなどに、

データに異常があったため
製品を初期の状態にしました

と表示される場合があります。
この場合は［検索/決定］を押してください。その後、必要に応じて、各種の設定をしてください。

なお、電池が消耗していて、異常を検出したときに製品を初期の状態に戻せないときは、「電池が消耗しているので初期の状態に戻せない」旨のメッセージが表示されますので、電池を交換してから、電源を入れ、初期の状態にした旨のメッセージを確認してください。

注意
- この操作・処理により、単語帳の登録データ、電卓のメモリー、しおりの内容が消去され、メニューカスタマイズの設定内容、My辞書の設定内容、通貨換算の設定内容、「各種設定」の設定内容、消費税電卓の税率（初期状態：5%）などが初期の状態に戻ります。

困ったときは

＝メモ＝

付録

電池について

この製品を長くご愛用いただくための注意点など、参考にしていただきたいことをまとめています。よく読んで正しく使ってください。
電池が消耗すると、電源が切れて入らない、バックライトが点灯しない、音が鳴らない、カードの初期化ができないなどの状態がおこります。必ず以降の内容をよくお読みのうえ、電池交換は十分注意して行ってください。

使用できる電池

種　類	形　名	個　数
アルカリ乾電池 単4形	LR03	2本

※指定している電池以外は使用しないでください。電池容量、電圧が異なるため、誤動作や故障の原因となります。なお、充電池をご使用いただくことも可能ですが、その場合は下記をお守りください。

注意 **冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。**

- 製品を長時間使わないときは電池を取り外しておいてください。
- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより製品を傷めることがあります。
- 付属の電池は工場出荷時に入れていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに寿命が切れることがあります。

充電池について

市販の充電池をご使用になる場合は、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂、感電の原因になることがあります。

- 充電池は、三洋電機株式会社製の単４形eneloop®(エネループ)をご使用ください。これ以外の充電池は使用しないでください。
- eneloop®の充電は必ず専用の充電器をお使いください。
- eneloop®をご使用の際は、eneloop®やその充電器の取扱説明書、注意書きなどを十分お読みいただき、条件を守ってご使用ください。

ご参考

eneloop® をご使用の場合の使用時間(参考値)

新しい電池を満充電でご使用いただく場合

約80時間（常温25℃で連続表示のときの参考値）

※使用温度、使用状態によっては使用時間が短くなります。

『充電池を使用する場合は、電池設定を「充電池」に設定してください。（☞85ページ）』

電池の交換時期

画面右上に“　”が表示されたとき、または電源を入れたときに「電池を交換してください」のメッセージが表示された場合は電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください。

参考
- アルカリ乾電池について
  電池の使用時間は、約120時間です。（常温25℃で連続表示のとき。）
  電池の種類（メーカー）、使用温度、使用状態によっては電池の寿命が短くなります。

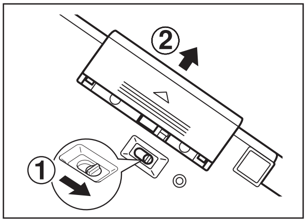
電池を長持ちさせるためのご案内

本製品は電源が切れたときの画面や状態を保持するため、電源を切った状態でもわずかに電力を消耗しています。そのため、そのまま放置すると電池は約３ケ月で消耗します。（アルカリ乾電池の場合）

電池を長持ちさせるためには、［機能］キーを押してから［入／切］キーを押すと、画面や状態を保持させないようにでき、電池をより長く持たせることができます。
長い期間お使いにならないときには［機能］＋［入／切］を使って電源を切ることをおすすめします。
なお、この場合、次回電源を入れて使えるようになるまでに約10秒必要となります。

電池の交換手順

1 **[入/切]を押して電源を切ります。**



2 **本体裏面の電池ぶたスイッチを"解除"側にします。**

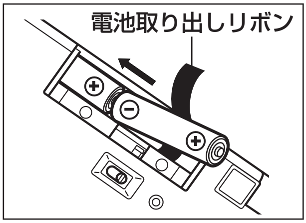
3 **電池ぶたを矢印の方向に水平に引いて外します。**

4 **消耗した電池を取り出します。**

リボンの先端を引き、2本とも取り出してください。

5 **新しい電池を入れます。**

2本とも新しい電池に交換してください。また、向きをまちがえないように入れてください。



注意 ● リボンの上から電池を入れます。リボンの先端が電池の下に隠れないようにしてください。

6 **電池ぶたをもとどおり水平に差し込んで取り付けます。**

7 **電池ぶたスイッチを"ロック"側にします。**

8 **本体を開き、[入/切]を押して電源が入ることを確認してください。**

もし、電源が入らないときは2～8の手順をもう一度行い、電池を入れ直してください。

それでも電源が入らないときは327ページのリセット操作を行ってください。

- 電源を[入/切]のみで切った場合でも電池を交換すると、これが無効化され、[機能]＋[入/切]と同じ状態になります（☞前ページ）。このため、電池交換後、電源を入れて使えるようになるまでに約10秒かかります。

9 **画面に従って、手書きパッドの調整、表示濃度の調整、キータッチ音の設定、かな入力方法の設定、電池の設定などを行ってください（6ページの手順7以降を参照）。**

ローマ字→かな変換表

行					
あ	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か	か	き	く	け	こ
	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さ	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	た	ち	つ	て	と
	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や	や		ゆ		よ
	YA		YU		YO
ら	ら	り	る	れ	ろ
	RA LA	RI LI	RU LU	RE LE	RO LO
わ	わ	ゐ		ゑ	を
	WA	WYI		WYE	WO
ん	ん				
	N NN NX				

行					
ゔ			ゔ		
			VU		
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO

行					
ぁ	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
	XA	XI	XU	XE	XO
っ			っ		
			XTU		
ゃ	ゃ		ゅ		ょ
	XYA		XYU		XYO
ゎ	ゎ				
	XWA				

参考 ● 表中の行名は、つづりを探し易くするために便宜上つけた名称です。

付録

いぇ				いぇ	
				YE	
うぁ	うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
	WHA	WI WHI		WE WHE	WHO
きゃ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くぁ	くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
	QA KWA	QI KWI QWI	QWU	QE KWE QWE	QO KWO QWO
しゃ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	SHA SYA	SYI	SHU SYU	SHE SYE	SHO SYO
ちゃ	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	CHA CYA TYA	CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
つぁ	つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ	てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
	THA	THI	THU	THE	THO
とぅ			とぅ		
			TWU		
にゃ	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふぁ	ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
	FA HWA	FI HWI FYI		FE HWE FYE	FO HWO
ふゃ	ふゃ		ふゅ		ふょ
	FYA		FYU		FYO
みゃ	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RYA LYA	RYI LYI	RYU LYU	RYE LYE	RYO LYO

ゔぁ	ゔぁ	ゔぃ		ゔぇ	ゔぉ
	VA	VI		VE	VO
ゔゅ			ゔゅ		
			VYU		
ぎゃ	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ぐぁ	ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
じゃ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	JA JYA ZYA	JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
ぢゃ	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ	でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
どぅ			どぅ		
			DWU		
びゃ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

撥音（はつおん）の入力

“ん” の次に母音または “Y” がくるときや、“ん” で終わるときは “N N” と入力する。または “N” の後ろに “X” をつける。

ほんやく → HONNYAKU (HONXYAKU)
はんい → HANNI (HANXI)
ほん → HONN (HONX)

上記以外のとき

ほんき → HONKI

促音（そくおん）の入力

“N” 以外の子音を重ねる。または “XTU” と入力する。

けっか → KEKKA (KEXTUKA)
とっきゅう → TOKKYUU (TOXTUKYUU)

参考

- **変換できないローマ字のつづりを入れたときは**
  この製品は、ローマ字のつづりを入力する場合、１字入力するごとに、かなに変換できる候補の有無を確認し、一致すればかなに変換します。もし、候補がないときは、先頭の文字を削除して候補の有無を確認します。それでも候補がない場合は、もう１字削除して確認します。

	入力操作		表示	
例１	Q W	→	qw	
	A	→	わ	（qが削除されｗａを変換）
例２	K Y	→	ｋｙ	
	W	→	w	（ｋｙが削除されwが残る）
	O	→	を	（ｗｏを変換）

付録

機能別利用可／不可コンテンツ

文字サイズの切り替えと保持グループ

文字サイズは、各グループごとに詳細画面／リスト画面それぞれで切り替え・保持されます。

グループ	切り替え可能画面	文字サイズ（ドット）
第1群コンテンツ（☞次ページ）	詳細（1件表示）画面	9↔12↔16↔24↔48
	リスト画面※1	12↔16↔24
第2群コンテンツ（☞次ページ）	詳細（1件表示）画面	9↔12↔16↔24
	例･解説、NOTEウィンドウ等※2	
	リスト画面※1	12↔16↔24
英単語・熟語ダイアローグ1800	リスト画面	12↔16↔24
旅行会話 中国語 旅行会話 韓国語	詳細（1件表示）画面	12↔16↔24
	リスト画面	
手紙文作成	詳細（1件表示）画面	16↔24
ジャンプウィンドウ W検索ウィンドウ※3	詳細画面	9↔12↔16↔24
	リスト画面	12↔16↔24
便利計算（年号計算）※4	リスト画面	12↔16↔24

※1 しおりや単語帳のリスト画面を含みます。また、リスト画面にプレビューウィンドウが表示されている場合は、その文字サイズも含みます。
※2 例、解説ウィンドウは英和辞典、和英辞典で表示されます。NOTEウィンドウは英英辞典で表示されます。
※3 W検索ウィンドウの入力画面は切り替えできません。
※4 便利計算の他の画面では文字サイズの切り替えはできません。

〈第1群コンテンツ〉

スーパー大辞林
新明解国語辞典
全訳古語辞典
漢字源★1
故事ことわざ＆四字熟語辞典
例解 慣用句辞典
敬語早わかり辞典
言葉の作法辞典
日本語知識辞典
全国方言一覧辞典
常用漢字の難読辞典
ブリタニカ国際大百科事典
生物事典
化学小事典
物理小事典
日本史事典
世界史事典
漢字ターゲット1700★2
古文単語・熟語ターゲット270
読めそうで読めない漢字
もっと読めそうで読めない漢字
やっぱり読めそうで読めない漢字
日本語ドリル485
間違いことば500
百人一首
数学公式集★2
世界史年代暗記ターゲット315
日本史年代暗記ターゲット312
現代社会テーマ集
大人のIQテスト★2

〈第2群コンテンツ〉

パーソナルカタカナ語辞典
ジーニアス英和辞典
ジーニアス和英辞典
ベーシックジーニアス英和辞典
OXFORD現代英英辞典
英会話とっさのひとこと辞典
英会話Make it!
英語類語使い分け辞典
英文手紙用例辞典
使ってトクする英語 損する英語
語源で覚える「英単語」2000
これが英語で言えますか
基本英単語・熟語ターゲット1100
英単語ターゲット1900
英単語ターゲット BRUSH-UP
英熟語ターゲット1000
英熟語ターゲットBRUSH-UP
英熟語ターゲット1000 会話表現集
英語リスニング スタート編★2
傾向と対策 英語リスニング★2
音声付き英語発音解説
音声付き英会話
英語長文講義（初級/中級/上級）
英検Pass単熟語（2級/準2級）
山口英文法講義 問題演習★2
TOEIC® テストの英文法
日経パソコン用語事典2008
日経エレクトロニクス略語小辞典
旅行会話（英語・イタリア語・フランス語・スペイン語・ドイツ語）
トラベル英会話

★1 漢字源では、詳細画面の見出し漢字は48ドット文字に固定されます。また、漢字リスト画面は切り替えできません。
★2 詳細画面の文字は固定です。リスト画面は切り替えできます。
注: 詳細画面に図、化学式、数式などが収録されている場合、それらに含まれる文字や数字などの大きさは変わりません。

早見機能が使えないコンテンツ

早見機能は、下記のコンテンツでは使えません。

スーパー大辞林分野別の慣用句
パーソナルカタカナ語辞典
英英成句、英和成句
読めそうで読めない漢字
もっと読めそうで読めない漢字
やっぱり読めそうで読めない漢字
日本語ドリル485
間違いことば500
ターゲットシリーズのコンテンツ※
英語リスニング スタート編
傾向と対策 英語リスニング
英語長文講義（初級/中級/上級）
英検Pass英熟語（準2級/2級）
山口英文法講義 問題演習
TOEIC®テストの英文法
大人のIQテスト
英単語・熟語ダイアローグ1800
（漢字検定に挑戦!）
（英検語彙力判定テスト）
（手紙文作成機能）
（便利計算）

※英熟語ターゲット1000 会話表現集は使えます。

ズーム機能が使えるコンテンツ

下記を除く、前ページの〈第1群コンテンツ〉の各詳細画面および手紙文作成の詳細画面で使用することができます

漢字ターゲット1700
古文単語・熟語ターゲット270
読めそうで読めない漢字
もっと読めそうで読めない漢字
やっぱり読めそうで読めない漢字
日本語ドリル485
間違いことば500
数学公式集
世界史年代暗記ターゲット315
日本史年代暗記ターゲット312
（漢字検定に挑戦！）
（英検語彙力判定テスト）
（便利計算）

“？”、“～”が使えるコンテンツ

“？”、“～”は下記のコンテンツで使えます。

スーパー大辞林（逆引、分野別除く）
新明解国語辞典
全訳古語辞典
故事ことわざ＆四字熟語辞典
パーソナルカタカナ語辞典
例解 慣用句辞典
言葉の作法辞典
ジーニアス英和辞典
ジーニアス和英辞典
ベーシックジーニアス英和辞典
OXFORD現代英英辞典
英語類語使い分け辞典
ブリタニカ国際大百科事典
生物事典
化学小事典
物理小事典
日本史事典
世界史事典
日経パソコン用語事典2008

一括検索できるコンテンツ

● “日本語” 入力時の検索対象コンテンツ

スーパー大辞林
新明解国語辞典
全訳古語辞典
漢字源※
故事ことわざ＆四字熟語辞典
パーソナルカタカナ語辞典
例解 慣用句辞典
言葉の作法辞典
全国方言一覧辞典
常用漢字の難読辞典
ジーニアス和英辞典
英会話とっさのひとこと辞典
英会話Make it!
英語類語使い分け辞典
ブリタニカ国際大百科事典
生物事典
化学小事典
物理小事典
日本史事典
世界史事典
古文単語・熟語ターゲット270
読めそうで読めない漢字
もっと読めそうで読めない漢字
やっぱり読めそうで読めない漢字
百人一首
数学公式集
現代社会テーマ集
日経パソコン用語事典2008
旅行会話 英語
旅行会話 イタリア語
旅行会話 フランス語
旅行会話 スペイン語
旅行会話 ドイツ語
旅行会話 韓国語
旅行会話 中国語

※ 漢字源は、読みを入れた場合は完全一致検索のときにのみ検索対象になります。絞り込み検索では検索されません。

● “スペル” 入力時の検索対象コンテンツ

スーパー大辞林（アルファベット略語）
パーソナルカタカナ語辞典（略語）
ジーニアス英和辞典
ベーシックジーニアス英和辞典
OXFORD現代英英辞典
英会話とっさのひとこと辞典
英語類語使い分け辞典
語源で覚える「英単語」2000
基本英単語·熟語ターゲット1100
英単語ターゲット1900
英検Pass英熟語（準2級/2級）
日経パソコン用語事典2008
日経エレクトロニクス略語小辞典

しおり機能があるコンテンツ

次のコンテンツでは、しおり機能を使用することができます。

スーパー大辞林
新明解国語辞典
全訳古語辞典
パーソナルカタカナ語辞典
漢字源
故事ことわざ＆四字熟語辞典
例解 慣用句辞典
敬語早わかり辞典
言葉の作法辞典
常用漢字の難読辞典
ジーニアス英和辞典
ジーニアス和英辞典
ベーシックジーニアス英和辞典
OXFORD現代英英辞典
英会話とっさのひとこと辞典
英会話Make it!
英語類語使い分け辞典
語源で覚える「英単語」2000
ブリタニカ国際大百科事典
生物事典
化学小事典
物理小事典
日本史事典
世界史事典
百人一首
数学公式集
現代社会テーマ集
日経パソコン用語事典2008
日経エレクトロニクス略語小辞典
旅行会話 英語
旅行会話 イタリア語
旅行会話 フランス語
旅行会話 スペイン語
旅行会話 ドイツ語
旅行会話 韓国語
旅行会話 中国語
（手紙文作成機能）

ジャンプできるコンテンツ

各コンテンツ（辞書など）から太字で示すコンテンツへジャンプすることができます。
※ 一部ジャンプできない場合もあります。

スーパー大辞林&逆引きスーパー大辞林/分野別
新明解国語辞典
全訳古語辞典
漢字源
故事ことわざ＆四字熟語辞典
パーソナルカタカナ語辞典
例解 慣用句辞典
敬語早わかり辞典
言葉の作法辞典
日本語知識辞典
全国方言一覧辞典
常用漢字の難読辞典
ジーニアス英和辞典
ジーニアス和英辞典
ベーシックジーニアス英和辞典
OXFORD現代英英辞典
英会話とっさのひとこと辞典
英会話Make it!
英語類語使い分け辞典
英文手紙用例辞典
使ってトクする英語 損する英語
語源で覚える「英単語」2000
これが英語で言えますか
ブリタニカ国際大百科事典

生物事典
化学小事典
物理小事典
日本史事典
世界史事典
漢字ターゲット1700
古文単語・熟語ターゲット270
読めそうで読めない漢字
もっと読めそうで読めない漢字
やっぱり読めそうで読めない漢字
日本語ドリル 485
間違いことば 500
百人一首
基本英単語・熟語ターゲット1100
英単語ターゲット1900
英熟語ターゲット1000
英熟語ターゲット1000 会話表現集
音声付き英語発音解説
音声付き英会話
英検Pass単熟語2級
英検Pass単熟語準2級
TOEIC®テストの英文法
数学公式集
世界史年代暗記ターゲット315
日本史年代暗記ターゲット312
現代社会テーマ集
日経パソコン用語事典2008
日経エレクトロニクス略語小辞典
旅行会話（英語、イタリア語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、韓国語、中国語）
トラベル英会話

単語帳があるコンテンツと登録できる語

スーパー大辞林	（見出し語、成句）
新明解国語辞典	（見出し語）
全訳古語辞典	（見出し語）
漢字源	（見出し漢字）
故事ことわざ＆四字熟語辞典	（見出し語）
パーソナルカタカナ語辞典	（見出し語）
例解 慣用句辞典	（見出し語）
敬語早わかり辞典	（1件画面）
言葉の作法辞典	（見出し語）
常用漢字の難読辞典	（見出し語）
ジーニアス英和辞典	（見出し語、複合･派生語、成句、用例、解説）
ジーニアス和英辞典	（見出し語、用例、解説）
ベーシックジーニアス英和辞典	（見出し語、複合･派生語、成句、用例、解説）
OXFORD現代英英辞典	（見出し語、NOTE）
英会話とっさのひとこと辞典	（見出し語）
英会話Make it!	（見出し語）
英語類語使い分け辞典	（見出し語）
語源で覚える「英単語」2000	（見出し語）
ブリタニカ国際大百科事典	(見出し語)
生物事典	(見出し語)
化学小事典	(見出し語)

付録

物理小事典	(見出し語)
日本史事典	(見出し語)
世界史事典	(見出し語)
百人一首	(見出し語)
現代社会テーマ集	(見出し語)
日経パソコン用語事典2008	(見出し語)
日経エレクトロニクス略語小辞典	(見出し語)
旅行会話 英語	(見出し語)
旅行会話 イタリア語	(見出し語)
旅行会話 フランス語	(見出し語)
旅行会話 スペイン語	(見出し語)
旅行会話 ドイツ語	(見出し語)
旅行会話 韓国語	(見出し語)
旅行会話 中国語	(見出し語)
(例文検索	(検索した例文))

「他の辞書で調べる」で調べられるコンテンツ

手書きパッドに表示される **他の辞書で調べる** にタッチして調べられるコンテンツを示します。

※ 手書きパッドに **他の辞書で調べる** が表示されない、または薄く表示される画面では検索できません。

スーパー大辞林
新明解国語辞典
全訳古語辞典
漢字源
故事ことわざ＆四字熟語辞典
パーソナルカタカナ語辞典
例解 慣用句辞典
言葉の作法辞典
日本語知識辞典
全国方言一覧辞典
常用漢字の難読辞典
ジーニアス英和辞典
ジーニアス和英辞典
ベーシックジーニアス英和辞典
OXFORD現代英英辞典
英語類語使い分け辞典
語源で覚える「英単語」2000
ブリタニカ国際大百科事典
生物事典
化学小事典
物理小事典
日本史事典
世界史事典
古文単語・熟語ターゲット270
読めそうで読めない漢字
もっと読めそうで読めない漢字
やっぱり読めそうで読めない漢字
日経パソコン用語事典2008
日経エレクトロニクス略語小辞典
わがまま歩き旅行会話 日英辞書
わがまま歩き旅行会話 日英伊辞書
わがまま歩き旅行会話 日英仏辞書
わがまま歩き旅行会話 日英西辞書
わがまま歩き旅行会話 日英独辞書
わがまま歩き旅行会話 日英韓辞書
わがまま歩き旅行会話 日英中辞書

仕　様

形　　名　PW-GT570　　**品　　名**　電子辞書

表　　示　480×320ドット液晶表示

手書きパッド　128×96ドット液晶表示

電卓機能　計算桁数　12桁　消費税電卓（税込／税抜計算、加減乗除、メモリー、パーセント計算など）
通貨換算、単位換算、年号計算、年齢計算

MP3プレーヤー機能　MP3データ再生（SDメモリーカードに収録したMP3データ、暗号化データを再生）
再生可能ビットレート：32〜256kbps

電　　源　3V ⎓（DC）：アルカリ乾電池（LR03）／Ni-MH※ 単4形 2本
※ Ni-MH充電池を使用される場合は85、331ページを確認してください。

消費電力　0.88 W

使用時間
(LR03使用時)
約120時間（カード非装着、使用温度25℃で連続表示の場合）
約　90時間（カード非装着、使用温度25℃で1時間あたり表示状態を55分、検索※1を5分間行った場合※2）
約　65時間（カード非装着、使用温度25℃で1時間あたり表示状態を55分、検索※1を4分間、“dictionary”の音声再生を中間音量で1分間行った場合）
約　50時間（カード非装着、使用温度25℃で1時間あたり表示状態を55分、検索※1を5分間、そのうち、バックライト点灯を5分間行った場合）
約　　4時間（使用温度25℃、中間音量でSDメモリーカードに収録したMP3データをイヤホンで連続再生した場合）

※1 検索：英和辞典で、1秒1キー操作で“dictionary”と入力し［検索／決定］を押す操作の繰り返し。

※2 ご注意：本製品は電源が切れたときの状態を保持するため、電源オフ時でもわずかに電力を消費します。この条件で使用した場合、電池寿命の目安は、毎日使用で約40日、週1回使用で80日程度となります。

注: 使用環境や使用方法、カードの種類により、使用時間が短くなることがあります。

出力端子　イヤホン端子（3.5Φ）　**使用温度**　0℃〜40℃

外形寸法　突起部含む　：幅146×奥行105.3×厚さ21.2mm
突起部含まず：幅146×奥行105.3×厚さ19.5mm
(最薄部厚さ17.5mm)

質　　量　約290g（乾電池、タッチペンを含む）

付録

収録コンテンツ・機能

『スーパー大辞林 3.0』※1 (🔊)三省堂
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2007) **収録項目：約252,000項目**

『新明解国語辞典（第6版）』三省堂（2005年1月発行）
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2006) **収録項目：約76,500項目**

『全訳古語辞典 第三版』(🔊)旺文社（2003年10月発行）
(Copyright © Miyakoshi･Sakurai･Ishii･Oda 2003) **収録語数：約22,500語**

『漢字源（JIS第1～第4水準版）』※2 学研（2002年12月発行）
(Copyright © Gakken, 2006) **収録漢字：13,255字**
収録熟語：約48,000語

『故事ことわざ辞典』学研（1988年4月発行）
(Copyright © Gakken,1998) **収録項目：約4,500項目**

『四字熟語辞典』学研（1994年12月発行）
(Copyright © Gakken,1994) **収録項目：約1,450項目**

『パーソナルカタカナ語辞典』学研（1999年10月発行）
(Copyright © Gakken,1999) **収録語数：約28,000語**

『例解 慣用句辞典』創拓社出版（1992年11月発行）
(Copyright © Sotakushashuppan 1992) **収録項目：約3,400項目**

『敬語早わかり辞典』学研（2004年2月発行）
(Copyright © Gakken, 2004) **収録項目：約270項目**

『言葉の作法辞典』学研（2002年4月発行）
(Copyright © Gakken,2003) **収録項目：約1,800項目**

『日本語知識辞典』学研（2002年4月発行）
(Copyright © Gakken,2003) **収録テーマ：6テーマ**

『全国方言一覧辞典』学研（1998年12月発行）
(Copyright © Gakken,2003) **収録語数：約1,200語**

『常用漢字の難読辞典』学研（2003年11月発行）
(Copyright © Gakken,2004) **収録語数：約1,280語**

『ジーニアス英和辞典 第4版』(🔊)大修館書店（2007年4月発行）
(Copyright © KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2007)
収録語数：約96,000語

『ジーニアス和英辞典 第2版』大修館書店（2003年12月発行）
(Copyright © KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2003)
収録語数：約82,000語

『ベーシックジーニアス英和辞典』(🔊)大修館書店（2002年11月発行）
(Copyright © Konishi Tomoshichi, Harakawa Hiroyoshi and Taishukan 2002-2004)
収録語数：約40,000語

『OXFORD 現代英英辞典 第7版』Oxford University Press（2005年2月発行）
(Oxford Advanced Learner's Dictionary seventh edition © Oxford University Press 2005)
収録項目：約183,500語
収録例文：約85,000例

『英会話とっさのひとこと辞典』(🔊)DHC（1999年3月発行）
(Copyright © Ichiro Tatsumi,Sky Heather Tatsumi,1998)
収録例文：約8,000例

『英会話Make it! 基本表現編 改訂版』語学春秋社（2007年7月発行）
『英会話Make it! 場面攻略編 改訂版』語学春秋社（2007年7月発行）
(Copyright © Gogaku Shunjusha Co., Inc., 2007)
基本表現編 収録例文：約2,600例
場面攻略編 収録例文：約2,400例

『英語類語使い分け辞典』創拓社出版（1991年1月発行）
(Copyright © Gendaieigokenkyukai,1991)
日本語見出し：約1,800語
英語見出し：約1,200語

『英文手紙用例辞典』学研（2001年3月発行）
(Copyright © Gakken,2001) **収録例文：約200例**

『使ってトクする英語 損する英語』平凡社（2003年3月発行）
(Copyright © David A. THAYNE, NAGAO Kazuo 2003)
収録テーマ：135テーマ

『語源で覚える「英単語」2000』PHP研究所（2002年6月発行）
(Copyright © Naomi Koike 2002) **収録語数：2,000語**

『日経ビジネス人文庫 ビジネス版 これが英語で言えますか』日本経済新聞出版社（2003年12月発行）
(Copyright © 2003 A to Z Co.,Ltd) **収録語数：約650語**

『ブリタニカ国際大百科事典 Quick Search Version』※3 ブリタニカ･ジャパン
(Copyright © 2007 Britannica Japan Co.,Ltd./Encyclopædia Britannica Inc.)
収録項目：約154,000 項目
収録イラスト･図版など：約1,200点

『生物事典 四訂版』 旺文社（2003年1月発行）
(Copyright © Obunsha. Co., Ltd. 2003) **収録項目数：約7,300項目**

『三省堂　化学小事典(第4版)』※4　三省堂（2004年11月発行）
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2007) **収録項目：約4,950項目**

『三省堂　物理小事典(第4版)』※4　三省堂（2002年11月発行）
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2007) **収録項目：約4,200項目**

『日本史事典 三訂版』 旺文社（2000年10月発行）
(Copyright © Obunsha 2000) **収録項目数：約6,600項目**

『世界史事典 三訂版』 旺文社（2000年10月発行）
(Copyright © Obunsha 2000) **収録項目数：約7,200項目**

『漢字ターゲット1700』旺文社（1999年9月発行）
(Copyright © Obunsha. Co., Ltd) **収録語数：1,700語**

『古文単語・熟語ターゲット270』 旺文社（1999年9月発行）
(Copyright © S. Kuwabara/ Y. Nishida, 1999) **収録項目数：270項目**

『漢字検定に挑戦!機能』財団法人 日本漢字能力検定協会
(Copyright © 財団法人 日本漢字能力検定協会2006)
収録問題数：約14,600問

『読めそうで読めない漢字』角川書店（2004年2月発行）
(Copyright © 現代言語セミナー）　収録語数：1,725語

『もっと読めそうで読めない漢字』角川書店（2004年2月発行）
(Copyright © 現代言語セミナー）　収録語数：850語

『やっぱり読めそうで読めない漢字』角川書店（2004年5月発行）
(Copyright © 現代言語セミナー）　収録語数：1,323語

『日本語ドリル 485』角川書店（2004年11月発行）
(Copyright © 角川書店 編集協力 幸運社)　収録項目：約485項目

『間違いことば 500』角川書店（2004年5月発行）
(Copyright © 日本語を考える会)　収録項目：500項目

『百人一首』＊ (🔊)旺文社
(Copyright © Obunsha 2005)　収録和歌数：100首

『基本英単語・熟語ターゲット1100（改訂新版）』(🔊)旺文社（2005年3月発行）
(Copyright © e-Cast Corporation 2005)　収録英単語・熟語数：1,100項目

『英単語ターゲット1900』(🔊)旺文社（2006年10月発行）
(Copyright © Y. Miyakawa, 2006)　収録項目数：1,900項目

『英単語ターゲット1900 BRUSH-UP TEST』＊ (🔊)旺文社
(Copyright © Obunsha Co.,Ltd 2006)　収録項目数：1,900項目

『英熟語ターゲット1000 3訂版』(🔊)旺文社（2003年10月発行）
(Copyright © K. Hanamoto 2003)　収録熟語数：1,000熟語

『英熟語ターゲット1000 BRUSH-UP TEST』(🔊)旺文社（2003年10月発行）
(Copyright © Obunsha Co.,Ltd 2003)　収録熟語数：1,000熟語

『英熟語ターゲット1000 会話表現集（3訂版）』(🔊)旺文社（2003年10月発行）
(Copyright © K. Hanamoto, 2003)　収録数：34会話シーン

『英語リスニング　スタート編』(🔊)旺文社（2005年2月発行）
(Copyright © Obunsha Co.,Ltd. 2005)　収録問題数：200問

『傾向と対策　英語リスニング』(🔊)旺文社（2005年2月発行）
(Copyright © Obunsha Co.,Ltd. 2005)　収録数：リスニングテスト3回
（試行テスト＋類似問題2回）

『音声付き英語発音解説（第２版）』＊ (🔊)三省堂
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2005)　収録項目数 発音記号：約50項目

『音声付き英会話（第2版）』＊ (🔊)三省堂
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2005)　収録項目数 会話例：約160例
収録項目数 関連表現：約40例

『英語長文講義 初級コース』＊ (🔊)語学春秋社
(Copyright © 本正弘)　収録長文：15題
問題数：計131問

『英語長文講義 中級コース』＊ (🔊)語学春秋社
(Copyright © 本正弘)　収録長文：15題
問題数：計142問

『英語長文講義 上級コース』＊ (🔊)語学春秋社
(Copyright © 本正弘)　収録長文：15題
問題数：計95問

『英検語彙力判定テスト機能』＊教育測定研究所
(Copyright © The Japan Institute for Educational Measurement, Inc.)
『英検Pass単熟語 2級 改訂版』(🔊)旺文社 (2003年8月発行)
(Copyright © Obunsha.Co.,Ltd.2003) **収録項目数：1,760項目**
『英検Pass単熟語 準2級 改訂版』(🔊)旺文社 (2003年8月発行)
(Copyright © Obunsha.Co.,Ltd.2003) **収録項目数：1,725項目**
『山口英文法講義 問題演習』語学春秋社 (2005年11月発行)
(Copyright © 山口俊治) **収録数：900問**
『TOEIC® テストの英文法』PHP研究所 (2001年8月発行)
(Copyright © Naomi Koike 2001)
収録項目：600項目
『旺文社監修 数学公式集』※5 旺文社
(Copyright © Ryouhei Tsuji 2002) **収録公式数：180公式**
『世界史年代暗記ターゲット315』(🔊)旺文社 (1999年9月発行)
(Copyright © Tomiko Takahashi, 1999) **収録項目数：315項目**
『日本史年代暗記ターゲット312』(🔊)旺文社 (1999年9月発行)
(Copyright © Yoshio Miyazawa, 1999) **収録項目数：312項目**
『旺文社監修 センター試験 現代社会テーマ集』※6 旺文社
(Copyright © Yuichiro Koizumi 1999) **収録テーマ：64テーマ**
『日経パソコン用語事典2008』日経BP社 (2007年10月発行)
(Nikkei Personal Computing Encyclopedia 2007/Copyright © Nikkei Business Publications, Inc.2007) **収録項目：約4,000項目**
『日経エレクトロニクス略語小辞典』※7 (2007年３月発行)
(Copyright © 日経BP社 2007) **収録語数：3,031語**
『大人のIQテスト』PHP研究所 (2004年12月 発行)
(Copyright © Acute Entertainment,.Inc 2004) **収録問題数：150問**
『わがまま歩き旅行会話　英語』(🔊)実業之日本社 (1999年10月発行)
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.1999)
収録例文：約2,300例
収録単語：約4,500語
『わがまま歩き旅行会話 イタリア語＋英語』(🔊)実業之日本社 (1999年10月発行)
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.1999)
収録例文：約2,500例
収録単語：約8,500語
『わがまま歩き旅行会話 フランス語＋英語』(🔊)実業之日本社 (1999年12月発行)
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.1999)
収録例文：約2,500例
収録単語：約8,000語
『わがまま歩き旅行会話 スペイン語＋英語』(🔊)実業之日本社 (2000年4月発行)
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.2000)
収録例文：約2,500例
収録単語：約7,500語

『わがまま歩き旅行会話 ドイツ語＋英語』(🔊)実業之日本社（2000年3月発行）
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.2000)

収録例文：約2,500例
収録単語：約8,000語

『わがまま歩き旅行会話 韓国語＋英語』(🔊)実業之日本社（2000年6月発行）
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.2000)

収録例文：約2,500例
収録単語：約8,500語

『わがまま歩き旅行会話 中国語＋英語』※8 (🔊)実業之日本社（1999年12月 発行）
(Copyright © JITSUGYO NO NIHON SHA,LTD.1999)

収録例文：約2,200例
収録単語：約5,200語

『トラベル英会話』＊ 学研
(Copyright © Gakken,1993)

収録例文：約1,460例

『英単語・熟語ダイアローグ1800 改訂版』※9 (🔊)旺文社（2005年9月 発行）
(Copyright © T.Akiba / H.Mori 2005)

収録対話：110対話文
収録音声：110対話文

＊　書籍版は刊行されておりません。
※1 「スーパー大辞林 3.0」は書籍版に2007年3月現在のデータ・項目を改訂および追加収録した電子版のコンテンツであり、書籍版は刊行されておりません。
※2 書籍版「改訂新版　漢字源」にもとづいて「漢字源　JIS第1 ～ 4水準版」として編集したものです。
※3 2007年4月度版を収録しています。
「ブリタニカ国際大百科事典 Quick Search Version」はブリタニカ国際大百科事典の「小項目事典」6巻と「現代用語事典」1巻を再編集した電子版のコンテンツで、「世界の国」「日本の都道府県」「世界遺産」「世界の人名」「世界の動物」「その他」の6つのトピックスを含んでおります。書籍版は現在刊行されておりません。
※4 書籍版に、2007年7月現在のデータ項目を改訂および増補しています。
※5 「旺文社監修 数学公式集」は、旺文社刊 辻良平著「大学JUKEN 新書 センター試験必出 数学公式180」を元にした電子版のコンテンツであり、書籍版は刊行されておりません。
※6 「旺文社監修 センター試験 現代社会テーマ集」は、旺文社刊 小泉祐一郎著「センター試験 現代社会でるテーマ64 要点整理」を元にした電子版のコンテンツであり、書籍版は刊行されておりません。
※7 「日経エレクトロニクス略語小辞典」は日経BP社発行の「NE最新略語小辞典2007」（非売品）を元にした電子版のコンテンツであり、書籍版は刊行されておりません。
※8 広東語会話は収録していません。
※9 書籍版の対話文をベースに、字幕リスニング機能に対応した電子版のコンテンツです。対話文のみ収録しています。

アフターサービスについて

保証について

1.この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

2.保証期間は、お買いあげの日から１年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3.保証期間後の修理は…
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は電子辞書の補修用性能部品を製品の製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を お持込み のうえ、修理をお申しつけください。**ご自分での修理はしないでください。**
2. **アフターサービスについてわからないことは･･･**
お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申しつけください。
付属の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

付録

索 引

付録

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」
などはホームページをご活用ください。 ▶▶▶ シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support

使用方法・お買い物相談など

【お客様相談センター】

0120 - 303 - 909

携帯・PHS OK

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	電　話	ファックス
東日本相談室→	043 - 351 - 1822	043 - 299 - 8280
西日本相談室→	06 - 6792 - 1583	06 - 6792 - 5993

受付時間 ●月曜～土曜:9:00～18:00 ●日曜・祝日:9:00～17:00 （年末年始を除く）

修理のご相談など

【修理相談センター】（沖縄・奄美地区を除く）

0570 - 02 - 4649

携帯OK

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

■〈PHS・IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄・奄美地区の方〉は…

	PHS／IP電話	ファックス
東日本地区→	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区→	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221
沖縄・奄美地区→	「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866（月～金 9:00～17:30）	

受付時間 ●月曜～土曜:9:00～20:00 ●日曜・祝日:9:00～18:00 （年末年始を除く）

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2008.1）

シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

PRINTED IN CHINA
08ASP (TINSJ1346EHZZ)
0GS9214370////